

文部科学省認可通信教育

レポート課題集

3・4年次配当科目



2007

 東北福祉大学

レポート課題集

3・4年次配当科目
特別支援学校免許状関連科目

2007



東北福祉大学
通信教育部

目次

3年生以上配当科目，4年生以上配当科目，特別支援学校教職免許状に関する科目（新法対応）に大きく3分し，3年生以上配当科目のなかを「専門科目」「資格科目」に区分しました。各区分のなかでは，科目コード順に掲載されています。

1・2年生以上配当科目は，別冊の『レポート課題集 1・2年次配当科目』をご覧ください。

平成19年度 開始にあたって

1	平成19年度からの諸変更……………	8
2	平成19年度 学年暦……………	9
3	平成19年度スクーリング開講予定 ……………	11
4	平成19年度オンデマンド・ スクーリング実施予定……………	19
5	釧路・奄美会場におけるビデオ・ スクーリングについて……………	19
6	社会教育学科一部科目のビデオ・ スクーリングについて……………	20

社会福祉援助技術論Ⅳ	050129	………	49
社会福祉援助技術演習Ⅱ	050131	………	51
精神保健福祉論Ⅲ	050135	………	60
精神科リハビリテーション学	050139	………	62
精神医学	050140	………	64
精神保健福祉援助演習	050141	………	67
社会教育計画	050307	………	74
現代社会と社会教育Ⅰ	050308	………	76
現代社会と社会教育Ⅱ	050309	………	80
社会教育演習Ⅰ	050312	………	83
社会教育演習Ⅱ・Ⅲ	050313~4	………	85
社会教育演習Ⅳ	050315	………	86
文化財の保護と活用	050319	………	88

3年生以上配当科目

専門科目	
社会保障論	050107 …… 22
公的扶助論	050108 …… 26
社会福祉法制	050111 …… 29
社会保険論	050112 …… 31
社会病理学	050114 …… 34
国際福祉論	050115 …… 37
ケアマネジメント論	050124 …… 39
福祉施設管理論	050125 …… 42
社会福祉援助技術論Ⅲ	050128 …… 46

東北の山岳信仰	050321	………	90
女の民俗	050322	………	92
先史考古学	050324	………	96
歴史考古学	050325	………	99
日本文化史	050328	………	105
日本美術史	050329	………	108
西洋美術史	050330	………	111
心理学実験Ⅲ	050507	………	113
認知心理学	050510	………	118
学習心理学	050512	………	122
児童青年心理学	050516	………	125
老年心理学	050517	………	129

障害児の心理 050518	132
心理療法 050520	135
障害児の生理・病理 050713	141
障害児の教育課程 050714	143

資格科目

介護実習事前事後指導 050701	146
介護実習 050903	151
総合演習 050709	159
教育実習の事前事後指導 050710	160
教育実習 050904	163
障害児教育実習の事前・事後指導 050716	168
障害児教育実習 050905	172

4年生以上配当科目

専門科目

社会福祉援助技術現場実習指導 050132	178
社会福祉援助技術現場実習 050901	183
精神保健福祉援助実習 050902	185
卒業研究 050991	195

特別支援学校免許状関連科目

(注) 新法対応科目です

障害者教育総論 050720	205
知的障害者の心理 050721	209
知的障害者の生理・病理 050722	212
肢体不自由者の心理, 生理・病理 050723	214
病弱者の心理, 生理・病理 050724	218
聴覚障害者の心理 050725	222
聴覚障害者の生理・病理 050726	225
知的障害教育 050727	227
肢体不自由教育 050728	230
病弱教育 050729	234
聴覚障害教育 050730	237
病弱教育総論 050731	239
重複障害教育総論 050732	242
軽度発達障害者の心理 050733	245
軽度発達障害教育総論 050734	247
自閉症教育総論 050735	249
コミュニケーション障害教育 050736	251
視覚障害教育総論 050737	255
障害者教育実習の事前指導 050738	257
障害者教育実習の事後指導 050739	260
障害者教育実習 050906	260

科目別索引

1・2 の表記のあるものは、別冊の『レポート課題集 1・2年次配当科目』をご覧ください。

ア行

- 050106 医学一般…………… 1・2
- 050113 NPO論…………… 1・2
- 050322 女の民俗…………… 92

カ行

- 050120 介護概論…………… 1・2
- 050903 介護実習…………… 151
- 050701 介護実習事前事後指導…………… 146
- 050020 科学的な見方・考え方…………… 1・2
- 050708 カウンセリング…………… 1・2
- 050512 学習心理学…………… 122
- 050010 数の世界…………… 1・2
- 050515 家族心理学…………… 1・2
- 050144 家族法…………… 1・2
- 050504 環境心理学…………… 1・2
- 050018 観光と文化…………… 1・2
- 050012 基礎英作文…………… 1・2
- 050145 基礎演習…………… 1・2
- 050301 教育原理…………… 1・2
- 050306 教育史…………… 1・2
- 050904 教育実習…………… 163
- 050710 教育実習の事前事後指導…………… 160
- 050304 教育社会学…………… 1・2
- 050513 教育心理学…………… 1・2

- 050706 教育方法論 (視聴覚教育等を含む)…………… 1・2
- 050702 教職論…………… 1・2
- 050124 ケアマネジメント論…………… 39
- 050734 軽度発達障害教育総論…………… 247
- 050733 軽度発達障害者の心理…………… 245
- 050016 健康科学…………… 1・2
- 050308 現代社会と社会教育Ⅰ…………… 76
- 050309 現代社会と社会教育Ⅱ…………… 80
- 050006 現代社会を見る眼…………… 1・2
- 050323 考古学概論…………… 1・2
- 050110 公衆衛生学…………… 1・2
- 050108 公的扶助論…………… 26
- 050703 高等学校教育課程の意義と編成…………… 1・2
- 050117 高齢者福祉論…………… 1・2
- 050115 国際福祉論…………… 37
- 050019 子どもと社会…………… 1・2
- 050011 コミュニケーション英語…………… 1・2
- 050736 コミュニケーション障害教育…………… 251
- 050326 古文書学…………… 1・2

サ行

- 050737 視覚障害教育総論…………… 255
- 050728 肢体不自由教育…………… 230

050723	肢体不自由者の心理, 生理・病理	214	050715	障害児の指導法.....	1・2
050516	児童青年心理学.....	125	050518	障害児の心理.....	132
050116	児童福祉論.....	1・2	050713	障害児の生理・病理.....	141
050735	自閉症教育総論.....	249	050906	障害者教育実習(新法).....	260
050312	社会教育演習Ⅰ.....	83	050739	障害者教育実習の事後指導...	260
050313~4	社会教育演習Ⅱ・Ⅲ.....	85	050738	障害者教育実習の事前指導...	257
050315	社会教育演習Ⅳ.....	86	050720	障害者教育総論.....	205
050305	社会教育行政論.....	1・2	050118	障害者福祉論.....	1・2
050307	社会教育計画.....	74	050311	生涯スポーツ論.....	1・2
050303	社会教育史.....	1・2	050502	生涯発達心理学.....	1・2
050514	社会心理学.....	1・2	050013	情報英語.....	1・2
050114	社会病理学.....	34	050332	情報処理Ⅰ.....	1・2
050130	社会福祉援助技術演習Ⅰ...	1・2	050333	情報処理Ⅱ.....	1・2
050131	社会福祉援助技術演習Ⅱ.....	51	050334	情報処理Ⅲ.....	1・2
050901	社会福祉援助技術現場実習...	183	050331	情報処理論.....	1・2
050132	社会福祉援助技術現場実習指導	178	050327	史料講読.....	1・2
050126	社会福祉援助技術論Ⅰ.....	1・2	050511	人格心理学.....	1・2
050127	社会福祉援助技術論Ⅱ.....	1・2	050519	心理アセスメント.....	1・2
050128	社会福祉援助技術論Ⅲ.....	46	050501	心理学概論.....	1・2
050129	社会福祉援助技術論Ⅳ.....	49	050508	心理学研究法Ⅰ.....	1・2
050104	社会福祉原論(職業指導を含む)	1・2	050509	心理学研究法Ⅱ.....	1・2
050111	社会福祉法制.....	29	050505	心理学実験Ⅰ.....	1・2
050112	社会保険論.....	31	050506	心理学実験Ⅱ.....	1・2
050107	社会保障論.....	22	050507	心理学実験Ⅲ.....	113
050302	生涯学習概論.....	1・2	050520	心理療法.....	135
050711	障害児教育Ⅰ.....	1・2	050015	スポーツ(バーンゴルフ).....	1・2
050712	障害児教育Ⅱ.....	1・2	050014	スポーツ(バレーボール).....	1・2
050905	障害児教育実習(旧法).....	172	050140	精神医学.....	64
050716	障害児教育実習の事前・事後指導	168	050139	精神科リハビリテーション学	62
050714	障害児の教育課程.....	143	050136	精神保健.....	1・2
			050141	精神保健福祉援助演習.....	67
			050138	精神保健福祉援助技術各論	1・2

050137	精神保健福祉援助技術総論	
	1・2
050902	精神保健福祉援助実習	185
050133	精神保健福祉論Ⅰ	1・2
050134	精神保健福祉論Ⅱ	1・2
050135	精神保健福祉論Ⅲ	60
050707	生徒指導論 (進路指導を含む)	1・2
050005	生命の科学	1・2
050330	西洋美術史	111
050324	先史考古学	96
050001	禅のこころ	1・2
050709	総合演習	159
050991	卒業研究	195

夕 行

050105	地域福祉論	1・2
050727	知的障害教育	227
050721	知的障害者の心理	209
050722	知的障害者の生理・病理	212
050119	知的障害者福祉論	1・2
050730	聴覚障害教育	237
050725	聴覚障害者の心理	222
050726	聴覚障害者の生理・病理	225
050732	重複障害教育総論	242
050321	東北の山岳信仰	90
050705	特別活動の指導法	1・2
050316	図書館概論	1・2

ナ 行

050329	日本美術史	108
050328	日本文化史	105
050017	人間と教育	1・2
050004	人間と宗教	1・2
050510	認知心理学	118

ハ 行

050317	博物館概論	1・2
050729	病弱教育	234
050731	病弱教育総論	239
050724	病弱者の心理, 生理・病理	218
050704	福祉科の指導法	1・2
050121	福祉機器論	1・2
050123	福祉計画法	1・2
050125	福祉施設管理論	42
050109	福祉思想論	1・2
050101	福祉社会学	1・2
050103	福祉心理学	1・2
050003	福祉と経済	1・2
050021	福祉と生活	1・2
050102	福祉法学	1・2
050142	福祉ボランティア活動	1・2
050143	福祉リスクマネジメント	1・2
050008	文学入門	1・2
050318	文化財概論	1・2
050319	文化財の保護と活用	88
050007	法の基礎 (日本国憲法を含む)	1・2
050002	ボランティア論	1・2

マ・ラ 行

050320	民俗学概論	1・2
050122	リハビリテーション論	1・2
050503	臨床心理学	1・2
050325	歴史考古学	99
050009	歴史を見る眼	1・2
050310	レクリエーション論	1・2
050517	老年心理学	129

平成19年度 開始にあたって

- 1.平成19年度からの諸変更
- 2.平成19年度 学年暦
- 3.平成19年度スクーリング
開講予定
- 4.平成19年度オンデマンド・
スクーリング実施予定
- 5.釧路・奄美会場における
ビデオスクーリングについて
- 6.社会教育学科一部科目の
ビデオスクーリングについて

1 平成19年度からの諸変更

平成14～18年度入学者のみ必読

ここに記載の「1 平成19年度からの諸変更」について平成19年度新入生はとくに意識していただく必要はございません。「2 平成19年度学年暦」からお読みください。

●平成14～18年度入学者のカリキュラム変更

「基礎演習」の新設、特別支援学校教諭免許状のための科目新設などのご案内は、『With』41号 p. 66をご覧ください。

●平成19年度からのレポート課題変更科目

平成19年度は、約5分の1程度の科目のレポート課題が見直しされました。変更のあった科目は、この『レポート課題集』本文中に表示のとおりです。

『レポート課題集2006』掲載の課題も2008年9月まで、『レポート課題集2005』掲載の課題も2007年9月までは提出できますが、これから学習に取り組む方は今年度の課題で提出してください。

なお、「コミュニケーション英語」ならびに特別支援学校教諭免許状に関する科目は、必ず新しい課題で提出をお願いいたします。

●平成19年度からの教科書変更科目

平成19年度に教科書が変更になる科目は、下記および巻末「教材購入申込書」一覧のとおりです。また、『レポート課題集』本文中にも注記があります。

教科書変更科目（*は大幅な変更、その他は修正版発行によるもの）

（1年生以上配当科目）高齢者福祉論、障害者福祉論、社会心理学*

（2年生以上配当科目）地域福祉論、医学一般、社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ、精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉援助技術総論、精神保健福祉援助技術各論、障害児教育Ⅰ*、障害児教育Ⅱ*、人格心理学*

（3年生以上配当科目）社会保障論*、公的扶助論*、精神科リハビリテーション学、精神医学、障害児の教育課程*、児童青年心理学*

教科書が変わった科目についても、平成18年度の教科書・レポート課題にもとづいて学習を継続することができます。1・2単位めを変更前の教科書で、3・4単位めを変更後の教科書にもとづいて、レポートを提出することも可能です。

スクーリングを受講する場合は、新しい教科書にもとづいて授業を進めることが多くなりますので、ご了承ください。

変更後の教科書は本学より配本しませんので、必要に応じてご自身で購入ください（購入の義務はありません）。巻末の「教材購入申込書」を利用し、代金分の郵便小為替を同封のうえ、お申込みいただければ通信教育部から郵送いたします。通信教育部窓口での購入は原則としてできません。

申込書到着日	発送予定日
3月5日～15日	3月25日
3月16日～4月10日	4月20日
4月11日～5月10日	5月20日

改訂版教科書の出来遅れにより、上記より発送が遅れる場合がございますが、『With』などでご案内いたします。

●平成19年度からの履修方法変更科目

平成19年度より、履修方法が変更になる科目は下記のとおりです。

(旧)「R」 → (新)「R or SR」 心理学研究法Ⅰ 児童青年心理学
 (旧)「R or SR」 → (新)「R」 障害児教育Ⅱ 情報処理Ⅲ

「心理学研究法Ⅰ」「児童青年心理学」について、スクーリング受講を希望する方は受講することができるようになります。もちろん、これまでどおりスクーリングを受講せず、レポート+科目修了試験で単位を修得することも可能です。

「心理学研究法Ⅰ」のスクーリング（日程未定）には受講条件があります（『レポート課題集（1・2年次）』p.257参照）。また、「心理学研究法Ⅰ」は2単位めレポート課題も変更されます。「1単位めレポート合格後2単位めレポート提出」の条件や、「心理学研究法Ⅱスクーリング受講後レポート提出がのぞましい」という条件も廃止されます。

●平成19年度からの担当教員変更・追加科目

平成19年度に、レポートを添削したりスクーリングで授業を行う担当教員が変更・追加になる科目は下記のとおりです。新しい担当教員については、『レポート課題集』の各科目の担当教員欄をご覧ください。

社会福祉原論 医学一般 公衆衛生学 精神保健福祉論Ⅲ 社会福祉援助技術論Ⅲ
 社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ 心理学研究法Ⅰ 生涯発達心理学
 児童青年心理学

また、「心理学概論」など科目によっては、担当教員以外のレポート添削指導者がレポートを添削いたします。スクーリングは、担当教員が開講します。

●「履修登録用紙」変更について

平成19年2月配付分より、「履修登録用紙（OCR）」が変更になりました。今後は、平成19年2月以降に配付された「履修登録用紙（OCR）」をご利用ください。

なお、新しい「履修登録用紙（OCR）」には、社会教育学科1年次配当科目の掲載がありません。平成17年度以前の入学者で下記の科目の履修を希望する方は、別紙（書式自由）に学籍番号・氏名と履修希望科目を記載して、お申し出ください。

生涯学習概論 社会教育史 レクリエーション論 生涯スポーツ論 情報処理論 情報処理Ⅱ

●平成19年度未開講科目について

平成19年度以降履修登録ができなくなる科目は「情報処理Ⅲ」「社会教育演習Ⅱ・Ⅲ」です。ご了承ください。

なお、平成19年度のみ臨時で未開講になる科目はございません。ただし、「R or SR」科目でも平成19年度にスクーリングが開講されない場合はございますので、p.11～20をご覧ください。

●東北福祉大前駅 開業予定のお知らせ

本年3月18日(日)より、JR仙山線の北山駅と国見駅の間に「東北福祉大前」駅が開業予定です。図書館側の西門まで歩いて7～8分ほどです。なお、同日には仙台空港アクセス鉄道も開業予定です。

2 平成19年度 学年暦

●平成19年度学年暦

『With』41号 p.68～69をご覧ください。4月初旬の『試験・スクーリング 情報ブック2007』刊行後は、そちらが最新のデータとなります。

●平成19年度科目修了試験・日程

『With』41号 p.70～71をご覧ください。現時点での変更としては、1/19(土)さいたま会場は、札幌・仙台と同じく10時開始で川口で行います。なお、4月初旬の『試験・スクーリング 情報ブック2007』刊行後は、そちらが最新のデータとなります。

平成19年度より、土曜日の標準的な時間の場合、集合時間が15分早まります。

・集合 13時30分 試験開始 13時45分 おましがえのないようにご注意ください。

3 平成19年度スクーリング開講予定 (学年配当別 開講日程順)

2月20日時点の平成19年度スクーリング開講予定です。やむをえない事情により、ここに掲載した開講日程・開講場所を変更させていただくことがあります。『With』41号より変更になった科目もございますが、ご了承ください（「科学的な見方・考え方」「スポーツ（バーンゴルフ）」「ケアマネジメント論」など）。

4月上旬発行の『試験・スクーリング 情報ブック2007』発行後は、そちらが最新となります。

その他、注意点は下記のとおりです。

- (1) 同じ科目で2度以上開講される場合は、どちらか一方を受講していただければ結構です（「精神保健福祉援助技術総論」を除く）。
- (2) 時間が重なっていない科目は、同時に申込み、受講できます。
- (3) インターネット配信授業 開講地で、「仙台 配信（東京 札幌 小山 盛岡 新潟）」などと表示のある科目は、仙台でのスクーリングをインターネットで同時中継し、東京会場、札幌会場、小山会場、盛岡会場、新潟会場で受講することができる予定です（インターネット配信授業）。ただし、インターネット配信授業の実施会場は予定です。
- (4) ビデオ・スクーリング 科目名にVTRとある科目はビデオ・スクーリングです。ビデオ・スクーリングで修得した単位は10単位までのみ卒業に必要なスクーリング単位として算入できます。
- (5) オンデマンド型授業 これ以外にも自宅で受講できるオンデマンド型授業の実施予定があります。実施予定のある科目はp.19「4 オンデマンド・スクーリング実施予定」記載のとおりです。それ以外の科目は現在のところ実施予定はありません。
- (6) 釧路・奄美会場においては変則的なビデオ・スクーリングを実施予定です。p.19「5 釧路・奄美会場におけるビデオ・スクーリングについて」をご覧ください。
- (7) 社会教育学科の一部科目については、p.20記載のとおり「個別視聴型」のビデオ・スクーリングを実施いたします。
- (8) 平成18年度まで実施していた通学課程の授業を受講する「通年スクーリング」は通学課程の学生数の増加により、平成19年度は実施いたしません。
- (9) 「介護概論」のスクーリングは、高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者が優先となります。それ以外の方は抽選となります。

● 1年生以上配当科目

科目名	開講予定日	開催地	開講日・時間	
福祉心理学 VTR	4 / 14・15	札幌	4 / 14 13:00~17:20	4 / 15 9:30~14:40
福祉と経済	4 / 28~30	仙台	4 / 28 10:40~17:20 4 / 30 9:10~14:20	4 / 29 9:10~17:20
心理学概論	5 / 3~5	仙台 配信 (札幌・盛岡)	5 / 3 11:00~17:40 5 / 5 9:30~14:40	5 / 4 9:30~17:40
福祉社会学 VTR	5 / 13・19・20	青森	5 / 13 13:40~18:00 5 / 20 9:20~17:30	5 / 19 9:50~16:30
福祉心理学 VTR	5 / 26・27	山形	5 / 26 12:30~16:50	5 / 27 10:00~15:10
福祉社会学 VTR	5 / 26・27・ 6 / 2	仙台	5 / 26 10:00~16:50 6 / 2 10:00~16:50	5 / 27 10:00~16:50
福祉心理学 VTR	6 / 2・9	さいたま(川口)	6 / 2 12:30~16:50	6 / 9 10:00~15:10
障害者福祉論 VTR	6 / 9・10・16	八戸	6 / 9 10:10~16:50 6 / 16 10:10~16:50	6 / 10 10:10~16:50
福祉心理学 VTR	6 / 16・17	仙台	6 / 16 12:40~17:00	6 / 17 9:30~14:40
高齢者福祉論 VTR	6 / 22~24	札幌	6 / 22 11:00~17:40 6 / 24 13:20~17:40	6 / 23 9:30~17:40
福祉心理学 VTR	6 / 23・24	青森	6 / 23 10:10~16:50	6 / 24 13:30~16:20
基礎演習	6 / 30・7 / 1	仙台	6 / 30 12:40~17:00	7 / 1 9:30~14:40
高齢者福祉論 VTR	6月ごろ	秋田		
人間と教育	7 / 14~16	仙台	7 / 14 10:40~17:20 7 / 16 9:10~14:20	7 / 15 9:10~17:20
児童福祉論	7 / 14~16	新潟	7 / 14 11:00~17:40 7 / 16 9:30~14:40	7 / 15 9:30~17:40
障害者福祉論	7 / 14~16	札幌	7 / 14 11:00~17:40 7 / 16 9:30~14:40	7 / 15 9:30~17:40
福祉法学	7 / 27~29	仙台 配信 (札幌・盛岡・東京・新潟)	7 / 27 11:00~17:40 7 / 29 9:30~14:40	7 / 28 9:30~17:40
福祉心理学	7 / 30・31	仙台 配信 (札幌・盛岡・東京・新潟)	7 / 30 12:40~17:00	7 / 31 9:30~14:40
社会心理学	8 / 1・2	仙台	8 / 1 13:00~17:20	8 / 2 10:00~15:10
生命の科学	8 / 3~5	仙台	8 / 3 10:40~17:20 8 / 5 9:10~14:20	8 / 4 9:10~17:20
教育原理	8 / 3~6	仙台	8 / 3 14:30~18:50 8 / 5 9:10~14:20	8 / 4 9:10~14:20 8 / 6 9:10~14:20
情報処理Ⅰ	8 / 4~7	仙台	8 / 4 14:30~17:20 8 / 6 14:30~18:50	8 / 5 14:30~18:50 8 / 7 9:30~16:10
福祉社会学	8 / 8~10	仙台 配信 (札幌・盛岡・東京)	8 / 8 11:00~17:40 8 / 10 9:30~14:40	8 / 9 9:30~17:40
高齢者福祉論	8 / 11~13	仙台	8 / 11 11:00~17:40 8 / 13 9:30~14:40	8 / 12 9:30~17:40
障害者福祉論 VTR	8 / 11~13	東京	8 / 11~13 10:00~16:50	
現代社会を見る眼	8 / 14~16	仙台	8 / 14 10:40~17:20 8 / 16 9:10~14:20	8 / 15 9:10~17:20
障害者福祉論 VTR	8 / 14~16	仙台	8 / 14 10:00~16:50 8 / 16 10:00~16:50	8 / 15 10:00~16:50
基礎英作文	8 / 17~19	仙台	8 / 17 10:40~17:20 8 / 19 9:10~14:20	8 / 18 9:10~17:20
科学的な見方・考え方	8 / 20~22	仙台	8 / 20 10:00~16:40 8 / 22 10:00~16:40	8 / 21 10:00~16:40
文学入門(平成17年度以前 入学者のみ)	8 / 28~30	仙台	8 / 28 10:40~17:20 8 / 30 9:10~14:20	8 / 29 9:10~17:20
児童福祉論	8 / 31~9 / 2	横浜	8 / 31 11:00~17:40 9 / 2 9:30~14:40	9 / 1 9:30~17:40
心理学概論 VTR	8月ごろ	仙台		
コミュニケーション英語	9 / 7~9	仙台	9 / 7 10:40~17:20 9 / 9 9:10~17:20	9 / 8 9:10~17:20

科目名	開講予定日	開催地	開講日・時間	
歴史を見る眼	9/15~17	東京	9/15 11:00~17:40 9/17 9:30~14:40	9/16 9:30~17:40
スポーツ (バングルフ)	9/22~24	仙台	9/22 11:00~17:40 9/24 9:30~14:40	9/23 9:30~17:40
福祉法学	10/6~8	仙台	10/6 10:40~17:20 10/8 9:10~14:20	10/7 9:10~17:20
児童福祉論	10/6~8	札幌	10/6 11:00~17:40 10/8 9:30~14:40	10/7 9:30~17:40
心理学概論	10/6~8	横浜	10/6 11:00~17:40 10/8 9:30~14:40	10/7 9:30~17:40
ボランティア論	11/10・11	仙台	11/10 12:40~17:00	11/11 9:30~14:40
高齢者福祉論 VTR	11/10・11・18	さいたま (川口)	11/10 10:00~16:50 11/18 10:00~16:50	11/11 10:00~16:50
福祉心理学 VTR	11/17・18	仙台	11/17 11:00~17:40	11/18 13:20~16:10
福祉社会学	11/23~25	東京	11/23 11:00~17:40 11/25 9:30~14:40	11/24 9:30~17:40
児童福祉論	11/23~25	仙台	11/23 11:00~17:40 11/25 9:30~14:40	11/24 9:30~17:40
社会心理学 VTR	12/1・2	新潟	12/1 12:40~17:00	12/2 9:30~14:40
福祉社会学 VTR	12/1・2・8	仙台	12/1 9:30~17:40 12/8 9:30~12:20	12/2 9:30~17:40
基礎演習	12/8・9	仙台	12/8 13:00~17:20	12/9 9:30~14:40
福祉社会学 VTR	12/14~16	盛岡	12/14 10:00~16:50 12/16 10:00~16:50	12/15 10:00~16:50
法の基礎 (日本国憲法を含む)	H20 1/12~14	横浜	1/12 11:00~17:40 1/14 9:30~14:40	1/13 9:30~17:40
高齢者福祉論	H20 1/12~14	盛岡	1/12 10:00~16:50 1/14 10:00~16:50	1/13 10:00~16:50
福祉心理学	H20 1/19・20	札幌	1/19 13:20~17:40	1/20 9:30~14:40
福祉社会学 VTR	H20 1/19・26・27	新潟	1/19 10:00~16:50 1/27 10:00~16:50	1/26 10:00~16:50
子どもと社会	H20 2/1~3	盛岡	2/1 11:00~17:40 2/3 9:30~14:40	2/2 9:30~17:40
観光と文化	H20 2/9~11	仙台	2/9 11:00~17:40 2/11 9:30~14:40	2/10 9:30~17:40
高齢者福祉論 VTR	H20 2/12~14	仙台	2/12 10:00~16:50 2/14 10:00~16:50	2/13 10:00~16:50
障害者福祉論	H20 2/15~17	仙台	2/15 11:00~17:40 2/17 9:30~14:40	2/16 9:30~17:40
心理学概論 VTR	H20 3/5~7	仙台	3/5 10:00~16:50 3/7 10:00~16:50	3/6 10:00~16:50
福祉と生活	H20 3/8・9	仙台	3/8 12:40~17:00	3/9 9:30~14:40
福祉社会学 VTR	秋以降	札幌		
福祉法学 VTR	秋以降	未定		
福祉心理学 VTR	秋以降	秋田		
福祉心理学 VTR	秋以降	郡山		
福祉心理学 VTR	秋以降	関東		
福祉心理学 VTR	秋以降	未定		
障害者福祉論 VTR	秋以降	未定		
心理学概論 VTR	秋以降	札幌		
高齢者福祉論 VTR	未定	未定		
心理学概論 VTR	未定	大阪		
社会心理学 VTR	未定	未定		
スポーツ (バレーボール)	H19開講せず			

● 2年生以上配当科目

科目名	開講予定日	開催地	開講日・時間	
生涯発達心理学 VTR	4/14・15・21	仙台	4/14 10:30~17:10 4/21 9:30~14:40	4/15 9:30~17:40
精神保健福祉論Ⅰ VTR	4/15・21	八戸	4/15 10:10~16:50	4/21 10:10~13:00
精神保健福祉論Ⅱ VTR	4/21・22	八戸	4/21 14:00~16:50	4/22 10:10~16:50
精神保健福祉論Ⅰ	5/3・4	東京	5/3 11:00~17:40	5/4 9:30~12:20
精神保健福祉論Ⅱ	5/4・5	東京	5/4 13:20~17:40	5/5 9:30~14:40
精神保健福祉論Ⅰ VTR	5/13・19	仙台	5/13 10:00~16:50	5/19 10:00~12:50
精神保健福祉論Ⅱ VTR	5/19・20	仙台	5/19 13:50~16:50	5/20 10:00~16:50
精神保健福祉論Ⅰ VTR	5/25・26	札幌	5/25 11:00~17:40	5/26 11:20~15:00
精神保健福祉論Ⅱ VTR	5/26・27	札幌	5/26 15:10~18:10	5/27 9:20~16:00
環境心理学 VTR	6/16・17	新潟	6/16 12:40~17:00	6/17 9:30~14:40
社会福祉原論 VTR	6/29~7/1	盛岡	6/29 10:00~16:50 7/1 10:00~16:50	6/30 10:00~16:50
心理アセスメント VTR	6/30・7/1	札幌	6/30 13:40~18:00	7/1 10:00~15:10
地域福祉論	7/14~16	仙台	7/14 11:00~17:40 7/16 9:30~14:40	7/15 9:30~17:40
障害児の指導法 知的障害教育	7/14~16	横浜	7/14 11:00~17:40 7/16 9:30~14:40	7/15 9:30~17:40
家族心理学	7/14・15	仙台	7/14 12:40~17:00	7/15 9:30~14:40
教育心理学	7/15・16	仙台	7/15 15:00~17:50	7/16 9:30~16:10
障害児教育Ⅰ	8/1~3	仙台	8/1 11:00~17:40 8/3 9:10~14:20	8/2 9:10~17:20
心理学実験Ⅰ	8/8~11	仙台	8/8 11:00~17:40 8/10 9:30~14:40	8/9 9:30~14:40 8/11 9:30~14:40
環境心理学 VTR	8/9~11	仙台	8/9 15:00~17:50 8/11 15:00~17:50	8/10 15:00~17:50
社会福祉原論(職業指導を含む)	8/11~13	札幌	8/11 11:00~17:40 8/13 9:30~14:40	8/12 9:30~17:40
臨床心理学	8/12~15	仙台	8/12 10:00~15:10 8/14 10:00~15:10	8/13 10:00~15:10 8/15 10:00~15:10
社会福祉原論(職業指導を含む)	8/17~19	仙台	8/17 11:00~17:40 8/19 9:30~14:40	8/18 9:30~17:40
心理学実験Ⅱ	8/18~21	仙台	8/18 12:40~17:00 8/20 9:30~14:40	8/19 9:30~14:40 8/21 9:30~14:40
精神保健福祉援助技術総論	8/19・20+ 12/24・25	仙台	8/19 14:50~17:40 12/24 14:50~17:40	8/20 9:30~16:10 12/25 9:30~16:10
社会福祉援助技術論Ⅰ	8/19・20	仙台	8/19 15:00~17:50	8/20 9:30~16:10
心理アセスメント VTR	8/19~21	仙台	8/19 15:00~17:50 8/21 15:00~17:50	8/20 15:00~17:50
医学一般	8/21~23	仙台	8/21 11:00~17:40 8/23 9:30~14:40	8/22 9:30~17:40
心理学研究法Ⅱ	8/22・23	仙台	8/22 9:30~14:40	8/23 9:30~14:40
社会福祉援助技術演習Ⅰ	8/24・25	仙台	8/24 10:20~17:00	8/25 9:30~12:20
精神保健福祉援助技術各論	8/24~26	仙台	8/24 11:00~17:40 8/26 9:30~14:40	8/25 9:30~17:40
社会福祉援助技術論Ⅱ	8/25・26	仙台	8/25 13:20~17:40	8/26 9:30~14:40
社会福祉援助技術演習Ⅰ	8/25・26	札幌	8/25 12:40~17:00	8/26 9:30~14:40
社会福祉援助技術演習Ⅰ	8/25・26	東京	8/25 12:40~17:00	8/26 9:30~14:40
環境心理学 VTR	8/31・9/1	さいたま(川口)	8/31 10:00~16:50	9/1 10:00~12:50
社会福祉援助技術演習Ⅰ	9/1・2	仙台	9/1 12:40~17:00	9/2 9:30~14:40
社会福祉援助技術演習Ⅰ	9/1・2	青森	9/1 12:40~17:00	9/2 9:30~14:40
心理アセスメント VTR	9/1・2	さいたま(川口)	9/1 13:50~16:50	9/2 10:00~16:50
社会福祉援助技術演習Ⅰ	9/1・2	新潟	9/1 12:40~17:00	9/2 9:30~14:40

科目名	開講予定日	開催地	開講日・時間	
社会福祉援助技術演習Ⅰ	9/8・9	秋田	9/8 12:40~17:00	9/9 9:30~14:40
社会福祉援助技術演習Ⅰ	9/8・9	さいたま(川口)	9/8 12:40~17:00	9/9 9:30~14:40
地域福祉論	9/15~17	札幌	9/15 11:00~17:40 9/17 9:30~14:40	9/16 9:30~17:40
福祉リスクマネジメント	9/15~17	盛岡	9/15 10:00~16:50 9/17 10:00~16:50	9/16 10:00~16:50
生涯発達心理学	9/22~24	横浜	9/22 11:00~17:40 9/24 9:30~14:40	9/23 9:30~17:40
精神保健福祉論Ⅰ	10/6・7	仙台	10/6 11:00~17:40	10/7 9:30~12:20
精神保健福祉論Ⅱ	10/7・8	仙台	10/7 13:20~17:40	10/8 9:30~14:40
地域福祉論	10/6~8	仙台	10/6 10:40~17:20 10/8 9:30~16:10	10/7 9:30~16:10
リハビリテーション論	10/20・21	仙台	10/20 12:40~17:00	10/21 9:30~14:40
社会福祉援助技術論Ⅰ VTR	10/20・21	新潟	10/20 12:40~17:00	10/21 9:30~14:40
医学一般	10/26~28	盛岡	10/26~28 10:00~16:50	
社会福祉援助技術論Ⅰ	11/2・3	横浜	11/2 11:00~17:40	11/3 9:30~12:20
家族心理学	11/2・3	仙台	11/2 14:10~18:30	11/3 9:30~14:40
社会福祉援助技術論Ⅱ	11/3・4	横浜	11/3 13:20~17:40	11/4 9:30~14:40
教育心理学	11/3・4	仙台	11/3 14:50~17:40	11/4 9:30~16:10
社会福祉原論(職業指導を含む)	11/23~25	札幌	11/23 11:00~17:40 11/25 9:30~14:40	11/24 9:30~17:40
介護概論(受講定員制)	12/22~24	仙台	12/22 10:40~17:20 12/24 9:10~14:20	12/23 9:10~17:20
福祉機器論	12/22~24	仙台	12/22 10:40~17:20 12/24 9:10~14:20	12/23 9:10~17:20
環境心理学	12/22・23	仙台 配信 (札幌・東京)	12/22 12:40~17:00	12/23 9:30~14:40
心理アセスメント	12/23・24	仙台 配信 (札幌・東京)	12/23 14:50~17:40	12/24 9:30~16:10
地域福祉論	H20 1/12~14	東京	1/12 11:00~17:40 1/14 10:00~16:40	1/13 10:00~16:40
医学一般	H20 1/12~14	仙台	1/12 11:00~17:40 1/14 9:30~14:40	1/13 9:30~17:40
社会福祉援助技術演習Ⅰ	H20 1/19・20	仙台	1/19 12:40~17:00	1/20 9:30~14:40
社会福祉援助技術演習Ⅰ	H20 1/19・20	さいたま(川口)	1/19 13:10~17:00	1/20 9:30~15:10
社会福祉援助技術演習Ⅰ	H20 1/19・20	盛岡	1/19 12:40~17:00	1/20 9:30~14:40
社会福祉援助技術演習Ⅰ	H20 2/2・3	仙台	2/2 12:40~17:00	2/3 9:30~14:40
介護概論(受講定員制)	H20 2/9~11	仙台	2/9 10:40~17:20 2/11 9:10~14:20	2/10 9:10~17:20
家族法	H20 3/7~9	仙台	3/7 11:00~17:40 3/9 9:30~14:40	3/8 9:30~17:40
心理学研究法Ⅱ	H20 3/8・9	仙台	3/8 12:40~17:00	3/9 9:30~14:40
精神保健福祉論Ⅰ VTR	秋以降	郡山		
精神保健福祉論Ⅱ VTR	秋以降	郡山		
精神保健福祉論Ⅰ VTR	秋以降	未定		
精神保健福祉論Ⅱ VTR	秋以降	未定		
生涯発達心理学 VTR	秋以降	札幌		
環境心理学 VTR	秋以降	札幌		
社会福祉原論(職業指導を含む) VTR	未定	関東		
社会福祉原論 VTR	未定	未定		
NPO論	未定	仙台		
NPO論	未定	札幌		
心理学研究法Ⅰ	未定	仙台		
障害児教育Ⅱ	H19開講せず			

● 3年生以上配当科目

科目名	開講予定日	開催地	開講日・時間			
社会保障論 VTR	4/13~15	新潟	4/13 10:00~16:50 4/15 10:00~16:50	4/14 10:00~16:50		
公的扶助論 VTR	4/21・22	新潟	4/21 12:40~17:00	4/22 9:30~14:40		
公的扶助論 VTR	4/21・22	仙台	4/21 13:00~17:20	4/22 9:30~14:40		
障害児の心理	4/28~30	仙台 配信 (札幌・盛岡・小山?)	4/28 11:00~17:40 4/30 9:30~14:40	4/29 9:30~17:40		
精神保健福祉援助演習	5/19・20	仙台	5/19 11:00~17:40	5/20 9:30~14:40		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	5/26・27	東京	5/26 12:40~17:00	5/27 9:30~16:10		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	5/26・27	新潟	5/26 12:40~17:00	5/27 9:30~16:10		
精神保健福祉援助演習	6/2・3	仙台	6/2 11:00~17:40	6/3 9:30~14:40		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	6/2・3	盛岡	6/2 12:40~17:00	6/3 9:30~16:10		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	6/9・10	仙台	6/9 12:40~17:00	6/10 9:30~16:10		
介護実習事前事後指導	6/9・10	仙台	6/9 11:20~18:00	6/10 9:30~16:10		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	6/9・10	札幌	6/9 13:20~18:30	6/10 9:30~15:30		
社会福祉援助技術論Ⅳ	7/6・7	札幌	7/6 13:20~17:40	7/7 9:30~14:40		
社会福祉援助技術論Ⅲ	7/7・8	札幌	7/7 14:50~17:40	7/8 9:30~16:10		
介護実習事前事後指導	7/14・15	仙台	7/14 11:20~18:00	7/15 9:30~16:10		
社会保障論 VTR	7/16・21・22	仙台	7/16 15:00~17:50 7/22 9:30~17:40	7/21 9:30~17:40		
軽度発達障害教育総論	7/30・31	仙台	7/30 12:40~17:00	7/31 9:30~14:40		
公的扶助論	8/1・2	仙台 配信 (札幌・盛岡・東京)	8/1 12:40~17:00	8/2 9:30~14:40		
社会保障論	8/3~5	仙台 配信 (札幌・盛岡・東京)	8/3 11:00~17:40 8/5 9:30~14:40	8/4 9:30~17:40		
障害児(者)教育実習の 事前・事後指導	8/4・5	仙台	8/4 11:00~18:00	8/5 9:00~15:40		
老年心理学	8/5~7	仙台 配信 (札幌・盛岡・東京・新潟)	8/5 15:00~17:50 8/7 9:30~17:40	8/6 9:30~17:40		
総合演習	8/10・11	仙台	8/10 11:00~17:40	8/11 9:30~12:20		
教育実習の事前事後指導	8/11・12	仙台	8/11 13:20~17:40	8/12 9:10~15:50		
心理学実験Ⅲ(平成17年 度以前入学者のみ)	8/24~27	仙台	8/24 12:40~17:00 8/26 9:30~14:40	8/25 9:30~14:40 8/27 9:30~14:40		
社会福祉法制	8/27~29	仙台	8/27 11:00~17:40 8/29 9:30~14:40	8/28 9:30~17:40		
心理療法	9/7~9	仙台	9/7 11:00~17:40 9/9 9:30~14:40	9/8 9:30~17:40		
精神科リハビリテーショ ン学	9/22~24	札幌	9/22 11:00~17:40 9/24 9:30~14:40	9/23 9:30~17:40		
社会保障論	9/28~30	郡山	時間未定			
ケアマネジメント論	10/12~14	仙台	10/12 15:40~20:10 10/14 9:30~16:10	10/13 9:30~17:40		
社会福祉援助技術論Ⅳ	11/9・10	仙台	11/9 15:40~20:10	11/10 9:30~14:40		
社会福祉援助技術論Ⅲ	11/10・11	仙台	11/10 14:50~17:40	11/11 9:30~16:10		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	11/23・24	仙台	11/23 12:40~17:00	11/24 9:30~16:10		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	11/23・24	東京	11/23 12:40~17:00	11/24 9:30~16:10		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	12/1・2	仙台	12/1 12:40~17:00	12/2 9:30~16:10		
精神保健福祉援助演習	12/1・2	仙台	12/1 11:00~17:40	12/2 9:30~14:40		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	12/1・2	札幌	12/1 13:20~18:30	12/2 9:30~15:30		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	12/1・2	盛岡	12/1 12:40~17:00	12/2 9:30~16:10		
公的扶助論	12/8・9	横浜	12/8 12:30~16:50	12/9 9:30~14:40		
精神保健福祉援助演習	12/8・9	仙台	12/8 11:00~17:40	12/9 9:30~14:40		

科目名	開講予定日	開催地	開講日・時間
障害児の心理 VTR	12/8・9・15	さいたま(川口)	12/8 10:00~16:50 12/15 10:00~16:50
精神科リハビリテーション学	12/22~24	仙台	12/22 11:00~17:40 12/24 9:30~14:40
介護実習事前事後指導	H20 1/12・13	仙台	1/12 11:20~18:00
精神保健福祉論Ⅲ	H20 2/2・3	仙台	2/2 12:40~17:00
児童青年心理学	H20 3/10~12	仙台	3/10 11:00~17:40 3/12 9:30~14:40
教育実習の事前事後指導	H20 3/29・30	仙台	3/29 13:00~17:40
障害児(者)教育実習の事前・事後指導	H20 3/29・30	仙台	3/29 11:00~18:00
重複障害教育総論	H20 3/30・31	仙台	3/30 16:30~17:50
社会保障論 VTR	秋以降	秋田	
公的扶助論 VTR	秋以降	青森	
障害児の心理 VTR	未定	大阪	
聴覚障害者の生理・病理	未定	未定	

● 4年生以上配当科目

科目名	開講予定日	開催地	開講日・時間
社会福祉援助技術現場実習指導(事後)	4/21 or 6/16 or 7/21	仙台	10:00~15:10
社会福祉援助技術現場実習指導(事前)	5/19 or 5/26 or 6/2 or 7/7 or 7/14	仙台	10:00~15:40
精神保健福祉援助実習(事前指導)	5/27 or 6/17	仙台	9:30~15:50
精神保健福祉援助実習(事後指導)	6/30・7/1 or 7/28・29	仙台	1日め 13:20~17:40 2日め 9:30~12:20
社会福祉援助技術現場実習指導(事後)	9/8	仙台	10:00~15:10
精神保健福祉援助実習(事前指導)	11/25 or 12/16	仙台	9:30~15:50
精神保健福祉援助実習(事後指導)	12/22・23 or H20 2/2・3	仙台	1日め 13:20~17:40 2日め 9:30~12:20
社会福祉援助技術現場実習指導(事後)	12/8	盛岡	10:00~15:10
社会福祉援助技術現場実習指導(事後)	10~12月	仙台・札幌・東京	10:00~15:10

● 社会教育学科の科目

科目名	開講予定日	開催地	開講日・時間
文化財概論	7/14・15	仙台	7/14 10:40~17:20 7/15 9:10~12:00
先史考古学	7/15・16	仙台	7/15 13:00~17:20 7/16 9:10~14:20
日本文化史	7/27~29	仙台	7/27 10:40~17:20 7/28 9:10~17:20 7/29 9:10~14:20
社会教育演習ⅠⅤ	7/29・30	仙台	7/29 14:40~17:30 7/30 9:30~16:10
教育社会学	8/17~19	仙台	8/17 11:00~17:40 8/18 9:10~17:20 8/19 9:10~14:20
歴史考古学	8/19・20	仙台	8/19 14:50~17:40 8/20 9:30~16:10
日本美術史	10/20・21	仙台	10/20 12:40~17:00 10/21 9:30~14:40
社会教育演習Ⅰ	12/1・2	仙台	12/1 10:40~17:20 12/2 9:10~12:00
史料講読	12/2・3	仙台	12/2 13:00~17:20 12/3 9:10~14:20
生涯学習概論 VTR	未定	仙台	p.20参照(個人視聴型)
社会教育史 VTR	未定	仙台	p.20参照(個人視聴型)
現代社会と社会教育Ⅰ	未定	仙台	
古文書学	未定	仙台	
情報処理Ⅱ	未定	仙台	
教育史	H19開講せず		
レクリエーション論	H19開講せず		
生涯スポーツ論	H19開講せず		
社会教育演習Ⅱ	H19開講せず		
社会教育演習Ⅲ	H19開講せず		
博物館概論	H19開講せず		
情報処理Ⅲ	H19開講せず		

4 平成19年度オンデマンド・スクーリング実施予定

自宅のパソコンとインターネット回線を通じてスクーリングを受講するオンデマンド型授業の平成19年度実施予定科目と申込み日程は下記のとおりです。1回め、2回めいずれかで申込み、期限までに視聴した上で「試験レポート」を提出する必要があります。

申込み方法は42号以降の『With』でご案内いたします。

	1回め		2回め	
	申込み締切	試験レポート提出期限	申込み締切	試験レポート提出期限
福祉心理学	4月20日	6月12日	11月20日	1月9日
障害者福祉論	7月3日	9月4日	12月20日	2月14日
社会保障論	4月20日	6月19日	10月17日	12月11日
公的扶助論	8月28日	10月9日	11月20日	1月15日
精神保健福祉論Ⅰ	5月30日	7月18日	11月20日	1月15日
精神保健福祉論Ⅱ	8月28日	10月9日	12月20日	2月14日
生涯発達心理学	7月3日	9月4日	12月20日	2月14日
心理アセスメント	5月30日	7月18日	10月17日	12月11日
障害児の心理	4月20日	6月19日	10月17日	12月11日
環境心理学	4月20日	会場試験予定	11月20日	会場試験予定

5 釧路・奄美会場におけるビデオ・スクーリングについて

「釧路会場＝介護のがっこ・そんぐ」「奄美会場＝宇検村教育委員会・元気の出る館」のご配慮により、釧路会場・奄美会場では来年度前半下記のような形態でのビデオ・スクーリング受講が可能となります。申込み方法は42号以降の『With』でご案内いたします。

- 申込み期限 4月12日（『With』42号で申込み予定） →→ 初回受講予定日 下記の日の11時～ →→ 2回め以降 受講する学生で相談して決める（教室と機材があていければ単独視聴も可。利用方法・ルールや利用可能時間については1回めに会場担当者より説明を受けていただきます） →→ 毎回の講義の感想、およびスクーリング試験（レポート）提出締切日 6月27日必着（※会場試験は行いません）
- スクーリング受講料 通常のスクーリングと同じ 納入期限 4月30日
- スクーリング単位 すべてビデオ・スクーリング扱い
- テープの持帰り・貸出・ダビングは著作権の関係で一切不可です

●受講可能科目（ ）内が初回受講日

釧路会場 福祉心理学（4/21）、障害者福祉論（4/28）、精神保健福祉論Ⅰ（5/12）、心理アセスメント（5/26）、精神保健福祉論Ⅱ（6/2）、公的扶助論（4/14）

奄美会場 福祉社会学（4/21）、高齢者福祉論（4/28）、環境心理学（5/12）、社会保障論（5/19）、生涯発達心理学（4/14）、障害児の心理（6/2）

- ・申込み期限7月5日で、釧路会場と奄美会場の科目を入れ替えて、同様のスクーリングを実施予定（レポート締切日10月3日を予定）。試験的に行いますので、それ以降の実施は未定です。

6 社会教育学科一部科目のビデオ・スクーリングについて

社会教育学科の一部科目について、講義をビデオ収録していきます。そのビデオについては、通信教育部事務室で保管し、申込みのあった学生に対しましては、本学図書館のブースで視聴いただくかたちで、ビデオ・スクーリング受講扱いといたします。

対 象 社会教育学科の学生のみ

出席確認 通信教育部事務室でビデオテープの貸出を受けた後、図書館に行ってください。ビデオテープは原則4時間以内に返却いただきます。万一時間内の返却がない場合、図書館ビデオ・ブースの借用がない場合は次回以降の利用をご遠慮いただきます。

受講の重複 受講者が重複した場合、また図書館ビデオ・ブースがあいていない場合、前の視聴者が終わるまでお待ちいただくこともございます。

スクーリング単位認定方法 スクーリング視聴1コマごとに視聴の感想を書いていただきます。また、視聴終了後レポート試験を実施します。視聴の感想とレポート試験を総合的に判定して、スクーリング単位認定をさせていただきます。

スクーリング受講料 無料、ただし別途『With』などでご案内する事前の申込みが必要です。

開講予定科目 4月ごろ～ 生涯学習概論 社会教育史
10月ごろ～ 日本文化史 教育社会学
(その他の開講科目の予定は未定です)

- テープの持ち帰り・ダビングは著作権の関係で一切不可です。

3年生以上配当科目

3・4年生履修可

専門科目

社会保障論

科目コード●050107

担当教員●阿部 裕二

4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉

必修

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

私たちの国の社会保障制度は、進展している少子高齢化のなかで構造的な転換期を迎えており、「社会保障革命」というべき各種の見直しが行われています。例えば、2000年には介護保険が創設され、年金制度や医療（保険）制度なども改革の道を歩んでいます。まさに新しい生活保障システムが求められている時代ともいえるでしょう。とはいえ、「構造的な転換期」だからこそ原点に立ち返り、「社会保障とは何か」の古典的な議論も必要であると思われます。

そこで、本科目においては、社会保障の考え方や歴史等を踏まえて、「社会保障とは何か」をともに考え、その上で、各種社会保障制度の現状と課題について学んでいただきたいと思います。

教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会編『臨床に必要な社会保障（福祉臨床シリーズ6）』弘文堂、2006年

（平成15～18年度履修登録者）2007年4月より、教科書が変更になりました。2007年のスクーリング時はどちらの教科書持参でも結構です。レポート課題は変更されていませんが、このアドバイスは新教科書にもとづくものです。

レポート課題

1 単位め

私たちの生活環境の変化を踏まえながら、社会保障をどのように理解したらよいか。そして、現代社会において社会保障（制度）が果たしている役割について述べなさい。

2 単位め

イギリスと日本の社会保障の歩みを概観し、貧困観の変遷や社会保険と公的扶助の統合の仕方に留意しつつ、社会保障の成立過程にみられた特徴をそれぞれ述べなさい。

3 単位め

社会保障制度（例えば、年金、医療、雇用、労災、介護、生活保護など）のなかで、興味のある分野を1つ選び、その現状と課題について述べなさい。

4 単位め

少子高齢化の進展のなかで、わが国の社会保障制度はいかにあるべきか、各自の見解を述べなさい。

アドバイス

私たちの生活にとって、社会保障はいまや欠かすことのできない基礎的な社会制度になっています。「社会保障はなぜ今のようなシステムに発展してきたのか。社会保障をめぐってどのような考え方があるのか、あったのか。そして現代社会において社会保障はどのような意義や役割をもっているのか」——社会保障論を学ぶときには、まず、このような視点が必要であると思われれます。

歴史的な形成体（歴史的産物）として成立・発展してきた社会保障は、少子高齢化の進展、財政危機、国際化という荒波の中で、その枠組みを構造的に変革しようとしています。しかし、このような構造的に転換期にある社会保障であるからこそ、上述したように「社会保障は一体何なのか」からの議論が求められているのであり、それを踏まえて歴史的な形成体としての社会保障の枠組みを考察してみてください。

このように、レポート課題に取り組むに当たって、社会保障の各制度の仕組みや内容、そして各制度が抱えている課題に関しても着目する必要がありますが、「社会保障とは何か、そして生活保障のシステムのなかで社会保障はどのように位置づけられるのか」を念頭におくことも重要です。「公的扶助論」においても記述しましたが、特に社会福祉士等の国家資格を目指している受講生の皆さんは、レポート課題だけに取り組むのではなく、テキストの内容のすべてを理解することに努めてください。

いずれにしても、これから学ぼうとしている「社会保障論」は、きわめて私たちの生活にとって身近な領域といえます。したがって、レポートを作成する際には、自らの問題として引き寄せて考えると、一層取り組みやすくなるでしょう。

なお、社会保障の各制度の内容は、毎年改正されていますので、テキストの他に「最新の資料」（後述）などで補足することが必要となります。

1 単位め
解説

この課題に関しては、テキスト序章、第1章、第2章、第10章を参照してください。

私たちは、あまり意識せず「社会保障」という言葉を使っていますが、改めて社会保障とは何かを考えてみましょう。今日の私たちの生活(社会保障を取り巻く環境)は、少子・高齢化、逼迫する財政問題などを背景にして荒波の中にありますが、まずこの

ような環境の変化の中で、社会保障がどのように定義づけられるのかを整理してみてください。その上で、社会保障（社会保険と公的扶助の役割にも注意を払いながら）が現代社会の中でどのような役割（機能）を果たしているか、をまとめてください。

2単位め 解説

この課題に関しては、テキスト第1章を参照してください。

社会保障の歴史を考察する場合、どの時代まで遡るのかについては議論のあるところですが、テキストでは、イギリスが救貧法（エリザベス救貧法）、そして日本が^{じゅつぎゅう}恤救規則（それ以前の記述も若干してありますが）を出発点としています。

2単位めの課題は、イギリスと日本の社会保障の成立過程における特質を述べることで。その際、歴史を漫然と考察、略記するのではなく、項目ごとに整理するとよいでしょう。例えば、イギリスの場合でいうと、救貧法の時代から社会保険の登場、社会保険から社会保障への展開というような分類です。このような分類の下で、貧困観がどのように変遷してきたか、また社会保険と公的扶助がどのように統合されてきたかを切り口としてまとめてみてください。日本の場合は、第二次世界大戦以前と以降の分類になるかと思います。

特にまとめづらいのではないかとと思われるのは、社会保険と公的扶助の統合の切り口かもしれませんが、この点に関しては、両者が統合するとき「結びつけるもの（接着剤）」が存在したか否か（統合なのか、寄せ集めなのか）などを意識しながら考察することが肝要です。なお、2単位めの課題については、森 健一・阿部裕二著『構造的転換期の社会保障——その理論と現実』（中央法規出版、2002年〈その後増刷〉）の第6章、第7章を参照してください。

3単位め 解説

この課題に関しては、第3章、第4章、第5章、第6章、第7章を参照して作成してください。

これらの章においては社会保障の各制度、例えば年金・医療・雇用・労災・介護保険や生活保護、児童手当（社会手当）などが記述されています。受講生の皆さんは、これらのなかから興味のある分野を選び、自分なりに現状と問題点、課題をまとめてみてください。

その際、上述しましたように社会保障制度は、頻繁に改正（修正）されますので、絶えず新しい資料で補足することが肝要です。

なお、非常に幅広い分野からのレポート課題を各自が選択することになりますが、受講生の皆さんは選択した分野だけを学ぶだけではなく、それ以外の分野も十分に学習、理解することが重要なことはいまでもありません。念のために。

4単位め
解説

この課題に関しては、テキストの全体を参照して作成してください。

これまでの学習の成果として、自分なりの社会保障のあるべき姿をまとめてみてください。わが国は、少子高齢化、財政問題、ボーダレス社会などさまざまな要因の生活環境が変化してきています。生活環境の変化によって、社会保障は構造的に転換されなければなりません、変えてはならないものもあるかもしれません。

自分なりのあるべき社会保障像を述べるときに、このような「変えるものと変えないもの」を意識して整理してみるのもよいでしょう。

参考図書

<社会福祉士等の国家資格を目指す人のために>

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 第5版 社会福祉士養成講座5 社会保障論』中央法規出版, 2007年
- 2) 「新版・社会福祉学習双書」編集委員会編『社会保障論』全社協, 2005年

<最新情報を知りたい人のために>

- 3) 厚生統計協会編『保険と年金の動向(2006年版)』厚生統計協会, 2006年
- 4) 『社会保険のてびき』社会保険研究所, 最新版

<概論的に教科書を補足したい人のために>

- 5) 森 健一・阿部裕二著『構造的転換期の社会保障——その理論と現実』中央法規出版, 2002年

※いずれの図書も、ほんの一例でしかありません。さまざまな図書を図書館や本屋さんで探してみてもおもしろいと思います。

公的扶助論

科目コード●050108

担当教員●阿部 裕二

2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉

必修

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

わが国は、「豊かな社会」といわれています。では、「貧困」は解消されたのでしょうか。確かに各種の社会保障制度が整備・充実されたことによって、公的扶助（生活保護）の受給者は、敗戦直後から比較すると格段に減少してきました。しかし、近年は景気の低迷、雇用環境の悪化などを背景にして、国民生活の不安は深化し、格差も拡大しています（統計上は景気が回復してきているといわれますが……）。その結果、生活保護の受給者も増加傾向をみせています。その意味では、「貧困」問題は国民生活の身近なところにあるといえるでしょう。このような現状を考えると、国民生活のセーフティ・ネットとして位置づけられている公的扶助は、依然として私たちの生活において重要な役割を果たしていると思います。

そこで本科目においては、このような問題意識のもと、国民生活を保障する最終的な救済手段である公的扶助（生活保護）に関して、現代社会の貧困の様相と生活保護の考え方、制度の内容、実質的な実施機関となる福祉事務所の現状と課題などを学んでいただきたいと思います。

教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会編『臨床に必要な公的扶助（福祉臨床シリーズ5）』弘文堂、2006年

（平成15～18年度履修登録者）2007年4月より、教科書が変更になりました。2007年のスクーリング時はどちらの教科書持参でも結構です。レポート課題は変更されていませんが、このアドバイスは新教科書にもとづくものです。

レポート課題

1 単位め

貧困概念の拡大を踏まえつつ、現代社会における公的扶助（生活保護）の役割について述べなさい。

2 単位め

生活保護の仕組みや相談援助活動を理解したうえで、生活保護が抱えている諸問題について述べなさい。

アドバイス

公的扶助論の学習内容（テキストの内容）は、「貧困と公的扶助」、「公的扶助の歴史的展開」、「生活保護のしくみと問題点」、「生活保護の実施体制と地方分権」、「生活保護の争訟制度と権利擁護」、「生活保護の動向解析」、「生活保護の相談援助活動」、「低所得対策の概要」、「諸外国における公的扶助」と非常に幅広い内容となっています。しかし、公的扶助論においては、単に公的扶助（生活保護）の仕組み（内容）を理解するだけではなく、このようなシステムが現代の社会においてなぜ必要なのか、どのように機能しているのか、そこでの問題は何かについても学ぶことになります。特に社会福祉士・精神保健福祉士等の国家資格を目指している受講生の皆さんは、レポート課題だけを取り組むのではなく、テキストの内容のすべてを理解することに努めてください。

その際に、もちろんテキストを中心として学ぶことにはなりますが、後述する他の参考文献で補足しながら学習することが肝要です。なお、皆さんはすでに理解されていると思いますが、以下の点に注意してレポートを作成してください。

- (1) 書物の中の文章をそのまま「丸写し」することは厳禁です。評価対象外となりますので注意してください。できるだけ自分の言葉に置き換えて述べてください。
- (2) テキスト中に「……すべきである」という価値観があったとすれば、必ずしも受講生はそのことに関して賛成する必要はありません。テキストに書かれていることは、皆さんが考えるための材料と思ってください。自分なりの公的扶助観を醸成していただければそれで結構です。とはいえ、単なる根拠のない感想文となっはいけません。テキスト中の内容を踏まえながら、自分の考えを述べるのが肝要です。

1 単位め
解説

この課題に関しては、テキストの第1章と第2章を参照してください。

貧困問題は、大げさに言えば人類の歴史とともに存続していて、その意味では非常に古い問題であるといえます。貧困の捉え方や表出の仕方は時代によって異なっているはずですが、このような貧困（内容・基準）が、どのように変遷してきたか、そして、今日の社会ではどのように貧困が考えられているのかについて、まず考察してください。その上で、今日的な貧困問題への対策としてとられている公的扶助（生活保護）が、いかなる役割を担っているのかを考えてみてください。もちろん公的扶助の概念を踏まえながら。

2単位め 解説

この課題に関しては、テキストの第3章から第7章を参照してください。

生活保護の仕組みと問題点は第3章から第5章にかけて考察されています。

ここでは生活保護の目的や原理、原則がどのようになっているのか、それらを基にして具体的にいかなる枠組みになっているのか、という理解が重要です。また、第7章では相談援助活動の内容が、担い手の視点から考察されています。これらは非常に多くの内容を含んでいますが、受講生の皆さんはそれらをトータルとして理解できるようにがんばって取り組んでください。

とはいえ、これらをすべて網羅して、諸問題をレポート上にまとめることは字数の制限もあり不可能です。したがって、これらの項目からいくつか関心のある部分を選び、そこでの諸問題をテキストはもちろんのこと、さまざまな参考文献・資料等を活用して論述してみてください。

参考図書

<社会福祉士・精神保健福祉士などの国家資格を目指している人のために>

- 1) 小林迪夫編著『改訂 公的扶助論 (社会福祉選書6)』建帛社, 2007年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編『公的扶助論 (第5版)』中央法規出版, 2007年
- 3) 各出版社から出版されている『福祉小六法』(最新版のもの)

<生活保護の実施要領や通知通達の内容を知りたい人のために>

- 4) 全国社会福祉協議会編『生活保護手帳』全国社会福祉協議会, (最新版は毎年6月頃に発行されているようです)

<最新の統計を知りたい人のために>

- 5) 厚生統計協会編『国民の福祉の動向 (2006年版)』厚生統計協会, 2006年

<現代社会の貧困様相や生活保護行政の問題点を知りたい人のために>

- 6) 杉村・河合・中川・湯浅編著『現代の貧困と公的扶助行政』ミネルヴァ書房, 1997年

※いずれの図書も、ほんの一例でしかありません。さまざまな図書を図書館や本屋さんで探してみてもおもしろいと思います。

社会福祉法制

社会福祉法制 050111

科目コード●050111

担当教員●志田 民吉

4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

社会福祉法および社会福祉主要法律（児童、老人、障害者関連福祉法）についての理解を目指します。一年間でこれらの諸法律のひとつひとつの理解を深めることは容易なことではありません。児童福祉法や老人福祉法、身体障害者福祉法等に定める福祉サービスの供受給制度に共通する事項をまとめて規定する社会福祉法の理解を中心に、各種の福祉サービス法に定められているサービスの内容について理解をする手順で学んでいただければよいと思います。

教科書（「精神保健福祉論Ⅲ」と共通）

志田民吉編著『社会福祉サービスと法』建帛社、2004年

レポート課題

1 単位め	戦後（昭和20年8月15日以降）、平成12年6月に改正施行された社会福祉法に至るわが国の社会福祉関連法制度の主要な流れについてまとめなさい。
2 単位め	社会福祉法の規定する苦情解決制度についてまとめなさい。
3 単位め	「特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準」とは何かについてまとめなさい。
4 単位め	児童虐待の課題について、児童福祉法および関連法律をまとめなさい。

アドバイス

1単位め
解説

テキストの歴史の部分および資料編を精読してまとめてみましょう。

2単位め 解説

テキストの社会福祉法の解説の部分を精読してまとめてみましょう。特に苦情解決制度が福祉サービスの受給においてどのような役割を果たしているのか、あるいはどのような役割を果たすことを期待されているのかを考えながらまとめられるとよいと思います。

3単位め 解説

テキストの老人福祉法の解説を精読し、老人福祉施設についてまとめながら、法令集（社会福祉六法：福祉小六法＝中央法規やミネルヴァ書房などから発行されています）に載っています上記「基準」の内容を読み比べてみれば、まとめることができると思います。

4単位め 解説

テキストで児童福祉法および児童虐待防止法についての解説や法律についてまとめてみるとよいでしょう。新聞などでは児童虐待問題について特集や虐待事実の報道がされていますので、それらの記事等を引用しながら、児童虐待防止についての制度上の問題点などにも触れていただければよいと思います。

参考図書

- 1) 志田民吉編著『法学（第2版）』建帛社、2005年
- 2) 志田民吉共編著『社会福祉士のための基礎知識（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）』中央法規出版、2003年
- 3) 志田民吉編著『臨床に必要な人権と権利擁護』（福祉臨床シリーズ7）弘文堂、2006年
- 4) 志田民吉共著『里親制度の国際比較研究』ミネルヴァ書房、2004年
- 5) 社会福祉六法（名称はいくつかあります）（中央法規出版、ミネルヴァ書房などから発行されています。平成18年度版を用意してください）

以上の他は、テキストに引用している文献を参照してください。

科目コード●050112

担当教員●阿部 裕二

2 単位

R

3 年以上

社会福祉

選 択

社会教育

選 択 B

福祉心理

選 択 B

科目の内容

近年、例えば国民年金の空洞化に代表されるように、「社会保険」に対する信頼が揺らいでいます。しかし、私たちの生活上避けて通ることのできない老齢や疾病、障害、死亡などの危険に対応するために、社会保険の果たすべき役割は大きいといわざるをえません。特に、国民皆保険・皆年金といわれるように、すでに社会保険は生活の一部として機能しており、20歳以上であれば学生であっても国民年金に強制加入させられますし、医療保険に関しても働いている本人のみならず家族も被保険者として加入することになっています。このように誰にとっても社会保険は身近な制度であることを認識する必要があります。

さらに、社会保障の基本的制度として、今後も社会保険方式を堅持していくことが各種審議会でも承認されています。したがって、私たちは今まで以上に社会保険に関して興味を持って学ぶ必要があると思います。

そこで、本科目においては、保険の仕組みを理解したうえで、社会保険の理論的な考察や具体的な制度の仕組みと現状、そしてそれらが抱えている諸問題について学びます。

教科書

鈴木辰紀編著『新保険論——暮らしと保険』成文堂、2003年

レポート課題

1 単位め

まず、危険への対処方法としての保険の位置づけを述べなさい。そして、私保険と社会保険の特質を比較したうえで、現代社会における社会保険の役割について述べなさい。

2 単位め

わが国の社会保険制度の体系を述べるとともに、それぞれが抱える課題について端的に述べなさい。

アドバイス

社会保険論においては、指定したテキストの一部分を使用します。具体（直接）的には、第Ⅰ部総論の第1章から第4章までと、第Ⅱ部各論の第6章の部分です。

ところで、私たちの生活はさまざまな危険に取り囲まれています。その危険への対処方法は、人類の歴史とともに開発、発達してきました。そこで、危険とは何か、危険への対処方法として保険はどのような方法であるのか、などをまず理解してください。社会保険といえども、かなり変質はしていますが保険の1つに位置づけられています。したがって、最初に保険全体の理解が重要と考えています。それらを踏まえて、社会保険の特徴や仕組みという個別的事項を理解するという作業に移行します。

なお、今回はテキストの一部を使用しますが、指定された部分の理解だけでよいのかというところではありません。今までもそうかもしれませんが、これからはより一層社会保険だけで安心した生活は不可能な時代に突入してきますし、いうまでもなく、私たちの生活を取り囲む危険のすべてに社会保険が対応することも無理です。それゆえ、社会保険と私（民間）保険あるいはその他の対応策の学びが必要となるのです。その意味でも、ぜひテキストの他の章の部分も読まれることをお勧めします。これからの生活設計を構築する際の参考になるかもしれません。

なお、「社会保障論」の解説でも述べていますが、社会保険制度は頻繁に改正されており、各制度の内容などはその時点での一番新しい資料（文献）にあたる必要があることに注意してください。

1単位め 解説

この課題に関しては、テキスト第Ⅰ部総論の第1章、第2章、第3章、第4章、そして第Ⅱ部各論の第6章の1までを参照してください。

上述したように、さまざまな危険が私たちの生活を取り囲んでいます。しかし保険が対応する危険（部分）にも限界があり、すべての危険に対応することは不可能です。そこで、まず危険にいかに対応するのか、その中で保険という対処方法はどのような位置づけにあるのかについてまとめることが必要です。

次に、社会保険の仕組みは私（民間）保険のそれとどのように違うのか、その比較を通して社会保険の特徴を把握しながら、社会保険が私たちの生活の中でどのような役割を果たしているのかについて考察してください。

2単位め 解説

この課題に関しては、テキスト第Ⅱ部各論第6章を参照してください。テキストには社会保険の各制度の大きな枠組みと課題がそれぞれ述べられていますが、これらを単にまとめればそれでよいわけではありません。今まで学んでき

た事柄を踏まえて、さらに他の参考図書にも目を通して、自分自身の言葉で社会保険の各制度の諸問題・課題をまとめてください。単なる「丸写し」は禁物です。

社会保険は、私たちの生活にはなくてはならないシステムに発展してきたと言いましたが、他方で、社会保険への風当たりも日増しに強くなってきています。一部では、社会保険（あるいは社会保障）の発展は、経済成長にとってマイナスであるという意見まで散見できます。経済成長と社会保険の発展は両立しないのでしょうか。皆さんは、このような意見をどのように思いますか。

また、人口構成の変化（少子・高齢化の進展）は、社会保険制度に大きな影響を与えるとも言われています。もしレポートのなかで、字数に余裕があればこれらの問題にも触れていただければと思います（この点に関しては強制ではありません）。

なお、上述したように社会保険制度の内容を理解する際には、新しい資料で補足しながら学習することが望まれます。

参考図書

<社会保険の詳しい内容や最新情報を知りたい人のために>

- 1) 厚生統計協会編『保険と年金の動向（2006年版）』厚生統計協会，2006年
- 2) 『社会保険のてびき』社会保険研究所，2007年（毎年4月頃に新版が刊行されます）

<保険全般をもっと簡単に学びたい人のために>

- 3) 森宮 康『保険の基本（日経文庫）』日本経済新聞出版社，2003年

<公費負担方式と社会保険方式の相違を知りたい人のために>

- 4) 大野吉輝『社会サービスの経済学』勁草書房，1991年

※いずれの図書も、ほんの一例でしかありません。さまざまな図書を図書館や本屋さんで探してみてもおもしろいと思います。

社会病理学

科目コード●050114

担当教員●武永 親雄

4 単位

R

3 年以上

社会福祉

選 択

社会教育

選 択 B

福祉心理

選 択 B

科目の内容

病理学というと、私たちの体内にできたガンを医学の病理学者が研究し体内のガンを殺すことに専念しているようなイメージをもつ方が多いと思います。しかし、社会病理学のもとめることは、いかにして、この社会の中で病理の人も一緒に生活できるかを考えることと言えるでしょう。

私は、19世紀の後半に社会病理が生まれそして20世紀の後半に社会病理が盛んに叫ばれていたことを耳にしています。20世紀は産業構造の目覚ましい発展を遂げ生産制の社会から消費制の社会へとめざましい進歩を遂げました。しかし、私たち人間は、たくさんものを見捨てて来ているのかもしれませんが。家族や近隣集団の豊かな人間関係を見失い、家族員の信頼関係よりも金儲け主義に走りすぎてしまいました。大人のこのような言動は、子どもたちの幼い心をいかに傷つけているのか想像するとき心配が増幅されます。このように社会の人間関係のなかにひそむ社会の変化と人間の社会意識のずれが大きくなれば大きくなるほど、社会のガンは大きくなるのかもしれませんが。なぜならば、人間の社会意識は社会の変化についていけないからです。20世紀の後半から序曲が、始まっているのです。

教科書

宝月 誠著『逸脱とコントロールの社会学』有斐閣、2004年

(平成17年度以前履修登録者) 2006年4月より、上記教科書・レポート課題に変更になります。これまでの教科書(徳岡秀雄著『社会病理を考える』世界思想社、1997年)にもとづいて、『レポート課題集 2005』の課題を提出することも2007年9月末まで可能です。

レポート課題

1 単位め

社会病理の対象を分析しなさい。

2 単位め	社会病理の方法論を分析しなさい。
3 単位め	逸脱行為の生成について説明しなさい。
4 単位め	コントロールの研究法について説明しなさい。

アドバイス

この書物は、社会病理現象を社会学の視点から問うたものです。宝月誠氏は、京都大学で社会学史 逸脱の研究を検討するなかから本書を執筆しました。この逸脱研究は、逸脱の理論的理解とコントロールの理解が含まれます。社会病理学は、科学的に分析するだけでなく現実の社会的対応をどのようにとらえたらよいかを問うものです。このコントロールの把握のなかに専門職としてのソーシャルワーカーの存在も確認できます。

逸脱について社会学のみが研究しているわけではありません。犯罪学や心理学、経済学、精神分析学さらには生態学からのアプローチもあります。私たちは、社会問題と社会病理との関係を問うことにより社会病理を限定付けようとしています。そして、私たちは、社会学と社会福祉との違いを確認するように社会学と社会病理学を確認することになります。逸脱の研究として逸脱とコントロールをとらえ、前半では逸脱論の生成について展開し、後半ではコントロールの研究法について言及していきます。

1 単位め 解説

社会の病理について農奴制から資本主義社会に移行する時代には犯罪（非行）や自殺が増加しました。犯罪や自殺がどうして生まれてくるかがわからなかったのかもしれませんが。デュルケムは、一人の自殺者の原因は、わからない場合が多いとし、自殺の原因を社会的事実の中に求めました。この社会的事実とは、その社会の自殺の数を統計的に明らかにすることでした。自殺の統計的事実を表してみるとその自殺の数がその社会の姿を現わしているとしたのでした。デュルケムは、フランスの自殺の数を調べ自殺の社会的傾向を示し、その傾向が、産業社会の変化と社会意識との関係のあらわれとしてとらえました。そして、利己的自殺、アノミー自殺、愛他的自殺、宿命論的自殺をとらえたのでした。

社会病理の対象として社会異常、社会的逸脱、さらには生活障害としてのとらえ方があるようです。この歴史的背景をとらえてみてはいかがでしょうか。

2 単位め 解説

著者は、アメリカのマートンの方法論に言及しています。マートンは、デュルケムのアノミー理論を体系化し発展させました。文化的に制度化された目標と、その達成手段との関係が破綻した状況をアノミー状況としました。現代社会では、富の獲得・成功が強調されますが、その目標を達成するために法規範を無視して

でも経済的豊かさを追い求めているのです。マートンは、4つの逸脱行為を示しました。それは、改変、儀礼主義、逃避主義、反抗でした。儀礼主義の代表として公務員がよく言われますが、安全な制度的手段をとりますが、目標を断念した存在と位置づけられているのです。マートンは、公務員を逸脱者にとらえています。

3単位め 解説

人はどのように逸脱するのでしょうか。理論的視点として構造論、相互作用論、行為者論があります。そして、逸脱者の社会的世界の構成過程を紹介しています。すなわち、逸脱は、各自が位置する社会生活の中から生み出され、逸脱を伴う独自の社会的世界へと成長していきます。そして、逸脱が生まれるのは、相互作用を通じて逸脱を肯定する状況の定義が構成され、社会的コントロールが弱い場合であるともとらえています。このような事例を3章から拾い検討してみましょう。

4単位め 解説

社会的コントロールの経験的内容は、自己規制の内容と基準を社会学者がどこまで明確に特定できるかです。いずれの社会においても逸脱行為や逸脱者は存在します。このようにとらえると社会生活には何らかのコントロールが必要になります。社会生活におけるコントロールの存在する意義はどのようにとらえればよいのでしょうか。社会的逸脱のコントロールについて実践的研究として、計量的方法と質的方法を説明しています。社会福祉の専門家として考えるコントロールはどのようにとらえればよいのでしょうか。

参考図書

- 1) 松下武志・米川茂信・宝月 誠編著『社会病理学の基礎理論』学文社、2004年
- 2) 矢島正美ほか編著『成熟社会の病理学』学文社、1993年
- 3) 大橋 薫ほか著『社会病理学入門』有斐閣、1986年

科目コード●050115

担当教員●生田目学文

4 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

国際福祉は古くて新しい分野です。国際福祉の活動には長年の取り組みがあり、その起源は19世紀にさかのぼることができます。しかし、学問としての国際福祉研究はごく最近になって注目されるようになりました。

「国際福祉」という概念もいまだに確定した定義はなく、やや混乱が見られますが、見方を変えれば今後大きな発展の可能性を持つ分野であるということもできます。この点に留意しながら、レポートに取り組んでください。

教科書

- 1) 仲村優一ほか編著『グローバリゼーションと国際社会福祉』中央法規出版、2002年
- 2) 生田目学文「『国際福祉』概念の考察」『東北福祉大学研究紀要』第28巻、2004年

レポート課題

1 単位め	「国際福祉」とは何かについてまとめてください。
2 単位め	グローバリゼーションと国際福祉について論じてください。
3 単位め	アジアにおける国際福祉について考察してください。
4 単位め	国際福祉分野において日本が果たすべき役割についてまとめてください。

アドバイス

1 単位め
解説

テキスト「『国際福祉』概念の考察」および『グローバリゼーションと国際社会福祉』第2章を読み、「国際福祉」の概念がこれまでどのような意味で使われてきたのかを明らかにし、「国際福祉」三概念を整理してください。ここで認識論の議論に踏み込む必要はありません。

2単位め 解説

(1)テキスト『グローバリゼーションと国際社会福祉』第1章を読んでください。(2)昨今のグローバリゼーション(グローバル化, 地球規模化)について説明し, (3)そこに起きている具体的な事例(例えば地域紛争や飢餓, 国際経済協力など)をひとつ検証しながら, (4)国際福祉と国家との関連について論じてください。

3単位め 解説

テキスト『グローバリゼーションと国際社会福祉』第3章および第4章を読み, アジアの発展途上国にある深刻な社会問題をひとつ題材として, その解決策について考察してください。

4単位め 解説

テキスト『グローバリゼーションと国際社会福祉』第5章および第6章を読み, 国際福祉分野において日本が果たすべき役割についてまとめてください。

レポート評価基準

- (1) 設問に答えているか。(書いていくうちに話がそれないこと。)
- (2) 筋が通っているか。(一貫した論理・話の最初と最後が矛盾しないこと。)
- (3) 結論・主張がしっかりしているか。(自分の持っている考えを伝えること。)

レポートとは小論文です。字数制限もあることなので、書き始める前に以上の点を踏まえながらレポートの構成、アウトラインをまず作成し、たとえば序論・本論・結論という流れをまず作ることが必要です。『自立学習の手引き：読む・書く・問う』の特にp. 64からp. 103を再読されることを強くお勧めします。(ただし、そのすべてについて完璧にしようなどとは思わないでください。あくまで参考です。)

参考図書

- 1) ジェームズ・ミッジリィ著『国際社会福祉論』中央法規出版, 1999年
- 2) 川村匡由編著『国際社会福祉論』ミネルヴァ書房, 2004年
- 3) そのほか, テキスト『グローバリゼーションと国際社会福祉』各章にある参考文献を参照。

科目コード●050124

担当教員●高橋 誠一

4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉

選択

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

ケアマネジメントは、1950年代アメリカで生まれたと言われています。この時期、アメリカでは精神障害者が地域で暮らすようになってきましたが、適切な援助がないためにホームレスになるなど、必ずしも病院や施設より生活の質が向上したとは言えないことが明らかになってきました。その反省のもと、ケアや支援の継続性を確保するために、サービスを調整する役割が重要視されるようになりました。

60年代に入って、要介護高齢者の在宅支援の仕組みとして、ケアマネジメントが応用されるようになりました。その後、イギリスや多くの国でケアマネジメントが検討され、イギリスでは、全国的にケアマネジメントが導入されることになりました。日本でも、2000年から始まった介護保険の中でケアマネジメントが位置づけられました。また、障害の分野でもケアマネジメントは実質的に実施されています。さらに、児童虐待などの分野でも応用されています。このように、日本だけではなく世界的にさまざまな分野でケアマネジメントは注目されてきました。

ケアマネジメントは、歴史上アメリカから始まりました。しかし、ケアマネジメントという言葉は使われていませんが、日本の中では、60年代から保健・医療・福祉の連携の問題として、独自に発展してきています。また日本では、介護保険の中にケアマネジメントが位置づけられましたが、イギリスには介護保険はありません。このように、ケアマネジメントはさまざまな制度の違いにもかかわらず、いろいろな国で受け入れられてきました。

この科目では、ケアマネジメントのこのような広がりをもふまえて、ケアマネジメントとはなにか、なぜ必要とされているのか、どのように形作られ、運営されているのかを検討したいと思います。必ずしも、介護保険のケアマネジメントを解説することを目的とはしていませんが、講義の内容は高齢者のケアマネジメントが中心となります。しかし、障害の分野などのケアマネジメントと理論的には共通ですので、それらを理解するためにも役立ちます。

教科書

D.P. マクスリー著『ケースマネジメント入門』中央法規出版、1994年

レポート課題

1 単位め	ケアマネジメントはなぜ必要なのでしょうか。また、ケアマネジメントの目標と機能について論じてください。
2 単位め	ケアマネジメントにおけるアセスメントとケアプランについてそれぞれの意味、特徴、必要性、役割を説明してください。
3 単位め	ケアマネジメントにおける直接サービス機能と間接サービス機能についてそれぞれの意味、特徴、必要性、役割を説明してください。
4 単位め	ケアマネジメントにおけるモニタリング、評価についてそれぞれの意味、特徴、必要性、役割を説明してください。

アドバイス

ケアマネジメントは、対人（個別）援助技術として見ることができます。その視点からは、評価（アセスメント）と援助計画（ケアプラン）が中心的な役割を果たしますが、マネジメントとしてのプロセスを理解することが重要です。一方、システムとして、ケアマネジメントを理解することもできます。この視点からは、ケアマネジメントの制度設計が重要な問題となります。この2つの視点は、ケアマネジメントを理解する上でともに重要であり、個別支援かシステムかといった二者択一の問題ではありません。このことを念頭に置いて、ケアマネジメントを理解してください。

*テキストでは、「ケースマネジメント」となっていますが、「ケアマネジメント」と読み替えてください。

ケアマネジメントがなぜ必要になるのかを考えるには、ケアマネジメントが歴史上在宅支援の必要性から生まれたことを理解する必要があります。施設介護と在宅介護の違いは何でしょうか。いろいろな側面から検討できますが、ケアマネジメントの視点から見てみるのが重要です。ケアマネジメントは、それ自身が目的であるというよりは、手段にすぎません。それはマネジメントという言葉が示しているように、何かを達成するための仕組みと考えることができます。それでは、どのような目的、あるいは目標が考えられるのでしょうか。ケアマネジメントは2つの視点から見ることを理解していただきたいと書きましたが、実は、それぞれに応じて、利用者指向目標、システム指向目標の

2つに大きく分けることができます。これらの目標はときとして競合する場合があります。ケアマネジメントは、実践の中から生まれてきたので、現実に要求されるさまざまな目標をバランスさせる宿命を持っているといえます。特に、(社会)資源の効果的な使用の面から、ケアマネジメントは注目されてきた経緯があります。これらのことを念頭に置いて、課題を考えてください。

1単位め 解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第1章を参考にしてください。ここでは、特に、ケアマネジメントの機能について詳述していますので、ケアマネジメントの目標だけでなく、ケアマネジメントの機能も論じてください。第8章も参考にしてください。

2単位め 解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第2章アセスメント、第3章ケアプラン評価の部分が対応します。それぞれがケアマネジメントの基本要素ですが、順番に、それぞれの意味と特徴、必要性、役割を説明してください。

3単位め 解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第4章直接サービス機能、第5章間接サービス機能の部分が対応します。順番に、それぞれの意味と特徴、必要性、役割を説明してください。

4単位め 解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第6章モニタリング、第7章評価の部分が対応します。順番に、それぞれの意味と特徴、必要性、役割を説明してください。

参考図書

- 1) D. チャリス, B. デイビス著『地域ケアにおけるケースマネジメント』光生館, 1991年
- 2) S.M. ローズ編『ケースマネジメントと社会福祉』ミネルヴァ書房, 1997年
- 3) 白澤政和他監修『ケアマネジメント概論』中央法規出版, 2000年
- 4) 白澤政和他監修『ケアマネジメントの実践と展開』中央法規出版, 2000年

福祉施設管理論

科目コード●050125

担当教員●高橋 誠一

4単位

R

3年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

福祉施設には、さまざまな形態があります。時代の要請に対応して、障害者、高齢者、児童など対象者の種別毎に、さまざまな施設の形態が生まれてきました。また大きくは入居型の施設と通所型の在宅支援施設の2種類に分けることができますが、運営から見たときには、これらのサービスを複合的に持っている施設、あるいは法人もたくさんあります。

歴史的に見ると、最初は地域で暮らしていた障害者や高齢者は家族や地域から世話を受けることが一般的でしたが、収容型の施設が生まれ、福祉の専門化が進められてきました。一方で、在宅を支援する施設も生まれ、地域で継続して住み続ける福祉のあり方も模索されてきました。また、戦後、社会福祉法人を中心に整備されてきた日本の福祉も、最近では、高齢者の在宅介護を中心に株式会社、NPO法人などの民間組織が運営する場合も増えてきました。さらに、収入面でも、措置費から介護保険など新しい財源方法が生まれ、それと同時に、提供者中心のサービス提供方法が見直され、利用者を中心としたサービス提供方法に制度も変わりつつあります。

このように福祉施設を取り巻く環境も多様であり、その時代で変わってきていることがわかると思います。最近では、「施設解体」ということもいわれるようになりました。このような状況の中で、施設のあり方を運営の面から見てみるのがこの科目です。

この科目では、運営のノウハウよりも、高齢者の福祉を中心に、施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。どのようなことが施設に要請されているのか、それにどのように対応することができるのか、例えば、高齢者福祉における最近の動向、小規模な個別ケアを特徴とするユニットケア、個室化の動き、地域や在宅福祉を中心とした動きなどをふまえて考えていきたいと思います。

教科書

高橋誠一ほか編『個室・ユニットケアで介護が変わる』中央法規出版、2003年

レポート課題

1 単位め	あなたの両親、あるいはあなた自身が自宅に住み続けることができるためには、どのような支援が必要でしょうか。
2 単位め	あなたの両親、あるいはあなた自身が将来高齢者施設に入居することを選択したとします。それは前向きな選択でしょうか、それとも、やむを得ざる選択でしょうか。どんな理由が考えられるでしょうか。あなたはどのような施設を探すでしょうか。その理由は何ですか。
3 単位め	あなたが施設長になったとしたら、どのような施設運営をしますか。まず、施設の理念を考えてください。その実現のためにどのようなことをしますか。
4 単位め	利用者本位の施設運営について論じなさい。

アドバイス

レポート課題はおもに、あなた自身や家族の立場から考えていただくような問い方になっています。しかし、これはあくまでも考えるときの出発点であり、現実には、さまざまなニーズや考えを持った人びとがいますので、そのことも併せて検討してください。すなわち、あなた自身の特殊事情を聞いているというより、自分のこととして考えていただくための便法であると考えてください。ですから、起こりうる、あるいは想定しうるさまざまな状況を考えてください。

1 単位め 解説

施設はときどき入居サービスの代名詞のように使われますが、実際には、在宅支援サービスも提供しています。特に、介護保険になってからは、特別養護老人ホームを運営している施設では、一緒に運営しているデイサービス、ショートステイ、ホームヘルプなどの在宅支援サービスの収入が入居サービスの収入を上回る場所も出てきました。このような状況を考えると、施設としてどのようなサービスを提供することが必要とされているのかが重要な課題になります。このレポートでは、利用者の立場から、どんなサービスが必要とされているのかを考えていただきたいと思います。最初に、入居サービスを前提としないことが課題の前提条件です。具体的にどのようなニーズが起こりうるかも考えながら、支援のあり方も考えてください。

なお、別紙で配布する《連載「岩見太市の福祉的人生考」朝日新聞北海道版》を参考にしてください。介護だけに着目するだけでなく、老後の暮らし方、生き方という視点から考えてください。また、介護体験談なども参考にしてください。多くの書籍が出ています。例えば、次頁のような本があります。

小菅とも子著『忘れても、しあわせ』日本評論社、1998年

太田差恵子著『遠距離介護』岩波ブックレット (No.610) 岩波書店、2003年

その他、新聞の投稿欄に投稿されることもありますので、関心を持って探してみてください。

2単位め 解説

ここでは、利用者が福祉施設に対してどのような考えを持っているのかを考えてください。福祉施設だから社会の役に立っているという前提はありません。本当に、利用者（潜在的利用者も含めて）は、施設を望んでいるのでしょうか。また、抽象的な施設の概念を考えることはできますが、現実には、さまざまな施設があります。どのような施設が望まれるのか、利用者としてあなたが施設を選択する状況で考えてみてください。そもそも、あなたは施設に関する情報をどのように手に入れることができるのでしょうか。実際に、調べてみてください。最近では、インターネットが役に立つかもしれません。あなたには直接関係ないかもしれませんが、アメリカの老人ホーム、障害者施設なども、インターネットで調べることもできます。しかし、そのような情報だけで選択するのに十分でしょうか。本当に信用できる情報でしょうか。どのようにしたら、より信頼できる情報を手に入れることができるのでしょうか。最近では、利用者団体が施設の評価を始めています。利用する立場から、施設を訪問してみることも役に立つかもしれません。施設の対応はどうでしょうか。このように考えると、さまざまなアプローチからこの課題に取り組むことができます。

2単位めについては、特に、テキスト『個室・ユニットケアで介護が変わる』の6章総括を参考にしてください。同じ著者の

外山 義著『自宅でない在宅——高齢者の生活空間論』医学書院、2003年

外山 義著『クリッパンの老人たち——スウェーデンの高齢者ケア』ドメス出版、1990年

外山 義著『グループホーム読本——痴呆性高齢者ケアの切り札』ミネルヴァ書房、2000年も参考になるでしょう。

3単位め 解説

この課題では、直接利用者の立場から考えるのではなく、あなたは施設のトップとして利用者のこのことを考えてください。一方で、あなたは施設の運営に責任があります。組織で仕事をするためには、みんなが理念を共有しており、それに基づき、その実現のためにそれぞれの仕事を行っていく必要があります。また、その理念は、個々の職員が納得できるものでなければなりません。皆さんはトップとして、どのように職員に働いてもらったらいいのでしょうか。どのように職員の意見を取り入れたらいいのでしょうか。

3 単位めについては、特にテキスト『個室・ユニットケアで介護が変わる』の2章個室ユニット化の導入にあたりを参考にしてください。本書は、個室・ユニットケアがテーマですが、現在新設される特別養護老人ホームのほとんどは、個室・ユニットケアを前提としていますので、普遍性のある内容になっています。

4単位め 解説

最後の課題は、総括的な課題です。皆さんがこれまで考えてきた施設の運営を振り返り、今後どのような施設が望まれ必要とされるのか考えてください。

4 単位めについては、テキスト『個室・ユニットケアで介護が変わる』全体にわたって議論されています。特に、実践事例の中から、どのように利用本位を実現しようとしているかを読みとってください。また、『2015年の高齢者介護』（高齢者介護研究会）も尊厳をキーワードに利用者本位について書いています。厚生労働省のホームページで見ることができますので、関心のある方は参考にしてください。

参考図書

- 1) 小規模多機能ホーム研究会編『小規模多機能ホームとは何か』筒井書房、2003年
- 2) P.ミルグロム, J.ロバーツ著『組織の経済学』NTT出版、1997年
- 3) 矢部久美子著『ケアを監視する』筒井書房、2000年

社会福祉援助技術論Ⅲ (グループワーク)

科目コード ● 050128

担当教員 ● 高木 知里

2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

私たちは過去にどんなグループに所属し生活してきたのでしょうか。そして今はどうでしょうか。少し考えてみると、それは家族に始まり、クラブ活動や地域や職場にまで及んでいることがわかります。そこには出会いと別れ、喜び、悲しみがあり、その感情はグループの人々との交流や人間関係の中で生じたものであることは、身近な体験から理解できるのではないのでしょうか。同様に、これらのグループを通して発生する問題への対応や個人の成長や発達、私たちが日常生活の中で日々体験していることです。つまり、グループワーク（集団援助技術）は身近な生活体験の中にある、個人と集団を焦点とする、社会福祉援助技術（ソーシャルワーク）の一つであるといえるでしょう。その意味からも、同じ直接援助技術として分類されるケースワーク（個別援助技術）と表裏一体のものであり、その特徴は「対象となる、人々の課題解決を利用者と支援者が参加し協働する小グループ活動場面の構成と過程の展開を通じて支援する」ところにある（教科書『社会福祉援助技術論Ⅰ』p. 150）。具体的にはクライアントがグループのプログラムに参加することで、メンバー間の相互作用の影響を受け、成長、発達していく過程と考えられます。現在、その技術は、社会福祉、教育、医療などの分野にまたがり、盛んに活用されるようになっていきます。

本科目では、グループワーク発展の歴史や定義の変遷、その意義を学びます（『社会福祉援助技術論Ⅰ』p. 168）。また、援助の具体的な展開過程（『社会福祉援助技術論Ⅰ』p. 49）やグループワークの基本原則や価値、自覚しなければならない基本的態度（『社会福祉援助技術論Ⅰ』p. 192～202）など方法と技術について学びます。

本科目では、類似の直接援助技術の体系として個別援助技術との関連性を通し、各種社会資源、関連機関との連携の実際を考察しながら「集団援助技術」の持つ特性と意義について理解を深めていってください。

履修登録条件

「社会福祉援助技術論Ⅰ」をすでに履修登録した方、または同時に履修登録した方のみ

がこの科目の履修登録もできます。

教科書（社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ共通）

福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ（第3版）』中央法規出版，2006年・『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版，2007年

レポート課題

1 単位め

集団援助技術の形成過程と発展に触れながら、その意義と定義についてまとめなさい。

2 単位め

集団援助技術の展開過程について述べ、援助者の援助行動と役割についてまとめなさい。

アドバイス

1 単位め
解説

集団援助技術の形成過程（『社会福祉援助技術論Ⅰ』p. 80～130）を参照しながら、グループワーク発展の時代的背景を学んでください。またその意義と定義について（『社会福祉援助技術論Ⅰ』p. 168～178）を参照してまとめてください。また、グループワークの理論的モデルや関連する人名について学習しましょう。特に教科書に出てくる各ページ欄外の各種のキーワードは、心理学的な用語（例えばモラトリアム、ライフサイクル）を含めてその関連図書により勉強してください。同時に、ケースワーク援助技術との多くの共通点があることを学びましょう。

2 単位め
解説

テキスト（『社会福祉援助技術論Ⅰ』p. 192～227，『Ⅱ』p. 68～95）を参照してグループワークの援助展開過程における各段階の特徴や援助者の役割と援助技術についてまとめてください。特に教科書の具体的事例を通じた展開過程から、各援助段階における特徴を整理してみてください。また、ここでも各ページ欄外のキーワードについて、しっかり関連図書（下記の2），3）等）も参考に学習してください。関連図書では不十分な場合はインターネットや図書館などを利用してください。

参考図書

- 1) 平岡 蕃ほか著『対人援助——ソーシャルワークの基礎と演習』ミネルヴァ書房，1999年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座11 社会学（第2版）』，

2003年

- 3) 福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座10 心理学（第2版）』,
2003年

社会福祉援助技術論Ⅳ

社会福祉援助技術論Ⅳ

050129

(コミュニティワーク)

科目コード●050129

担当教員●松田 昭裕

2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

地域において住民が何らかの要因で困難や問題が起こったときに、さまざまな社会資源を組織化しかつ活用しながら問題解決に導いていくのが、地域援助技術（コミュニティワーク）です。近年、地域福祉の時代や在宅福祉の時代と言われるなか、地域で解決すべき課題が山積し、ますますコミュニティワークが果たす役割は大きくなっています。

地域援助技術は、地域社会の福祉ニーズや福祉問題、福祉運営の課題に対応して、直接援助技術が展開しやすいように環境を整える働きをする技術であるため、地域の歴史や特性、環境の違いを念頭に入れて展開されるものといえます。

この科目では、社会福祉援助技術を把握した上で、地域援助技術の対象・主体・組織・方法など体系と理論および技術を学びます。

教科書（社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ共通）

福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ（第3版）』中央法規出版，2006年・『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版，2007年

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

レポート課題

1 単位め

地域援助技術の歴史・意義・定義・構造・機能について概説してください。

2 単位め

援助の原則と具体的展開について概説し、あなたの考えを述べてください。

アドバイス

地域援助技術は、自分の住んでいる地域のことを想定しながら読み進めていくと、より深く理解が進むと思います。

また実際に地域援助に携わっている方は、ご自身の仕事の内容と実際の業務とを比較しながら読み込んでいくと、理解の幅がぐっと広がっていくと思います。

自分自身の問題、つまり当事者意識でこの科目を学修されることをお勧めいたします。

1単位め 解説

課題の範囲は、テキスト『社会福祉援助技術論Ⅰ』第5章第3節です。社会福祉援助技術における地域援助技術の歴史や位置づけを理解した上で、体系を学びながら課題に取り組んでください。その際、社会福祉協議会が果たしてきた役割についても、よく学んでください。

2単位め 解説

課題の範囲は、テキスト『社会福祉援助技術論Ⅱ』第4章第1節～第3節です。とくに援助の原則をしっかりと把握した上で、具体的な方法を用いて展開される地域援助技術の流れを理解してください。アドバイスで述べたように、自分自身の地域を想像すると学修がはかどるでしょう。

参考図書

- 1) 杉本敏夫・斉藤千鶴編『改訂 コミュニティワーク入門』中央法規出版, 2003年
- 2) 高森敬久ほか著『地域福祉援助技術論』相川書房, 2003年
- 3) M.E.リッチモンド著『ソーシャル・ケース・ワークとは何か』中央法規出版, 1991年
- 4) 濱野一郎ほか編『コミュニティワークの理論と実践を学ぶ』みらい, 2004年
- 5) R.ハドレイ・M.クーパー・P.デール・G.ステイシー共著『コミュニティ・ソーシャルワークハンドブック：地域福祉を進める技術』川島書店, 1993年
- 6) Z.T.ブトゥリム著『ソーシャルワークとは何か その機能と本質』川島書店, 1986年

社会福祉援助技術演習Ⅱ

社会福祉援助技術演習Ⅱ 050131

科目コード ● 050131

担当教員 ● 高橋 誠一 千葉喜久也 渡辺 憲介
佐々木裕彦 小山 剛 須田 仁
川口 正義 芳賀 恭司 佐藤 博彦ほか

2 単位

SR

3 年以上

社会福祉
選 択

科目の内容

社会福祉援助技術演習Ⅰでは、基本的な援助技術を学びました。演習Ⅱでは、具体的な事例検討を通して、援助技術を自分のものにしていただくことがねらいです。ここで留意すべき点をいくつか見てみましょう。

第一に、援助の過程を理解することが必要です。近年注目されてきたケアマネジメントの特徴は、複雑なニーズに対応しつつ継続的な支援をするために、援助の過程を明らかにしたことです。

第二に、スーパービジョンの技術が必要です。援助の過程から自動的に問題が解決されるわけではありません。困難な問題に直面したときに役立つのがスーパービジョンです。

第三に、社会資源を積極的に活用することが必要です。とくに、サポートネットワークづくりは在宅支援にとって重要な活動です。

第四に、自立支援になっているかどうかです。

その他の重要な論点を含めて、これらのことを具体的な事例を通して学び、クライアント本位の援助技術を身につけます。

教科書 (いずれも「社会福祉援助技術演習Ⅰ」と共通)

(教科書)

川田誉音ほか編『改訂社会福祉援助技術演習』みらい、2002年

(必読文献)

社会福祉教育方法教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』中央法規出版、2001年

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をするのみが履修登録できます。

レポート課題

1 単位め

(スクーリング事前課題=スクーリング受講前のレポート提出期限までに送付)

教科書 p. 204の事例1「介護者が非協力的な家庭への援助事例」をケアマネジメントの観点から検討してください。その上で、社会福祉援助技術として、ケアマネジメントがなぜ必要と考えられるのか論じてください。

2 単位め

(スクーリング事後課題=スクーリング受講後提出期限までに送付)

スクーリングの際に教員から指示される課題について論じなさい。

アドバイス

1単位め 解説

教科書の第11章と第12章を読んで、ケアマネジメントについて理解してください。それから、教科書 p. 204の「事例1 介護者が非協力的な家庭への援助事例」を読んでください（検討課題は読まなくてもかまいません）。

(1) p. 170から p. 171を参考に、アセスメントをしてください。どんな情報が必要でしょうか。事例の文章から得られる情報、得られない情報を明らかにしてください。それらの情報は、次のケアプランを立てるときに、どれほど必要でしょうか。もし必要であれば、どのようにして、収集することができるでしょうか。あるいは、手に入れることは可能でしょうか。具体的に、書き出してください。

(2) p. 186を参考に、ケアプランを作成してください。ただし、「1. 生活全般の解決すべき課題（ニーズ）」「援助目標（2. 長期目標）（3. 短期目標）」「援助内容（4. サービス種別）（5. 頻度）（6. 期間）」の項目だけで結構です。あなたが重要だと考える「生活全般の解決すべき課題（ニーズ）」を3つ挙げ、それぞれについて箇条書きで書いてください。表にする必要はありません。どのような課題を見つけることができたでしょうか。そのときに、あなたが行ったアセスメントは役に立ったのでしょうか。もし十分なアセスメントが行われていないと思ったら、もう一度、アセスメントを見直してください。推測して考えなければならないところが多いと思います。どうしても情報が足りなければ、大胆にアセスメントの内容を推測してください。そして「もし〇〇のようなアセスメントであれば、***のようなプランになる」といった条件付きで結構ですから、ケアプランを作成してください。インフォーマルな資源は使われているのでしょうか。必要はないのでしょうか。介護保険について、あなたの知識は十分ですか。もし自信がなければ、介護保険のサービスについて調べてみてください。

(3) あなたのケアプランは、実行可能でしょうか。実際に、必要なサービスは得られるのでしょうか。あるいは、サービスやインフォーマルな資源を作っていく必要があるのでは

しょうか。家族や本人に受け入れてもらえる内容でしょうか。本当は、本人や家族と相談しながら作るべきだったのでしょうか。あなたのケアプラン通りにサービス事業者はサービスを提供してくれるのでしょうか。もしそうでなかったら、どうしたらいいのでしょうか。おそらく、いろいろな疑問が湧いてくると思います。

(4) アセスメントがなくても、あなたはケアプランを作ることができたでしょうか。また、あなたのケアプランがニーズに合っているかどうかを確認する必要があるでしょうか。ケアプランの見直しは必要でしょうか。

(5) あなたのマネジメントで問題は解決するでしょうか。そもそも問題の解決とは何を意味しているのでしょうか。ケアマネジメントは万能でしょうか。ケアマネジメントがうまく機能しないことがあるでしょうか。社会福祉援助技術はケアマネジメントだけで十分でしょうか。もしそうでないなら、どうしてでしょうか。もう一度、教科書の第4章と第11章と第12章を読み直してください。必読文献の第Ⅲ部も参考にしてください。

2単位め 解説

スクーリングは80分×7コマと限られた時間ではありますが、教員および受講生からさまざまなことを吸収し、スクーリング時に指示される課題に解答してください。

レポートの提出方法

この科目は、1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。1単位のレポートの字数は2,000字程度ですが、p.16めまで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても結構です。

1単位めは、スクーリング受講前にp.55の提出期限までに提出してください。なお、レポートはスクーリング受講クラスが決まってから提出してください。レポート用紙表紙の科目名記入欄の右側には、担当教員名を記入してください。

2単位めは、スクーリング受講後に提出してください。レポート用紙表紙の科目名の右側に担当教員名を、課題記入欄にはスクーリング時に指示される課題を記入してください。

レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。ただし、教科書の丸写しは避けてください。また、レポート作成後は、数回の確認の後、提出してください。

今年度履修登録はするが、スクーリングを受講できない方は、レポートの提出はご遠慮ください。

スクーリング受講上の注意

この科目はスクーリング受講が必ず必要です。演習は、1クラス20～30名程度で開講するため、スクーリング希望者は4月14日(土)、または10月15日(月)必着でお申込ください。申込み方法や受講条件の詳細は下記「社会福祉援助技術演習Ⅱ スクーリング受講条件」以降をご覧ください。

※演習Ⅱのスクーリングの際には、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイングなどへの参加が求められます。この科目のスクーリング結果通知は、1月16日の事後課題提出後2月中旬～2月末に行います。スクーリングを受講しても事後課題を提出しない場合は単位未修得となり、次年度以降に再度スクーリングを受講する必要がありますのでご注意ください。

※実習受講希望者は演習Ⅱ後に「体験学習」(3日間)を行っていただきます。詳細は「演習」の1コマを用いて行われる「体験学習・次年度学習ガイダンス」にてご案内予定です。

社会福祉援助技術演習Ⅱ スクーリング受講条件

・スクーリング申込み締切(第1回め4月14日 第2回め10月15日)までに、下記の6科目の単位を修得する必要があります。

- ①福祉社会学, 福祉法学, 福祉心理学のうち1科目
- ②高齢者福祉論, ③児童福祉論, ④障害者福祉論
- ⑤社会福祉援助技術演習Ⅰ, ⑥社会福祉援助技術論Ⅰ 合計6科目

申込みは、以上の6科目の単位を修得している3年生以上の方が可能となります。なお、申込み後、p. 55記載の締切日までに事前課題提出が必須となります。

●4月申込み希望者の単位修得方法について

4月申込み時点で単位修得の条件を満たさそうと思う科目については、遅くとも下記の期日までに学習を終えてください。

- (1) レポート 3月15日までに必着で提出。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
- (2) 科目修了試験 2月下旬または3月上旬(第8回科目修了試験)までの科目修了試験を受験して合格していること。
- (3) スクーリング 3月末までのスクーリングを受講して合格していること。

●10月申込み希望者の単位修得方法について

平成19年度10月申込み時点で単位修得の条件を満たそうと思う科目については、どんなに遅くとも下記の期日までに学習を終えてください。

- (1) レポート 平成19年9月14日までに必着で提出（第4回科目修了試験申込期日に同じ）。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
- (2) 科目修了試験 9月下旬（第4回科目修了試験）までの科目修了試験を受験して合格していること。
- (3) スクーリング 10月10日までのスクーリングを受講して合格していること。

※社会福祉士国家試験資格取得のための指定科目履修の流れについては『学習の手引き』2007年度版p.102（3年次編入学者はp.74～76も参照）もご覧ください。

社会福祉援助技術演習Ⅱ スクーリング申込み手続き

◆スクーリング開催日程・レポート課題締切

この科目はスクーリング受講が必ず必要です。

平成19年度は下記の日程で仙台・札幌・東京・新潟・盛岡で開講予定です。

受講希望者は、本冊子巻末の「社会福祉援助技術演習Ⅱ登録カード」に希望日程や必要事項を記入し、4月14日（2回目締切10月15日）必着でお申込ください。p.54「社会福祉援助技術演習Ⅱ スクーリング受講条件」を満たす見込みになってから、お申込みください。

受講希望日・会場は、必ず第1希望・第2希望を記入してください。申込み後の希望日程の変更は一切受け付けません。

●開講日程

いずれかの連続する2日間7コマの演習を受講してください。

開講日程	開催地	事前課題締切	事後課題締切*
5月26日(土)・27日(日)	盛岡・東京・新潟	5月16日(水)	1月16日(水) *2007年8月末日締切で「実習」を申込み方は、事後課題を7月末までに提出し、8月末時点で合格していることが必要です。
6月9日(土)・10日(日)	仙台・札幌	5月25日(金)	
11月23日(金)・24日(土)	仙台・東京	11月13日(火)	
12月1日(土)・2日(日)	仙台・札幌・盛岡	11月22日(水)	

*開講時間 1日目12：40～17：00 2日目9：30～16：10

注意 札幌会場は6月・12月とも、1日目 13：20～18：30 2日目 9：30～15：30です。

〈クラス分け決定手続き〉

希望の日程で受講が可能なように調整いたしますが、各日程で定員を超えた場合は下記のように決定します。クラス分けは無作為に行いますので、演習受講にあたって、教員を指定することはできません。

履修登録の際のOCR用紙に記載する「希望する資格・免許状」（1つ選択）が「社会福祉士」の方を優先いたします。

（上記でオーバーする場合）今回開講されない府県の方の希望を優先します。また、札幌・盛岡・新潟開催の場合は開催県在住、または近隣の方の希望を優先いたします。なお、北海道・岩手・新潟で実習を希望する学生は、できるだけその地域で演習Ⅱを受講してください。

（上記でオーバーする場合）これまでのスクーリングに届出なしで欠席されたことのある方の優先順位は下がります。

2回めの10月15日締切の申込みも本冊子巻末の「登録カード」を利用しますので、紛失しないようにしてください。

クラス分け決定後の受講日・受講地の変更は一切できません。受講を取り消された方、事前課題が完成できなかった方は、次回締切以降に再申込みとなります。

受講許可通知発送

受講希望者で条件を満たしている方は、原則として第2希望までのいずれかの日程・開講地で受講が可能です。

4月申込者には、受講日・受講地を決定し、クラス分け後受講許可通知と受講料納入依頼書を4月27日までに（10月申込者は10月27日までに）発送します。受講料納入期限は5月15日です（10月申込者は11月17日）。この科目の受講料は、演習科目ですので1単位10,000円となります。

単位認定

1単位めレポート（事前課題）＋スクーリング（試験は実施しません）＋2単位めレポート（事後課題）で単位認定いたします。

2単位めレポート（事後課題）を1月16日(木)までに提出しない場合は、スクーリングの受講は無効となります。

体験学習

体験学習とは、(1)「社会福祉援助技術現場実習」対象施設（『学習の手引き2007』p. 103～104参照）において、**連続3日間**行っていただく短期実習です。

次年度の現場実習へ向けて、社会福祉の実践の場を体験し、広い視野を養うとともに、利用者や職員とのコミュニケーションを通して、自己の適性について考えることを目的としています。

具体的内容としては、(1)職員からの講話、(2)見学学習、(3)初歩的な業務の補助を通しての利用者との交流（環境整備等）、(4)行事等の補助などがあります。

●受講方法

体験学習先へは自身で依頼していただきます。その手順については「社会福祉援助技術演習Ⅱ」時間内に実施予定の「体験学習・次年度実習ガイダンス」でくわしく解説されます（予定：演習Ⅱ 2日め14：50～16：10 ただし、札幌会場は1日め17：10～18：30）。

「演習Ⅱ」受講者は必ずこのガイダンスを受講していただきますので、申込みは不要です。昨年度までの「演習Ⅱ」受講者でガイダンスのみを申込みの方は、原則として5・6月分は4月14日までに、11・12月分は10月15日までに実習係あて書面（メール・FAX・郵送）でお申込みください。実習を希望する前年度には必ず「体験学習・次年度実習ガイダンス」を受講していることが必要です（すでにガイダンスを受講していても、実習の前年度以前に受講した場合は再度受講が必要です。前年度にガイダンスを受講していない場合は次年度の実習申込みができませんのでご注意ください）。

●体験学習先の選定

お住まいの地域にどのような福祉施設があるか調べてみたい方は、お近くの社会福祉協議会に足を運ぶと施設一覧のような冊子があったり、職員が情報を教えてくれたりします。また、都道府県や市町村の保健福祉関係の窓口やホームページでも情報は得られるかと思えます。

インターネットで検索する場合は、WAM NET（独立行政法人 福祉医療機構）のホームページ（<http://www.wam.go.jp/>）が便利です。高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉ごとに施設の検索ができます。

本学就職部の資料コーナー（1号館 地下1階）には、本学OBのいる施設情報や施設のパンフレットなどを閲覧することができます。利用方法は、窓口職員にお尋ねください。

●体験学習免除の可能性のある方

社会福祉援助技術現場実習対象施設に1年以上の勤務経験のある方は、「実績報告書」を提出して合格すれば、体験学習は免除になります。ただし、「体験学習・次年度実習ガイダンス」は必ず受講してください。万が一、「実績報告書」が不合格になった場合には、体験学習を実施していただきます。

●体験学習時の心得

- (1) 時間に絶対に遅れないでください。
- (2) 服装や持ち物に注意してください。体験学習先から指定された場合は従ってください。
- (3) 体験学習時の持ち物は、指定されなくとも次のようなものは持っていきましょう。
◆筆記用具、ノート、上履き、タオル、簡単な着替え、簡単な救急セットなど
- (4) 体験学習初日、訪問した時には利用者の方々にあいさつをしてください。さらに、施設長やお世話になる職員の方々にあいさつを忘れないようにしてください。
- (5) あいさつがすんだら指示を仰いでください。メモをとることを忘れずに、難しいことや大切なことは繰り返し確かめてください。
- (6) 学習先では必ず担当の方（職員）の指示に従ってください。けっして自己判断では行動せず、不明な点や疑問点は必ず職員の方に相談しましょう。
- (7) まず、行動を見守る（観察する）こと。そこから「学び」の一步が始まります。
◆利用者の方は？ 職員の方は？ どんなサービスがある？
- (8) 守秘義務（利用者や家族のプライバシー）を厳守してください。

●体験学習の流れ（必ず「ガイダンス」受講後に行ってください）

- (1) 体験学習先を探す
↓
- (2) 体験学習先へ受け入れについて、お願いする（基本的には電話でのお願い）
内諾を得たら、後日大学から文書を送付する旨を説明する
↓
- (3) 内諾を得た学習先について「体験学習先内諾報告書」を記入し、通信教育部実習係へファックス、またはメール（郵送も可）で必要事項を送信
↓
- (4) 大学から送付されてきた「依頼文書のコピー」と「体験学習のしおり」を確認し、学習先へ連絡し、詳細について指示を受ける
↓

(5) 体験学習実施

↓

(6) 体験学習終了後、御礼状を書き、体験学習先へ送付

↓

(7) 「体験学習記録」をまとめ、通信教育部へ送付。次年度実習を希望する場合は、「実習希望届」、「学習計画書」も同封する

※「実習希望届」を早く提出された順に、来年度の実習依頼を行います。あまり提出時期が遅くなると、次年度の実習受け入れが厳しくなる可能性があります。

●体験学習は「演習Ⅱ」の単位認定とは無関係ですが、実施し合格しないと、実習申込みが受理されません。

精神保健福祉論Ⅲ

科目コード●050135

担当教員●菅原 民吉
好秀

2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉

選 択

社会教育

選 択 B

福祉心理

選 択 B

科目の内容

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」いわゆる「精神保健福祉士法」を中心に学びます。精神障害者の福祉は障害者福祉の大枠で理解することも大切です。また、障害者基本法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法との関連や各種の人権宣言や条約、国連原則なども合わせて理解することを目標にしています。

教科書（「社会福祉法制」と共通）

志田民吉編著『社会福祉サービスと法』建帛社、2004年

レポート課題

1 単位め

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」（略称は「精神保健福祉法」）の制定趣旨についてまとめなさい。

2 単位め

精神障害者の人権について、考えるところをまとめなさい。

アドバイス

1 単位め
解説

テキストの解説を精読することと、さらに障害者基本法やテキスト資料編に掲げる精神障害者の国連原則等も合わせて読みながらまとめられるとよいでしょう。

2 単位め
解説

単に私見を述べるのではなく、テキストや各種の人権規定（憲法や国際的な条約、宣言など）などを合わせ読みながら、人が精神障害を抱えながら社会の中で生活を営む際に、その人と社会との関係の有り様を意識しながら、まとめてみるとよいでしょう。また、関連する新聞記事などにも配慮しながら考えてみるとよいのではないかと思います。

参考図書

- 1) 志田民吉共編著『社会福祉士のための基礎知識（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）』中央法規出版, 2003年
- 2) 志田民吉編著『臨床に必要な人権と権利擁護』（福祉臨床シリーズ7）弘文堂, 2006年
- 3) 社会福祉六法（名称はいくつかあります）（中央法規出版, ミネルヴァ書房などから発行されています。平成19年度版を用意してください。）

以上の他は、テキストに引用している文献を参照してください。

精神科リハビリテーション学

科目コード●050139

担当教員●八巻 幹夫

4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉

選択

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

わが国における精神障害者の処遇と障害者施策の概要を学ぶことを通して、精神障害を構成する要因や「社会復帰（リハビリテーション）」の意味とその目標について理解を深めるようにしたいと思います。また、精神障害領域での社会福祉の視点は「生活障害を回復し社会生活を維持する」にあります。また、「生活機能」と「生活障害」の内容およびその回復への援助過程についても理解を深めるようにしましょう。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編集『改訂 精神保健福祉士養成講座 3 精神科リハビリテーション学』中央法規出版、2007年

（平成15～18年度履修登録者）2007年4月より、教科書が「改訂版」になりました。改訂された箇所は中央法規発行『別冊精神保健福祉制度の主な動きとポイント』をご覧ください。スクーリング受講時はどちらのテキスト持参でも結構です。

また、2007年4月より、レポート課題も大幅に修正されています。『レポート課題集 2006』記載の課題でも2008年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

レポート課題

1 単位め	障害者リハビリテーションと精神科リハビリテーションの概念を述べ、相違点について述べなさい。
2 単位め	ICIDH（1980年版）・上田敏・蜂矢英彦・ICF（2001年版）の障害概念について述べなさい。
3 単位め	我々の生活に占める働くことの意義を述べ、現状の障害者に対する職業リハビリテーション施策法と就労支援の際の留意点を述べなさい。
4 単位め	生活の構造とその機能を述べ、「生活障害」の内容について述べなさい。

アドバイス

『学習の手引き』6章などに記載しているレポートの書き方（自分の文章と引用部分の明確な区別、出典の明示など）は必ずお守りください。

1単位め 解説

リハビリテーションの焦点は障害の改善にあります。専門家は対象者のリハビリテーション過程にいかに関与するかが大きな鍵になります。その際の基本的視点または原則についても考察してください。第1・3章を参照。

2単位め 解説

障害者リハビリテーションは対象者との協働作業です。その為の動機づけや目標設定において、障害構造の理解は不可欠なものです。そして、他の障害領域と精神障害領域との違いをきちんと理解してください。テキストの『精神保健福祉論』第4巻第2章第1～2節および参考図書（『障害構造論入門』『ICF（国際生活機能分類）の理解と活用』）も参考にしてください。

3単位め 解説

私たちは働いて得る収入によって様々な欲求を満ち生活しています。それだけ、働くこと（就労）は重要な要素ですが、生活課題の全てを解決するものではない。この視点で働く意義を考察してください。また、現在の障害者就労支援施策について、第6章第2節を参考に述べてください。

4単位め 解説

生活（暮らし）における「生活の障害、生活のしづらさ」は、精神保健福祉士にとっては重要な視点です。その「生活」を構成する要素と機能の理解が不十分では生活の支援さえもできないことになります。生活障害の構造と機能について課題をまとめてください。第5章を参照。参考図書（『人と作業・作業活動 第2版』）も参考にしてください。

参考図書

- 1) 八木剛平・田辺 英著『日本精神病治療史』金原出版, 2002年
- 2) 佐藤久夫著『障害構造論入門』青木書店, 1992年
- 3) 上田 敏著『ICF（国際生活機能分類）の理解と活用』きょうされん, 2005年
- 4) 清水正徳著『働くことの意味』岩波新書, 1982年
- 5) 山根 寛ほか著『人と作業・作業活動 第2版』三輪書店, 2005年

精神医学

科目コード●050140

担当教員●松江 克彦

4 単位

R

3 年以上

社会福祉

選 択

社会教育

選 択 B

福祉心理

選 択 B

科目の内容

精神障害は紀元前の古くから知られていましたが、科学的な近代精神医学が確立されたのは約一世紀前のことです。そして約50年前に向精神薬が発見されて以来、精神障害の治療は著しく進展し、ここ四半世紀は、精神障害の主座としての脳に関する検査法や研究においてもめざましい発展を示してきました。本科目では、精神医学、精神医療の成り立ちから説明し、精神医学関連の基礎知識、診断の手順、各種精神障害とその治療法について理解することを目的とします。さらに、病院精神医療や地域精神医療についても理解を深めます。現代は心の時代ともいわれますが、精神医学の方法や精神障害についての学習を通して、疾患としての精神障害の理解はもちろんのこと、心を科学的に考える方法も身につけるように心掛けましょう。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編集『改訂 精神保健福祉士養成講座 1 精神医学』中央法規出版、2007年

(平成15～18年度履修登録者) 2007年4月より、教科書が「改訂版」になりました。改訂された箇所は中央法規発行『別冊精神保健福祉制度の主な動きとポイント』をご覧ください。スクーリング受講時はどちらのテキスト持参でも結構です。

また、2007年4月より、レポート課題1単位めも一部修正されています。『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

レポート課題

1 単位め

精神科診断はどのような方法に基づいて、どのような診察の手順で行われるかを説明し、さらに診断をより確実にするための種々の検査法を挙げて説明せよ。

2 単位め	統合失調症（精神分裂病）とはどのような精神疾患であるかを詳しく説明し、この疾患が、精神医学や精神医療の中で長い間注目され続けている理由について述べよ。
3 単位め	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害において、各障害を分類して説明を加え、これらの障害の原因について考察せよ。
4 単位め	精神科治療における薬物療法について使用薬物を分類し、その効果と副作用について説明せよ。

アドバイス

諸君が精神医学を学ぶにあたってまず想定されるのは、専門用語が多いこともあって理解するのが容易ではないだろうということです。そのような場合は、教科書だけでなく、末尾に挙げた参考図書や、市販の精神医学用語辞典なども参考にするとよいと思います。また、現代は心の時代といわれるほどなので、精神疾患についての科学番組や新聞記事も随分増えています。精神医学や脳科学に関するテレビの番組や新聞の記事なども見るようにして知識を増やすよう努力してください。そのような積み重ねが、精神医学を身近なものにし、理解を助けてくれます。

さて、レポート課題に取り組むにあたって考えておいて欲しいのは、レポート課題を教科書で調べ、それを要求される字数で書き写せばよいというような態度ではいけないということです。課題は4つだけですが、レポート課題にないから重要でないというわけではありませんので、その他の部分もよく理解するようにしておきましょう。課題に答える前に、最初に述べたアドバイスも参考にして精神医学を理解しようという努力が必要であり、精神医学全体に対する理解が大切だということを強調しておきたいのです。以上のような点を考慮して、レポートの評価においても、そのレポートが、教科書をよく読み、かつ、教科書以外の方法で得られた知識も駆使して作成されているかどうか、という点を加えて評価します。また、レポートの最後に参考文献（教科書を含む）を必ず記すようにしてください。

精神医学の理解は決して容易なものではありませんが、今ほど精神障害に対する知識が必要とされる時代もないでしょう。正しい知識を持つことによって、精神障害にたいする誤解や偏見などについても考え直すきっかけにできるようにしてください。

1 単位め 解説

この課題は教科書の第4章全体にわたって書かれています。精神障害は身体障害と異なって形のないものの障害なので、それだけ曖昧だったり困難だったりします。したがって、患者さんを診断する場合、どのような考え方で、どのような診察の手順で進めていくのか、そしてその診断をより確実なものにしていくために

どのような検査を用いて何を調べようとするのか、よく理解するようにしてまとめてください。

2単位め 解説

統合失調症については、教科書の第5章第3節に記載されていますが、第1章第1節や、第7章第3節なども参考にしてください。この疾患は精神医学において最も多く研究されてきた代表的な精神疾患ですので、この疾患については専門書の中でも多くの紙数が費やされていることが多いのです。それらも参考に、この疾患を充分理解するように努めてください。

3単位め 解説

これらの障害については第5章第5節に記載されています。これらは、一般に「ノイローゼ」と呼ばれてきた精神疾患を多く含みます。今日において特に注目されている疾患にも注意をはらいましょう。原因については、器質性精神障害や統合失調症とも異なるもので、第3章第3節やその他の参考図書なども用いてよく理解するようにしましょう。原因（成因）別による精神障害の理解は、精神障害全体を理解するうえで非常に役に立ちます。

4単位め 解説

現在における精神障害の治療の多くは、向精神薬と呼ばれる薬物を用いて行われています。教科書では、第6章第1節に書かれています。薬物治療によって多くの精神障害者が社会復帰できるようになったのですが、そのような理解があまりなされていない場合もあります。また、一般に副作用について危惧されているように思われます。その辺の事情も充分理解してまとめるようにしましょう。

参考図書

- 1) 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『改訂第3版 精神医学』へるす出版、2005年
- 2) 大熊輝雄著『現代臨床精神医学 第10版』金原出版、2005年
- 3) 大月三郎ほか著『精神医学 第5版』文光堂、2003年
- 4) その他精神医学関係の図書

(注)「統合失調症」は2002年以前に発行された文献では「精神分裂病」と表記されることが多くあります。「精神分裂病」という呼び名にはマイナスのイメージがあり、差別や偏見を生み出しているのを是正するために、現在では「統合失調症」と呼び名が変更されています。

精神保健福祉援助演習

精神保健福祉援助演習

050141

科目コード ● 050141

担当教員 ● 志村祐子・阿部正孝
ほか

2 単位

SR

3 年以上

社会福祉

選択

科目の内容

精神保健福祉士は、精神障害者の社会的復権と福祉を実現するための福祉サービスの提供と、生活を支援することを主たる業務とする専門職です。疾病と生活のしづらさという障害をあわせもつ精神障害者が、ひとりの人間として社会で生活していくうえで、人としての権利が保障され、自らの生活課題に自ら取り組んでいけるよう援助していくことが望まれます。

精神保健福祉援助演習においては、そうした専門職者として必要な援助技術を事例研究やロールプレイ、グループ討議等を通して学習すると同時に、援助者としての自己理解、適性なども見つめていくことを目的としています。したがって、主体的に参加し、学ぶことが大切な要件となります。

教科書

精神保健福祉士養成講座編集委員会編集『精神保健福祉士養成講座7 精神保健福祉援助演習』中央法規出版、2004年

(平成16年度履修登録者) 17年度より教科書、および1単位めレポート課題が変更されました。原則として、1単位めレポート課題は今年度の課題で取り組んでください。

レポート課題

1 単位め

スクーリング事前課題（スクーリング受講前の指定期日までに送付）
身体障害領域の機能補完を意味する「身体障害者と車いす」は、障害者福祉やリハビリテーション理念として一般的な概念である。これに対し、病と（生活）障害を併せ持つ精神障害者の場合の「車いす」に当たるものについて述べなさい。

2 単位め

スクーリング事後課題（スクーリング後の指定期日までに送付）
スクーリング時に指示する課題について論じなさい。

アドバイス

1単位め 解説

精神保健福祉士の専門領域は生活障害を持つ人々への生活支援にあります。そのためには多様な知識と技術が精神保健福祉士に求められ、時には対象者の住む領域の人々への働きかけも重要になります。そのような場面では、対象者のエンパワーメントを目標としたワーカークライアント関係を保ちながら、これまで学んだ法施策・福祉制度・社会資源・障害観・リハビリテーション理念等を総合的に活用することが必要となります。

2単位め 解説

スクーリングでは、具体的ななかかわり技法や事例の検討を通し、人と人とのなかかわりのなかで、自分を見つめる機会にもなります。さまざまなことをたくさん吸収してください。その上で出された課題について論じてください。

レポートの提出方法

この科目は、1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。1単位のレポートの字数は2,000字程度ですが、p. 16まで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても結構です。

1単位めは、スクーリング受講前にp. 70記載の提出期限までに提出してください。なお、レポートはスクーリング受講クラス、担当教員が決まってから提出してください。レポート用紙の表紙科目名記入欄の右側には、担当教員名を記入してください。

2単位めは、スクーリング受講後に提出してください。レポート用紙の表紙科目名記入欄の右側には担当教員名を、課題記入欄にはスクーリング時に指示される課題を記入してください。

レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。ただし、教科書の丸写しは避けてください。また、レポート作成後は、数回の読み直しの後、提出してください。

今年度履修登録はするが、スクーリングを受講できない方は、レポートの提出はご遠慮ください。

スクーリング受講上の注意

この科目はスクーリング受講が必ず必要です。演習は、1クラス20～30名程度で開講するため、スクーリング受講希望者は4月14日(土)、または10月15日(月)必着でお申込みください。申込み方法や受講条件の詳細は次頁以下をご覧ください。

演習のスクーリングに参加する際には、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイングなどへの参加が求められます。

この科目のスクーリング結果通知は、1月16日の事後課題提出締切後2月中旬～2月末に行います。スクーリングを受講しても事後課題を提出しない場合は単位未修得となり、次年度以降に再度スクーリングを受講する必要がありますので、ご注意ください。

実習受講希望者は演習の後に「体験学習」を行っていただきます。

精神保健福祉援助演習 スクーリング受講条件

- (1) スクーリング申込み締切日（4/14 or 10/15）までに下記の8科目のうち、①～③の中から2科目と、④～⑥の3科目、⑦・⑧から1科目の計6科目の単位修得済であること（詳細は下記のとおり）。

指定科目	条件
①福祉社会学 ②福祉法学 ③福祉心理学	3科目中 2科目単位修得
④精神保健福祉論Ⅰ ⑤精神保健福祉論Ⅱ ⑥精神保健	3科目単位修得
⑦精神保健福祉援助総論 ⑧精神保健福祉援助各論	2科目中 1科目単位修得

- (2) スクーリング受講前の指定期日（p.70参照）までに、「演習」1単位め（事前課題）レポートを提出していること。

●4月申込み希望者の単位修得方法について

4月申込み時点で上記の単位修得の条件を満たさそうと思う科目については、遅くとも下記の期日までに学習を終えてください。

- (1) レポート 3月15日までに必着で提出。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
- (2) 科目修了試験 2月下旬または3月上旬（第8回科目修了試験）までの科目修了試験を受験して合格していること。
- (3) スクーリング 3月末日までのスクーリングを受講して合格していること。ただしレポート提出は上記期日まで。

●10月申込み希望者の単位修得方法について

平成19年10月申込み時点で上記の単位修得の条件を満たさそうと思う科目については、ど

んなに遅くとも下記の期日までに学習を終えてください。

- (1) レポート 平成19年9月14日までに必着で提出（第4回科目修了試験申込科目は申込締切日までとなります）。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
- (2) 科目修了試験 9月下旬（第4回科目修了試験）までの科目修了試験を受験して合格していること。
- (3) スクーリング 10月8日までのスクーリングを受講して合格していること。ただしレポート提出は上記期日まで。

※精神保健福祉士国家試験資格取得のための指定科目履修の流れについては『学習の手引き』2007年度版 p.108～109（3年次編入学者は p.76～79も参照）もご覧ください。

※平成18年度以前の入学生に対しても上記の条件が適用されます。

精神保健福祉援助演習 スクーリング申込み手続き

この科目はスクーリングの受講が必ず必要になります。平成19年度は下記の日程で開講します（いずれかの連続する2日間7コマの演習を受講すれば結構です）。

演習は1クラス15人程度の少人数で開講します。受講条件を満たす3年生以上の方で、スクーリング受講希望者は、本冊子巻末の「精神保健福祉援助演習 登録カード」に希望日程や必要事項を記入し、必ずスクーリング受講条件を満たしてから、4月14日〔2回目締切10月15日〕必着でお申込みください。

●開講日程

いずれかの連続する2日間7コマの演習を受講してください。

	開催地	事前レポート提出期限	事後レポート提出期限
5 / 19(土)・20(日)	仙台	5 / 9(水)	1 / 16(水)
6 / 2(土)・3(日)		5 / 21(月)	※2007年8月末で「実習」を申込み方は、事後課題レポートを7月末日までに提出し、8月末時点で合格していることが必要です。
12 / 1(土)・2(日)		11 / 19(月)	
12 / 8(土)・9(日)		11 / 26(月)	

※開講時間 1日目 11:00～17:40 (16:20～17:40「体験学習・次年度実習ガイダンス」)
2日目 9:30～14:40

クラス分けは無作為に行いますので、演習受講にあたって、教員を指定することはできません。申込み後の希望日程の変更は一切受け付けません。

●受講許可通知発送

4月申込者には、受講日・担当教員を決定し、クラス分け後受講許可通知と受講料納入依頼書を4月27日（10月申込者は10月27日）までに発送します。受講料納入期限は5月15日（10月申込者は11月17日）です。この科目の受講料は、演習科目ですので1単位10,000円となります。

単位認定

1単位めレポート（事前課題）＋演習スクーリング（試験は実施しません）＋2単位めレポート（事後課題）で単位認定いたします。

2単位めレポート（事後課題）を1月16日(木)までに提出しない場合は、スクーリングの受講は無効となります。

※2007年8月末で「実習」を申込み方は、事後課題レポートを7月末日までに提出し、8月末時点で合格していることが必要です。

体験学習

体験学習とは、(1)「精神保健福祉援助実習対象施設」（本冊子『精神保健福祉援助実習』p.193「精神保健福祉援助実習対象施設」参照）または(2)精神障害者の利用する作業所において、2日間以上かつ1カ所以上（1日ずつ、2カ所でも可）行っていただく短期実習です（※作業所は4年次の本実習施設としては認められませんが、体験学習先としては可となります）。

次年度の精神保健福祉援助実習へ向けて、精神保健福祉の実践の場を体験し、広い視野を養うとともに、利用者や職員とのコミュニケーションを通して、自己の適性について考えることを目的としています。

具体的内容としては、(1)職員からの講話、(2)見学学習、(3)初歩的な業務の補助を通しての利用者との交流（環境整備等）、(4)行事等の補助などがあります。

※種別が異なる2カ所以上で体験学習を行えば、次年度の本実習の希望種別を検討する上で有効です。

●受講方法

体験学習先へは受講生自身で依頼していただきます。その手順については「精神保健福祉援助演習」スクーリング時間内に実施予定の「体験学習・次年度実習ガイダンス」でくわしく解説されます（演習1日目16：20～17：40）。

「演習」受講者は必ずこのガイダンスを受講していただきますので、申込みは不要です。

●体験学習先の選定

お住まいの地域にどのような精神保健福祉施設・病院があるか調べてみたい方は、お近くの保健所・精神保健福祉センター・社会福祉協議会に足を運ぶと施設一覧のような冊子があったり、職員が情報を教えてくれたりします。都道府県や市町村の保健福祉関係の窓口やホームページでも情報は得られるかと思えます。

インターネットで検索する場合は、病院・診療所はWAM NET（独立行政法人 福祉医療機構）のホームページ（<http://www.wam.go.jp/>）の「医療」の部分で検索ができます。仙台市の場合は、「はあとページ」（<http://www.city.sendai.jp/kenkou/shougai/heartpage/>）が便利です。

本学就職部の資料コーナー（1号館 地下1階）には、本学OBのいる施設情報や施設のパンフレットなどを閲覧することができます。利用方法は、窓口職員にお尋ねください。

なお、ご自身で情報収集等の努力をしたうえで、体験学習先が見つからないなどの場合は、通信教育部・実習係までご相談ください。

●体験学習免除の可能性のある方

精神保健福祉援助実習対象施設または作業所に1年以上の勤務経験のある方、またはあった方は、「実績報告書」（「体験学習・次年度実習ガイダンス」受講時に配布する『精神保健福祉援助実習の手引き』の様式）を提出して合格になれば、体験学習は免除になります。ただし、「体験学習・次年度実習ガイダンス」は必ず受講してください。なお、「実績報告書」が不合格になった場合には、体験学習を実施していただきます。

●体験学習時の心得

- (1) 指定された時間に必ず伺うこと。
- (2) 服装や持ち物に注意してください。体験学習先から指定された場合は従ってください。
- (3) 体験学習時の持ち物は、指定されなくとも次のようなものは持っていきましょう。
◆筆記用具、ノート、上履き、タオル、簡単な着替え、簡単な救急セットなど
- (4) 体験学習初日、訪問した時には利用者の方々にあいさつをしてください。さらに、施設長やお世話になる職員の方々にあいさつを忘れないようにしてください。
- (5) あいさつがすんだら指示を仰いでください。メモをとることを忘れずに、難しいことや大切なことは繰り返し確かめてください。

- (6) 学習先では必ず担当の方（職員）の指示に従ってください。決して自己判断では行動せず、不明な点や疑問点は必ず職員の方に相談しましょう。
- (7) まず、行動を見守る（観察する）こと。そこから「学び」の一步が始まります。
◆利用者の方は？ 職員の方は？ どんなサービスがある？
- (8) 守秘義務（利用者や家族のプライバシー）を厳守してください。

●体験学習の流れ（必ず「ガイダンス」受講後に行ってください）

- (1) 体験学習先を探す
↓
- (2) 体験学習先へ受け入れについて、お願いする（基本的には電話でのお願い）
内諾を得たら、後日大学から文書を送付する旨を説明する
↓
- (3) 内諾を得た学習先について「体験学習先内諾報告書」を記入し、通信教育部実習係へファックス、またはメール（郵送も可）で必要事項を送信
↓
- (4) 大学から送付されてきた「体験学習依頼文書」のコピーを確認し、学習先へ連絡し、詳細について指示を受ける
↓
- (5) 体験学習実施
↓
- (6) 体験学習終了後、御礼状（封書）を書き、体験学習先へ送付
↓
- (7) 「体験学習記録」をまとめる。次年度実習を希望する場合は、「実習希望届」、「学習計画書」（「体験学習・次年度実習ガイダンス」受講時に配布する『精神保健福祉援助実習の手引き』の様式）と一緒に所定の申込期日までに提出する（実習申込みについては p. 187～「精神保健福祉援助実習 受講条件」参照）

※「実習希望届」を早く提出された順に、大学から実習受け入れの依頼を行います。あまり提出時期が遅くなると、実習受け入れの調整が難航する可能性があります。実習申込条件を満たした時点で早めに申し込まれることをお勧めします。

- 体験学習は「演習」の単位認定には無関係ですが、実施し合格しないと、実習申込みの受理はいたしません。

社会教育計画

科目コード●050307

担当教員●星山 幸男

4 単位

R

3 年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

地方分権化が叫ばれ、生涯学習社会の実現が模索されている今日、社会教育の計画化はきわめて重要で、社会教育に関わる者にとって計画の立案は必要不可欠な仕事となっています。しかし、成人を対象とした社会教育は、学校教育とは質的に異なっているため、教育の内容や方法を一元的に定めることはできません。そこで、成人への学習支援の意義と社会教育の役割をどのようにとらえ、社会教育の計画をどのような視点から考えていけばよいかを知ることが重要となります。

本講ではまず、社会教育計画の基本的な理論枠組みについての理解を深めていきます。そして次に、総合基本計画、施設計画、事業計画策定の実際について、その方法・手順・留意点を学んでいくことにします。

教科書

木全力夫・則武辰夫編著『社会教育計画の理論と実践』東洋館出版社、1996年（平成15～18年度履修登録者）2007年4月より、レポート課題1・2単位めが一部修正されています。『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

レポート課題

1 単位め	住民の自主的・自発的な学習活動の支援について、基本的な考え方を説明しなさい。
2 単位め	身近にある社会教育施設を一つとりあげて、その役割、現状と課題について述べなさい。
3 単位め	当面する生活課題をとりあげて、社会教育事業計画を実際に策定しなさい。
4 単位め	計画策定における職員と社会教育委員の連携と役割分担について述べなさい。

アドバイス

社会教育の計画は、学校教育における教育計画とは大きく異なります。社会教育では、何よりもまず学習者の自主性・自発性を尊重するところから出発して、学ぶ内容・方法・手順を学習者自身が選び取るところにその特徴があります。しかし、学習者が最初からすべて行えるわけではありません。さまざまな働きかけや機会の提供、学習支援が必要となり、そのための計画は学習者との一種の契約ととらえられます。それゆえそれぞれの学習要求にそった計画づくりを進めるという視点が重要となります。

1単位め 解説

成人を対象とした社会教育においては、住民主体・住民参画（学習者の計画への参加）ということが重視されます。この考え方を踏まえて行政としてどのような観点から自発的・自主的な学習活動の支援を行っていけばよいのか、「おとなの学び」の特徴に配慮しながら書いてください。

2単位め 解説

社会教育施設の代表的な例として、公民館・博物館・図書館・青少年教育施設・婦人教育施設などがあります。これらの中から一つを例に取り、とりあげた施設の目的、役割、機能を踏まえたうえで、現状を検討し、施設運営も含めて今後の課題および改善策について考察してください。

3単位め 解説

誰でも日常生活の中で直面している問題はさまざまあり、そのなかには自分だけでなく地域に住む他の人々にも共通する課題が少なくありません。そうした課題を一つ取り上げて解決していくための学習事業計画を作ります。事業のテーマ、ねらい、事業形態、学習内容（学習プログラム）、学習方法、講師・教材、場所、時間、対象者、準備手順などを盛り込んで、自分が事業を進める立場になったつもりで計画書を作ってください。

4単位め 解説

「社会教育に関する諸計画を立案すること」（社会教育法第17条）が職務の一つとされている社会教育委員の役割を踏まえながら、社会教育関係職員（教育委員会事務局職員）が委員とどのように協力していけば住民のニーズを反映した計画づくりができるのかを考えてみてください。

参考図書

酒匂一雄他編著『生涯学習の方法と計画』国土社、1993年

小林 繁著『学びのトポス——社会教育計画論』クレイン、2000年

現代社会と社会教育 I

科目コード ● 050308

担当教員 ● 内藤 隆史

2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会教育

選択 A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

現代社会の特徴のひとつとして、高齢化の進展があげられます。高齢化の未曾有の進展は、今後、社会のさまざまな領域に変化をもたらすことが予想されており、私たちがこれからの高齢社会をどのように生きるのかということとともに、一人ひとりが自らの高齢期をどのように生きるのかという課題が重要となってきましたし、そのなかで社会教育の果たす役割はますます大きなものになっています。本科目は、高齢社会に対する理解を深めるとともに、高齢社会における高齢者自身をはじめとした私たちの学習活動や社会参加活動のあり方を考え、社会教育の現代的課題を検討することを目的としています。

教科書・資料

1) 嵯峨座晴夫著『高齢者のライフスタイル（シリーズ・高齢社会とエイジング5）』
早稲田大学出版部、1999年

2) 資料（主に「1単位め」に使用）

内閣府共生社会統括官少子化対策高齢社会対策のホームページより

① 「高齢者に関する国際比較調査 第4回 高齢者の生活と意識に関する国際比較調査の結果について」 http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h07_kiso/a_11.htm

特に次の項目を参考にする。

（家庭生活に関して）（職業生活に関して）（地域での社会生活に関して）

② 「第5回 高齢者の生活と意識に関する国際比較調査結果の概要」

http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h12_kiso/gaiyou.html

特に次の項目を参考にする。

「(2)家庭生活について」「(5)就労について」「(7)社会とのかかわり、生きがい」

（平成16年度履修登録者）昨年度までの教科書、および課題にもとづいてレポートを提出することも2007年9月末までは可能です。

レポート課題

1 単位め

日本の高齢者の学習活動と社会参加活動の特徴をまとめたうえで、今後の課題となる点について考察しなさい。

2 単位め

高齢化がすすむ社会において、どのような社会教育事業、または学習活動や社会参加活動があるとよいと思うか。学習プログラムをつくりなさい。

アドバイス

一般に、高齢者とは65歳以上の人を指しています。高齢化の進展とは、65歳以上人口が相対的に増えていくことですが、それはどのような社会的な変化をもたらすのか、またその変化がもたらす課題に取り組むにあたっての社会教育の役割とは何かを理解することが、学習の大きな目的のひとつです。その際、社会教育に関する政策、施策のみではなく、私たち自身がどのようにかわるのかという視点が重要でしょう。

一方、高齢者とは人生における高齢期というステージを生きる人である、というとらえ方もできます。高齢化率〇%……という数字ではとらえられない、喜びや悲しみをもって日々の生活をおくる個別具体的な存在として高齢者は生きていますし、その生き方はきわめて多様でもあります。たとえば、健康状態に即していえば、要介護の高齢者ばかりでないのはもちろんですし、「在宅元気老人」ばかりでないのは言うまでもありません。現代社会のなかで具体的な「生」を生きる高齢者、そして私たちが必要とするものは何かを考えることも、学習の目的となります。

なお、テキストではデータがやや古くなっている場合がありますが、当面の実態把握に支障はありません。学習者の必要に応じて、参考図書等で補ってください。

1 単位め
解説

私たちが暮らしている日本社会における高齢者の学習活動と社会参加活動の実態を把握することが課題です。

テキストは、高齢者をめぐっての人口統計上の特徴、経済、医療、福祉、学習・社会参加などについての統計的データを用いて記述的にまとめられたものです。履修者には全体に目を通して、高齢者をめぐる日本社会の全体像を把握しつつ、回答にあたっては、特に「7 高齢者の生活時間と学習・社会参加活動」pp. 203～234)を参考にしてもらいたいと思います。

一般に、ある事柄に関する日本の特徴を知るためには、他の国との比較が必要となります。配布資料に加え、可能ならば参考図書9)などによって、他の国との比較を試みてください。また、欧米の国々との比較だけから日本の特徴を言うことはできません（それ

は、たとえば東アジア的な特徴かもしれないのです)。

2単位め 解説

日本の現状、そして予想される今後の変化などを念頭におきながらも、既成のものにとらわれず、行政による社会教育事業、住民による学習活動や社会参加活動など、少し自由に発想してみてください。統計的な調査では少数派となる特徴をもった高齢者を考えてもよいでしょう。たとえば、健康状態を「良い」とする高齢者が多数派であっても、健康状態を「良くない」とする高齢者が切り捨てられてよいはずはありません。また、日本で暮らす外国籍の高齢者も少なくありません。なお、学習活動や社会参加活動の主体は高齢者に限定されません。高齢者や高齢期に関する若い世代の学習、世代間での交流活動あるいは高齢者以外の社会集団との交流活動なども考えられるかもしれません。

なお、この課題にある学習プログラムの作成は、上記したとおり「自由に発想して」よいのですが、参考となる具体例が掲載された文献の例をいくつかあげておきます。

- ① 岩井龍也・国生 寿・吉富啓一郎編著『生涯学習と社会教育計画』学文社、1992年
- ② 倉内史郎編著『改訂 社会教育計画（教育演習双書15）』学文社、1996年
- ③ 岡本包治ほか著『学習プログラムの技法（生涯学習テキスト4）』実務教育出版、1988年
- ④ 岡本包治編著『生涯学習プログラムの開発〔企画・展開・評価〕（現代生涯学習全集4）』ぎょうせい、1992年
- ⑤ 岡本包治著『生涯学習活動のプログラム』全日本社会教育連合会、1998年

参考図書

参考図書は、下記のものに限定されるわけではありませんし、全部を読む必要があるわけでもありません。学習者の必要に応じて参考にしてください。

- 1) 関口礼子編『高齢化社会への意識改革 老年学入門』勁草書房、1996年
- 2) 井上 俊ほか編『成熟と老いの社会学（岩波講座・現代社会学13）』岩波書店、1997年
- 3) 金子 勇著『地域福祉社会学 新しい高齢社会像』ミネルヴァ書房、1997年
- 4) 日本社会教育学会編『高齢社会における社会教育の課題（日本の社会教育第43集）』東洋館出版社、1999年
- 5) 天野正子著『老いの近代』岩波書店、1999年
- 6) 香川正弘ほか著『生きがいある長寿社会 学びあう生涯学習』ミネルヴァ書房、1999年
- 7) 堀 薫夫著『教育老年学の構想 エイジングと生涯学習』学文社、1999年

- 8) 田中尚輝・安立清史著『高齢者NPOが社会を変える（岩波ブックレットNo. 523）』岩波書店，2000年
- 9) 国立教育会館社会教育研修所編『社会教育指導者の手引 高齢社会と学習』ぎょうせい，2000年
- 10) 森岡清志・中林一樹編『変容する高齢者像 大都市高齢者のライフスタイル（復刻版）』東京都立大学出版会，2001年
- 11) 安川悦子ほか編著『「高齢者神話」の打破 現代エイジング研究の射程』御茶の水書房，2002年
- 12) 染谷倭子編『老いと家族 変貌する高齢者と家族』ミネルヴァ書房，2000年
- 13) 内閣府編『高齢社会白書』（インターネットでも閲覧できます）
<http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html>
- 14) 内閣府監修『高齢者の生活と意識 第5回国際比較調査結果報告書』ぎょうせい，2002年

現代社会と社会教育Ⅱ

科目コード●050309

担当教員●高崎 暁

2 単位

R

3 年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

主として、青少年問題と社会教育のかかわりについて学習をします。そのため青少年を正しく理解し、青少年期の特徴や発達課題や学習課題について学習するとともに、わが国の今日の青少年の実態を社会教育の視点でとらえ、青少年の今日的教育課題について理解を深めます。

また、青少年の社会教育については、家庭・地域社会・学校の機能と役割をはじめ、各種の学校外活動、スポーツ活動、芸術・文化活動、国際交流、ボランティア活動等の内容や方法について、また、青少年教育にかかわる指導者や、青少年のための社会教育施設の役割について学びます。

このことにより、青少年の社会教育の意義、内容、重要性を理解し、青少年問題と社会教育について理解を深めます。

教科書

- 1) 村瀬嘉代子・三浦香苗・近藤邦夫・西林克彦編『教員養成のためのテキストシリーズ5 青年期の課題と支援』新曜社、2000年
- 2) 伊藤俊夫編『豊かな体験が青少年を育てる』財全日本社会教育連合会、2003年

レポート課題

1 単位め

青少年教育の重要性について、発達課題や学習課題、今日的教育課題の視点から論述しなさい。

2 単位め

青少年の豊かな人間性を育むために、社会教育が果たす役割について考察しなさい。

アドバイス

青少年問題と社会教育の学習は、内容が幅広く深いので、専門必修科目（「生涯学習概論」）や専門選択科目（「社会教育行政論」、「生涯発達心理学」、「教育心理学」）等との関連をもたせながらすすめることが望ましいです。

学習を深めるためには、第1には、テキストの熟読であります。レポートの課題解決のための読みではなく、絶えず主題を意識して取り組んでください。内容をしっかり理解するために、参考図書の利用が重要です。資料等——たとえば、各省庁の統計や各種委員会の答申、または、民間の機関や団体が調査発表する意識、動向、実態（例えば「子どもの体験活動に関する国際比較調査」）など——は、テキストの内容を数値や事例等をもって裏付けることになり、知識を確実に習得することになります。

第2は、日常生活の中にも学習の機会が多くあります。新聞、雑誌等をはじめさまざまなマスコミのメディアを活用して、情報収集と整理をするように心がけてください。そこから、青少年が社会の動きにどう影響されて変容していくのかを学びながら、今日の青少年の意識や行動を理解することができます。

レポートの作成には、自説を明確にしてから取り組んでください。他説の切り貼りは説得力に欠け、執筆者の結論が見えないことになります。自説の組み立てには、学習を深めることと、マルチな洞察力をもつように努める以外に方法はありません。

1単位め 解説

ここでは、テキスト1)『青年期の課題と支援』を中心として学習を進め、レポート課題に取り組んでください。

青少年期の年齢幅については立場によっていろいろ分かれますが、社会教育では義務教育終了後からおおむね25歳未満を対象と考えられています。

人間はだれでも、その生涯において人生の節目ごとに達成が期待される発達上の課題もっているのです（これをロバート・ハヴィガーストは発達課題と呼んでいます）。当然、青少年期にも課せられた発達課題があります。また、この期に学習しなければならない課題もあります。さらに、今日の社会から課せられた教育的課題もあります。

これらをきちんと整理することが、今日の青少年の真の姿をとらえ、青少年の教育のあり方が明確になり、社会教育を進めていくうえで大切なことであります。

青少年は国の宝だと言われ、青少年教育の重要性については古今東西を問わず国民の大きな関心事であります。21世紀を担う今日の青少年の実像に迫りながら、社会教育のあり方を考えることにします。

2単位め 解説

ここでは、テキスト2)『豊かな体験が青少年を育てる』を中心に学習を進め、レポートの作成をしてください。

従来までは、社会教育は成人等が主たる対象として教育活動（成人教育）が行われ、青少年期の教育は、どちらかといえば学校教育が中心に展開されてきました。しかし、生涯教育論が登場し、その理念から青少年教育は家庭はもとより、学校教育や社会教育の面からも併せて行われるものであるとの考えが定着し、青少年を対象とする社会教育が活発に行われるようになりました。このため、青少年の社会教育が青少年の育成に果たす役割は大きく期待もされています。

とりわけ、今日の急激な社会構造の変化や、それがもたらす人々の意識や行動の変容が、青少年に大きく影響を与えるとともに、青少年教育に大きな課題を示唆しています。

したがって、1単位めで明らかになった青少年の社会教育の課題を、その解決のために、学校家庭地域社会がどう取り組んでいくのか、具体的な教育の内容や方法について考察してください。

参考図書

- 1) 生涯学習・社会教育行政研究会編『生涯学習・社会教育行政必携 平成18年版』第一法規, 2005年
- 2) 文部科学省編『文部科学教育白書 平成18年度』
- 3) 内閣府編『平成18年版 青少年白書』
- 4) 中央教育審議会答申(平成10年6月30日)「新しい時代を拓く心を育てるために——次世代を育てる心を失う危機——」

社会教育演習Ⅰ

社会教育演習Ⅰ 050312

科目コード●050312

担当教員●荒井 邦昭

2 単位

SR

3 年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

これまでに学んできた社会教育生涯学習についての理論を土台に、現実の成人の学習をめぐる状況を調査・分析し、問題を整理しながら学ぶ、という学習の方法を身につけていくことを主な目標とします。そのためにテキストを読むことは前提ですが、自分で調べてみたことから出発して疑問や問題を提示しあい、お互いの話し合いを通して問題を究明するスクーリングを大切にしたいと思います。ですから誘い合わせてスクーリングに出席されることを期待します。1人対1人では話し合いになりにくいからです。

今年度は関心の対象を、学習を保障する基礎的な施設である「公民館」（または名称は別でもそれに類する施設）に絞ってみたいと思います。市町村により、また個々の施設によりその状況はさまざまです。よかれ悪しかれそこに今の社会教育をめぐる状況が反映されていますので、そこから問題を明らかにしていきたいと思います。

教科書

長澤成次編著『公民館で学ぶⅡ 自治と協同のまちづくり』国土社、2003年

レポート課題

1 単位め

(スクーリング事前課題=このレポートは、スクーリングを受けるための準備です。したがって、スクーリングの日程の1週間ぐらい前までに送付してください。)

テキストを読んで、その内容を参考にしながらあなたの身近な「公民館」（名称は別でもそれに類する施設でもかまいません）の状況を調べてレポートにまとめてください。

2 単位め

(スクーリング事後課題)

スクーリングで明らかになったことをまとめてください（公民館の現状がなぜそうなっているのかその要因や、これからの公民館について必要と考えられたこと、また市民として自分がこうしたい、と考えたことなどです）。

アドバイス

テキストは、公民館でのさまざまな学びについて主として担当した職員によって書かれています。また第3章では公民館職員の力量の蓄積について書かれています。社会教育施設」というとき、ともすれば建物や設備の立派さに私たちの目がいってしましますが、そこで行われる住民の学習活動にとっては、職員のあり方がもっとも大きな要素です。それは、住民の一人として多くの人と学習や社会的な活動をしようとするときにも通じるものです。学習・文化・スポーツ・ボランティア活動を協同で進めようとするときの私たち自身の姿勢やものの見方もそこから得ることができるでしょう。そんな思いも含めて、公民館の調査をするときに、こうしてくれればよいのに、この点はすごい、私ならこうする、というようなことも考えながら見ていくとよいのではないのでしょうか。

1単位め 解説

実際に施設に出かけて、見学したり利用してみても書いてください。その際に、職員の方からどんなことに留意して仕事を進めているのか、苦勞することは何か、利用者や住民に望むことは何かなどの話を聞くことができれば最高です。また、公民館においてあるチラシや、年間の事業の計画、施設案内のパンフ、もらうことができれば「公民館要覧」や年度の「報告書」などの資料ももらってきてください。資料はスクーリングの際に持ってきてください。全部をレポート用紙に入れることはとてもできませんので、スクーリング1週間前までにレポートがまとめられなくても、資料だけは持参し、スクーリング中にレポートを提出してください。

2単位め 解説

スクーリングでの学習をもとに、わかったこと、これからもっと知りたいこと、等をどうしてそう思ったのかを中心に書いてください。スクーリングが土台にありますから、自分が考えたことを表現する、ということになります。レポートをまとめることで、自分の考えを整理することができると思います。その成果を「社会教育演習Ⅱ～Ⅳ」につなげてください。

参考図書

長澤成次編著『公民館で学ぶ 自分づくりとまちづくり』国土社、1998年

小林文人編『これからの公民館』国土社、1999年

社会教育演習Ⅱ

社会教育演習Ⅱ
社会教育演習Ⅲ

050313
050314

科目コード●050313

担当教員●岡田 清一

2 単位

SR

3 年以上

社会教育

選択A

平成19年度開講せず

社会教育演習Ⅲ

科目コード●050314

担当教員●星山 幸男

2 単位

SR

3 年以上

社会教育

選択A

平成19年度開講せず

社会教育演習Ⅳ

科目コード●050315

担当教員●寺下 明

2 単位

SR

3 年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

戦後日本の社会教育は、戦前の反省のうえに立って、民主的な社会をつくる一員である自主的な人間形成をめざす教育となっています（教育基本法）。そして、社会教育は、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動として規程されています（社会教育法）。このことは、社会教育が学校教育と深い関連をもって発達してきたことを示しています。

教育は本来社会的なものであり、社会の発展にともなう教育の必要性が歴史的に社会教育と学校教育を生み出し、発展させてきました。今日、生涯学習の見地から、両者の関連があらためて問われています。生涯学習体系化の中で、学ぶ存在である人間の原点にたち返って教育を問い直すことがいま求められているのです。演習では、生涯学習社会における日本の教育の抱える諸問題や社会教育の理念や役割等について、発表したり討論したりしながら議論を深めていきます。

教科書

堀尾輝久著『教育入門』岩波新書、1989年

レポート課題

1 単位め

スクーリング事前課題
送付されたテキストや参考図書等を参考にして、演習でとりあげたいテーマについてまとめてください。

2 単位め

スクーリング事後課題
スクーリングで発表したり討論したことを中心に、テーマにそってまとめてください。

アドバイス

社会の変化に対応する教育が求められる今日、生涯学習体系化の中で、社会教育の見直しや生涯学習推進の動きが強まっています。この点を踏まえ、日本の教育の現状と課題、さらには社会教育の理念や役割について等をまとめておかれるとよいでしょう。

1単位め 解説

学ぶ存在である人間の原点に立ち返って考察を加えることが肝要と思われます。社会教育や生涯教育の問題に限らず、広く教育に関することでも結構です。スクーリング1週間前までにレポートがまとめられなくても、資料だけは持参し、スクーリング中にレポートを提出してください。

2単位め 解説

スクーリングは6コマと短い時間ですが、学生相互、ならびに教員とのディスカッションを通じて学んだこと、感じたことを整理してまとめてください。

参考図書

- P.ラングラン著・波多野完治訳『生涯教育入門』全日本社会教育連合会，1989年
碓井正久編『講座・現代社会教育』亜紀書房，1980年
大槻宏樹編『自己教育論の系譜と構造』早稲田大学出版部，1981年

文化財の保護と活用

科目コード●050319

担当教員●岡田 清一

2 単位

R

3 年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

経済の高度成長期以降、各地に開発の波が襲い、多くの文化財が破壊されました。その間、多くの新しい知見を得ることができ、それとともに文化財を保護する動きが活発化もしました。文化財を保護する法的な整備も一段と加速化し、それまで重視されてこなかったものも文化財として保護の対象になっています。さらに近年では、復元整備も各地の史跡で活発に進められ、学校教育生涯教育との連携のもと活用が考えられ、さらに進められています。

経済重視から、精神的豊かさを考えるようになった社会の変化がその背景にあります。しかし、身近な地域に視点をおとせば、まだまだ文化財に対する関心の低さから、破壊に近い行為が行われているのも事実です。先人の残した文化財をわれわれの身勝手な考え行為によって破壊し、子孫に残す余地をなくすことは許されません。われわれには、先祖がそうしたように、豊かな自然とともに、こうした貴重な文化遺産を子孫に残す責任があるのです。

このような現状のなかで、今一度、文化財とはどのような意味をもっているのか、どのようにして保護すべきかを考えていただきたいと思います。

教科書

中村賢二郎著『文化財保護制度概説』ぎょうせい、1999年

レポート課題

1 単位め

現在の文化財保護制度が、明治以降、どのように推移してきたかについて述べるとともに、文化財保護とはどのようなことなのか、なぜ必要かを考えながら、現在の法制度の限界についても記述しなさい。

2 単位め

現在、文化財とはどのように分類されるのかについて体系的にまとめるとともに、それぞれはどのように運用して「保護」が行われているのかについて記述しなさい。同時に、身近な地域に存在する文化財について見学してどのように保護されているのか、その長所短所についても記述しなさい。

アドバイス

課題はすべて2項目からなっています。文化財とは何か、保護とは何か、なぜ保護する必要があるのか、活用と保護はどのようにすれば矛盾しないか、などの諸点に常に留意してください。

同時に、この科目は机上の学びであってはなりません。常に自分の生活している身近な地域にどのような文化財があり、どのように保護（放置）されているのか、活用されているのかなどについて、具体的に考える必要があります。

そのような視点を忘れずに、レポートを仕上げてください。

1 単位め
解説

(1) テキスト『文化財保護制度概説』の第2章を読み、近代国家によって体系化されてきた文化財保護の制度とはどのようなものであったのか、戦後の文化財保護制度との違いにも留意して、簡潔にまとめてください。

(2) 次にテキスト『文化財保護制度概説』の第1章を読み、文化財を保護するとは、われわれにとってどのような意味があるのか、についても記述してください。さらに、現行の文化財保護行政の限界についても記述できればベターです。

2 単位め
解説

(1) テキスト『文化財保護制度概説』の第3～7章を読み、文化財の種類、それぞれがどのような法体系によって「保護」されているのか、また、文化財の活用とはどのようなことか、その際の留意事項についても簡潔にまとめてください。

(2) 受講者の身近な地域にはどのような文化財があり、どのように保護され、どのように活用されていますか、あるいはまったく活用されず放置すらされているものもありますが、その実態について記述するとともに、いずれの場合もどのように対処すべきか、自身の見解を整理して記述してください。

東北の山岳信仰

科目コード●050321

担当教員●大迫 徳行

2 単位

R

3 年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

東北の風土や民俗文化を考える上で「山」は象徴的な意味をもっており、「山」に関わる多くの民俗事象を捉えて考える必要があります。

「山岳信仰」は、山岳や山中の寺社、仏閣を中心に展開することは勿論ですが、人々の根底にあるものは、死後靈魂が赴く他界（聖地）を「山」と認識していたその周辺も考えなければなりません。祖霊の集まる場所が「山」で、その靈力に守られて古くから宗教者たちが靈的呪術力を高め修得する修行の場でもあったのです。

一方、「山」は天界の神々と里人の接する場所でもありました。

「山岳」を修行の場とするのが「修験道」で、その影響を受けなかった「山岳」は皆無といってよく、東北では出羽三山、岩木山、早池峯山^{はやちね}、蔵王山、磐梯山などの山々は代表的なものといえましょう。

「山岳信仰」は、まずそれらの山々に属する修験者（山伏）の修行や信仰形態とその周辺の宗教活動を考えることが大切になります。また、農山漁村の人々は、あらゆる生活の場において「山」から多大な恩恵を受けてきました。たとえば、漁民の漁の目標とする標山、農民の播種時期を知る雪形などの事象から「山」を立体的に見、考えることができます。一方、里の人々の眺める「山岳」は他界であり異界で、妖怪や靈異の住むところと認識し、妖怪譚や天狗譚などが発生する要因にもなります。

以上のような「山岳」と関わる信仰や民俗事象を通して、東北民俗文化の特異性を考えていきたいと思います。

教科書

岩崎敏夫著『東北の山岳信仰』岩崎美術社、1995年

※この本は出版社在庫切れのため古書またはコピーで配本されますが、ご了承ください。

レポート課題

1 単位め

東北の民俗文化を考える場合、「山」は重要な意味をもっています。その「山々」の民俗の諸相から「祖霊と山との関わり」について考察しなさい。

2 単位め

身近な東北の山を事例に、「山岳信仰の特質」を説明しなさい。

アドバイス

「山岳信仰」は「民俗学」の研究対象のひとつです。「民俗学」は、民間の伝承を探り現行の習俗や習慣、それに現存する文献資料を調査研究し、その伝承されている諸事象が現代にどのような形で継承され、どのように生きているのか、その本義を考える学問です。

したがって、まず父祖が繰り返し行った生活の実態を記録する——採訪——ことから始め、また文献資料を援用し、日本人の心性を追求するところに目標をおきます。

聖なる「山」を父祖たちがどのように捉えてきたのか、多くの事象を挙げて考えていくことが大切だと思います。

1単位め 解説

日本人は「山」を霊地として認め、また固有信仰として靈魂は不滅なものとして死後昇華し、高い山に登り麓の子孫を守護するという考え方が東北地方には濃厚に見られます。特に顕著な「ハヤマ」、「モリノヤマ」の信仰を軸に、その祭祀方法などを通して考えればよいと思います。

2単位め 解説

教科書を通読してまとめることになります。「山岳」に関わる民俗の諸事象を、たとえば稲作の豊穰を祈る作神信仰、大人への仲間入りする「霊山登拝」や「十三参り」などの通過儀礼、修験道の日常生活への影響などを例に挙げて考えればよいと思います。

参考図書

1) 『山岳宗教史研究叢書』

戸川安章編『出羽三山と東北修験の研究』名著出版、1975年

月光善弘編『東北霊山と修験道』名著出版、1977年

2) 宮田 登著『山と里の信仰史』吉川弘文館、1993年

3) 他に、各県別『日本の民俗』（第一法規）や、各県、市町村史民俗篇などが参考になります。

女の民俗

科目コード●050322

担当教員●山本 玲子

2 単位

R

3 年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

「女の民俗」とは歴史の陰に隠れた女性たちの生き方や、「家」での女性の役割に着目していこうとするものです。地道に、手間ひまかけて作るものの中に女性たちの悲喜哀楽を見、同時に現代生活を省み、人間の幸福を考察していくことを目的としています。

本科目では特に衣生活の中では「麻」を、食生活の中では「稗^{ひえ}」を中心にその歴史や制作過程、利用の仕方を見ていきましょう。また、近代になって急激に廃れつつある「年中行事」をとりあげ、暮らしの中での人々の小さな喜びを見出していきましょう。さらに、「年中行事」「人生儀礼」「祭礼」「芸能」の中で使われる植物に着目し、その中に昔の人々の祈りや信仰を考察しましょう。

教科書

山本玲子著『花と香りと女のくらし』岩手出版、1987年

レポート課題

1 単位め

課題1, 2どちらかを選択して解答すること

課題1 「麻」の歴史と種蒔きから布になるまでのおおまかな制作工程を述べなさい。さらに年中行事、人生儀礼の中に麻が登場する場面があります。それぞれ1つずつ例を挙げ、それについて説明しなさい。

課題2 「稗」の歴史と種播きから収穫までのおおまかな工程を述べなさい。さらに年中行事の中に稗が登場する場面があります。2つ例を挙げ、それぞれについて説明しなさい。

2 単位め

「年中行事」「人生儀礼」「祭礼」「芸能」のそれぞれ1つずつとりあげ、その中で使われる植物について、どのような意味があるのか説明しなさい。

アドバイス

まずは広く民俗学とはどのような学問かということについて考えてみましょう。

民俗学、それは生活文化の諸相を研究する学問です。特に古来、名もなき祖先たちが営々として築き上げ、伝えてきた事象を対象として、それを歴史的に究明するとともに、物心両面からつぶさに究めるものです。

民俗学は“物”を扱いますが、“物”自体よりもそれにこめられている人々の“心”を探るものであることに傾注すべきです。

したがって人間科学の内面的、精神的な領域に迫る「精神科学」としての視点を持つことが大切です。

そのためには、民俗学的な事象（昔の生活）を過去のこととして関心の外に追いやるのではなく、また、一部の専門家の学問として見るのでもなく、現代を厳密に、大胆に、自由に研究することによって、自ずと古来の祖先たちの営みが見えてくると思います。

そこには自分自身と、家族の幸せや、より良い社会生活を進めるために努力し、工夫してきた跡を見出すことができます。

また、現代の物質文明の発達によって大切な何かが失われていることに気づくことでしょう。

生活全般が、自分の意志と労働力で貫かれていた、かつての庶民生活をふりかえることは、現代にも意義あることではないでしょうか。

1単位め 課題1 解説

かつての衣服の中心は「麻」でした。藩政時代の記録を見ましても、他領へ持ち出す物品に税を課して、交通交易を厳しく取り締まっていますが、その中には麻・布・真綿が含まれています。このように物質の流れを見ても、麻は生活に欠かすことのできない重要な物質であり、当時の生産や生活の様子をうかがうことができます。

まずは第三章の「麻の民俗」を読んでみましょう。

東北地方の庶民生活に木綿が入ってくるのは明治時代からですが、山間部では大正時代からになります。麻の歴史が長いことに気づかれるでしょう。

その麻の歴史はいつ頃から始まったのか、麻と木綿の感触の違いは何か、仕事着にする際の利点と欠点はそれぞれ何か、麻の収穫から播種まではどのような過程があるのか、麻の収穫後、どのように糸にし、布にしていくのかを簡潔に記述してください。

ここで注意していただきたいのは、地域によって多少の異なりがみられますので、必ず地域名を入れてください。

また、年中行事の中では、例えば小正月に道具に感謝する行事がありますが、そのとき

に機織りに使った物を並べたり、人生儀礼の中では例えば子供の着物の模様は麻の葉模様のものを着せる日があります。このように、どのような年中行事、人生儀礼の中に麻に関わるものが使われ、それにはどのような意味があるのかを簡潔に記述してください。

1単位め
課題2
解説

民俗学は稲作中心に研究されがちですが、ここでは非稲作について考えてみましょう。岩手県北地方では、坪井洋文氏のように「稲の民俗」に対して、非稲作の民俗として「イモ」を軸に考えるのは難しいと思われます。畑作物と考えた場合、「稗」が主軸であり、それを中心に畑作に関する儀礼や年中行事、信仰を考えてみてください。

まずは第三章の「稗の民俗」を読んでみましょう。

主食としての歴史はいつ頃からか、稗にはどのような特徴があるのか、稗の播種から収穫まではどのような過程があるのか、どのような脱穀・調整の仕方があるのか、それをどのようにして食べるのかを簡潔に記述してください。

ここで注意していただきたいのは、地域によって多少異なりが見られますので、必ず地域名を記載してください。

また、年中行事の中にも稗にかかわる行事を見つけることができます。そこにはいかに稗が人々の主食となる大切なものであったかをうかがうことができます。年中行事の中から2つとりあげ、それぞれについて簡潔に説明してください。

テキストはあくまでも参考として読んでいただき、他の事象を書き添えていただいても結構です。

2単位め
解説

1月1日の大正月の門松などに始まり、桃の節句のモモの花、七夕の笹竹等々、年中行事には必ず何らかの植物が飾られたり、神仏に供えられます。また、冠婚葬祭の中や神楽などの民俗芸能の中にも植物が登場します。

まずは第一章の「花ごよみ」と第四章の「民俗覚書」をご参照ください。

植物に視点を当てて見ると、植物には何らかの意味があって、人々の願いや祈りがこめられていることに気づかれるでしょう。そこには日本人の古来からの信仰を見ることもできます。

自分の生活の中や地域で行なわれている年中行事、人生儀礼、祭礼、芸能を見て、それぞれ一つずつとりあげ、そこで使用されている植物についてどのような意味があるのか、簡潔に記述してください。

参考図書

- 1) 高橋九一著『稗と麻の哀史』翠楊社、1983年

- 2) 宮田 登著 『ヒメの民俗学』 青土社, 1987年
- 3) 桜井 満著 『花の民俗学』 雄山閣1985年
- 4) 大島暁雄・佐藤良博・松崎憲三・宮内正勝・宮田 登編 『図説民俗探訪事典』, 1983年
- 5) 『日本民俗文化大系』 全15巻 小学館, 1983年

先史考古学

科目コード●050324

担当教員●梶原 洋

2 単位

SR

3 年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

先史考古学は、教科書『先史の観念』に述べられていますように、文字に書かれた歴史の一部である考古学、つまり歴史考古学に対して、それ以前の人類史研究の分野として生まれた言葉で、もともとは、ヨーロッパにおけるギリシャ・ローマの文明、あるいは中近東の古代文明以前をあつかうというニュアンスが強く意識された言葉です。

特に19世紀前半、ノルウェーのトムゼンは、考古学の対象を石、青銅、鉄という素材別に並べることを実行し、考古学資料を時間の変遷として理解する科学的方法ができました。さらに19世紀半ばには、ダーウィンの『種の起源』が発刊され、生物の進化が議論を巻き起こしました。同じころドイツのネアンデル渓谷でも、現在の人類とは異なった化石人骨が発見され、人類の起源がどこまで遡り、どのように今日に至ったのかという問題が科学の世界で俄然注目されることとなりました。人類起源の探究は、進化の問題ともあいまって、時代を揺るがす大問題となったのです。このようななかで、イギリスの初代エイブリー、ジョン・ラボックは1865年に『先史時代、古代の遺物と現代の未開人の行動により描かれたものとして』という本を著し、先史時代の存在を世界的に認めさせ、先史考古学を学問分野の一つとしたのでした。また、このイギリスのビクトリア時代のころは新しい学問の誕生の時でもあり、考古学・民族学（人類学）などがほぼ同時に産声を上げ、人類とは何かについて急速に研究のレベルが高まっていきました。

それ以後、今日に至るまで、人類史の大部分（今日約500～600万年前に遡る人類の起源の時から、文字が発明される約7000年前まで）は、先史時代に属することが明らかになりました。人類は太古の昔から、自然から食料を得る狩猟採集民として生きてきましたが、その暮らしはほぼ、人類史の長さと同じくらい続いたのであり、ようやく一万年前ごろになって、農耕が発生し文明が出現したのです。それとともに今日見られる多様な問題の淵源もまた、そこに遡るのです。

ここでは、先史時代の研究の過去現在未来について学び、その中から人類の来し方ばかりでなく、その行く末についても人類の先史時代という悠久の過去の視点から考察するこ

とを目的とします。

教科書

スクーリング時に資料配布

レポート課題

スクーリング後に提出してください

1 単位め

19世紀から20世紀の80年代までの先史考古学の発展過程を第1～5章、第9章を中心にまとめてみよう。その中で、研究者は、人類とその文化をどのように説明しようとしてきたのか。

2 単位め

第6～8章、第10章を中心にして、現代と先史考古学のかかわりについてまとめてみよう。それから人類の進んできた道筋を振り返り、農耕以前と以後の人類史について考察する。

アドバイス

1 単位め 解説

進化の考え方と人類史、伝播論、考古学的分類学（型式学）と文化の変遷、科学と考古学、考古学と説明などが大きなテーマです。

概要で述べたように、19世紀の前半からの新しい学問としての先史考古学がどのように生まれたのか時代の背景とともに考えてみるとおもしろいでしょう。初めは、ダーウィンなどの影響により進化論的変遷図式が流行し、20世紀の初頭からは、「文化」という概念で地域ごとの文化変遷を並べることが始まりました。なぜ文化なのか、それはどのようにとらえられてきたのか、伝播論や考古文化などを中心に調べてみましょう。最重要課題の一つとして進められてきた最古の人類を探る研究の進展はどのように発展してきたのかも興味深い問題です。第二次世界大戦以後は、科学的方法による年代や資料の分析がどのように影響を与えてきたのでしょうか。農耕の起源の問題、考古理論による「解釈学」の流行はどのようなのでしょうか。

2 単位め 解説

政治とのかかわりについて、「人種」と考古文化の問題から追求してみましょう。またも人類史としての先史学の持つ課題や戦争と文化財、文化財の破壊と密輸の問題など新しい課題についてもまとめてください。

参考図書

- 1) 江上波夫監修『考古学ゼミナール』山川出版社、1976年
- 2) V.G.チャイルド著、近藤義郎訳『考古学の方法』河出書房新社、1981年

- 3) J.H.エガース著 田中 琢・佐原 真訳『考古学入門』岩波書店, 1981年
- 4) Daniel, G. “150 Years of Archaeology” London, Duckworth, 1975
- 5) Van Riper, A. B. “Men among the Mammoths, Victorian Science and the Discovery of Human Prehistory” University of Chicago Press, 1993

科目コード●050325

担当教員●吉井 宏

2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

歴史考古学（Historic archaeology）が対象とするのはおよそ7世紀から20世紀までです。飛鳥の地に宮都が営まれた時代から始まり、近代に関しては産業革命の遺跡や第二次世界大戦の戦跡などを対象としています。つまり歴史考古学は文字資料のある時代を遺構・遺物という物質から研究する学問です。

テキストブックは「図録」ですから、気楽に眺めることもできます。読みながら歴史考古学がどのようなものを研究する学問なのかを知ってください。そして文献解題や史跡一覧を利用してレポート作成の手引きとしてください。なお、短い文章ですから億劫がらずに「序」もよく読んでください。

教科書

坂誥秀一著『「図録」歴史考古学入門事典』柏書房、1991年

レポート課題

1 単位め

飛鳥京（倭京）・藤原京・平城京・長岡京・平安京・大宰府・多賀城・城柵・朝鮮式山城・神籠石・地方官衙のいずれかを1つまたは複数とりあげレポートせよ。

2 単位め

中世または近世の遺跡・遺構・遺物を取りあげ、紹介または解説せよ。なお、遺跡・遺構・遺物については複数でもいずれかひとつでもよい。

アドバイス

1 単位め
解説

飛鳥京・藤原京・平城京は、言うまでもなく古代の宮都である。

飛鳥京は飛鳥の地に営まれた古代王都であり、宮（天皇の居所）は一時的に他の地に移ることもあったが、7世紀を通じておおむね飛鳥の地の中で移動し

ました。そこで、移動する宮を追って、小墾田宮・飛鳥岡本宮・田中宮・厩坂宮・百濟宮など、宮を数箇所にわたってレポートするのもよいですが、近年の調査で次第に明らかになりつつある飛鳥京の全体像に迫るほうが書きやすいと思われます。その場合はとくに飛鳥池工房遺跡、石神遺跡、水落遺跡、飛鳥京苑池遺跡など、最新の考古学的成果を盛り込んだものであることが望ましいでしょう。

藤原京については、特にその京城を中心とする研究史的なアプローチが考えられ、また平城京については、その発掘成果を通じて都に住む人々の生活に焦点を当てることができそうですが、都市構造の面をレポートすることも可能と思われます。しかし古代都市の設計プランという点でいえば、平安京も含め、古代の主だった宮都を相互比較することの方がレポートしやすいでしょう。

大宰府と多賀城は古代の行政において特別な位置にあります。一方は中国・朝鮮との、そしてもう一方は北方世界との交渉の窓口でした。そこでこれらについては軍事外交面に注目して相互の遺構を比較することも面白いですが、そのためには相当の知識が前提となります。それより、一方だけを扱ったほうが理解しやすいでしょう。大宰府は鴻臚館などの関連施設や大野城・基肄城などの朝鮮式山城及び水城を取り込んで書くことも可能です。一方、多賀城は胆沢城など他の城柵との比較において述べるのがしばしば行われますが、近年の目覚ましい発掘成果を考慮すると、多賀城そのものの紹介もできるように思います。

多賀城と胆沢城などとの比較という点については、城柵論として述べることのほうがより扱いやすく、また理解もしやすいはずです。東北地方に残る多くの城柵を比較検討することになりますが、遺構からそれらの政治軍事的役割を明らかにすることができれば完璧なレポートになるでしょう。

北辺の城柵に対して西日本の朝鮮式山城神籠石は、はるかに軍事性の強い山城です。先述の大野城・基肄城は大宰府を守る朝鮮式山城の代表例ですが、対馬には金田城、四国（讃岐）には屋島城、畿内には高安城というように軍事的要衝に朝鮮式山城は築かれました。いまだに所在が確定しない長門の城も含めて、立地論にも触れてみましょう。

他方、神籠石と呼ばれる一連の山城は、瀬戸内海沿岸から北部九州にかけて築かれ、石列に特徴を持ちます。朝鮮式山城と同じ頃に朝鮮渡来の技術者によって築城されたと考えられますが、まだ十分に解明されてはいません。神籠石に関しては、考古学的手段すなわち発掘が論争の決着をつけたといわれる「神籠石論争」がすでに第二次世界大戦以前にあり、神籠石という名称やその形態、地域性の問題もふくめて研究史そのものが大変面白い。また西日本各地の神籠石系統の山城は、近年発掘調査が進行しているので、それらの成果を用いて構造論を述べることもできるでしょう。

朝鮮式山城と神籠石との一方だけを扱うつもりでいたのが、調べているうちにいつの間

にか両者の比較検討論になっていたということもありますが、立地論などをまじえ、最初から西日本古代山城論として論述することの方がかえって論旨が明確になるでしょう。その時には怡土城なども含める必要があります。また、大野城や鬼ノ城であれば相当に発掘が進んでいる関係上、参考文献（資料）さえ入手できれば個別城郭論として単独にとりあげられることも可能です。

地方官衙の発掘も盛んに行われています。その中でも特に国衙は、各地で古くから継続的に調査が進められてきたことから、出土遺物の問題も含めて論述することができます。とりわけ瓦など特徴的な出土遺物については、国衙機構の変遷の問題などに関連して、ある程度まとまった論考に出会えます。ただそれらの論文は専門雑誌などに掲載されるのが普通で、なかなか一般の書店でめぐり会えません。それより国府域として広くとらえ、国分寺などの周辺の古代寺院に論及してもよいでしょう。

国衙以外の地方官衙は、自分の住まいの近くで関連遺跡の継続的発掘でもあればレポートをまとめることができかもしれませんが、個別事例の紹介であるにしる全体的な比較検討論であるにしる、専門的なことを細かくとりあげていかないと予定字数を越すことができない可能性があります。したがってよほど自信のない限り、国衙以外の地方官衙は取り扱わないほうが無難でしょう。

最後に評価の観点にもかかわることとして、全般的な注意点を述べておきます。

このレポートは何か結論を必要としているものではありません。もし結論的なものを求めるとしたら、それはレポートに直接盛り込まれなくても、古代の国家プロジェクトの規模を知り、そこから古代であることの特性を自分なりに理解してくればよいでしょう。またこのようなテーマであれば何を手がかりにして、どのように調べていくかという、調べ方の研究がなされれば、それもまたよしということになります。

インターネットなどを通じて得た情報でもよいですから、自分が知ろうとしていることはどのようなものなのか、まず概略を知って、次に何が問題なのかを意識しながら、事実を丹念に追ってください。自分なりの考察があればなおよいでしょう。

また歴史考古学としてほどよく記紀をはじめとする史料を用いつつ、考古学のレポートらしく物質面から古代の特性を明らかにしてください。

なお、図を使用する場合には、別紙を用意してそれに書く、またはコピーを貼り付けるようにしてください。なお、また図には必ず縮尺をつけてください。

2単位め 解説

中世または近世の遺跡・遺構・遺物を取りあげ、紹介または解説してください。

中近世遺跡の発掘は、高度成長期以後各地で盛んに行われてきました。そしてかつての地表面観察による歴史地理的研究や文字史料だけに頼る文献史学的研究では決

して得ることのできなかった新知見が次々にもたらされました。その結果に伴い、考古学的見地から遺跡を紹介する著述も各地で少なからず出版されてきました。

そのように、資料が豊富で自由にテーマが選べるという意味で、1単位めの古代に関する課題をこなした者にとっては、この出題はさほど難しいものではないでしょう。しかしどのような遺跡があり、発掘によっていかなる成果が得られたのかは、その分野に詳しい人でもない限り、知らないのが普通です。そこで以下には各地の代表的遺跡を列举しつつ、レポートのまとめ方についても若干触れておきます。

ところで、古代と中世とを集権・分権で区別すれば、中世は明らかに分権の時代といえます。律令制による中央集権体制という古代的理想は崩れ去り、荘園制的経済社会は「職の体系」と呼ばれる複雑な権利関係を生みだしました。そこではもはや単線型の支配構造は影を潜め、支配権そのものが中央政府と無関係のところて成立する可能性さえ生まれてきました。かつては国家に租税を負担していた班田農民たちも、^{にえ}贄を貢進していた漁民たちも、さらには^{こくが}国衙工房で働いていた各種工人たちも、古代国家との関係において次第に立場を変えていきました。富は地方に流れ、人も時には地方に流れ、そこに新たな拠点を生み出していきました。武士は次第に地方の支配者になろうとしていました。権力は確実に拡散していったのです。

こうして成立した中世には各地方の経済拠点としての都市も多く生まれました。津軽半島にあった^{とさみなと}十三湊は、北辺の雄である安東氏の拠点となった港町です。港湾都市といっても過言ではないでしょう。ここは10年以上に及ぶ発掘調査で、その繁栄ぶりが想像をはるかに超えるものであることを教えてくれました。しかし東北地方の中世都市を代表するものといえば、藤原氏の平泉をおいて他にありません。平泉から出土する白磁の質と量は同時期の都市遺跡の中でもぬぎんでおり、奥州の金に裏打ちされた経済力の大きさがしのばれます。平泉に関しては研究書も多く、近年のものはいずれも考古学的成果をふまえた論著となっています。

鎌倉に関する著作も多いです。鎌倉幕府所在の地であり、当然多くの遺構や遺物が地下に埋もれているはずですが、現代においても人口の密集する市街地は、狭い範囲をビルの立替などの折に短期間発掘することしかできません。しかし古くから調査は行われており、現在までに集積されてきた成果はあり余るほどの資料を提供してくれます。京都も似たような事情を持っています。現代人の生活する地下に、古代からの遺構が連綿として堆積しているのです。そのような事情から、中世都市としての京都はかえって実像をとらえにくいですが、南蛮寺、^{じゅらくだい}聚楽第など織豊政権下の京都に焦点を当てたり、豊富に出土する遺物に注目して、町の人々の生活の一端を研究するのも面白いでしょう。

堺や博多も興味深い事実を教えてください。この2つの港湾都市の空間利用（土地区画）には共通性があるように思われます。中世都市と呼ばれるものには構造上、共通の性

格が認められるのでしょうか。古代条里制的な地割りが行われたのでしょうか。江戸・大阪・京都の三都をはじめとする近世都市との間に違いは認められるのでしょうか。そんなことを考えながら複数の都市を比較できたらすばらしいでしょう。ただし堺や博多など多くの中世都市については、現地で出版されたもの以外に適当なボリュームを持つ著述はないのがふつうです。

近世都市といいましたが、江戸の地割りと共通点を持つのが姫路城の城下町ではないでしょうか。近世城郭の郭構成くわとその城下町との関係を探ることも面白いでしょう。都市と城郭という別々のものを組み合わせてレポートを書いてもよいでしょう。南蛮寺じゅうらくだい、聚楽第などの寺院や邸宅をどのように都市の中に配置するかは、当時の権力者が当然考えたことだから、都市をレポートすれば必然的にそれを構成する建造物がかかわってくるでしょう。

中世城館跡は、皆さんの家から10km以内の距離に、必ず一城や二城は存在したものです。そこが現在丘陵上の大規模な団地であれば、造成する前に発掘調査が行われていた可能性は高く、かつては中世城館が存在していたかもしれません。ただし現在までに各地で相当数の城館跡が発掘されているが、残念ながら全貌が明らかにされた城は数少ない。

城館に興味ある人は近くの公立図書館で、自分の住んでいる地域の市町村史（誌）を開いてみるとよいでしょう。あるいは都道府県および各市町村の埋蔵文化財センター・教育委員会遺跡調査会などが行った発掘調査報告書を調べてみるのもよいでしょう。最近の報告書は、一番最後のほうに遺跡の位置、時代、性格、出土遺物などが表としてまとめられているから、そのページを見つけて概要を知るのが早道です。案外、同じく中世近世であっても、城ではなくて寺社や祭祀遺跡・石造物の報告書が見つかることもあります。そうであれば無視せずにこれも一応マークしておくのがよいでしょう。しかし発掘報告書は一種の専門書であり、一般の人が利用しにくいかもしれません。そこで遺跡名がわかったら、それをキーワードとして参考文献・関連書籍がないか検索してみると、レポートを書く上で大いに役立つ書が見つかることもあります。レポートの書式は1単位めと同じです。

さて、中世考古学あるいは近世考古学の対象となる遺跡・遺構・遺物は多岐に及んでいて、ひとくちに遺物といっても、たとえば陶磁器や銭貨から流通の問題をテーマにすることができたり、出土する遊具から「子どもの遊びについて」という論文が書けたりするものです。したがって、前にも述べたとおり、このレポートではひとつの都市をテーマにして書き始めますが、主に書いたのは寺院のことだったということがあってもよいし、ここに示すような「あそび」とか「いのり」といった精神性・抽象性の高いものであってもおかしくありません。テキストブックは新装版第1刷が1994年に発刊されていますが、142頁以下の文献解題には相変わらず古いものが紹介されています。比較的新しい参考図書を

あげておきます。

参考図書

- 1) 大塚初重ほか編『考古学による日本歴史』雄山閣, 1996年～
- 2) 高橋康夫・吉田伸之編『日本都市史入門』(シリーズ1～) 東京大学出版会, 1989～1990年
- 3) 鈴木公雄著『銭の考古学』吉川弘文館, 2002年
- 4) 坪井清足・奈良国立文化財研究所監修『平城京再現』新潮社, 1985年
- 5) 舘野和己著『古代都市平城京の世界』山川出版社, 2001年
- 6) 中村修也著『平安京の暮らしと行政』山川出版社, 2001年
- 7) 村上幸雄・乗岡 実著『鬼ノ城と大廻り小廻り』吉備人出版, 1999年
- 8) 網野善彦・石井 進著『中世の風景を読む』(シリーズ1～) 1994～1995年
- 9) 萩原三雄・小野正敏編『戦国時代の考古学』高志書院, 2003年
- 10) 網野善彦著『日本中世都市の世界』筑摩書房, 1996年
- 11) 藤原良章・村井章介編『中世の道と物流』山川出版社, 1999年
- 12) 石井 進・萩原三雄著『中世の城と考古学』新人物往来社, 1991年
- 13) 平泉文化研究会編『日本史の中の柳之御所跡』吉川弘文館, 1993年
- 14) 入間田宣夫著『都市平泉の遺産』山川出版社, 2003年
- 15) 鎌倉考古学研究所編『中世都市鎌倉を掘る』1994年
- 16) 河野眞知郎著『中世都市鎌倉 遺跡が語る武士の都』講談社, 1995年
- 17) 京都市埋蔵文化財研究所編『つちの中の京都』真陽社, 1996年
- 18) 京都市埋蔵文化財研究所編『つちの中の京都2』ユニプラン, 2001年

科目コード●050328

担当教員●高橋美由紀

4単位 | R or SR | 3年以上

社会教育
選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

社会のグローバル化、そして戦後の高度経済成長を経て豊かになった日本社会を覆う閉塞感。現代社会は深い霧の中に迷いこんでいるように思われます。この迷路から抜け出すためには、もう一度過去の日本人の歴史的文化的営みを振り返る必要があります。

この講義では日本文化の歴史を、とくに精神文化に重点を置きながら学びます。中国という巨大文明圏の周辺に位置する日本は、有史以来、その文化的な大波にさらされながら自らの文化を築き上げてきました。その際、日本人は外国文化を自分たちの身の丈に合うように変容させつつ独自の文化を創り上げてきたのです。その変容の姿を通して、日本文化とは何かを考えていこうと思います。

教科書

大隅和雄著『日本の文化と思想』放送大学教育振興会、1998年

レポート課題

1 単位め	飛鳥・奈良時代における外来文化の受容とその特質について述べなさい。
2 単位め	鎌倉時代に新しい仏教諸宗派が誕生し広まったことの歴史的な意義を述べなさい。
3 単位め	江戸時代の文化に果たした儒教の役割について述べなさい。
4 単位め	外来文化の受容と変容から見た日本文化の特質について述べなさい。

1単位め 解説

「2 神々の祭りと日本神話」「3 仏教の伝来と受容」「4 律令制度と官人の学問」の3つの章を精読してまとめましょう。古代の日本は朝鮮半島や中国大陸から高度な先進文明を受容しました。その内容は、政治制度としての律令体制、仏教や儒教などの宗教や思想、文芸や絵画・彫刻などの芸術作品のみならず、建築や暦などの生活文化まであらゆる分野に及んでいます。しかし、古代の日本人はそのまま受け入れるのではなく、自らの伝統的文化に合わせて変容させることにより独自の文化を創り上げたのです。たとえば、仏教が伝えられた当初は、氏族単位で受容され、氏寺という形で寺院が造られました。これは、その時代が氏族社会であり、伝統的なカミ信仰も氏族という血縁的・地縁的共同体の信仰として機能していたためです。また、外来文化の受容が伝統的な文化を刺激し活性化させるという現象も、日本文化の歴史に顕著にみとめられる特徴です。例えば、寺院建築が伝わることによって神社建築が発生し、漢字に習熟することで漢文学が盛んになると伝統的な和歌への関心も高まり『万葉集』のような膨大な国民歌集が編纂されるようになりました。このような外来文化の受容のしかたの特徴をテキストを中心に読み取ってください。

2単位め 解説

「6 仏教の日本化と庶民への浸透」「8 芸能の成熟」の2つの章を精読してまとめましょう。平安時代末期には末法思想という仏教的な終末思想が流行し、公家社会から武家社会への転換期という政治的な動乱や天変地異の出による社会不安とあいまって人々の救済への願望が極度に高まった時代でした。このような時代背景を背負って、新しい信仰を説く仏教者たちが次々と登場しました。彼らはともに庶民の救済を高く掲げて布教活動を行ったところに特徴があります。その教えは広く社会に浸透し、今日の仏教宗派の主流を形成することになったのです。この新しい宗派の出現と、その後の展開の様相、さらに、天台宗や真言宗などの古い宗派や伝統的なカミ信仰との関係についてまとめてみましょう。

3単位め 解説

「9 儒教とその日本化」「10 国学と洋学」「11 町人文化とその思想」の3つの章を精読してまとめましょう。儒教は古代以来日本に受容されましたが、それが本格的に社会の各層にまで広く影響を及ぼすようになったのは江戸時代のことです。安土桃山時代以後、日本の社会は世俗的な様相を強めました。その結果、仏教の文化的影響力が後退し、それにかわって世俗道徳を説く儒教が広く受け入れられるようになりました。また、儒教は緻密な学問体系を持つものであったために、和歌や物語を研究する伝統的な和学に刺激を与え、国学という新しい学問と思想を生み出すとともに、

西洋の学問を受容する基盤ともなりました。他方、幕府は儒教道徳を柱として庶民道徳の涵養かんようにつとめたこともあり、近世社会の庶民生活に大きな影響を与えることともなつたのです。このようなこうはん広汎な儒教の影響についてまとめてみましょう。

4単位め 解説

丸山真男は日本文化の特質を「タコ壺型」と表現しました。新しい文化が伝来しても過去の古い文化は消滅することなく保持され、幾重にも重なりあって日本という器の中に保存されている状況を表現したものです。その秘密はどこにあるのでしょうか。外から新たな文化が入ってくると、日本的な変容を経て受容されると同時に、伝統的な文化がその刺激を受けて新たな展開を見せるという特質をこの国の文化は持っているように思われます。そんな特質を、テキスト全体を通読することによってまとめてみましょう。

参考図書

- 1) 石田一良編『日本思想史概論』吉川弘文館, 1963年
- 2) 末木文美士著『日本仏教史 思想史としてのアプローチ』新潮文庫, 1996年
- 3) 源 了圓著『徳川思想小史』中公新書, 1973年
- 4) 佐藤弘夫編『概説日本思想史』ミネルヴァ書房, 2005年

日本美術史

科目コード●050329

担当教員●濱田 淑子

2単位 | R or SR | 3年以上

社会教育

選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

「日本の美術」といったら、皆さんは何を思い浮かべるでしょう。国宝という価値と権威を与えられた飛鳥時代の「百済観音」や天平時代の「阿修羅像」などの仏像でしょうか。平安後期の「源氏物語絵巻」や室町時代の雪舟筆「山水長巻」、桃山時代の俵屋宗達筆「風神雷神図」でしょうか。日本美術には作者が明らかな場合と、誰が制作したものかわからない作品が多くあります。しかし、これらは祈りの対象として作られたもの、身辺を飾るためのものなど、それぞれの時代の中で必然性がある生み出されてきたものなのです。美術を深く理解するためには、作品の表現方法や主題を明らかにすることとともに、政治、社会、文化などの時代背景の中でとらえることが大切であるという視点を忘れないでください。

そこで、「～史」という時に常に問題となるのが時代区分です。日本美術史も研究者のさまざまな見解によって、区分の年代に「ずれ」が生じている現状がありますが、ここでは教科書の時代区分に沿って学習を進めていきましょう。

東北福祉大学には芹沢銈介美術工芸館があります。人間国宝で日本を代表する芸術家芹沢銈介(1885～1984)が制作した作品と、生前に収集した、世界のさまざまな国々の、さまざまな民族が生活の中で使用した工芸品を収蔵・展示しています。美術品を鑑賞して楽しむだけでなく、学習のテーマを見つけ出す場所としても活用してください。

教科書

辻 惟雄監修『カラー版 日本美術史』, 美術出版社, 1991年

レポート課題

1 単位め

教科書では12に時代区分されていますが、その中から最も関心を持った時代を一つ選んでください。次に、自分がなぜその時代を選んだのかを述べたうえで、美術の特徴を具体例を5点以上挙げながら論述してください。

2 単位め

神社、寺院、博物館施設（東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館も含む）などを見学して、心引かれたものを一点選んでください。そのうえで、それを見た時にどのように感じたかを述べ、次に表現方法や、作られた時代背景、作者などについての考察を加えてください。

アドバイス

1 単位め
解説

日本美術史が対象とする分野は、絵画、彫刻、工芸（染織、陶芸、漆芸、金工、木竹工、ガラス）、建築（庭園も含む）、書です。

時代区分は、教科書の12区分の中から1区分を選んでください。美術作品の具体例は必ずしも教科書に掲載されている例だけとは限りません。実物資料を見たり、参考書他の資料を調べることで、その時代を象徴するような美術を5例以上とりあげてください。美術の特徴を述べる際には、必ず美術が属する時代背景と関連づけて記すことを忘れないでください。

日本美術史研究では考古学、歴史学、文化史、国文学など関連学問の最近の動向に注意を払わなければなりません。研究課題によってはこれらの学問分野の参考書を読む必要がでてきます。

2 単位め
解説

美術品を鑑賞する時、私たちは既成の価値基準（権威によって作られた価値）でもものを見ることが多いように思います。かつての日本美術史の教科書を見ると、大寺院、皇室、王朝貴族、支配階級であった武将や大きな経済力を握った市民層が作り出した上品で、しかも高い技術を持った上層の美術を中心にした流れが述べられていました。これは、明治時代になって西欧の価値観が流入し、はじめて美術の概念も持ち込まれ、日本の文化の伝統を示す必要に迫られて作られた官製の美術史だったからです。しかし、現実を直視すれば、民衆のための素朴ながら力強い造形がいつの時代にも存在したはずですし、日本にもあくの強い、しかも刺激的な造形も存在したのです。朝鮮半島の普段使いの雑器に「わびの美意識」を発見した武野紹鷗たけのじょうおうや千利休せんのかちゅうにはじまり、岡本太郎（1911～1996）がダイナミックな縄文土器や土偶のすばらしさを発見したこと、柳宗悦やなぎむねよし（1889～1961）が日常の生活雑器もくじきぶつや木喰仏もくじくぶつの美を発見したこと、辻惟雄（1932～）が江戸時代のアバンギャルド・伊藤若冲いとうじゃくちゅうや曾我蕭白そがしょうはくに高い評価を与えたこと、それらは既成の日本美術史の概念に新たな価値を付け加えたといえます。

難しいことかもしれませんが、私たちも既成の観念や価値観にとらわれずに自由な精神で、ものの価値を見つけだす努力をしたいものです。

本学には芹沢銈介美術工芸館がありますが、芹沢銈介は前述の新しい美（民芸の美）の発見者柳宗悦の強い影響を受けました。柳の美思想に導かれて出発したのですが、やがて

既成の工芸にとらわれない独自の創造と収集を続け、新しい美の世界を作り上げたといえるでしょう。美術工芸館ではそのことを物語る足跡をたどることができます。

参考図書

- 1) 辻 惟雄・高階秀爾監修『岩波日本美術の流れ』全7冊 岩波書店, 1992年
- 2) 青柳正規ほか編『日本美術館』小学館, 1997年
- 3) 矢島 新ほか著『日本美術の発見者たち』東京大学出版会, 2003年
- 4) 辻 惟雄著『日本美術の歴史』東京大学出版会, 2005年

科目コード●050330

担当教員●原 秀一

2 単位

R

3 年以上

社会教育

選択 A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。平成18年4月生以降の入学者は履修登録できません。

科目の内容

美術に対する関心は、最近とみに高くなっています。国内でも外国の美術作品を、実際に目にすることができる展覧会も、数多く開かれています。

美術の歴史は、先史時代から現代まで、長い年月の間に生み出された数多くの作品ひとつひとつを通して、人類の創造活動の素晴らしさを伝えています。

本科目では、それらの貴重な作品がどのようにして生まれてきたのか、歴史的、社会的変遷のなかで芸術家たちがいかに感じ、考え、表現してきたのかを考察します。正確な知識を得ると同時に、優れた美術作品に接する喜びと、美を感じる感性を養ってもらいたいと思います。

教科書

高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社、1990年

レポート課題

1 単位め

教科書で12の章に時代区分されているなかで、最も興味のある時代を1つ選び、なぜその時代を選んだのかを述べ、美術の特徴を表す作品を5点以上あげ論述してください。

2 単位め

地元や旅行先で、美術館、画廊、ギャラリーなどの展覧会を鑑賞し、どのような展覧会か解説し、印象に残った作品を1点選び、主題や表現方法などを考察してください。(西洋美術の作品展に限りません)

アドバイス

1 単位め
解説

西洋美術史の対象分野は、絵画、彫刻、工芸、建築等です。

時代区分は研究者のさまざまな見解によって、年代にズレが生じる場合がありますが、ここでは教科書の12の時代区分の中から最も関心のある時代を1区

分選んでください。一つの時代でも、初期、中期、後期によって、表現様式が変化していく場合や、前の時代の様式と対照的な表現へと移行する場合など比較検討しながら論述してください。特徴を表す作品は必ずしも教科書に掲載されているものだけとは限りません。

2単位め 解説

はじめに記したように、最近では海外の美術館、博物館所蔵の西洋美術の作品展が国内で開催されたり、海外旅行で建築や遺跡、美術品に自ら対峙することができる時代になりました。文献資料や色彩の明確でない写真などを参考資料に研究していた時代から基本的な研究方法は変わらなくても、自分の目で本物を見つめ、優れた美術作品に接する喜びと、美を感じる感性を養うことは大変意義深いことです。

参考図書

教科書巻末に、時代ごとに掲載。

心理学実験Ⅲ

心理学実験Ⅲ 050507

科目コード ● 050507

担当教員 ● 木村 進・宇田川一夫
佐々木千鶴子・渡部 純夫

2 単位

SR

3 年以上

福祉心理
平成17年度入学者
選択A

※この科目は、平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。また、この科目のスクーリングは平成20年度までのみ開講します。

科目の内容

心理学は行動科学の一分野であり、どのような条件の下でどのような行動が生じるか、あるいは、ある行動はどのような条件で起こったのかなどということを明らかにしようとしています。そのための方法にはいくつかありますが、実験法もその一つです。

科学的知識とは、客観的事実として実証されたものをいいますが、心理学では、特定の要因(独立変数とよぶ)を系統的に変化させ、意識や行動(従属変数)がどのように変わるかということを明らかにしようとする手法があり、これを実験法とよんでいます。条件を厳密に統制するというところに実験法の特徴がありますが、心理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは、さまざまな角度から、この実験法について、その基礎を学ぶことを目標とします。

教科書

テキスト(プリント)は、スクーリング時に配布します。実験一般については、『福祉心理学科スタディ・ガイド』も参考にしてください。

授業の進め方

心理学実験Ⅲでは、下記の4つの実験を体験します。受講生は1日1種目ずつ、①実験についてのオリエンテーション、②実験を行う、③データの整理・分析、④レポートの作成という一連の作業を行います。翌日は別の種目を経験し、4回ローテーションして全種目を終わることになります。

*実験1「要求水準」(木村 進 担当)

私たちが何か課題(例えばテスト)に遭遇する場合、結果についての予測(○点くらいとれるだろう)や期待(○点くらいとりたい)をもつのが普通です。この予想や期待の高さを「要求水準」とよびます。この要求水準の高さは、個人によって、課題によって、あるいは場面によって変化すると考えられますが、実験では、同じ課題をするなかで要求水

準の立て方が個人によって、あるいは課題によってどのように異なるかを明らかにします。

*実験2 「投影法の基礎」(宇田川一夫 担当)

私たちの視覚は、通常外界を正確に見ていると理解しています。しかしそれと同時にたまたま「目の錯覚」をも経験しています。

本実験は、外界からの刺激を知覚がどうとらえるかだけでなく、外界からの刺激を内界がどのようにとらえ、そして外界をどのように知覚するかを実験的手法を使い検討します。

「桜」を見たとき、そのときの心理状態で同じ桜でもいろいろに映るはずですが、この心理過程を心理学では、「投影」といいます。たとえば、入学試験に不合格で気分が落ち込んでいたとしたら、散っていく桜に「哀れさ」を感じるでしょう。一方、恋人と見ている人には、桜は「美しい」と感じられるでしょう。このように同じ外界でも見る人の心理状態によって外界がいろいろに映る心理現象について検討します。

*実験3 「コラージュ法」(佐々木千鶴子 担当)

コラージュ法は、一枚の紙に雑誌や写真、新聞紙などの素材を切り貼りし、ひとつのイメージを作り上げることを意味するアートの一分野ですが、現在では心理援助技法のひとつとして用いられています。本実験では条件の異なる2つのコラージュを体験し、そのプロセスや作品の違いをSD法と自分自身の行動観察により検討します。

*実験4 「家族のイメージ」(渡部 純夫 担当)

イメージにはさまざまなレベルがあり、またさまざまな側面があります。実際に目をつぶってイメージしてみると、断片的にいろいろなことがらが浮かんできます。そこには対象の持つ物理的特徴や形態のみならず、対象の表象や対象との関係性も内包されています。本実験では家族に対するイメージをとりあげ、そこに現れる家族イメージの特徴について検討します。

評価の方法

評価は、①それぞれの実験において指示された内容についてのレポートと、②スクーリング終了時に提出してもらう単位認定レポートの2つに基づいて行います。①に関しては、1種目でも欠席しレポートが提出されない場合にはその時点で単位が与えられなくなるので気を付けてください。②に関しては以下に示す4つの課題の中から1つを選び、受講した年度の12月25日までにレポートを作成して提出すること(字数は1,000字以上2,000字程度4,000字以内)。もちろん未提出の場合、単位は与えられません。

レポート課題 スクーリング受講後Ⅰ 課題選択

課題1 (木村 進担当)	「要求水準」の高低は、結果の評価（満足・不満足）に影響を与える。この点について、①実験結果を分析して、どのような関連性があるかについて考察すること、②自分の経験に照らして、どのような関連性があるかを考察すること。
課題2 (宇田川一夫担当)	①知覚の明確さと共通性・一般性、②知覚の曖昧さと個別性という関係がある。そのことの具体的例をあげ、上記の知覚の特徴と関連づけて考察しなさい。
課題3 (佐々木千鶴子担当)	心理学における図と地の現象的差異について、「ルビンの盃」などを例に述べよ。
課題4 (渡部純夫担当)	イメージと意識、イメージと無意識についての関係を述べよ。

アドバイス

上記の課題から1つ選び下記期限内に提出してください。レポート用紙の「課題欄」に課題を、表紙の科目名記入欄の右側に担当教員名を必ず記入してください。

課題1 解説

(1) 結果の評価は、一般的には目標が達成されたかどうかで決まると考えられます。つまり、目標が達成されれば「満足」、達成されなければ「不満足」ということです。この場合は、目標（要求水準）の高さ（高低）は関係ありません。自分たちのデータおよび配布されたデータを分析して、このような傾向が成立しているかどうかをまず確かめてください。

(2) データがすべて上記の傾向で支配されている場合には、(1)でおしまいです。実際には、目標が達成されているのに「どちらでもない」あるいは「不満足、逆に達成されていないのに「満足」という場合があるかもしれません。そういう場合に、目標の高さ（高低）ということが関連しているかもしれませんので、結果の評価と目標との高さとの関連性を検討してみてください。

(3) 課題の②については、上記の(2)の場合について、自分の経験から材料を探して検討してみてください。

(4) 末尾に実験当日の結果データを貼り付けて提出してください。

課題2 解説

知覚の対象が、「明瞭」であればあるほど、その反応は「共通性・一般性」となるが、知覚の対象が、「不明瞭」になればなるほど、その反応は「私的・個別性」となる関係があります。

このような知覚の特徴を日常生活の中で具体的に見つけ、レポートしてください。なお、知覚の対象は、実験と同様に「ひとつの同じ対象の知覚変化」を具体的に見つけてください。別々の対象であれば日常生活の中に多くありますが、同じ対象の知覚の変化と反応の変化の関連性を見る「実験」の目的からはずれてしまいます。

どうしても見つからない場合は、実験とは別な材料を工夫して作り、周りの人に協力してもらい「実験」してください。その場合、実験目的の枠を超えない方法と結果分析が大切です。

課題3 解説

はじめに視覚を中心に説明をまとめてください。次に視覚以外の知覚について、自分自身の経験のなかで例をあげ、視覚の場合の図と地の関係を参考に考察し、記述してください。「視点を変えてみる」という表現は、視覚にのみ使用されることばではないということも参考にしてください。

課題4 解説

人間の深層をとらえていこうと考えたとき、イメージの問題は特に重要なものになってきます。フロイトもユングも夢の分析を手がかりにしながら人間の深層に迫ろうとしています。イメージの内容とパーソナリティとの関係が密であると考えたからです。フロイトは「心的現実」という言葉を使用しながら、この「心的現実」が「無意識」の領域に存在すると仮定し、探るための方法として「精神分析理論」を考え出しました。フロイトのいう「心的現実」こそイメージの世界といってよいのではないかと考えられます。

ここでは、イメージと意識ならびに無意識が、どのような関係を形成しているのかを学んでいただきたいと思います。意識から見たイメージと無意識から見たイメージとはどんなものなのかについて、理論にあたりまとめながら考えを掘り下げると同時に、イメージの活用についても考えていただきたいと思います。

イメージを定義することは至難の技だと思われます。いろいろな角度から接近を試み、イメージというものを自分のものにしていくための過程こそが重要だと考えます。イメージを考えることにより人間理解を深めていただきたいと思います。

参考図書

課題3

仲谷洋平・藤本浩一編著 『美と造形の心理学』 北大路書房 1993年

課題 4

水島恵一著 『イメージ・芸術療法』（人間性心理学大系 3） 大日本図書, 1985年

水島恵一著 『イメージ心理学』（人間性心理学大系 9） 大日本図書, 1988年

河合隼雄著 『ユング心理学入門』 培風館, 1967年

河合隼雄著 『イメージの心理学』 青土社, 1991年

河合隼雄著 『無意識の世界』 日本評論社, 1997年

河合隼雄著 『無意識の構造』 中公新書, 1977年

認知心理学

科目コード●050510

担当教員●大関 信隆

4 単位

R

3 年以上

社会教育

選択B

福祉心理

選択A

科目の内容

心理学は、日頃あたりまえと思って見過ごしている現象をとりあげ、科学的方法を用いてその本質を明らかにしようとする学問といえます。心理学の対象となるのは人の「意識」（これを「こころ」といってもよいでしょう）や「行動」ですが、「意識」は主観的で、それを客観的にとらえることはきわめて難しく、心理学の歴史を通じていろいろ測定法が考案されてきました。この努力は永久に続けられるものと思います。一方「行動」は、観察・測定できるので、「意識」に比べて客観的な事象といえます。しかし「行動」も「意識」の産物である以上、主観性を免れることはできないということになります。涙を流している人が必ずしも悲しんでいるとはいえないし、笑いもまたおなじです。また人は、大地の上の雪原と認知すれば、湖の氷上の雪原を馬で渡るという危険な行動もするわけです。この特定の状況における意識と行動の関係が、認知心理学の研究対象としてさまざまな観点からとりあげられ、その関係を説明するモデルがたくさん提出されてきました。

このような認知心理学を学ぶ態度としては、まず日常生活に広く注意を向け、自ら体験し考えることが大切です。テキストや参考書は情報を得るための資料とってください。

教科書

森 敏昭・井上 毅・松井孝雄著『グラフィック認知心理学』サイエンス社、1995年

レポート課題

1 単位め

認知心理学の成立過程を概観し、その学問的特徴や目的を整理しなさい。加えて、認知心理学におけるモデルの役割を述べなさい。

2 単位め

記憶の各段階を整理し、「知識の記憶」である「エピソード記憶」と「意味記憶」について述べ、さらに「意味記憶」に関する複数のモデルを比較しなさい。

3 単位め

感覚的順応 (sensory adaptation) が、私たちの日常生活において具体的にどのような現れ方をするか、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚などついて実例を挙げてください。次に、それらの感覚的順応は、私たちが生きていく上で、どのような問題を引き起こし、またどのような役に立つか考えを述べてください。最後に感覚的順応のような機制がなぜ生体に備わっているのか、解説をヒントにまとめてみてください。

4 単位め

創造的思考 (creative thinking) はどのような段階を経て成立するのでしょうか。具体的例を2つ示し、説明しなさい。

アドバイス

1 単位め
解説

人が外界の情報をとらえたり、ある事柄の手順を習得したりする、いわゆる狭義の「認知」は、人が精神活動を行ううえで切っても切り離せない事柄であり、これは心理学の創世期より関心が持たれてきたテーマです。しかしながら「認知心理学」という領域が心理学の一領域として芽生えてきたのは、比較的最近になってのことです。これには歴史的な背景が大きくかかわっています。この流れを理解することは認知心理学がどのようなアプローチを持つ領域なのかを知るうえでとても重要になります。

また、「こころ」は他の物質的な事象と違い、眼に見えないものです。しかしながら、また確実に存在していることも事実です。従来は、この「目に見えない存在」であるこころをBlack Boxとして手を付けずにいるか、もしくは主観的な解釈によってとらえてきました。「科学」を標榜する現代心理学では、この対象をいかにして科学的にとらえてゆくののでしょうか。その一つの方法として、認知心理学ではモデルの構築を重視しています。それらのモデル構築は、人のこころを科学的にとらえていくうえで、どのような意味・役割があるのでしょうか。またどのような問題点が含まれているのでしょうか。これらについて、各自まとめてみてください。

2 単位め
解説

「記憶」は人の精神活動にとって必須の要素です。これは認知心理学でも非常に基本的、かつ重要なテーマです。2 単位めはこの「記憶」に関して整理することが目的です。記憶に関する古典的な考え方として、記憶の過程（プロセス）を複数のステップからとらえる考え方があります。まずはこの各プロセスの持つ役割を整理してください。また最近ではこのプロセスの中に「作動記憶：working memory」という概念を持ち込んで、概念の発展がなされていますので、これもあわせて整理しておいてください。

次に、より具体的な記憶事象として、「知識の記憶」をとりあげます。私たちが日常

行っている記憶は、数字を覚えたり色の場所を覚えたりするような単純な記憶よりも、体験を通しての記憶や概念のまとまりをもった記憶を行う方が多いです。これは私たちの脳内に蓄積され「知識」として活用されますが、それは古典的な記憶プロセスの中でどこに位置づけられるもので、どのような特徴があり、どのように獲得されるのでしょうか。これを整理してください。さらに知識の記憶としての「意味記憶」には、その構造を説明するために複数の立場から複数のモデルが提出されています。これら複数のモデルについて、各々の特徴を概観しモデルの違いをまとめてみてください。

3単位め 解説

認知心理学は生体そのものをグローバルにとらえる視点に立ちます。私たちの見たり、聞いたり、考えたり、記憶したりする行動が、環境への適応という観点から解釈されるのも、その見方の一つといえます。したがって、これまで感覚心理学という領域でとりあげられ、精密な手法で測定されてきた現象も、新たな見方がされるようになりました。感覚的順応もそのような現象の一つといえます。

感覚的順応 (sensory adaptation) とは、変化のない刺激に持続的にさらされた時に生起し、刺激の印象が低減あるいは消失する現象をいいます。この現象は日々の生活において頻繁に起こりますが、必ずしも感覚感度の低下が生じる現象ばかりではありません。暗順応 (dark adaptation) は反対に感度が鋭くなります。つまり暗さの印象が低減するわけです。しかし私たちは、これらの感覚的順応現象が生体の生存にとってとても大切な役割を果たしていることを、日頃あまり意識しないで過ごしていることが多いのです。生体はその生存のために都合のよい機制をたくさん備えています。感覚的順応もこのような機制の一つとして、テキストなどを参考にしながら自分の考えを述べてみてください。

4単位め 解説

誰も考えなかったことを思いついたり、解決困難と思われていた問題を解いたりすることはすばらしいことであり、強い感動を引き起こし、また文明を進歩させる原動力にもなります。このようにそれまでの考え方とは全く異なる観点からの思考の仕方を創造的思考 (creative thinking) と呼びます。「棚からぼた餅」という表現がありますが、真の創造的思考とは、この喩えのように、特に努力もせず、幸運に恵まれるようなものではありません。そこには涙ぐましい努力の過程があるのです。しかし、どんなに努力してもよい解決法が見つからないのに、あっさりと見つけてしまうように見える人も確かに世の中には存在します。私たちはそのような人を簡単に天才と呼んでしまいがちですが、本当は天才とは人知れず、そして人一倍努力する人のことであるかもしれせん。

また私たちは、一生懸命考えても解決できなかったのに、全く別なことに従事していたとき、突然その解決法を思いついたという体験を、一度や二度はしているのではないで

しょうか。お風呂に入っているとき、眠っているとき夢の中で、乗り物に揺られているときなど、そのようなことが起こりやすいといわれています。そこにはどのような因果関係があるのか、またそれまでのものの見方（認知の仕方）に何が起こったのか、是非考えてみてください。レポートでは、解決のためにこのような「ひらめき」を要する問題を2つ以上紹介して、その解決過程を考察しながら説明してください。

参考図書

- 1) 御領 謙・菊地 正・江草浩幸著『最新 認知心理学への招待』サイエンス社, 1993年
- 2) 梅本堯夫・大山 正編著『心理学への招待——こころの科学を知る』サイエンス社, 1992年
- 3) 齊藤 勇著『図説心理学入門 第2版』誠信書房, 2005年
- 4) 大山 正編『実験心理学』東京大学出版会, 1984年

学習心理学

科目コード●050512

担当教員●村井 則子

2 単位

R

3 年以上

社会教育

選択B

福祉心理

選択A

科目の内容

心理学では、「学習とは、経験によって生じる比較的永続的な（行動・知識などの）変化」を指しています。日常語のいわゆる学習（勉強）も含まれますが、それよりもっと広い意味で使われています。

学習心理学には、それぞれ異なった歴史を持つ3分野が含まれています。第1は、条件づけで、1920年代から60年代までのパブロフやスキナーなど行動主義心理学の中心的テーマでした。第2は、記憶で、エビングハウス以来の伝統があり、言語や思考とともに認知心理学の中心的テーマであります。第3は、技能学習です。

半期2単位の学習心理学入門用教科書では、第1と第2、場合によっては第1のみをとりあげる傾向があります。しかし、学習心理学の全体を眺めるという意味で第3も含む教科書にしました。したがって、序章：行動と認知の学習、1章：古典的条件づけの基礎、2章：オペラント条件づけの基礎、3章：技能学習、7章：記憶と忘却を重点的に勉強してください。

教科書は主に右ページが図表になっています。心理学では、実験や調査の研究結果を図表で示すことが普通に行われているので、図表を読みとる能力をつけてください。

教科書

山内光哉・春木 豊編著『グラフィック学習心理学 行動と認知』サイエンス社、2001年

(平成15～18年度履修登録者) 2007年4月より、レポート課題1単位めが一部修正されています。『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

レポート課題

1 単位め

まず、主な条件づけの専門用語の意味をそれぞれ説明しなさい。次に、「古典的条件づけ」と「オペラント条件づけ」とは何かを述べなさい。そして、「古典的条件づけ」と「オペラント条件づけ」の適応的意味について考察しなさい。

2 単位め

学習心理学の知識を応用してください（どちらかを選んで答えなさい）。
 (1) 初歩的運動のコーチになったとしたらどのような工夫をして指導しますか。
 (2) 暗記物の試験に合格したい時に効果的な記憶力を高める方法を具体的に述べなさい。

アドバイス

1単位め 解説

まず、序章を読んで、「学習とは何か」を頭に入れてください。そして、「第1章 古典的条件づけの基礎」と「第2章 オペラント条件づけの基礎」を精読してください（教科書の右側ページに載っている図表をお忘れなく）。

学習とくに条件づけには、半日常用語になっている言葉もありますが、多くの特殊な専門用語が使われています。それらの言葉を具体的な実験的現象と結びつけて理解することから始めてください。こまごまとした用語の解説など煩わしいでしょうが、たとえば英語の単語や文法と同じで一通り知らないと前に進めませんので頑張ってください（主な用語は、教科書では、水色の活字で示されています）。本当は、すべての言葉を解説して覚えていくのが望ましいのですが、レポートの字数の関係で、とくにパブロフ以来の伝統を持つ古典的条件づけに関係した用語を重点的に解説してください。

次に、古典的条件づけとオペラント条件づけとは何かについてそれぞれ前に定義した用語を使って記述してください。

条件づけの適応的意味（なぜ条件づけは人間を含む動物が生き残るのに役立つのか）については、この教科書ではあまり強調してははっきりとは書いてありませんので簡単に触れる程度でかまいません。興味のある方は、参考図書2）を参照してみてください。

2単位め 解説

まず、第3章以下の章を一応目を通すつもりで読んでみてください。とくに「第3章 技能学習」と「第7章 記憶と忘却」を精読してください。そして、課題(1)と(2)で好みの方を選んで、教科書に書かれている学習の原則や現象を自分なりに応用するように工夫してみてください。

課題(1)は3章、課題(2)は7章がとくに参考になるとと思いますが、他の章にも関係することが書いてあります。

参考図書

- 1) J.E.メイザー著 磯 博行・坂上貴之・川合伸幸（訳）『メイザーの学習と行動 日本語版第2版』二瓶社, 1999年

※アメリカで定評のある学習心理学の入門書。次の2冊も本書を下敷きにしている。

- 2) 実森正子・中島定彦著『学習の心理 行動のメカニズムを探る』サイエンス社, 2000年

※条件づけの情動的側面と適応的意味を強調。

- 3) 篠原彰一著『学習心理学への招待——学習 記憶のしくみを探る』サイエンス社, 1998年

※やや図表は少ないが文章はわかりやすい。

- 4) その他：教科書の参考文献を見てください。

児童青年心理学

児童青年心理学 050516

科目コード ● 050516

担当教員 ● 西野美佐子
中村 修

4 単位 | R or SR | 3 年以上

社会教育

選択 B

福祉心理

選択 A

科目の内容

児童青年心理学は、人間の児童期と青年期における発達の姿と特徴、発達にかかわる要因の分析やそのメカニズム等を明らかにすることを中心におく発達心理学の一分野です。児童は狭義には学童期をさしますが、広義には、人間の誕生から、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期までの青年にいたる前の発達期をすべて包含します。そして、学童期に続く青年期にある個人の心理・行動を研究するのが青年心理学です。したがって、児童青年心理学で扱う対象は、児童期・青年期としておきます。

児童期・青年期の示す種々の行動や状態について一般的傾向を把握するばかりでなく、そのような発達をもたらす要因や条件の分析、発達の制御や発達過程を明確にするための理論の構築と検証、そして理論の適用へと児童青年心理学の課題は進展してきました。

それらを解明するためには、単に児童や青年を対象とする心理学だけではなく、心理学の他の領域——家族心理学、教育心理学、臨床心理学、コミュニティ心理学——はもちろんのこと、近接領域の科学——社会学、経済学、生物学、文化人類学——などとも、ますます密接に関係をもつ必要性がでてきています。児童・青年の理解とその行動科学のために、基礎的な知識と理論を学んで欲しいと思います。

教科書

- 1) 後藤宗理編著『子どもに学ぶ 発達心理学』樹村房、1998年（1・2 単位め）
- 2) 菊池武剋監修 沼山 博編集『トピックス 思春期・青年期と向き合う人のための心理学』中央法規出版、2004年（3・4 単位め）

（平成15～18年度履修登録者）2007年4月より、2)の教科書が変更になり、レポート課題が修正されています。これまでの教科書や『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で回答してください。

なお、今年度よりこの課題は2名の教員で担当します。1・2 単位め（児童の部分）＝西野美佐子先生、3・4 単位め（青年の部分）＝中村 修先生。再提出になった場合は、1・2 単位めと3・4 単位めは、それぞれ別々のレポート用紙を利用して提出してください。

い。スクーリング受講時は、今年度の教科書持参がのぞましいでしょう。

レポート課題

1 単位め	幼児期から児童期に移行すると、経験を通して自己の広がりや深まりが いっそう増す。児童期の発達の特徴を、知的機能と社会性の発達の両面から 述べなさい。
2 単位め	児童期から思春期にかけての社会化の問題について、発達のみならず 問題などから適応の問題を論じなさい。
3 単位め	青年期における親子関係の変化について論じなさい。
4 単位め	青年期にて行われる職業的選択プロセスの中でのアルバイト経験の活かし 方について考えなさい。

アドバイス

各課題について、テキストならびに関連参考書を読んで、丸写しにするのではなく、自分の言葉で、理解された内容をまとめるように心がけてください。その際、自分が大人になっていく道筋を振り返り素材とするのもいいでしょう。経験科学である心理学を学ぶことは、自分を含めて周囲の人や出来事を科学化することと考えることもできます。

1 単位め 解説

児童期は比較的安定した発達を遂げる時期だといわれてきました。しかし、現代は子どもの育つ環境が変化し、それに伴って子どもの生活様式が目覚しく影響を受けています。児童期における知的操作の発達は、ピアジェの認知発達にならうと、自己中心性を脱して具体的操作へ、そしてさらに形式的操作へと移行していきます。また、子どもの社会性の発達においては、遊び時間・仲間・遊び場の減少などにより、同性の仲間が群れて遊ぶギャングエイジが喪失したと言われます。児童期の発達について、健全育成の面からどのような手立てが必要か考えてみましょう。

2 単位め 解説

人間の発達の様態を見ると、児童期は比較的緩やかな成長を示しますが、児童期後期以降急激に成長する時期がきます。これは第2次成長期と言われ、子どもから大人への移行の開始を表すものです。今日の子どもは、メディア環境の急激な変化にさらされています。また、現代では子どもにおける身体発育の早熟化や早期完了化が進んでいることが指摘され「発達加速現象」と言われています。一方、情報化や少子化のなかで、子どもたちの心身のアンバランスな発達が社会問題化してきています。この時期に見られる一過性の不適応状態である情緒障害にはどんなものがあるかも踏まえて、実証的に論じてください。

3単位め
解説

青年期における親子関係については、まず「心理的離乳」といった概念のような「親から離れていく方向の変化」が挙げられるでしょう。たしかに児童から青年へと移行するなかで、子どもは自分にとっての「重要な他者」を親から「同年代の者」へと移していきます。しかしそのことだけで青年期の親子関係を語ることはできません。離れていくとはいっても、もちろん縁が切れるわけではなく、中心ではない「周辺」へと位置づけが変わる、ということになるでしょう。たとえ「距離」（物理的、心理的に）は遠ざかったとしても、親は大人になりつつある子どもにとっての大切な資源（簡単に言えば「支え」となるもの）としての役割を果たし続けるとも考えられます。そこで、親はどのような存在として青年の生活に関わりをもつのか（子どもにとって親はどんな存在として機能するのか）、それまでの時期とはどんな点が異なるのかまとめてみてください。その際、「青年期ではこう」というだけではなく、「それ以前はこうだったのに青年期では」という対比をしてください。

なお、他の課題も同様ですが、テキストの特定のトピックだけに着目するのではなく、他の章で触れられる事項を踏まえ、参考文献他からの情報も取り入れて、自分なりの整理をしてください。

4単位め
解説

青年期の終わりには「その後の人生で自分は何をして生きていくのか」に対する答えを出さなければなりません。たとえそれがその後修正されたりまったく別のものになっても、とにかく「一つの答えをだして」社会人・成人としての一歩を踏み出さなければなりません。その意味で、青年期は答えを出すまでの「探索」期として捉えることができるでしょう。

この答えは一人でじっと悩むことによって得られるわけではなく、実際に「社会と関わってみた経験」に基づいて考えることが有用となります。学校で行われる職場見学や短期職業体験、インターンシップは、学校が学生・生徒にそのような経験をつむことを求めて設定されているわけです。もちろん、漫然とただ経験し「楽しかった」「大変だった」というおおまかな感想をもつだけでは、「自分の選択に生かせる経験」にはならないでしょう。生きた経験にするためには、経験のなかからどのようなことを理解することが必要になるのでしょうか。

そして、学校などが用意してくれた経験だけが「選択に生かせる何か」を理解する経験ではありません。日常生活の中で青年が職業に触れる経験、特にアルバイト経験も、単にお金を稼ぐ手段としてだけでなく、何かを理解する経験へとその意義を変えることができるでしょう。

課題に答えるにあたっては、まずはエリクソンの心理社会的発達段階説とスーパーの職業的発達段階説から、「探索期としての青年期のありよう」についてまとめてください。

次に探索する中で、どのようなことを理解し発見することが、一つの答えに絞ること・選択することにつながっていくのか、明確にしてください。そして、そのために必要な体験の一つとして、アルバイト経験の活かし方について考えてください。

参考図書

- 1) 心理科学研究会編『心理科学への招待』有斐閣, 2004年
- 2) J.コールマン・L.ヘンドリー著 白井利明ほか訳『青年期の本質』ミネルヴァ書房, 2003年
- 3) 浦上昌則・三宅章介・横山明子著『就職活動をはじめの前に読む本』北大路書房, 2004年
- 4) 遠藤由美著『青年の心理 ゆれ動く時代を生きる』サイエンス社, 2000年
- 5) 斉藤誠一編『青年期の間関係』培風館, 1996年
- 6) 白井利明・都筑 学・森 陽子著『やさしい青年心理学』有斐閣, 2002年
- 7) 白井利明著『大人へのなりかた——青年心理学の視点から』新日本出版社, 2003年
- 8) 徳田安俊著『青年心理学入門——発達の課題とその理解』川島書店, 1982年

*生涯発達心理学の教科書・参考文献も「使える」はずです。

老年心理学

老年心理学 050517

科目コード●050517

担当教員●吉川 悠貴

4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択A

福祉心理
選択A

科目の内容

これまで老年期は一般的に否定的なイメージでとらえられてきました。しかし人間を生涯発達する存在として考えると、老年期は発達の最終段階にあたる時期となります。人間は加齢に伴ってさまざまな身体的変化や心理学的な変化を示しますが、それが実際にはどのように起こってくるのかを系統的に学習していくのがこの科目のねらいです。具体的には、老化の基本的考え方や知能に代表される精神機能の変化、高齢期のパーソナリティと適応、人間関係、高齢期に多く見られる認知症の問題などについて、心理学的な理解を深めていくことがこの科目の大きな目的です。

教科書

長嶋紀一編著『新版 老人心理学』建帛社、2003年

※「痴呆」という呼び方にはマイナスのイメージがつきまとうため、厚生労働省の「痴呆に替わる用語に関する検討会」で検討の結果、「認知症」という用語に呼び替えることになりました。教科書には、「痴呆性高齢者」などという表現が使われていますが、「認知症高齢者」と読み替えてください。なお、用語の変更の背後にある誤解や偏見の解消などという点にも配慮し、理解を深めてください。

レポート課題

1 単位め

加齢に伴う感覚や知覚の変化、精神運動機能や記憶の変化についてまとめ、それらの変化が実際の生活にどのような影響を与えていくのかについてまとめなさい。

2 単位め

高齢者の知的機能の変化がどのように現れてくるのかについてまとめ、知能の加齢による変化が実際にはどのように起こってくるのかについて解説しなさい。

3 単位め

高齢期に多く見られる認知症の特徴についてまとめ、具体的にどのようにかわっていくことが大切なのかについて述べなさい。

4 単位め

人間に必ず訪れる死の問題をとりあげ、人間的な生と死とはどのようなものなのか、また身近な人の死への対応はどうあるべきなのかについて論述しなさい。

アドバイス

レポート課題をまとめるにあたって考えて欲しいことは、単にテキストを見てそれを要約するのではないということです。高齢期に見られるさまざまな心理学的変化が、これまでにいわれてきた通説とどのように異なるのか、あるいはこれまで心理学という学問が高齢者のさまざまな問題をどのように明らかにしてきたのかについて理解を深めていかなければなりません。

以下に各レポート課題のまとめ方についてのアドバイスを行いますが、すべてのレポート課題について、各レポートの前半の部分はさまざまな研究成果などをまとめる形にしてください。後半部分ではそれらのテーマについて自分なりの意見を取り入れながら結論を出して行ってください。

レポートは、ただ単にテキストや参考文献をまとめただけでは評価の対象にはなりません。また自分なりの意見を述べただけでも評価の対象にはなりません。必ず課題に対する心理学的な研究成果を踏まえ、自分なりの意見を取り入れた形でまとめてください。またレポートの最後に参考にした文献も一覧にして載せ、レポート本文中の引用箇所文献番号を記載してください。

1 単位め 解説

加齢に伴う感覚や知覚の変化、精神運動機能や記憶の変化について

テキストの第2章を熟読し、文献なども参考にしながら感覚・知覚の変化や精神運動機能の変化が具体的にどのようにあらわれてくるのかについてまとめていきます。またそれらの変化が、高齢者の生活に実際にどのような影響を与えていくのかについて考えてみましょう。

2 単位め 解説

高齢者の知的機能の変化について

テキストの第3章を熟読し、文献なども参考にしながら高齢者の知的機能の変化が実際にはどのように現れてくるのか、これまでの通説と心理学的研究から明らかになってきたことがどのように異なっているのかについてまとめます。また高齢者を対象にした心理学的研究法についてもふれ、それぞれの研究法の長所や問題点についてもまとめてみましょう。

**3単位め
解説**

高齢期に多く見られる認知症の特徴と具体的な関わり方について

テキストの第6章を熟読し、他の文献も参考にしながら老年期にみられる認知症についてまとめていきます。具体的には、認知症の原因と種類、心理学的な特徴と具体的な対応の仕方などについてまとめてください。特にこの課題では、テキスト以外の文献も参考にしてみてください。

**4単位め
解説**

高齢者と死の問題について

テキスト第8章を熟読し、人間に必ず訪れる死の問題について考えてみましょう。具体的には、キューブラーロスの考え方を参考にして、死というものを心理学的にどのように考えていくのか、また人間的な死ということはどのようなことなのか、死にゆく人と遺された人に対してどのように援助していくべきなのかについてまとめてください。

参考図書

- 1) 加藤伸司・中島健一編『社会福祉士養成テキストブック 心理学』ミネルヴァ書房, 2003年
- 2) 下仲順子編『老年心理学』培風館, 1997年
- 3) 長谷川和夫監修 加藤伸司編『痴呆性老人の心理学 (高齢期の痴呆シリーズ5)』中央法規出版, 1992年

障害児の心理

科目コード●050518

担当教員●木村 進

4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉

選択

社会教育

選択B

福祉心理

選択A

科目の内容

「障害」という言葉を聞いて、皆さんはどのような印象や感想を持つのでしょうか。「心身障害児」とか「障害者」とよぶ以上、そこには何か意味があるはずです。保育や教育の場面を例にとれば、障害をもった子どもの保育・教育には、その障害の特徴に合わせた特別な配慮が必要だということを意味していると思われます。障害をもった子どもの保育・教育が的確に行われるためには、「障害」についてきちんと理解し、「障害をもつ人」の心理について基本的な認識を深める必要があります。

ここでは、障害をいくつかの種類に分け、その特徴、原因を理解するとともに、障害をもつ子どもや大人がどのような心理状態に陥りやすいかということを学習します。

教科書

中司利一著『障害者心理——その理解と研究法』ミネルヴァ書房、1988年

レポート課題

1 単位め	「心身障害児」などという場合の「障害」の意味について説明しなさい。
2 単位め	「知的障害児」の特徴と指導について説明しなさい。
3 単位め	「軽度発達障害」とは何かについて説明しなさい。
4 単位め	障害をもつ子どもの心理についてまとめなさい。

アドバイス

レポートを書き始める前に、この課題集と教科書や参考書の該当する箇所をよく読んで理解しておくということが第一に重要です。該当する箇所は1カ所とは限りませんから、課題に取り組む前に、少なくとも教科書については精読し、内容をつかんでおいてください。

『学習の手引き』序章に「レポートの書き方」を載せてありますので、もう一度読ん

で、作業手順を確認してから、レポート作成にとりかかってください。

1・2・4単位めは、基本的には教科書に書いてあることについてまとめ、それに参考文献等で肉付けをするという形で書けるはずですが、3単位めは、教科書ではまったくふれていない内容なので、自分で参考文献を探し出して書いてください。

1単位め 解説

最初のレポートは、「障害」ということの定義を書きなさいという課題です。教科書や参考書に載っている定義だけでなく、例えばWHOの定義とか、他の研究者の定義とかも探してみてください。

レポートは、定義を書き並べるだけでなく、それぞれの定義の内容について解説し、できれば相互に比較してみてください。そして、それらを総合して、自分なりの定義としてまとめてください。この部分がないと他の部分がいかに充実していても「不合格」としますので、気をつけてください。

2単位め 解説

2単位めは「知的障害」がテーマです。だいたい教科書の内容で書けると思いますが、次のような内容にしてください。①知的障害とは何か（定義）、②知的障害をもたらす原因、③知的障害の種類、④知的障害の心理的特徴。このレポートの中心は、④にありますので、①～③はコンパクトにまとめるようにしてください。

「知的障害」はもっとも数の多い障害といえると思います。もし将来障害児者関係の仕事をするとしたら、知的障害の子どもや大人を相手にする可能性が高いので、このレポートでしっかり学習してください。長い間「精神薄弱」とよばれ、その後「精神遅滞」とよばれるようになり、最近は「知的障害」が使われることが多くなりましたが、興味のある人は、そういう呼称の変遷が何を意味するか、ということについても考えてみてください。教科書の内容をただ写すだけでは不十分です。参考文献等の内容を検討して、より充実したものにしてください。

3単位め 解説

この課題は、「軽度発達障害」というものについての理解を深めるために設定したものです。障害児教育の歴史を見てみると、障害児（特に知的障害児）が「教育可能」「訓練可能」などと分類された時代があり、ある程度以上重い障害児は教育の対象になっていなかった時期がありました。その後、昭和54年に「障害児の全員就学」が実現し、重い障害の子どもにも教育の光が当たるようになりました。そして、現在は、通常学級に在籍するLD、ADHD、PDDなどの軽い発達障害をもつ子どもたちの教育をどうするかということが課題になってきています。こういう状況を受けて、ここでは、そういう「軽度の発達障害児」についての学習を進めることが課題です。

具体的には、上記のLD、ADHD、PDDのそれぞれについて、①定義、②そのような障害が起きる原因、③主な特徴（症状）、④基本的な教育（指導）のあり方の4点をレポートしてください。この課題は、文献探しから始まります。書店には比較的多く出ている文献なので、少し大きな書店なら見つかるはずですし、図書館にもあるはずです。また、スクーリングで来校した際に図書館で資料を手に入れるということも可能です。

他のレポートについても同じですが、あなたがたは、レポートを書くことによってそのことについての理解を深めるということが目標なのですから、自分で書いたレポートの中に専門用語など、言葉としては知っていても意味の理解が不十分な単語や言い回しが出てきたら、それについて[注]をつけて解説するというをやってみてください。そうすれば、何よりも自分にとってわかりやすいレポートになります。

4単位め 解説

「障害をもつ」ということは、子どものさまざまな面に影響を与えると考えられます。もちろん、その子のもつ障害の種類や程度によって影響が違ってくるでしょうし、影響する側面も、生活に対する影響、学習に対する影響、就職に対する影響、発達に対する影響など、さまざまな面が考えられます。ここでは、障害の種類や程度を特定せずに、一般的に「心理的影響」としてまとめてください。

この科目は「障害児の心理」ですから、この科目における学習の中心は「障害をもつ」ということが、どのように心理的に影響するかということにあります。ですから、この課題は、この科目の学習の締めくくりになる内容であり、テキストでもかなりの枚数を割いて論じられていることです。テキストを中心に、参考文献に書かれていることも参考にしてまとめてください。まとめる内容は、ほとんど教科書に書かれていますので、レポートとしては、ポイントをはずさずにいかに簡潔にまとめるかということと、だたらまとめていくとあなた自身の学習の成果が見えてこないの、どこかに焦点をしばって詳しく論じるということとの、どちらかが達成されれば、よいレポートだということになるでしょう。

参考図書

- 1) 田中農夫男・木村 進他編著『障害者の心理と支援』福村出版、2001年
- 2) 丸山美和子著『LD、ADHD、気になる子どもの理解と援助』かがわ出版、2000年
- 3) 熊谷公明著『発達障害の基礎』日本文化科学社、1999年
- 4) 栗田 広編著『広汎性発達障害』全国心身障害児福祉財団、1998年

科目コード●050520

担当教員●秋田 恭子

4単位 | R or SR | 3年以上

社会教育

選択B

福祉心理

選択A

科目の内容

心理療法は、今から100年前から形を成してきた学問領域です。他の科学と比べると若い学問領域ではありますが、急速に理論と実践が発展してきています。それは、物が豊かになった現代社会において緊急課題となっている親子関係、対人関係、自分らしい生き方など、いわば「心のあり方」に関する事柄にこの学問領域が応えているからでしょう。

人間の心は、複雑に機能しつつもある程度のまとまりをもって機能しています。現代のような複雑な社会において、人間が人間らしく生きていこうとするといろいろな要因により心が十分に機能しなくなることがあります。心理療法とは、深刻な悩み、症状（身体症状も含めて）、問題行動、人格機能等を心理的側面から援助する学問です。人間が複雑な心の働きをするため、その接近法である心理療法も多種多様となります。

そこでここでは、心理療法の基本的枠組みと各種心理療法の特徴等を学習することを目的とします。

教科書

水島恵一・岡堂哲雄・田畑 治編著『カウンセリングを学ぶ（新版）』有斐閣、1987年

レポート課題

1 単位め

第1章より第4章まで——次の4つの課題から1つを選び、レポートしなさい。その場合、どの課題を選んだのか、レポートに明示しなさい。

- (1) フロイト、アドラー、ユングの3人が理論化した「心の構造」の共通点と相違点について論述しなさい。
- (2) クライアント中心療法とジェンドリンの体験過程の共通点と相違点について論述しなさい。
- (3) エリクソンは、フロイトの発達理論をどのように修正し、自分の発達理論を発展させていったのか、論述しなさい。
- (4) クライアントと呼ばれる人とはどのような人なのか、またカウンセラーに求められていることについて論述しなさい。

2 単位め	<p>第5章より第7章まで——クライアント中心療法と分析的カウンセリングと行動的カウンセリングの中から1つを選び、以下の観点から論述してください。</p> <p>(どのカウンセリングを選んだかを「課題欄」に明記してください)</p> <p>1. 人間論 2. 病理論 3. 性格論 4. 面接の目標 5. カウンセラーの役割 6. クライアントの役割 7. カウンセリングを行う上で重視していること</p>
3 単位め	<p>第8章より第10章まで——次の2つの課題から1つを選び、レポートしなさい。その場合、どの課題を選んだか、レポートに明示しなさい。</p> <p>(1) 第8章のグループアプローチの事例を「グループ体験が個人にどのような影響を与えるか」について、クライアント中心療法を発展させたエンカウンター・グループの視点から論述しなさい。</p> <p>(2) クライシス・インターベンションとPTSD（外傷後ストレス障害）の関連を論述しなさい。</p>
4 単位め	<p>第11章より第14章まで——次の文章は、ある事例の要約です。この文章を読み、下記の課題をレポートしなさい。</p> <p>ある両親が、中2の子どもの不登校のことで来談された。家族は、祖父母、両親、長女、長男、次女、次男（本人）の家族である。父親は、一流企業の役員をしているが、祖父に頭が上がらず、家計は祖父母が管理している。したがって、嫁姑の関係は悪い。本人は、末っ子のこともあり、家族から溺愛されて育ってきた。不登校になるまでひとりで留守番することができなかった。また、2階の自分の部屋にひとりで行かれなかったので、家族の誰かがその都度ついて行った。祖父母も両親も社会的地位や名誉には敏感で、上の兄弟は一流の学校と一流の企業に就職をしている。本人は、小学校の時も不登校気味であったが、家庭教師をつけたこともあり、一流の中学校に入学したが、不登校に陥った。現在の本人は、テレビゲームを中心に昼夜逆転した生活をしており、家族とのかかわりを回避している。時々気に入らないことがあると両親に暴力を振り始めているが、風呂にも入らず、無気力な生活を送っている。祖父母は、こうなったのも両親の育て方が悪いからだと言っているが、夫婦でそのことについての話し合いはない。他の兄弟も本人のことに触れないようにしている。祖父母と両親の共通点は、本人が今の中学校を卒業して、有名高校に入学することを願っている。</p> <p>課題 発達のカウンセリングの視点も考慮に入れて、どのようにファミリー・カウンセリングをおこなっていったらよいか、論述しなさい。</p>

(平成15～18年度履修登録者)

2007年4月より、レポート課題2単位めが変更されています。『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

ここで使用している教科書は、「心理療法」を初めて学ぶ人を前提に選択しました。本書では、代表的な心理療法を取り扱っていますが、各心理療法を創始した創始者の生育歴や時代背景をとりあげ、読む側にとっては、それぞれの心理療法の形成過程と特徴について理解を深めることを容易にしています。教科書は、レポートを書く前提としての基礎的知識を習得する本として位置づけています。入門的で平易な文章であります。それぞれの文章には深い意味が込められています。この点を学んでもらいたくレポート課題を課しています。したがって、教科書のみでは、各レポート課題をまとめにくい点が多々あります。教科書の基礎的知識をもとに各レポート課題に興味ある課題を選択し、下記にとりあげた参考書等を読み砕き、レポートを作成してください。また、心理療法に興味をもったなら各参考書に載っている本・文献や各自が見つけた本等を読み進んでください。

なお、レポート作成は、教科書、参考書、インターネット情報等の「抜粋」や「切り張り」や「内容の要約」、「あらすじの説明」ではなく、教科書と参考書等を熟読し、それを学習者自身の創意にもとづいて理論的に組み立て、レポートを作成してください。また、心理療法という科目の性質上、個人的体験談等を書きたくくなりますが、提出されたレポートは成績をつけるものですので、個人的経験談等は評価の対象にはなりません。あくまでも心理療法という学問についてレポートをしてください。

1単位め 解説

(1) フロイト、アドラー、ユングの3人は、それぞれの独自の心理療法を創始しました。心理療法の目的は、クライアントの人格の変容です。そこでまずそれぞれの心理療法は、人格（心の構造）をどうとらえているのかを理解する必要があります。独自の心理療法の理論と技法を創始した3人は、人格をどのようにとらえているのかを理解した上で、3人の「共通点」と「相違点」を中心にレポートしてください。

なお、それぞれの理論を中心にレポートを作成すると課題である「共通点と相違点」が、書ききれなく恐れがあります。3人の理論を理解した上で、「共通点と相違点」を中心にレポートしてください。

(2) ロジャースは、クライアント中心療法を創始しました。ロジャースの弟子であるジェンドリンは、クライアント中心療法を基礎にフォーカシング（体験過程）技法を創始しました。この2人のカウンセリングの「共通点」と「相違点」を中心にレポートを作成してください。

なお、クライアント中心療法と体験過程の説明を中心としたレポートは、2人の「共通点と相違点」の課題が希薄になります。2人の理論を理解した上で、両者の「共通点と相違点」

違点」を中心にレポートを作成してください。

(3) 精神分析を創始したフロイトは、独自の発達理論を構築しました。まず、精神分析の発達理論の理解が必要です。その発達理論をもとにしながらエリクソンは、フロイトの発達理論をどの点を批判し、どのように修正を加え、そして独自の発達理論を構築していったかを中心にまとめてください。

フロイトとエリクソンのそれぞれの発達理論の記述がレポート課題ではなく、エリクソンがフロイトの発達理論をどのような点を批判し、それをどのように修正をして、彼独自の発達理論を構築したかがレポート課題です。

(4) クライアントと呼ばれる人は、どのような精神・身体の症状や問題行動等に悩み、苦しんでいるのか、を理解する必要があります。そのためには、発達の危機と精神医学的診断名の理解が必要です。また、このようなクライアントにカウンセリングをおこなうカウンセラーは、どのような資質や条件が求められるのか（または、どのような人は不向きなのかも含めて）、また責任性や倫理性等が求められているのかレポートしてください。

2単位め 解説

ひとつひとつの項目ごとに見出しを付けて論述してください。

3単位め 解説

(1) グループ体験が個人の成長にどのように影響を与えるか、クライアント中心療法を基礎としたエンカウンター・グループの視点から、グループ体験を考察してください。そのためには、クライアント中心療法の理解も必要となりますし、エンカウンター・グループの特徴の理解も必要となります。「個人の成長」に「エンカウンター・グループ体験」が相互にどのように影響を及ぼしているかという視点を取り入れてレポートしてください。

(2) 日本では、阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件等からPTSD（外傷後ストレス障害）が注目されるようになりました。心理療法の学問領域は、これらの事件・事故の被害者への危機介入（こころのケア）が求められています。そのためには、まずPTSDの心理的特徴の理解が必要です。そして、そのような心理状態の人にどのように危機介入したらよいか、留意点も含めて考察してください。

「クライシス・インターベンション」と「PTSD」のそれぞれの一般的説明ではなく、両者を「関連性」を中心にレポートしてください。

4単位め
解説

ひとつの事例を今まで学習してきた心理療法の知識をもとに考察してもらった課題です。

まず、中学生の発達の特徴の理解が求められますが、生育歴・家族関係が本人の人格形成にどのような影響を受けたのか考察する必要があります。エリクソンやフロイトなどの発達理論の視点も役に立つでしょう。

また、このような家族に心理的援助をしていく場合、ファミリー・カウンセリングの視点がカウンセラーに求められます。なお、ファミリー・カウンセリングは、その名称からただ「家族」に行うカウンセリングと理解しがちですが、今日では「家族療法」の名称が一般的です。家族療法にもいろいろな立場があります。その中で興味ある家族療法（ファミリー・カウンセリング）の視点から、この家族にどのようにアプローチしていくか論述してください。

上記の2つの支点を織り交せて、この事例を考察してください。

なお、発達心理学の一般的説明とファミリー・カウンセリングの一般的説明で事例を考察するのは、事例に則した考察というより「一般的説明」の要約に陥ります。

事例研究は、一般論（理想論も含む）をいかに事例に即した（具体的に役立つ）理論までかみ砕く作業が求められます。そのためには、発達の視点とファミリー・カウンセリング（家族療法）の両者の具体的に組み合わせた視点のレポートが求められます。なお、具体的にしなければなるほど、そのことを実行する上での留意点、問題点や限界点が生じてきます。その考察も大切です。

参考図書

【第1章から第4章】

- 1) R.I.エヴァンズ著 岡堂哲雄ほか訳『エリクソンとの対話』金沢文庫, 1971年
- 2) 小此木啓吾・馬場謙一編『フロイト精神分析入門』有斐閣, 1977年
- 3) 河合隼雄著『ユング心理学入門』培風館, 1967年
- 4) 河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』誠信書房, 1970年
- 5) 河合隼雄著『コンプレックス』岩波書店, 1971年
- 6) 神田久男編 飽田典子・宇田川一夫ほか著『心理臨床の基礎と実践』樹村房, 1998年
- 7) 佐治守夫著『カウンセリング入門』国土社, 1966年
- 8) 鑪 幹八郎著『アイデンティティの心理学』講談社, 1990年
- 9) 田畑 治・村山正治編『来談者中心療法』（講座心理療法Ⅰ）福村出版, 1977年
- 10) 村瀬孝雄著『フォーカシング事始め——こころとからだにきく方法』金子書房, 1996年

- 11) 村瀬孝雄・阿世賀浩一郎「体験過程とフォーカシング 上里一郎・鑪幹八郎・前田重治編著『臨床心理学大系 8 心理療法 2』金子書房, 1999年

[第 5 章から第 7 章]

- 12) 内山喜久雄・高野清純監修『講座サイコセラピー 1 カウンセリング』日本文化科学社, 1988年
- 13) 河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』誠信書房, 1970年
- 14) 佐治守夫著『カウンセリング入門』国土社, 1966年
- 15) 佐治守夫・飯喜一郎編『ロジャーズクライエント中心療法』有斐閣, 1988年
- 16) 上里一郎・鑪幹八郎・前田重治編『臨床心理学大系 7 心理療法 1』金子書房, 1990年

[第 8 章から第10章]

- 17) こころのケアセンター編『災害とトラウマ』みすず書房, 1998年
- 18) 西澤 哲著『子どものトラウマ』講談社, 2003年
- 19) 村山正治著『エンカウンター グループ』上里一郎 鑪幹八郎 前田重治著『臨床心理学大系 8 心理療法 2』金子書房, 1999年
- 20) 畠瀬 稔著『エンカウンター グループと心理的成長』創元社, 1990年
- 21) ロジャース, C.R.著 畠瀬 稔・畠瀬直子訳『エンカウンター・グループ』創元社, 1982年

[第11章から第14章]

- 22) 笠原 嘉著『青年期』中央公論社, 1977年
- 23) 河合隼雄・岩井 寛・福島 章著『家族療法』金剛出版, 1984年
- 24) 団 士郎著『不登校の解法 家族のシステムとは何か』文春新書, 2000年
- 25) 村山正治・山本和郎編『スクールカウンセラー——その理論と展望』ミネルヴァ書房, 1995年

障害児の生理・病理

障害児の生理・病理

050713

科目コード●050713

担当教員●松江 克彦
及川 隆

4 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択/資格

社会教育
選択 B

福祉心理
選択 B

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

14~18年度
入学者

科目の内容

心身に大きなハンディキャップを有する児童生徒の教育に携わる教員にとって対象児個々の発達段階、性格行動、知的レベルの把握とともに、生理・病理に精通することが必須条件です。

しかし、この分野は、医学はもとより、教育学、心理学、哲学など多専門領域と重なるものが多く広汎にわたっています。ここでは、障害種別に従い、知的障害の概念、肢体不自由の病理や療育、リハビリテーション、さらに病虚弱児、重度心身障害児を中心に学習します。加えて盲ろう児についても若干ふれます。

教科書

黒田吉孝・小松秀茂編『発達障害児の病理と心理（改訂版）』培風館、1996年

レポート課題

1 単位め	知的障害とは何か、その診断基準はどのようなものか。また、古くから言われている遺伝説について述べよ。
2 単位め	特別支援学校肢体不自由教育部門（肢体不自由養護学校）では、昭和36年以降、ポリオからCP中心となり、重度重複化・多様化が加速した。その理由を要約せよ。CPとは何か、その型の特徴について述べよ。
3 単位め	療育とは何か、リハビリテーションとの関わりや、種々の治療法について述べよ。
4 単位め	病虚弱（病弱と虚弱に分け）それぞれの定義について述べよ。また、喘息児について事例を挙げ、その病理や心理について述べよ。

アドバイス

テキスト（教科書）および参考図書を丹念に読んでください。難しい、大変だと思わずに、「わが子ならどうする」ことを想定して読むとわりあいスムーズに内容が理解でき、身

につくと思います。可能ならボランティア活動などを通してハンディキャップを持つ子や親たちに接してみてください。特別支援学校や肢体不自由児施設の見学もおすすめします。

1単位め 解説

知的障害は、微生物の体内への侵入による伝染疾患といった単純な一つの疾患ではなく、非常に複雑な発達異常に属する疾患群ととらえるべきものであることを念頭において取り組みましょう。診断や定義については、AAMR（アメリカ精神遅滞学会）やWHOの国際疾病分類, Doll Edgar, A. (1889-1968) の定義に目を通しておいってください。

2単位め 解説

特別支援学校肢体不自由部門（肢体不自由養護学校）には、病院（肢体不自由児施設）併設と単独とがあります。ここに入学してくる児童生徒の実態を調査してみてください。学校訪問することをおすすめします。Cerebral Palsy (CP) についてその病態像や型の特徴を調べることで、さらにPoliomyelitis（ポリオ）がなぜ消滅したか、どんな疾病か文献など読んでください。

3単位め 解説

「療育の父」と言われた高木憲次（1888-1963）元東大医学部教授について文献や『心身障害辞典』（参考図書）を読んでください。リハビリテーションの定義や基本的な治療法についても学習しておきましょう。

(例) Physical Therapy (PT)

身体のある個所の基本的な動きに障害が起こった人を救うために行われる治療法

- ・関節が固くなる、あるいは変形したりする
- ・病気のため長く使わなかったので弱くなった筋肉 etc

4単位め 解説

病弱、および虚弱の定義や病例についてもおさえておきましょう。また、それぞれの一般的特徴について学習してください。あなたの身近に存在すると思われる喘息、アレルギー体質の人について簡単な事例をまとめてみてください。このことによって、症状や発作の要因（環境、親子関係、子育てなど心理状態）も見えてくると思います。

参考図書

- 1) 石部元雄ほか編『心身障害辞典』福村出版, 1981年
- 2) 松本昭子・土橋圭子編『発達障害児の医療・療育・教育』金芳堂, 2002年
- 3) 大島久直『重度重複化・多様化に対応する心身障害児の教育的処遇』萩の郷工場, 2002年（非売品）

障害児の教育課程

障害児の教育課程 050714

科目コード●050714

担当教員●阿部 芳久

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択/資格

社会教育
選択 B

福祉心理
選択 B

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

14~18年度
入学者

科目の内容

教育課程とは、教育目的に即して、児童生徒の発達を保障するため学校が計画的・組織的に編成した教育プログラムです。そこには、教育目標、教育内容、教育方法が明記されなければなりません。

特別支援教育の対象は、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病虚弱、情緒障害、言語障害などの障害をもつ児童生徒です。知的障害児以外の障害児に対する教育課程は、基本的には普通の教育に準じた教育課程になっています。ところが知的障害児の教育課程は、普通の教育の教育課程に基礎を置いています。ところが知的障害児の教育課程は、普通の教育の教育課程に基礎を置いています。知的障害児の障害の特性および社会参加・自立を目的とした彼らの将来の生活の実現という観点から歴史的に特有の教育課程を築きあげてきました。この科目では、主として知的障害児を対象とした教育課程について学習します。

教科書

阿部芳久著『知的障害児の特別支援教育入門』日本文化科学社、2006年
(平成15~18年度履修登録者) 2007年4月より、教科書が変更になり、レポート課題1単位目が修正されています。特別支援学校制度創設にともない、レポート課題1単位目は必ず新課題で提出してください。

レポート課題

1 単位め

知的障害児を対象とする教育課程の構造を整理しなさい。まず、知的障害児の特別支援教育の指導形態のそれぞれの指導のねらいを整理してください。次に、障害児の特別支援教育における教育課程編成の特例を要約してください。

2 単位め

「領域・教科を合わせた指導」の中の「生活単元学習」と「作業学習」の展開例(事例)を各1つずつ選び、その内容を要約しなさい。

アドバイス

1 単位め 解説

まずテキスト p. 1 から p. 29 を読み、知的障害児の特別支援教育における教育課程の構造について理解してください。その後、課題に相当する内容を整理し、レポートを作成してください。

2 単位め 解説

月刊雑誌『実践 障害児教育』、および月刊雑誌『特別支援教育研究』に掲載されている「生活単元学習」と「作業学習」の事例を1つずつ選び、①指導の対象となる児童生徒の実態（障害や発達レベル等）、②単元の指導目標、③指導の展開の項目に分けて、その指導事例を要約してください。

参考図書

- 1) 『盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領（平成11年3月）解説——総則等編——』海文堂出版、2004年
- 2) 『盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領（平成11年3月）解説——各教科、道徳及び特別活動編——』東洋館出版社、2000年
- 3) 阿部芳久著『障害児教育 授業の設計』日本文化科学社、1997年
- 4) 月刊雑誌『特別支援教育研究』日本文化科学社
- 5) 月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社

資格科目

介護実習事前事後指導

科目コード ● 050701

担当教員 ● 広浦 幸一
後藤美恵子

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

社会福祉における援助展開は、個々の生活課題の解決を援助・支援するための実践活動です。介護実習は理論と実践、思考と体験とを有機的に統合化させ、福祉専門職としての実践活動の基盤を形成するものです。本科目は「介護実習」科目を包括した位置づけにおいて、施設の法的位置づけ、社会的役割と現状、対象者理解を深めるとともに、福祉専門職に求められる資質（倫理観・人間性・技能）および社会的役割についての理解を深化させます。さらには、福祉科教員として教育展開方法の考察をしていくことを目的とします。事前指導では、実習施設の概要（形態・業務内容など）理解を図るほか、社会福祉援助のための知識・技術・価値観・態度を確認します。事後指導では、実習を通して体感したことを振り返り、専門職育成の教育者として、自身の専門性の素養・資質の向上を図ります。さらに、一連の実習過程で習得したことを教育にどのように展開していくかを習得します。

教科書

介護実習事前指導スクーリング申込者に「介護実習の手引き」等を配布。

レポート課題

この科目の受講にあたっては、巻末の「介護実習登録カード」（スクーリング申込を含む）を提出することが必要です。登録の方法は p. 148～150をご覧ください。

また、まず自身で実習受け入れ施設をさがし、依頼をすることが必要です。介護実習の実習先として認められる施設の種別や依頼の方法も p. 151～158をご覧ください。

やむをえず実習施設の内諾を得られず事前指導を受講する場合も、実習を予定する施設について、「介護実習事前レポート」を作成してください。なお、予定施設と実施施設が異なる場合は必ず各自で該当施設のレポート作成をしてください。事前レポートの内容は介護実習に必要不可欠なものです。そのことから変更の場合においても各自でレポート作成をしてください。

<介護実習事前レポート=スクーリング受講10日前までに送付>

自身が実習を予定している施設について、下記の項目のレポートを作成してください。

※事前レポートは、本科目指定の書式に記入していただくことになります。

1. 施設概要

- ① 施設種別
- ② 施設の法的規定と理念 趣旨
- ③ 対象者とその具体的条件（利用要件等）
- ④ サービスの利用方法
- ⑤ 施設の設置基準
- ⑥ 社会的役割と現状の課題

2. 実習実施計画

- ① 実習目的
- ② 実習課題と取り組み方法

※事前レポートが不合格の場合は実習が不許可になる場合があります。スクーリング後すぐ実習を実施する方は事前レポートを早目に提出してください。

<介護実習事後レポート=実習終了後1カ月以内>

介護実習事前指導のスクーリングの際に提示します。

※事後レポートは、実習終了後1カ月以内に通信教育部で使用している通常の第4種のレポート用紙に記入のうえ提出してください。2,000字程度を標準としますが、4,000字まで記入していただいても結構です。

※介護実習免除者も事後レポートを実習証明の当該施設を題材にして書く必要があります。

アドバイス

本科目では、介護実習をするうえでの知識や、その背景にある理念、概念を習得することにより、福祉専門職としての基盤を構築することを学習の目的としています。目的を達成するためには、必要な情報を、資料や文献から検索する力やそれらをまとめて自身の課題を明確化し、課題の解決方法を構成する力も求められてきます。本課題を展開するにあたっては、介護に関する社会的動向や問題に注目したり、インターネットを利用して情報を収集するなど、常に最新の福祉情報を得よう心掛けてください。そのような過程のもとに、広い視野で学習展開をされることを期待します。

<事前レポート 解説>

1. 施設の概要調査①～⑤については関連法規を調べ、法令等の条文の中から抜粋して

記述していきます。⑥文献、資料、新聞、インターネット等の情報を簡潔にまとめて自身の考えを論述（総括考察）してください。インターネットの情報は公的サイトを活用してください。

2. 実習実施計画は、1の①～⑥を踏まえて自身の実習目的を明確にし、目的を達成させるための課題と課題達成のための取り組み方法を具体的に記述してください。

※介護実習免除者については、実習証明の該当施設を対象にしてレポート課題を作成してください。

参考図書

- 1) ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法 平成19年版』ミネルヴァ書房、2007年
- 2) 社会福祉法令研究会編『社会福祉法の解説』中央法規、2001年
- 3) 介護福祉実習指導研究会編『介護福祉実習指導（介護福祉士選書8）』建帛社、2000年
- 4) 介護支援専門員テキスト編集委員会編『改訂 介護支援専門員基本テキスト』財団法人長寿社会開発センター、2003年

介護実習登録 事前スクーリング受講手続き

高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得するための「介護実習」（2週間）については、実習施設や施設の利用者に迷惑をかけることのないように、十分な事前の準備が求められます。

「介護実習」の受講前には、「介護実習事前指導」の事前指導スクーリング受講（8コマ）が必ず必要です。平成19年度は次頁の日程にて仙台で行います（連続する2日間を受講）。本冊子巻末の「介護実習登録カード」到着後に、実習依頼に関する文書を発送しますが、実習先確保に関するある程度の準備がないと、事前レポートを完成することが難しくなりますので、ご注意ください。「事後指導」は実習後のレポート提出が課せられますが、事後指導に関するスクーリングはありません。

平成19年度、および平成20年度6月ごろまでに「介護実習事前事後指導」「介護実習」の受講を希望し、受講の条件を満たすあるいは満たす見込みの方は本冊子巻末の「介護実習登録カード」をできるだけ早く、遅くともスクーリング申込締切日必着で郵送してください（三ツ折可）。「介護実習登録カード」は、介護実習先を探しはじめたいという希望届と「介護実習事前指導」のスクーリング申込みを兼ねています。

この科目のスクーリング受講料は、演習科目扱いですので1単位10,000円となります。

なお、事前指導スクーリングと実習は、できるだけ同一年度に受講してください。

「介護実習」と「介護実習事前事後指導」は、セット履修科目です。科目等履修生は、前年度に介護実習を終えた後でも、事後レポートとその評価が出ていない場合は、「介護実習」を含めた「介護実習事前事後指導」の2つの科目を再度登録する必要がありますのでご注意ください。

また、「介護実習 登録カード」にて、この科目のスクーリングを申込みするためには、スクーリング申込締切日までに、下記の受講条件を満たす必要があります。なお「介護実習登録カード」を提出済みで、下記の介護実習事前指導スクーリング申込み締切日までの条件を満たした方へは、介護実習事前レポート用紙と依頼に必要な書類（本冊子の「介護実習」を参照）を郵送いたします。

開講日	スクーリング申込締切日	事前レポート提出締切日
6 / 9(土)・10(日)	5 / 1(火)	5 / 30(水)
7 / 14(土)・15(日)	6 / 22(金)	7 / 4(水)
1 / 12(土)・13(日)	12 / 21(金)	1 / 7(月)

事前スクーリングの開講時間は1日め11：20～18：00 2日め9：30～16：10です。

介護実習事前指導 スクーリング受講条件

1. 介護実習事前指導スクーリング申込み締切日まで

- (1) 卒業後（将来）教員として就職する意思が明確な方
 - ・単なる免許取得のための実習は認められません（施設は、利用者にとって生活の場です。プライベートな空間へ入るわけですから、しっかりとした目的意識を持ってください）
 - ・教職免許の取得に必要な科目の学習が認められない方は、受講できません。
 - ・「介護実習」を受講する方は、原則として次年度「教育実習」「障害児教育実習」以外の実習は受講できません。
- (2) 3年次以上の方もしくは科目等履修生
- (3) 「介護実習事前事後指導」と「介護実習」の2つの科目を履修登録していること
- (4) 下記の2科目の全単位分のレポートを提出済（介護実習実施2週間前までに単位修得すること；5条別表1による履修者はスクーリング申込締切日までに単位修得が求められます）
 - ① 介護概論
 - ② 実習に行く施設の分野福祉論（高齢者福祉論 or 障害者福祉論 or 児童福祉論）
- (5) 下記の教職免許の取得にあたって、必要な科目を履修登録し、学習を進めていること

(5条別表1による履修者は原則として単位修得が求められます)。

- ① 教育原理
 - ② 教職論
 - ③ 教育心理学
 - ④ 福祉科の指導法
 - ⑤ 実習に行く施設以外の分野福祉論（高齢者福祉論 or 障害者福祉論 or 児童福祉論）
- (6) 卒業要件単位を1年次入学者は50単位以上、2年次編入学者は20単位以上を修得していること（すでに卒業要件単位を62単位認定されている3年次編入学生と卒業の必要のない科目等履修生は関係ありません）。

2. 事前レポート提出締切日まで

- ・事前レポートの提出。

科目コード ● 050903

担当教員 ● 広浦 幸一
後藤美恵子

2 単位 | 実習科目 | 3 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

「介護実習事前事後指導」に準ずる。なお、「介護実習」をおこなうためには、介護実習事前指導スクーリングの受講が必要です。介護実習事前指導スクーリング手続きについては、本冊子の「介護実習事前事後指導」をご覧ください。

教科書

介護実習事前指導スクーリング申込者に『介護実習の手引き』、スクーリング時に「介護実習記録」等を配布

実習期間・時期

実習は連続する2週間行います〔実質10日間以上（かつ80時間以上）必要です。1日の実習は8時間を目安とします〕。また、1週間を単位とし、2回に分割した実習も認めますが、その場合、1回目との間隔が1カ月を超えないものとします。

受け入れ側の事情により、実習の時期が決まります。実習時期については、あくまでも、実習施設の方針に従ってください。ただし、自身の学習計画にもとづいて、必要な単位を修得できる時期以後となります。また、「介護実習事前指導」スクーリング（平成19年度は6月・7月・1月のいずれかを受講）受講後となることをご注意ください。

実習中、体調不良などでやむを得ず実習を欠席した場合は、実習施設側の都合に合わせて欠席分を補い、規定の日数および時間数を満たすようにしてください。

実習施設

次のいずれかの施設で行うこととなります。下記以外の種別の施設で行うと無効になりますので、ご注意ください。

1. 児童福祉法に規定する肢体不自由児施設（入所の施設に限る）、重症心身障害児施設および指定医療機関など
2. 身体障害者福祉法に規定する身体障害者更生施設（肢体不自由者を入所させてその

更生に必要な治療および訓練を行うものに限る)、身体障害者療護施設および身体障害者授産施設(身体障害者で雇用されることの困難なもの等を入所させて、必要な訓練を行い、かつ、職業を与え、自活させるものに限る)

3. 生活保護法に規定する救護施設
4. 老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム
5. 介護保険法に規定する介護老人保健施設

※主たる受け入れ先が上記の施設ならば、そこから「デイサービス」や「養護老人ホーム」において、一部の期間で実習することも可能です。

※決められた時期においては本学関連施設での実習も可能です。ご希望の方は、「介護実習登録カード」に記載してください。

実習費

実習費(30,000円)は「介護実習事前指導」のスクーリング受講前後に納入していただきます。一旦納入した実習費は返却できませんので注意してください。

実習費のなかには、実習保険加入費・実習先への実習委託費が含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その金額を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

実習取消

実習登録後は取消をしないようにしてください。特に実習施設より内諾をいただいた後に取消をしますと、実習施設に大変な迷惑をかけることとなります。万一、取消の事態に陥った時はすみやかに実習施設および大学の通信教育部に届け出てください。

介護実習免除について

「介護実習」科目は、文部科学省の学習指導要領によると「社会福祉施設等における現場実習などを通して、講義・演習・校内実習等で学んだ知識と技術を実際に活用し、高齢者や障害者への総合的な介護活動等が実践できるための基礎的な能力を習得し、介護に関する総合的な知識と技術を習得させること」を目的としています。

免除については、高等学校で実習教育にあたるための総合的な介護活動の実践能力の習得が主な課題となるため、下記1または2に該当する方のみを実習免除対象者とさせていただきます。実習免除対象者は事後レポートに合格してはじめて、「介護実習」の単位が認定されます。

1. 介護福祉士の資格を厚生労働省が指定した大学・短期大学・修業年限2年以上の専修学校専門課程で取得している場合。

現場経験により資格を取得している場合は、目的に応じた実習を計画的に実施する、施設指導者よりスーパーバイズを受ける等の一連のプロセスが不足しているために対象からは除外されます。

2. 社会福祉士の資格取得者で、大学・短期大学・修業年限2年以上の専修学校専門課程における社会福祉援助技術現場実習において、特別養護老人ホームなど p. 151～152に定める実習施設で実習し単位修得している場合。

3. 上記の1. 2の実習後3年以内を原則とする。

※上記1. 2に該当する方は、「実習証明書」（別途送付する書式で出身校が証明するもの）を提出すれば、免除の対象となります。各自の出身校に、同封の「実習証明書」を発行してもらうように依頼してください。専修学校専門課程は、修業年限2年以上の課程で修得したもののみ対象になります。

※実務経験などにより、「介護福祉士」を取得した方は実習の免除はありません。また、指定施設以外で実習した方も免除にはなりません。

※介護実習免除の方は、実習費の3万円は必要ありません。ただし、介護実習事前事後指導・介護実習の履修登録、介護実習事前指導のスクーリングの受講とスクーリング受講料1万円は必要です。

※上記の1. 2の実習後4年以上経過されている場合は、実習と現状の制度が合わないことや実習自体を忘れている場合もあるためレポート作成が極めて困難となります。評価も厳しい結果となる場合もありますが、ご了承ください。

実習施設のさがし方

実習施設は、各自で受け入れていただける施設をさがし、交渉し、内諾を得てください。お住まいの付近に、どのような施設があるかわからない場合は、最寄りの社会福祉協議会、または、市町村の「高齢者福祉」「障害者福祉」を担当する窓口にお問い合わせください。また、インターネットの活用も有効です。今後実習先をさがす場合、短期間でもボランティアをするなどで実習希望先と顔見知りになっておいた方が、実習受け入れや実習が円滑に進みます。

実習施設に内諾を得るための手順と諸注意

1. 実習施設へ受け入れについて、電話する。

下記を必ず一読してから、依頼してください。最初は、電話での問い合わせになりますが、言葉遣いに注意し、失礼のないようにしてください。受け入れが可能なようであれば、訪問したい旨を伝え、施設のご都合を伺い、施設から訪問してもよい日時が指定されたら必ず、その日時に訪問してください。実習の申し込み時期（申し込み方法）

は、各施設によって異なりますが、おおむね下記の流れが考えられるかと思います。

(内 容)

- ① 東北福祉大学通信教育部〇年に（もしくは科目等履修生として）在学し、高等学校福祉科教諭の免許状取得をめざしております〇〇と申しますが、お時間よろしいでしょうか。
- ② 貴施設において2週間の介護実習をさせていただきたいと思い、お電話いたしました。
- ③ つきましては、依頼状を持ってお願いにあがりたいので、訪問してよい日を指定してください。
- ④ 電話で施設名、担当者名は確認してください。

注1 朝、昼食時、夜間、休祭日は電話を避けてください。

注2 静かな場所からかけ、言葉遣いに注意して丁寧にゆっくり話すことを心がけてください。携帯電話は、使用しないでください。

注3 話をする内容をメモし、手元に置いておくのも良いと思います。

注4 訪問日は、自己の都合ではなく、実習希望先の都合に必ず合わせてください。

2. 施設へ直接訪問する。

初めて、施設側の方にお会いするので、服装・態度・言葉遣いに注意し、明朗快活に応答してください。訪問の際、「介護実習の受入について（ご依頼）」、「介護実習の内諾について（回答）」、「本学への返信用封筒（青）」、「本学の封筒（白・大）」を持参して、施設側へ提出して内諾書を直接いただくか、郵送していただくようにしてください。

注1 訪問しても必ず内諾がもらえるわけではありません。自身の実習にかける意気込みをお話してください。実習期間は、自己の都合ではなく、実習先の都合に必ずあわせてください。

注2 この実習は、教職のための「介護等の体験」ではなく、福祉科のための「介護実習」です。まちがえられることもありますので、何のための実習かを説明してください（「介護等の体験」は社会福祉協議会などによる一括受け入れ方式となっています）。

注3 社会福祉士のための実習とも違い、高校生に福祉・介護を教える教員を養成するための実習です。主として、福祉施設などにおける介護の実際、介護技術、社会福祉援助技術を身につけることが目的です。聞かれたら、実習の趣旨もよく説

明してください。

注4 訪問日時には、絶対に遅れないでください。

注5 訪問は、公共の交通機関を使用してください。

注6 服装や持ち物等について注意してください。(面接にいくようなつもりで身だしなみに気をくばること。

例) 整髪、化粧は薄く、香水はつけない、ネクタイの結び、ワイシャツの襟、爪が伸びていないか、靴の汚れなど。

注7 上履きを準備していきましょう。

注8 携帯電話は持って行かない、または電源を切ってください。

注9 上記の手続きをふんだうえで、どうしても実習先が見つからない場合は、「通信教育部介護実習係」までご連絡ください。

実習手順

●介護実習登録カードの提出

介護実習事前指導スクーリング申込み締切日までに「介護実習登録カード」を提出済みであり、介護実習事前指導スクーリング受講の条件(本冊子 p. 149~150を参照)を満たす方へは、介護実習事前事後指導の事前レポートと介護実習の依頼に必要な下記の書類を郵送いたします。

1. 介護実習事前レポート用紙		
レポート課題用紙		p. 1~4
レポート表紙		2冊
2. 高等学校福祉科教員『介護実習の手引き』		1冊
3. 介護実習の受入について(ご依頼)(4. の記入例)	A 4	1枚
4. 介護実習の受入について(ご依頼)	A 4	1枚
5. 介護実習の内諾について(回答)	A 4	1枚
6. 誓約書	A 4	1枚
7. 健康診断書	A 4	1枚
8. 実習証明書	A 4	1枚
9. 4. 5. の文書を入れる封筒(白)		1通
10. 返信用封筒(青)(実習依頼先へお渡しください)		1通

※介護実習免除を考えている方→ **介護実習免除の場合** をよくお読みください。

介護実習実施を考えている方→ **介護実習実施の場合** をよくお読みください。

介護実習免除の場合

1. 「実習証明書」を通信教育部へ送付
2. 事前スクーリング費の納入、スクーリング事前レポートの提出
介護実習費3万円の請求も届きますが、これは納入しないでください。
3. 介護実習事前指導のスクーリング受講
スクーリング費が納入済みで事前レポート提出が条件となります。
4. 事後レポート提出
レポートの内容は、介護実習事前指導のスクーリング受講の際に提示します。遅くともスクーリング受講の年度内に提出してください。
5. 単位認定通知

介護実習実施の場合

1. 実習希望施設へ実習の内諾依頼「電話→訪問」（p. 153～155参照）
訪問の際は、以下の実習関係書類を準備してください。
 - (1) 「介護実習の受け入れについて（ご依頼）」
別紙の要領で日付・宛名・学籍番号・学年・本人名を記入の上、必ずコピーをとって、原紙を持参・提出してください。
 - (2) 「介護実習の内諾について（回答）」
学籍番号・学年・本人名は、記入してください。
 - (3) (1)(2)の文書を入れる封筒（白）
 - (4) 返信用封筒（青） 返信封筒は、内諾がその場でもらえない場合に、内諾状を施設から大学に送付してもらうためのものです。
2. 実習内諾（施設から内諾書をいただくか、内諾書を郵送していただく）
3. 実習内諾に関する下記の書類を通信教育部へ送付
 - (1) 介護実習の受け入れについて（ご依頼）のコピー1枚
別紙の要領で日付・宛名・学籍番号・学年・本人名を記入したもの
 - (2) 介護実習の内諾について（回答）の原紙1枚（本人に直接手渡された場合のみ）
内諾先から、下記の必要事項をすべて記入し、捺印をもらったもの
 - ①施設種別、②施設名（法人名等も含む）、③施設長名、④実習担当者名、⑤住所・電話番号
4. 事前スクーリング費・介護実習費の納入、スクーリング事前レポートの提出
5. 介護実習事前指導のスクーリング受講
（スクーリング費が納入済みで事前レポート提出が条件となります）

6. 「誓約書」と「健康診断書」を通信教育部へ送付（実習開始前2週間前まで必着）
- (1) 誓約書

学科の部分は、科目等履修生の場合、学科をペンで横線を2本引いて「科目等履修生」と記述し、宛先は、「実習先名 施設責任者の肩書 施設責任者名」を書いてください（施設責任者名がわからない場合、肩書までを書く）。
 - (2) 健康診断書

原則として実習開始前3カ月以内のもの。実習開始前3カ月以内にすでに健康診断を受けた方は、診断した医師に本用紙に同じ内容を転記してもらってください。
7. 本学通信教育部より実習先施設へ正式の実習依頼状等の送付
- 実習開始2週間前を目安に送付します。「介護実習の受け入れについて（御依頼）」（正式の実習依頼状）・「誓約書」・「健康診断書」・「介護実習評価表」を送ります。なおこれらの書類を実習先へ送付するには、以下の条件が必要です。
- (1) 下記の2科目の単位を修得している方
 - ① 介護概論
 - ② 実習に行く施設の分野福祉論（高齢者福祉論 or 障害者福祉論 or 児童福祉論）
 - (2) 介護実習事前指導スクーリング受講済
 - (3) 介護実習費のお支払い、介護実習に必要な書類（内諾書、誓約書、健康診断書）の手続きの全てを完了している方
 - (4) 健康で通常の業務に耐え、感染症に罹患していない方

実習前に「健康診断書」を提出していただきます（実習前3カ月以内のもの）。施設によっては、腸内細菌検査等（区役所や公衆衛生協会で開催しています）が必要な場合がございますので、必ず確認してください。
8. 介護実習の実施（10日間以上かつ80時間以上）
9. 実習後、実習先の責任者 指導者等へ礼状を送付（できるだけ速やかに必ず送る）
10. 実習先より「実習出席簿」、「実習日誌」、「介護実習評価表」が通信教育部へ送付される
11. 学生が「事後レポート」を通信教育部へ送付

事後レポートの内容は、介護実習事前指導のスクーリング受講の際に提示します。事後レポートは、実習終了後1カ月以内に必ず提出。

12. 単位認定通知

単位認定通知

「介護実習事前事後指導」と「介護実習」は、事後レポート提出後に届く「単位認定通知」に合格の「優・良・可」と記載されていれば、単位認定です。「実習日誌」が施設よ

り返送されない等により単位認定時期が遅れる可能性があるので、実習終了後2カ月を経過しても単位認定通知が届かない場合は通信教育部実習係までご連絡ください。

科目コード●050709

担当教員●寺下 明

2 単位

SR

3 年以上

社会福祉

資格

科目の内容

今日、日本が直面している問題や人類が共通して抱える諸問題の中で、特に教育と関連する問題のなかから、興味や関心のあるものを選び、それにかかわる研究を演習形式で行います。授業は、特に教科書等を定めず、文献・新聞・雑誌・インターネット等を利用しながら、受講生が自ら問題を提起し、資料をもとに分析・考察を加え、発表してもらいます。その後、全員で議論しながら、現代社会の問題点への認識を深めていきます。

受講生には、問題やテーマについての理解にとどまらず、いかに情報や知識を収集し、分析・検討した成果を発表し、討議を進めるかといったスキルを学んでください。そして、そのことを通して、世界的視野に立った、人間性豊かで、問題解決能力・実践的指導力などの能力を養うことをねらいとします。

教科書

教科書はとくに指定しません。各自で資料をさがしてください。

レポート課題

1 単位め

- ・スクーリング前に提出（スクーリングの1週間前までに必着）
たとえば、下記のような研究テーマ（問題提起）についての概略を2,000字程度にまとめてください。
- | | | |
|--------------|-------------|------------|
| （例）・文化の伝統と教育 | ・学校知の転換について | ・戦争と教育 |
| ・異文化理解と教育 | ・人権と教育 | ・教育と福祉 |
| ・少年犯罪 | ・いじめ | ・不登校 |
| ・学級崩壊 | ・道徳と教育 | ・家庭におけるしつけ |

2 単位め

- ・スクーリング後に提出
スクーリング時に研究・発表した成果をまとめてください。

教育実習の事前事後指導

科目コード ● 050710

担当教員 ● 吉井 宏
佐藤 暢芳

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉

資格

科目の内容

教育実習は現実の生徒を対象として、教育の理論や技術、さらにその精神的基盤までも学び、研究する場です。教育実習者は未熟な学生でありながら、同時にその学校の教育活動の一翼を担う一人の教師という側面も持ちます。この大変怖いが魅力あふれる貴重な経験を2週間行うにあたっては、どのような心構えが必要か、また専門教養は最低どの程度もって実習に望まなくてはならないか、理論に裏付けられた技術は最低限持っているのか、学習指導案や板書は万全か、など教育現場で戸惑うことのないよう、実習前に学び、確認しておく必要があります。また終了後は教科指導、生徒指導その他の実習の成果をまとめる必要があります。

教科書

事前指導申込者に配布予定の『教育実習の手引き＝教育実習の事前 事後指導』（東北福祉大学）

レポート課題

スクーリング事前課題

とくに提出課題はありませんが、各自で現場で戸惑うことのないように、指導案や教材・教具についての予習を行っておくとよいでしょう。なお、実習申込み者に送付している『教育実習の事前事後指導』が教科書なので、事前に読んでおいてください。また、スクーリング当日必ず持参してください。

福祉科以外で実習を行う場合はその教科についての十分な事前準備が求められます。

スクーリング事後課題＝通信教育部で使用しているレポート用紙のp. 1～8に記入して、スクーリング受講後3週間以内に送付してください。

下記の(1)(2)の2つの問を合わせて2,000字以内でまとめなさい。

(1) 教育実習の意義 目的について述べなさい。

- (2) 教育実習に臨むにあたってのあなたの心構えを述べなさい。

実習事後課題

- (1) 実習事後レポートは教育実習終了後2週間以内に、大学へ郵送すること

- (2) レポートの内容は次のとおり

- ① 教科指導上、自分が行った指導方法で、どのような問題点が起きたか。

またその問題点をどのように改善したか。

[問題点の例] ここでいう問題点とは、指導教員から指摘された点、自分で工夫が足りなかったと感じた点を指す——たとえば、導入から展開のつながり、授業のヤマのもっていき方、発問の不足、無反応の授業、チョークの使い方などがあげられる。

- ② 生活（生徒）指導上、自分が行った指導方法で、どのような問題点が起きたか。

またその問題点をどのように改善したか。ここでの生活（生徒）指導とは部活動や委員会活動などのほかに、SHRやLHR、掃除時間など、教科指導以外すべての指導を指している。

- (3) 以上の①②の2つの点について、4,000字以上書くこと。

ただし①と②は、それぞれ項目ごとに書き、ゴチャ混ぜに書かないこと。また①と②の枚数の比率は自由。

- (4) レポート用紙は、通信教育部規定のものでp. 1～16を使用して、4,000字以上記入すること。用紙が足りない場合は別紙を追加して提出すること。

事前指導スクーリング

「教育実習の事前指導」のスクーリングは、仙台で開講します。実習前には必ず受講が必要です。下記のいずれか1回連続2日間受講すれば可です。

- (1) 平成19年3月31日(土)・4月1日(日)

- (2) 平成19年8月11日(土)・12日(日)

- (3) 平成20年3月29日(土)・30日(日)

平成20年度以降も3月末と8月に開講を予定しています。

事前指導スクーリングの申込みにあたっては、受講条件が課せられています。p. 162をご覧ください。また、3月末のスクーリングは4月に学籍番号が替わるような学籍異動を行う方は受講できません（正科生一科目等履修生の変更など）。なお、事後指導は、スクーリングはありません。

事前指導スクーリング・受講条件

「教育実習の事前指導スクーリング」受講申込み締切日までに、下記の条件を満たしていることが必要です。

- (1) p. 163「大学から実習校への依頼状発行条件」(1)～(3)を満たしていること。
- (2) 実習事前指導スクーリングの受講申込み締切日までに、卒業要件単位を62単位以上（一括認定単位を含む）修得していること（3年次編入学者・科目等履修生はこの条件は不要）
- (3) 実習事前指導スクーリングの受講申込み締切日までに下記の20科目中18科目の単位を修得していること。ただし、「介護実習」は実習事前指導スクーリングの受講申込み締切日までに必ず終了している必要があります。なお、平成19年8月・平成20年3月は、実習事前指導スクーリング申込み締切日までに下記の20科目中16科目は単位修得、残りの4科目中2科目のレポートを提出しており、事前指導日までにスクーリングか科目修了試験を受験予定であれば特例で事前指導受講は認められます。

66条の6に定める科目

- ①法の基礎（日本国憲法を含む） ②健康科学 ③情報処理Ⅰ ④コミュニケーション英語

教職に関する科目

- ⑤教職論 ⑥教育原理 ⑦教育心理学 ⑧福祉科の指導法 ⑨高等学校教育課程の意義と編成 ⑩生徒指導論（進路指導を含む） ⑪教育方法論（視聴覚教育等を含む）

教科に関する科目

- ⑫介護概論 ⑬介護実習事前事後指導 ⑭介護実習 ⑮高齢者福祉論 ⑯児童福祉論 ⑰障害者福祉論 ⑱社会福祉原論（職業指導を含む） ⑲⑳社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ

※他大学で修得された単位を教職免許のための科目に使用するためには、その科目が高等学校教諭一種免許状の課程認定を受けていることが原則です。出身校にご確認ください。入学時に提出していただいた証明書で確認できない場合は、あらためて提出していただく場合があります。

※本学で「教育実習」を受講するためには、本学で実習前に18単位以上の単位を修得する必要があります。認定単位の多い方は、ご注意ください。

- (注) ただし、実習校依頼のための書類は、p. 163～164のとおり①教育原理 ②教職論 ③教育心理学 ④福祉科の指導法 ⑤高齢者福祉論 ⑥児童福祉論 ⑦障害者福祉論 ⑧介護概論の単位を修得した後でないと送付できませんので、早めにこの8科目の単位を修得するようにしてください。

科目コード●050904

担当教員●吉井 宏
佐藤 暢芳

2 単位 | 実習科目 | 3 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

大学では教職に関するさまざまな講義を聴き、理論を学びます。そして教育の重要性についての認識を深めます。しかしそこに教育の対象である現実の児童生徒がいるわけではありません。子どもたちや教員が生活を送り、使用する教育施設・設備・環境があるわけではありません。その点、教育実習は、大学だけでは到底不可能な研究を行うことができます。望ましい教育者精神や態度の習得、教育愛、教育の社会的役割を知る上でも極めて効果的な機会といえます。そして何よりも人間形成に対する教育の重要性を知ることが可能なのが教育実習です。教育実習者の受け入れを善意として行う、受け入れ校に対し報いる気持ちも大切です。

教科書

事前指導スクーリング申込み者に『教育実習の手引き＝教育実習の事前 事後指導』（東北福祉大学）配布予定（なお、実習受講条件、事務手続きは通学課程のものが記載されているのでご注意ください）

レポート課題

実習事後レポートは教育実習終了後2週間以内に、大学へ郵送すること。内容・締切は「教育実習事前事後指導」p. 160～161記載のとおり。

教育実習内諾のための大学からの依頼状発行条件

下記の条件を満たした方は、本冊子巻末の「教育実習登録カード」に必要事項を記入して、通信教育部あて送付してください。条件を確認後、「教育実習内諾のための大学から実習校への依頼状」を学生あてにお送りいたします。

- (1) 卒業後（将来）、教員として就職する意思が明確な方＝単なる免許取得のための実習ではなりません。
- (2) 健康で通常の業務に耐え、伝染性疾患のない方

- (3) 免許状の取得にあたって本学通信教育部を卒業する方は、登録カード送付時点で、1年次入学者は50単位以上、2年次編入学者は20単位以上修得済みであること。
- (4) 依頼状発行時点で、「介護実習」を受講しているか、実習の日時が確定していること。
- (5) 本学通信教育部で①教育原理 ②教職論 ③教育心理学 ④福祉科の指導法 ⑤高齢者福祉論 ⑥児童福祉論 ⑦障害者福祉論 ⑧介護概論の8科目の単位を修得していること

※ p. 162のとおり、実習受講前に修得すべき科目が多いので、その他の科目もできるだけ前年度までに多く修得するようにしてください。

※実習前年度のできるだけ早い時期に上記の8科目の単位を修得しないと、次年度の教育実習は難しくなります。

※なお、本学で「教育実習」を受講するためには、本学で実習前に18単位以上の履修登録を行う必要があります。認定単位や受講不要な科目のある方は、ご注意ください。

教育実習が不要な方

- ・すでにいずれかの教科の高等学校教諭一種免許状を取得されている方は、原則として「教育実習の事前事後指導」「教育実習」の受講は不要です（教育職員免許法6条別表4）。
- ・すでに、中学校または高等学校で2週間以上の教育実習経験がある方は、「教育実習」の受講が不要となる場合があります（教育職員免許法施行規則6条8、13ほか）。
- ・高等学校で教員として2年以上の実務経験を有する方は、「教育実習」の受講が不要となる場合があります（教育職員免許法施行規則6条11）。

実習期間・時期

- ・実習は高等学校で連続2週間（10日間）行います。
- ・受入れ校の事情により、実習の時期が決まります。教育実習の大半は年1回5～6月のみの受け入れ校が多いですが、10～11月にも受け入れてもらえることがあります。
- ・あくまでも実習校側の期間に従ってください。ただし、「介護実習」受講後および「教育実習の事前指導」スクーリングの受講後となります。

実習教科

- ・高校福祉科で行うことを原則とします。
- ・ただし、福祉科のある高等学校は全国でも数少ないものです（依頼状発行者に資料送付）。そのため、どうしても福祉科のある高等学校で実習先をさがすことが難しい場

合、受入れ校の理解があれば、福祉科以外で実習を行ってもかまいません（家庭科・公民科など）。その際には他教科を教えるための十分な事前準備が求められます。

実習校への依頼方法

- ・実習校は、福祉科のある高等学校または自分の出身校に依頼することが多くなります。ただし、卒業後年数が経過している方もいらっしゃるので卒業生でなくても受け入れてくれる学校を探し、各自交渉し、内諾を得てください。
- ・高等学校における実習生の受け入れの実態は大変厳しいものになってきています。卒業生であっても受け入れ制限をする学校や、教員採用試験の受験を条件とする学校もあります。よって採用試験の制限以上の年齢の方は実習受け入れが難しい場合もあります。
- ・特に、3年次で実習を依頼する場合は、実習校へ3年次実習の理由（4年次において障害児教育実習を行う旨）を説明しご理解をいただかなくてはなりません。
- ・以上の事由により、実習希望校へは、早めに打診し（打診後は、途中で意志を変更しないこと）実習についての情報を得てください。
- ・ただし、下記のように独自の受け入れ体制をとっている地域や学校もあります。下記2の地域で次年度に実習を希望する場合は、3年次になった段階で、また3年次編入学者や科目等履修生は入学後すぐに通信教育事務室へお問い合わせください。

特殊な地域・学校

1	東京都内の都立高等学校	原則として他県の大学の学生は受け入れしない地域である（私立は希望できる）。
2	小樽・恵庭・江別・伊勢崎・桐生・松本・京都・神戸・瀬戸・下関・高知・北九州・長崎市立の学校	実習申し込みは教育委員会で受付、実習校を指定される。

※これ以外にも独自の受け入れ体制をとっている地域・学校はあると思いますので、ご注意ください。

実習校訪問の手順と諸注意

くわしくは実習登録者にお送りする「実習希望校への打診と訪問について」を参照してください（特殊な地域2の者を除く）。

1. 実習希望校に受け入れについて問い合わせてください。
最初は電話での問い合わせになりますが、言葉遣いに注意し、失礼のないようにしてください。
2. 受け入れ可能なようであれば、訪問したい旨を言い、学校の都合を伺います。
3. 学校から訪問してもよい日時が指定されたら必ず訪問してください。
4. 初めて希望校の先生方にお会いしますので、服装・態度・言葉遣いに注意し、明朗快活に応答してください。

5. 訪問の際、大学からの書類（実習依頼状・実習内諾書・実習生個人調査票・返信用封筒）を持参し、希望校へ提出して内諾書をもらうことになります。または郵送してもらいます。

実習費

- ・「教育実習の事前事後指導」のスクーリング受講前後に納入していただきます。一旦納入した実習費（30,000円）は返却できませんので注意してください。
- ・実習費のなかには、実習校への委託費、実習保険加入費用が含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その金額を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

実習取消

- ・実習登録後は取消をしないようにしてください。特に実習校より内諾をいただいた後に取消をしますと、実習校に大変な迷惑をかけることになります。
- ・万一、取消の事態に陥った時はすみやかに実習校および大学の通信教育部に届け出てください。この場合、実習校へは直接参上しておわびしていただきます。

教育実習受講条件

教育実習受講のためには、下記の条件を満たしていることが必要です。原則として、実習受講の1カ月前までに必要書類を送付してください。実習校への正式最終依頼状をお送りさせていただきます。

- (1) 「大学から実習校への内諾依頼状発行条件」(1)～(5)の受講条件を満たしていること。また、p.162記載の20科目中18科目の単位を修得していること。
- (2) 「教育実習事前指導スクーリング」を受講済みであり、スクーリング終了3週間以内に「実習事前レポート」を提出し合格していること。
- (3) 実習校への依頼状配付時に渡される「実習生個人調査票」のコピー、ならびに事前指導スクーリング受講者に渡される「健康診断書」「誓約書」の必要事項が記載されているものが大学あてに提出されていること。

単位認定通知

「教育実習の事前事後指導」「教育実習」は、①事前指導スクーリングとその後のレポート（p.160参照）、②実習、③実習日誌、④事後レポート（p.161参照）の評価を総合して行います。単位認定通知は、事後レポート提出、および実習日誌の実習校からの返却、いずれか遅いほうから1カ月程度で書面で通知します。

実習校から実習日誌が返却されない場合は単位認定ができないので、実習事後レポート提出後、2カ月以上経過しても結果が届かない場合は、通信教育部教育実習係までご連絡ください。

さいごに

- ・教育実習は、たとえその学校の卒業生であっても必ず受け入れてもらえるとは限りません。高等学校にも実習生を受け入れなければならない法的根拠も義務もないからです。
- ・実習を受け入れてくれるのは将来教員になろうとしている学生に対する「厚意」です。学生諸君もその厚意を裏切らないように取り組んでください。

障害児教育実習の事前・事後指導

科目コード ● 050716

担当教員 ● 及川 隆・阿部芳久
北岡 侃

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉
資格

〈旧法対応〉

科目の内容

特別支援学校における教育実習は、特別支援学校教員免許状取得のための学習の一部です。しかし、別の面からすれば、これまで大学において履修してきた障害児教育に関する理論や技術等を、実際の中で、生かし、確かめ、深める機会です。

教育実習者は、学生の身分としての実習ではありますが、現実には特別支援学校の一教員と同様の勤務を行うものであり、教育者としての責任ある言動をもって、実習に臨まなければなりません。

実習にあたっては、現場で戸惑うことのないように、事前に、障害児への接し方や学習指導案の作成のしかた等の最小限の必要事項を学び、確認しておく必要があります。また、終了後は、実習の成果を、“理論と実践”の統合の視点からまとめる必要があります。

教科書

事前指導申込者に配布の『障害児教育実習の手引き・改訂第23～25版』（東北福祉大学）

レポート課題

1 単位め

事前指導スクーリング受講後の課題

- ・『障害児教育実習の手引き・改訂第23～25版』 p. 214～ p. 217の作成資料に基づき、指導案を作成しなさい。
8月受講者の版数・ページ数はおって指示します。

2 単位め

事後指導の課題＝実習終了後2週間以内に提出

- ・ p. 169に従い、実習報告レポートをまとめなさい。

アドバイス

1単位め
解説

スクーリング時の講義と『障害児教育実習の手引き改訂第23版（24版or25版）』 p. 214～217を合わせて、自分なりの指導案を作成してください。

実習校で、「研究授業」実施にあたってはさらに指導案を作成することにな

ると思いますが、実際に授業を行うつもりになって作成してください。

提出期限 8月スクーリング受講者 8/27 (ただし9/14以前の実習開始者8/9)

2008.3月スクーリング受講者 4/21

(ただし5/16以前の実習開始者4/3)

- ・ A4判の用紙使用 横書き パソコン打ち出し可。下部にページ数はつける。ピンクの表紙(事前指導申込者に配付)に貼り付けて提出(貼り付け方は『レポート課題集(1・2年次)』p.16参照)。手書きの場合、A4判(縦長・横書き)の原稿用紙使用。

2単位め 解説

・ 下記の内容にそって、実習後に実習報告レポートを作成してください。

1 実習校名(障害種別)

2 実習校の概要

- ・ 規模(小, 中, 高, 訪問等)
- ・ 立地条件(田園地帯, 住宅街, 林の中等)
(交通の利便性, 公共交通機関バス停から○分等)
(通学制, 寄宿者制等)

3 実習の概要

- ・ 担当学級(学年, 人数, 単一障害か重複障害か, 障害の程度等)
- ・ 講義, 参観授業の内容等
- ・ 主担当としての指導回数(指導形態, 時数等)

4 研究授業

- ・ 指導形態
- ・ 題材, 目標, 内容, 方法(工夫したこと, 自作教材等)
- ・ 授業検討会で指導を受けたこと, 褒められたこと等

5 感想

- ・ 心に残ったこと

※研究授業の指導案(コピー)も合わせて提出してください。

- ・ 実習報告レポートは, 実習終了後2週間以内に, 大学へ郵送してください。
- ・ レポートはA4判用紙にまとめてください(ワープロ・パソコン可 枚数自由)。事前指導時に配布する「英語型レポート用紙表紙(ピンク色)」に貼り付けて提出してください(貼り付け方『レポート課題集(1・2年次)』p.16参照)。

事前指導スクーリング

「障害児教育実習の事前指導」のスクーリングは、仙台で開講します（いずれか1回連続2日間受講すれば可）。

- (1) 平成19年3月31日(土)・4月1日(日)
- (2) 平成19年8月4日(土)・5日(日)
- (3) 平成20年3月29日(土)・30日(日)

平成20年度以降も3月末と8月に開講を予定しています。

なお、事前指導スクーリングの申込みにあたっては、受講条件が課せられています。下記をご覧ください。また、毎年3月末のスクーリングは4月に学籍番号が替わるような学籍異動を行う方は受講できません（正科生-科目等履修生の変更など）。

事前指導スクーリング・受講条件

「障害児教育実習の事前指導スクーリング」申込み日までに、下記の条件を満たしていることが必要です。

- (1) p. 172～173「大学から実習校への依頼状発行条件」(1)～(3)の受講条件を満たしていること。
- (2) 「事前指導スクーリング」申込み日までに、基礎となる幼・小・中・高いずれかの教職免許状を所持しているか、基礎免許状取得のための「教育実習」を終了していること。
- (3) 「事前指導スクーリング」申込み日までに、下記の4科目の単位が修得済であること
 - ①障害児教育Ⅰ、②障害児教育Ⅱ、③障害児の指導法、④障害児の心理、または障害児の生理・病理のうちいずれか1科目・8月の事前指導スクーリングの受講は、下記2つの両方の条件を満たせば可。
 - 1) 申込締切日（平成19年度は7/6）までに上記4科目14単位のレポートを提出していること。
 - 2) 上記4科目のうち単位未修得の科目は、8月までの科目修了試験を受験済・受験予定か7月～8月上旬のスクーリングを受講予定であること。・3月の事前指導スクーリングの受講は、下記2つの両方の条件を満たせば可。
 - 1) 申込締切日（平成19年度は平成20年3/7）までに上記4科目14単位のレポートを提出していること（ただし、2～3月科目修了試験受験科目は2～3月試験の締切日までにレポート提出が必要）
 - 2) 上記4科目のうち単位未修得の科目は、2～3月の科目修了試験を受験済か3

月下旬までのスクーリングを受講予定であること。

(注) ただし、実習校依頼のための書類は、p.172～173のとおり①障害児教育Ⅰ、②障害児教育Ⅱ、③障害児の指導法の単位を修得した後でないと送付できませんので、早めにこの3科目の単位を修得するようにしてください。

障害児教育実習

科目コード ● 050905

担当教員 ● 及川 隆・阿部芳久
北岡 侃

2 単位

実習科目

3 年以上

社会福祉

資格

〈旧法対応〉

科目の内容

教育実習は、これまで学んできた、障害児の教育、心理、病理、指導法等々の理論や方法を、特別支援学校という実際の場で活用し、より理解を深め、教師としての素地を養うものです。

特別支援学校での実習は、基本的には、中学校や高等学校での実習と変わりませんが、特別支援学校教員免許取得の場合、さらに必修としているのは、それぞれの学校における教育対象や教育方法が、普通教育と著しい差異を有するからです。

特別支援学校は、名称は一つですが、知的障害者、肢体不自由者、病弱者（身体虚弱者を含む）、聴覚障害者、視覚障害者を教育対象にしており、しかも、障害の程度は重く、病状はまことに多種多様です。したがって、教育実習も、教育対象によって極めて複雑な色彩をおびます。

実習者は、こうした特別支援学校の複雑な性格をよくわきまえて、障害児教育実習という同一の呼び名であっても、自分の行くべき学校の教育対象や実態と、対象児に関する一般的な知識を学習した上で臨む必要があります。

特別支援学校の現場にとっては、単なる単位取得のための実習は迷惑であって、将来、特別支援学校教員としてやる気十分な学生を歓迎しており、そのためにも、児童生徒、実習校に対し理解を深め、少しでも役立つことを念頭において臨むことが必要です。

教科書

事前指導申込者に配布の『障害児教育実習の手引き』（東北福祉大学）

障害児教育実習内諾のための大学からの依頼状発行条件

下記の条件を満たした方は、本冊子巻末の「障害児教育実習登録カード」に必要事項を記入して、通信教育部あてに送付してください。条件を確認後、「障害児教育実習内諾のための大学から実習校への依頼状」を学生あてにお送りいたします。

- (1) 卒業後（将来）、教員として就職する意思が明確な方

- (2) 健康で通常の業務に耐え、伝染性疾患のない方
- (3) 免許状の取得にあたって本学通信教育部を卒業する方は、受講する前年度末（3月末または9月末）または登録カード送付時の時点のいずれか遅い方で、卒業見込であること（1年次入学者は90単位、2年次編入学者は60単位、3年次編入学者は28単位修得済みであること）。
- (4) 依頼状発行時点で、幼・小・中・高いずれかの教職免許状を所持していること。ただし、本学で高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得する場合は、「教育実習」を受講しているか、実習の日時が確定していること。他大学で基礎となる免許状の実習を受講する場合は、「教育実習」を受講済み（単位修得済み）であること。なお、平成19年4月以降の入学者より、他大学在学中の実習受講はできません。
- (5) 本学通信教育部で「障害児教育Ⅰ」「障害児教育Ⅱ」「障害児の指導法」の3科目の単位を修得していること

※3年生の方で現時点で上記の条件を満たしていない場合は、できるだけ早く上記3科目の単位修得、ならびに本学卒業が必要な方は卒業見込の条件を満たすように努力してください。早めに単位を修得すれば、早めに実習校に依頼をすることができます。依頼状入手前に実習を希望する「特別支援学校」への依頼や情報収集を始めていただいても結構です。

※なお、本学で「障害児教育実習」を受講するためには、本学で実習前に18単位以上の履修登録を行う必要があります。認定単位や受講不要な科目のある方は、ご注意ください。

実習校への依頼方法

上記の「内諾のための大学からの依頼状」を持って、お住まいの近くのまたはその他ご都合のよい特別支援学校に各自で依頼していただくことになります（p.165～166も参照）。実習を希望する特別支援学校の種別（知的障害・肢体不自由・病弱・聴覚障害）や小・中・高等部のいずれを有する学校かは確認したうえで依頼を行ってください。

p.165の地域で実習を希望する方は、早めに通信教育部事務室にお問い合わせください（早めに単位修得をしないと次年度の実習申込みができません）。また、東京都内の方は、私立特別支援学校、または近県の特別支援学校にあたっていただくことが多くなります。

お近くの特別支援学校が不明な場合は、下記のホームページなども参考に実習先の候補をさがしてください。

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所の「ユニバーサルデザイン」のページの県別の「特別支援学校」一覧

<http://www.nise.go.jp/portal/universal/shienkyoiku/03school.html>

障害児教育実習受講条件

障害児教育実習受講のためには、下記の条件を満たしていることが必要です。原則として、実習受講の1カ月前までに必要書類を送付してください。実習校への正式最終依頼状をお送りさせていただきます。

- (1) 「大学から実習校への内諾依頼状発行条件」(1)～(5)の受講条件を満たしていること。
- (2) 「障害児教育実習事前指導スクーリング」を受講済みであり、スクーリング終了後3週間以内に「指導案」を提出し合格していること。
- (3) 実習校への依頼状配付時に渡される「実習生個人調査票」のコピー、ならびに事前指導スクーリング受講者に渡される「健康診断書」「誓約書」の必要事項が記載されているものが大学あてに提出されていること。

実習校・期間

特別支援学校で連続2週間(10日間)行います。祝日が入るなどの場合9日間までは可です。いかなる理由があっても8日間以下は不可となります。実習校の指示により実習3週間の場合もありますが、実習校の指示に従ってください。

実習校は「特別支援学校」に限ります。——特別支援学校以外の「特殊学級」「通級指導教室」での実習は認められません。

(1)知的障害、(2)肢体不自由、(3)病弱、(4)聴覚障害のいずれを主たる対象にしている特別支援学校なのかによって、実習内容も変化してきますので、実習校選択の際にはご留意ください。

特別支援学校の小・中・高等部のいずれに配属されるかはわからず、教科もすべての教育活動にわたって担当することが多くなることを十分承知しておいてください。

※本学で高等学校福祉科免許状と同時に特別支援学校免許状取得を希望する方の実習は「教育実習」後となります。ある年度に「教育実習」を受講する方は、原則として次年度の「障害児教育実習」受講となります。ただし、同一年度中に両免許状取得、および卒業のためのすべての学習を終えられる方は、特例で同一年度(9～2月)に「障害児教育実習」を受講することもできます。

実習費・実習取消

p. 166をご覧ください。

実習後

実習後、実習校へ御礼状を送付するとともに事後レポートを提出する必要があります。事後指導のスクーリングはありません。

単位認定通知

「障害児教育実習の事前・事後指導」「障害児教育実習」は、①事前指導スクーリング、②実習、③実習日誌・事後レポート（p. 168～169参照）の評価を総合して行います。単位認定通知は、事後レポート提出、および実習日誌の実習校からの返却、いずれか遅いほうから1カ月程度で書面で通知します。実習校から実習日誌が返却されない場合は単位認定ができないので、実習事後レポート提出後、2カ月以上経過しても結果が届かない場合は、通信教育部教育実習係までご連絡ください。

「特別支援学校教諭免許状」授与の申請

- ・免許状は、各自で都道府県教育委員会に申請していただきます。
- ・申請に必要な「単位修得証明書」は、免許申請に必要な単位がすべて修得できたら、『学習の手引き2007』p. 225～226の案内にそって、巻末の「様式8」使用でお申込みください。

※科目等履修生の方・本学通信教育部を卒業しない方

→→単位修得証明書（教員免許申請用）特別支援学校 600円

基礎資格証明書は卒業の大学から取り寄せてください。

※本学通信教育部を卒業の方

→→基礎資格証明書（教員免許申請用）特別支援学校 600円

- ・その他の必要な書類や申請の方法について、各自で申請する都道府県にお問い合わせください（東京都・京都府など規定の用紙に単位修得証明を行う都府県もありますので、ご注意ください）。採用が決まっている場合はその都道府県へ免許申請を行うほうが望ましいようです。
- ・4月からの採用が決まっていないなど特別の理由がない場合は、12～3月中は個人による免許申請を受け付けませんが、各自で都道府県教育委員会に確認してください。
- ・別の大学を卒業している方（本学通信教育部を卒業していない方）は、「基礎資格証明書」は本学では発行できませんので、卒業した大学へ申請してください。本学では「教職免許申請用の単位修得証明書」のみ発行します。

4年生以上配当科目

4年生履修可

専門科目

社会福祉援助技術現場実習指導

科目コード ● 050132

担当教員 ● 阿部一彦・高橋誠一
田中治和・千葉善久也
中里 仁・柿沼利弘ほか

2 単位

SR

4 年

社会福祉
選 択

科目の内容

これまで学修してきた社会福祉学の専門知識を深化させるとともに、各自の援助能力の開発・今後の課題の明確化・自己理解を深める場であり、あわせて福祉専門職としての倫理観を理解する機会となります。

① 配属実習事前指導

実習計画の作成と事前準備（実習の心構え、対人援助・援助過程等の確認、記録作成）

② 配属実習事後指導

実習体験の意識化・客観化・内面化の作業、抽象化・体系化できる能力の涵養^{かんよう}に努める

教科書

- 1) 『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』東北福祉大学（実習申込者に配布）
- 2) 『社会福祉援助技術現場実習の手引き』東北福祉大学（実習申込者に配布）
- 3) 米本秀仁ほか編『社会福祉援助技術現場実習』建帛社、2002年

レポート課題

課題 1

事前指導スクーリング受講前の課題

- ① 「実習計画案」を作成する（鉛筆書き）＝コピー1部を事前指導スクーリング3週間前必着で通信教育部まで送付してください。必ず切手貼付・返信先住所記入の返信封筒を同封してください。封筒を第4種郵便で送付したい方は、『学習の手引き』6章記載の要領で送付してください。
- ② 『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』の「事前訪問までの準備」の部分をすべて完成させる（「事前訪問の主な課題」の部分は記入できる範囲で記入する）＝スクーリング時に持参ください。

課題 2	<p>事前指導スクーリング受講後の課題</p> <p>① 「実習計画書（清書用）」を完成させる＝コピー 2 部を実習開始日の 1 カ月前必着で通信教育部まで送付してください。</p> <p>② 実習先への事前訪問後、『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』の「事前訪問学習の主な課題」の部分ほかすべてを完成させる＝実習先に持参し活用したうえで事後指導スクーリング時に提出してください。</p>
課題 3	<p>実習後、事後指導スクーリング受講前の課題</p> <p>① 実習先への御礼状＝実習終了後 1 週間以内に実習先にお出してください。</p> <p>② 実習事後レポート：4,000字程度＝事後指導スクーリング 3 週間前必着で通信教育部まで送付してください。</p> <p>③ 『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』完成させたもの＝事後指導スクーリングの際に持参してください。</p> <p>④ 実習記録＝実習先から大学に返送されることが多くなります。</p>

アドバイス

主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。実習に関する上記「課題学習」の内容や流れの詳細は、下記、および実習係から配布される書類やスクーリング時の指示に従ってください。

受講条件

社会福祉援助技術現場実習の申込期日（2月末または8月末）までに下記の条件を満たした上で、「社会福祉援助技術現場実習希望届」「学習計画書」「体験学習記録」の提出により申込みを行ってください。実習審査会における審査に合格すれば実習受講が認められます。

- (1) 実習を希望する年度の初めに「社会福祉援助技術現場実習」の履修登録を行なっていること。
- (2) 受講する前年度末（2月末または8月末）の時点で、「社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目」のうち、「社会福祉援助技術現場実習指導」「社会福祉援助技術現場実習」を除く18科目のなかから12科目の単位を修得済みのこと。また、「社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ」の2科目は必ず単位修得していること。
- (3) 受講する前年度末（2月末または8月末）の時点で、卒業が見込まれること（1年次入学者は90単位、2年次編入学者は60単位、3年次編入学者は28単位修得済みであること）。
- (4) 福祉施設での勤務経験がない方は福祉施設での「体験学習」（3日）を行い、「体験

学習記録」を完成させ提出すること。なお、社会福祉援助技術現場実習対象施設での勤務経験のある方は、「実績報告書」（「体験学習・次年度実習ガイダンス」において配布される『社会福祉援助技術現場実習の手引き』の様式）をガイダンス受講後1か月以内に提出し、実績が認可されていること。

- (5) スクーリング受講3週間前の指定期日までに、1単位め（事前課題）レポートの「実習計画案」を提出すること。
- (6) 実習を希望する前年度に「体験学習・次年度実習ガイダンス」を受講していること（すでにガイダンスを受講していても、実習の前年度以前に受講した場合は再度受講が必要です。前年度にガイダンスを受講していない場合は次年度の実習の申込が出来ませんのでご注意ください）。ガイダンス受講希望者は、本冊子巻末の「体験学習・次年度実習ガイダンス申込用紙」にて各演習申込期日までにお申しください。

◆実習申込希望者の単位修得方法

（8月末申込み希望者の単位修得方法）

- 1) レポート 7月末日必着までに提出。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
- 2) 科目修了試験 8月上旬（第3回科目修了試験）までの科目修了試験を受験して合格していること。第3回科目修了試験を受験する方は、平成19年7月20日がレポート提出締切日です。
- 3) スクーリング 8月下旬までのスクーリングを受講して、8月末までに合格していること。

（2月末申込み希望者の単位修得方法）

- 1) レポート 1月末日必着までに提出。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
- 2) 科目修了試験 1月中旬（第7回科目修了試験）までの科目修了試験を受験して合格していること。第7回科目修了試験を受験する方は、平成20年1月5日がレポート提出締切日です。
- 3) スクーリング 2月上旬までのスクーリングを受講して、2月末までに合格していること。

平成19年度スクーリング開講予定

■2007年2月1日～7月10日に実習を希望する方の事後指導スクーリング

開講日	申込締切	実習計画案提出期限
(1) 4月21日(土)	4月2日(月)	3月30日(金)
(2) 6月16日(土)		5月25日(金)
(3) 7月21日(土)		6月29日(金)

■2007年7月1日～12月25日に実習を希望する方の事前指導スクーリング

開講日	申込締切	実習計画案提出期限
(1) 5月19日(土)	4月10日(火)	4月27日(金)必着
(2) 5月26日(土)		5月7日(月)必着
(3) 6月2日(土)		5月11日(金)必着
(4) 7月7日(土)		6月15日(金)必着
(5) 7月14日(土)		6月22日(金)必着

■2007年7月1日～12月25日に実習を希望する方の事後指導スクーリング

開講日	開催地	事後課題提出期限
(1) 9月8日(土)	仙台	事後指導スクーリング受講3週間前(必着)
(2) 10月ごろ		
(3) 11月ごろ		
(4) 12月8日(土)	盛岡	
(5) 未定	仙台・札幌・東京	

スクーリング受講上の注意

実習事前指導のスクーリングを欠席された方は、社会福祉援助技術現場実習は履修できません。

また実習事後のスクーリングを欠席された方は、社会福祉士国家試験受験資格を取得できません。

単位認定通知

①事前指導スクーリング、②実習計画案、③実習、④『社会福祉援助技術現場実習・課題ノート』、⑤実習記録、⑥事後レポート、⑦事後指導スクーリングの評価を総合して行います。単位認定通知は、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面で通知します。

参考図書

- 1) 岡田まりほか編『ソーシャルワーク実習』有斐閣, 2002年
- 2) 福山和女・米本秀仁編著『社会福祉援助技術現場実習指導・現場実習』ミネルヴァ書房, 2001年
- 3) 宮本和明ほか編『三訂 社会福祉実習 (第3版)』中央法規出版, 2002年
- 4) 岡本榮一ほか編『三訂 福祉実習ハンドブック』中央法規出版, 2002年
- 5) 社会福祉実習研究会『社会福祉実習ハンドブック』中央法規出版, 2000年
- 6) 各社発行の福祉小六法・社会福祉辞典

科目コード ● 050901

担当教員 ● 阿部一彦・高橋誠一
田中治和・千葉善久也
中里 仁・柿沼利弘ほか

4 単位

実習科目

4 年

社会福祉

選 択

科目の内容

指定施設において、24日間以上かつ180時間以上の現場実習を行うものです。

実習を通し、社会福祉士としての価値や倫理、技術を十分にご自分のものとしていくことが望まれます。

詳細は『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』に記載の内容と実習係から配布される書類、ならびに前年度のガイダンス、および事前指導スクーリング時に指示されます。

教科書

- 1) 『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』東北福祉大学（実習申込者に配布）
- 2) 『社会福祉援助技術現場実習の手引き』東北福祉大学（実習申込者に配布）
- 3) 米本秀仁ほか編『社会福祉援助技術現場実習』建帛社、2002年

アドバイス

実習計画案作成にあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるよう十分配慮してください。

主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。実習に関する「課題学習」の内容や流れの詳細は実習係から配布される書類の指示に従ってください。

実習期間

- (1) 24日間以上、かつ180時間以上（両方の条件を満たすことが必要）
- (2) 分割的に実習を行うことも、受け入れ先の了解、および実習内容等について、社会福祉援助技術現場実習指導教員および通信教育部実習係の了解が得られれば可能です。ただし、原則として1週間（6日間）×4回を最も細かい分割とします。
- (3) 実習先の指導により、宿泊しながらの実習となる場合もあります。夜勤の実習は午前0時で区切って、1日の実習時間が原則8時間となるようにします。
- (4) 実習時間の決定などにあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるように十

分配慮してください。

●実習期間

◆2月末申込みで実習の受講が認められた方

7月1日～12月25日

(実習の流れ)

①5月、6月、7月いずれかの事前指導受講→②7月1日～12月25日の期間に実習
→③9月～1月いずれかの事後指導受講→④3月卒業

◆8月末申込みで実習の受講が認められた方

2月1日～7月10日

(実習の流れ)

①11月～1月いずれかの事前指導受講→②2月1日～7月10日の期間に実習
→③4月～7月いずれかの事後指導受講→④9月卒業

受講条件

実習に出るためには下記の受講条件を満たすことが必要です。

- (1) 卒業後、社会福祉分野の業務に携わる意志を強く持っており、社会福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。
- (2) 社会福祉士の国家資格の取得を強く希望し、国家試験の受験をする意欲があること。
- (3) 「社会福祉援助技術現場実習事前指導」のスクーリングを受講していること。
- (4) 「実習計画案」、「健康診断書」、「誓約書」、「社会福祉援助技術現場実習課題ノート」を原則として事前指導スクーリング時に提出していること。
- (5) 実習開始日の1カ月前までに完成した「実習計画書(清書用)」のコピー2部を通信教育部に提出していること。
- (6) 実習開始日の1カ月前までに「現場実習指導」と「現場実習」を除く指定18科目の単位を修得していること。
- (7) ルールが守れない方(スクーリングやガイダンスに遅刻する、許可なく自家用車で本学に来校する、事前・事後レポートの提出期限や入金期限が守れないなど)は、実習先に迷惑をかけるおそれがあるとされ、実習受講が許可できなくなります。

単位認定通知

原則として、「社会福祉援助技術現場実習指導」単位認定通知といっしょに、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面で通知します。

科目コード ● 050902

担当教員 ● 志村裕子・阿部正孝
ほか

6 単位 | SR+実習科目 | 4 年

社会福祉

選択

科目の内容

本科目は、①実習事前指導、②実習（24日間以上かつ180時間以上）、③実習事後指導から成り立っています。実習を通し、皆さん自身が、専門職である援助者として、ふさわしい自分であるかどうかを見つめていただくことが重要となります。そのための事前学習がかなり大切となります。大学から与えられた課題のみではなく、体験学習を通して得た課題をさらに深め、確認していけるよう、皆さん自身が、積極的に学ばれることが必要です。

実習を通し、精神保健福祉士としての価値や倫理、技術を十分にご自分のものとしていくことが望めます。

事後指導では、実習において、それぞれが、自分の課題をいかに達成できたか、あるいは達成できなかったことはどういうことか等の振り返り、これまで学んできた援助技術がどれくらい身についたかなどを検討していきます。

教科書

- 1) 『精神保健福祉援助実習の手引き』東北福祉大学（実習申込者に配布）
- 2) 『精神保健福祉援助実習課題ノート』東北福祉大学（実習申込者に配布）
- 3) 精神保健福祉士養成講座編集委員会編『精神保健福祉援助実習（精神保健福祉士養成講座8）』中央法規出版、2004年

レポート課題

課題 1

事前指導スクーリング受講前の課題

- ① 「実習計画案」を作成する（鉛筆書き）＝事前指導スクーリング5週間前必着で通信教育部まで送付してください。
- ② 『精神保健福祉援助実習課題ノート』の「事前訪問までの準備」の部分すべて完成させる（事前訪問の主な課題」の部分は記入できる範囲で記入する）＝スクーリング時に持参ください。

課題2

事前指導スクーリング受講後の課題

- ① 「実習計画書（清書用）」を完成させる＝コピー2部を実習開始日の1カ月前必着で通信教育部まで送付してください。
- ② 実習先への事前訪問後、『精神保健福祉援助実習課題ノート』の「事前訪問の主な課題」の部分完成させる＝事後指導スクーリング時に提出してください。
- ③ 実習先への依頼状＝実習1カ月前ぐらいで大学からの書類が届いたころ個人でお願いの気持ちを込めて実習先へ依頼状（封書）を出してください。

課題3

実習後、事後指導スクーリング受講前の課題＝事後学習は現場実習での自己の振り返りを行い、自己評価とあらたな課題設定に向けて、一定の整理を行うものです。下記に沿って課題にあたってください。

- ① 実習先への御礼状＝実習終了後1週間以内に封書にて実習先にお出しください。
- ② 実習事後レポート：4,000字程度＝事後指導スクーリング3週間前必着で通信教育部まで送付してください。1) 実習を終えての全体的感想、2) 実習前と実習後の精神保健福祉現場についての印象の変化、3) 設定した課題の評価や自分のあらたな課題、また、4) 実習を通して知りえた自分自身の評価も含めながら現場実習の成果と評価をまとめてください。実習で学んだことを分析考察するものを望んでいます。単なる感想にならないように留意ください。
- ③ 『精神保健福祉援助実習課題ノート』完成させたもの＝事後指導スクーリングの際に持参してください。
- ④ 実習記録＝実習先に提出し、実習先から大学へ返送されることが多くなります（事後レポート作成のため、自分用のコピーをとっておいてください）。

アドバイス

実習に関する「課題学習」の内容や流れの詳細は、実習係から配布される書類やスクーリング時の指示に従ってください。

課題1・2 解説

(1) 『精神保健福祉援助実習課題ノート』に示す事前学習課題は、実習生として少なくとも踏まえておかなければならないものです。事前訪問までの準備」の部分は、手引きの最終ページの参考文献に基づいて、施設機関等の依拠する法律、施設機関の組織や機能、社会資源の関連法規等について学び、事前指導スクーリングまでに整理してください。十分な準備によってまとめられた資料は、必ず実習期間中に役立つものとなります。

(2) それぞれの関心領域に基づき積極的に学ぼうとする姿勢が実習には重要です。「実習計画案」の作成は学び方を客観的にまとめる作業ですので、何を学びたいのか、そのためにどう取り組みたいのかの視点で立案してください。その際、実習指導者が決まってい

る場合、指導者と相談しながら計画を練ることも大変有効と思います。

(3) 「実習計画案」は事前に送付してある実習計画書に鉛筆書きで作成し、封書で通信教育部実習係まで送付してください。必ず切手貼付・返信先住所記入の返信封筒を同封してください。封書を第4種郵便で送付したい方は、『学習の手引』記載の要領で送付してください。

(4) 実習の受け入れ施設は多忙な業務を割いて指導してくれることを忘れないでください。それに応えられるだけの成果を得るような事前の準備を心がけてください。

課題3 解説

(1) 実習後、事後指導スクーリング前の課題は、実習体験やご自身の専門職としての適性を含めた十分な振り返りを行い、レポートにまとめてください。特に、専門職としての適性については慎重にご自身を見つめ直してください。実習の目標課題の達成度を含め、実習で得た内容を、自分の実習計画に即しながらまとめてください。

(2) 実習事後レポートは、A4判用紙にまとめ（ワープロ・パソコン可 字数4,000字程度）、事前指導時に配布する「レポート用紙（表紙ピンク色）に貼り付けて、事後指導スクーリング受講3週間前までに提出してください。

実習期間

◆2月末申込みで実習の受講が認められた方

実習期間：7月1日～12月25日

（実習の流れ）

- ①5月または6月の事前指導受講 → ②7月1日～12月25日の期間に実習
→ ③12月または2月に事後指導受講 → ④3月卒業

◆8月末申込みで実習の受講が認められた方

実習期間：2月1日～7月10日

（実習の流れ）

- ①11月または12月の事前指導受講 → ②2月1日～7月10日の期間に実習
→ ③6月または7月に事後指導受講 → ④9月卒業

受講に際しての注意事項

実習受講にあたり、下記のとおり段階的に所定の条件を満たしていくことが必要となります。詳細については、以降の各条件をご確認ください。

- (1) 精神保健福祉援助実習申込み条件

- (2) 精神保健福祉援助実習事前指導スクーリング受講条件
- (3) 精神保健福祉援助実習事後指導スクーリング受講条件

精神保健福祉援助実習 申込み条件

精神保健福祉援助実習の申込期日（2月末または8月末）までに下記の条件を満たした上で、「精神保健福祉援助実習希望届」「学習計画書」「体験学習記録」の提出により申込みを行ってください。実習審査会における審査に合格すれば実習受講が認められます。

- (1) 実習を希望する年度の初めに「精神保健福祉援助実習」の履修登録を行っていること。
- (2) 受講する前年度末（2月末または8月末）の時点で、「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目」のうち、「精神保健福祉援助実習」を除く17科目のなかから12科目の単位を修得済みのこと。また、「精神保健福祉援助演習」は必ず単位修得していること。レポート提出期限については下記「実習申込希望者の単位修得方法」参照。
- (3) 受講する前年度末（2月末または8月末）の時点で、卒業見込み要件として1年次入学者は90単位、2年次編入学者は60単位、3年次編入学者は28単位を修得済みであること。
- (4) 精神保健福祉機関・施設での勤務経験がない方は精神保健福祉機関・施設での「体験学習」を2日間以上かつ1カ所以上で行い（1日ずつ、2カ所でも可）、「体験学習記録」を完成させ提出すること（本冊子p.71「体験学習」参照）。なお、精神保健福祉機関・施設での勤務経験のある方は、「実績報告書」（「体験学習・次年度実習ガイドンス」において配布される『精神保健福祉援助実習の手引き』の様式）をガイダンス受講後1カ月以内に提出し、実績が認可されていること。

※平成18年度以前の入学生に対しても上記の条件が適用されます。

●実習申込希望者の単位修得方法

◆2月末申込み希望者の単位修得方法

- 1) レポート 1月末日必着までに提出。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
- 2) 科目修了試験 1月中旬（第7回科目修了試験）までの科目修了試験を受験して合格していること。第7回科目修了試験を受験する方は、1月5日がレポート提出締切日です。
- 3) スクーリング 2月上旬までのスクーリングを受講して、2月末までに合格していること。ただしレポート提出は1月末日必着まで。

◆ 8月末申込み希望者の単位修得方法

- 1) レポート 7月末日必着までに提出。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
- 2) 科目修了試験 8月上旬（第3回科目修了試験）までの科目修了試験を受験して合格していること。第3回科目修了試験を受験する方は、7月20日がレポート提出締切日です。
- 3) スクーリング 8月下旬までのスクーリングを受講して、8月末までに合格していること。ただしレポート提出は上記期日まで。

※精神保健福祉士国家試験資格取得のための指定科目履修の流れについては『学習の手引き』2007年度版p.108～109もご覧ください。

精神保健福祉援助実習事前指導スクーリング受講条件

「精神保健福祉援助実習」の事前指導ではスクーリング（1日間・3コマ）が課されます。受講するための条件は下記のとおりとなる予定です。

- (1) 上記の「精神保健福祉援助実習の受講条件」を満たしていること。
- (2) 実習受入の内諾確定後（p.192「実習先の選定」参照）スクーリング受講5週間前の指定期日までに、事前課題1単位めの「実習計画案」（「体験学習・次年度実習ガイダンス」において配布される『精神保健福祉援助実習の手引き』の様式）を提出し、最低2回以上の添削指導を受けていること。
- (3) 指定の期日までに、精神保健福祉援助実習の受講料を納入していること。

精神保健福祉援助実習 事前指導スクーリング申込み手続き

この科目のスクーリングは、下記の日程で行います。「事前指導スクーリング受講条件」を満たした方で、下記期間に実習を受講する方は、本冊子巻末の「受講申込みハガキ」に必要事項を記入して、期限までに事前指導スクーリングの申込みを行ってください。

●開講日程

実習前にいずれか1日（3コマ）を受講してください。開講地は仙台、開講時間は9：30～15：50（14：50～15：50「実習直前ガイダンス」）です。当日の飛行機欠航・高速バス遅延など公共交通機関が原因でも、遅刻・欠席をすると実習が受講できなくなりますので、余裕をもってご来校ください。ただし、当日開始1時間20分前までに仙台駅に着く東北新幹線ほかJR列車、高速バスの30分以上の遅延については、何らかの配慮をいたします。

■2007年7月1日～12月25日に実習を希望する方の事前指導スクーリング

開講日	申込締切	実習計画案提出期限
5月27日(日)	4月10日(火)	4月23日(月)必着
6月17日(日)		5月14日(月)必着

※開講時間 9:30～15:50 (14:50～15:50「実習直前ガイダンス」)を予定

■2008年2月1日～7月10日に実習を希望する方の事前指導スクーリング

開講日	申込締切	実習計画案提出期限
11月25日(日)	10月9日(火)	10月22日(月)必着
12月16日(日)		11月12日(月)必着

※開講時間 9:30～15:50 (14:50～15:50「実習直前ガイダンス」)を予定

●受講許可通知発送

受講希望者で条件を満たしている方は、原則として希望の日程で受講が可能です。

上記申込み締切後2週間程度で、クラス分け後、受講許可通知と受講料納入依頼書を発送します。この科目のスクーリング単位は、事後指導受講分と合わせて1単位が修得できます。受講料は、事後指導受講分と合わせて10,000円を、事前指導申込者に請求させていただきます(事後指導申込み時は受講料の納入は不要です)。

精神保健福祉援助実習事後指導スクーリング受講条件

実習受講後に、事後指導スクーリングを受講する必要があります。スクーリングを受講するための条件は下記のとおりです。

- (1) 指定された日数・時間の実習を終了していること。
- (2) 受講を希望する開催日ごとに定められた期日までに事後レポートを提出していること。
- (3) 『精神保健福祉援助実習課題ノート』を完成させていること(事後指導スクーリング受講の際に持参)。

精神保健福祉援助実習 事後指導スクーリング申込み手続き

申込みは下記の期日までに本冊子巻末の申込みハガキにて行なってください。

●開講日程

いずれか2日間(5コマ)を受講してください。開講地は仙台、開講時間は1日目13:20～17:40、2日目9:30～12:20です。当日の遅刻・欠席の扱いについてはp.189の事前指導スクーリングに同じです。

■2007年2月1日～7月10日に実習する方の事後指導スクーリング

開講日	申込締切	事後レポート提出期限
6月30日(土)・7月1日(日)	4月2日(月)	6月11日(月)必着
7月28日(土)・29日(日)		7月13日(金)必着

※1日目13:20～17:40 2日目9:30～12:20を予定

■2007年7月1日～12月25日に実習する方の事後指導スクーリング

開講日	申込締切	事後レポート提出期限
12月22日(土)・23日(日)	10月29日(月)	12月3日(月)必着
2月2日(土)・3日(日)		1月15日(火)必着

※1日目13:20～17:40 2日目9:30～12:20を予定

精神保健福祉援助実習について

「精神保健福祉援助実習」は、p.193「精神保健福祉援助実習対象施設」において、24日間以上、かつ180時間以上の実習を行うものです。

「実習」前に「実習事前指導スクーリング」を受講する必要があります。また、「実習」後には「実習事後指導スクーリング」を受講する必要があります。

実習希望者は、下記の要件を満たしている必要があります。

- (1) 卒業後、精神保健福祉分野の業務に携わる意志を強く持っており、精神保健福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。
- (2) 精神保健福祉士の国家資格の取得を強く希望し、国家試験を受験する意欲があること。
- (3) 「精神保健福祉援助実習 事前指導」のスクーリングを受講していること。
- (4) 原則として「実習計画案」の添削指導を受け、「個人記録(実習用)」「健康診断書」「誓約書」を事前指導スクーリング時に提出していること。
- (5) 実習開始日の1カ月前までに「援助実習」を除く指定17科目の単位がすべて修得済みであること。実習希望届と同時に提出する「学習計画書」で無理のない計画を立てて実行してください。
- (6) 実習開始日の1カ月前までに完成された「実習計画書(清書用)」のコピー2部を通信教育部に提出していること。
- (7) ルールが守れない方(スクーリングやガイダンスに遅刻する、許可なく自家用車で本学に来校する、事前・事後レポートの提出期限や入金期限が守れないなど)は、実習先に迷惑をかけるおそれがあるとされ、実習受講が許可できなくなります。

●実習日数・時間

- (1) 24日間以上、かつ180時間以上（厳守）
- (2) 分割的に実習を行うことも、受け入れ先の了解、および実習内容等について、精神保健福祉援助実習指導教員および通信教育部実習係の了解が得られれば可能です（原則として2分割まで）。
- (3) 実習先の指導により、宿泊しながらの実習となる場合もあります。夜勤の実習は午前0時で区切って、1日の実習時間が原則8時間以上となるようにします。実習時間が5時間以上8時間未満を半日とし、半日を2回分で1日に換算します。実習中は、規定の日数及び総時間数について実習指導者への確認を行なってください。
- (4) 実習時間の決定などにあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるように十分配慮してください。

●実習期間

p. 187の「実習期間」欄を参照してください。

●実習先の選定

実習先への正式依頼の手順は下記のとおりとなります。

- (1) 「精神保健福祉援助実習希望届」に、実習希望先を実習生本人が記入して通信教育部実習係あて送付してください。
- (2) 大学から、第1希望の施設へ受け入れについて伺いの電話をします。
 - ◆内諾 可 → 大学から伺いの文書を施設へ送付します。本人へもお知らせします。
 - ◆内諾 不可 → 第2希望の施設へ伺いの電話をします。第2希望の施設も不可だった場合は、本人の希望をもとに、本学でも受け入れ施設の調整を行います。希望の地域・時期・種別では見つからないことも予想されますので、ご了承ください。
- (3) 実習の正式依頼については、大学側と実習先側の契約になりますので、すべて通信教育部で行います。ただし、以前から親しくしている施設に対して、自分で内諾を得ることは可です。その場合、「実習希望届」に内諾を得ている旨記入してください。
- (4) 現在、実習該当施設に勤務している方は、勤務先での実習も可です。ただし、勤務先所属長の了解をとり、有給休暇扱いで「精神保健福祉援助実習」にふさわしい内容が必要です。

●実習費

実習費（85,000円）と、事前事後指導スクーリング受講料（10,000円）をそれぞれ請求

させていただきます。期限までにコンビニエンス・ストアでお支払いください。原則として、一旦納入した実習費は、返却できませんのでご注意ください。

実習費には、実習保険加入費、実習委託費（謝礼）、実習巡回費、諸手続き費などが含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その部分を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

●実習準備事前・事後課題

実習の事前事後課題については、p.185～186をご覧ください。また、実習係から配布される書類やスクーリング時の指示に従ってください。実習申込時に配布される『実習課題ノート』は、事前学習ならびに実習中に存分に活用し、完成させてください。

精神保健福祉援助実習対象施設

精神保健福祉援助実習の実習先種別は下記のとおりです。

※平成10年厚生省告示第10号（改正平成12年厚告211・538，平成18年厚告573号）

精神保健福祉士短期養成施設等及び精神保健福祉士一般養成施設等指定規則第五条第一号カの規定に基づき、厚生労働大臣が別に定める施設

- (1) 精神病院
- (2) 病院又は診療所（精神病床を有するもの又は精神科若しくは心療内科を広告しているものに限る。）
- (3) 保健所
- (4) 地域保健法（昭和22年法律第101号）に規定する市町村保健センター
- (5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）に規定する精神保健福祉センター、障害者自立支援法（平成17年法律123号）附則第46条の規定による改正前の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下この号において「旧法」という。）に規定する精神障害者生活訓練施設、精神障害者授産施設、精神障害者福祉工場及び精神障害者地域生活支援センター並びに障害者自立支援法附則第48条の規定によりなお従前の例により運営することができることとされた同条に規定する精神障害者社会復帰施設（旧法に規定する精神障害者生活訓練施設、精神障害者授産施設及び精神障害者福祉工場に限る。）
- (6) 障害者自立支援法に規定する障害福祉サービス事業（生活介護、共同生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援又は共同生活援助を行うものに限る。）又は相談支援事業を行う施設、障害者支援施設及び地域生活支援センター（主として精神障害者（同法第4条第1項に規定する精神障害者をいう。）が利用するものに限る。）

※(2)の診療所については、本学の実習指導方針に則り、精神科デイケアを併設している診療所とする（診療のみの場合は認められない）。

単位認定通知

①事前指導スクーリング、②実習計画案、③実習、④『精神保健福祉援助実習課題ノート』、⑤実習記録、⑥事後レポート、⑦事後指導スクーリングの評価を総合して行います。単位認定通知は、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面にて通知します。

参考図書

- 1) 精神保健福祉士養成講座編集委員会編『精神保健福祉援助演習（精神保健福祉士養成講座 7）』中央法規出版
- 2) 『精神保健福祉援助実習課題ノート』（「体験学習・次年度実習ガイダンス」時に配布）の「参考図書」を参照

卒業研究

卒業研究 050991

科目コード●050991

担当教員●本学専任教員

8単位

卒業研究

4年

社会福祉

選択

社会教育

選択A

福祉心理

選択A

科目の内容

卒業研究は、在学中における学習成果をもとに、各自が研究テーマを設定し、担当教員の指導助言を受けながら、論文を作成するものです。

必修科目ではありませんが、学生時代に学問的な創造性を発揮し得る絶好の機会です。自分がはたして大学で何を学び身につけることができたのかを確認することもできます。時間的な余裕のある学生は履修することをお勧めします。

教科書

各自で研究テーマに応じて準備。福祉心理学科の方は『福祉心理学科スタディガイド』VI章は必読。

卒業研究の流れ

① 研究テーマの決定

(1) 問題意識の具体化・明確化

一般に論文を書く場合、まず第1に、テーマをどのようなものにするかが問題となります。テーマは、かなり漠然とした興味や関心から出発することが多いものです。また、講義や実習・実験の中で、こういうことを研究したいという、ある程度具体的な問題意識を持つ場合もあるでしょう。しかし、いざ自分の研究として進めていこうとすると、どこから手をつけてよいか、方向づけに迷いがちなものです。したがって、研究を進めていく第一歩は、問題をできるだけ明確にし、一定期間内でまとめあげられるように絞り込んでいくことです。そのためにはまず、自分の興味・関心に関連のある文献を読むことが必要です。また、この段階で可能ならば通信教育部事務室を通して然るべき先生に相談し、指導を仰ぐことも、問題意識を深める上で非常に役立つはずですが、さらに、順序は逆になりますが、はっきりした問題意識の方向がなかなか定まらない場合に、文献を読むことによって、おもしろそうな問題を発見することもあると思われます。

(2) 関連文献を調べること

問題意識がある程度具体化してきたら、関連のある文献を読み始めます。文献とは、単行本だけではなく、オリジナルな論文（専門誌・学会誌や紀要など＝『学習の手引き2007』p.206）も含まれます。文献は、まず、最も新しいものを読み、それからさかのぼって読んでいくのがいいと思いますが、1つの論文を読むと、それに関連した文献が、参考文献（references）の欄に挙げられていますから、その文献を次々に読んでいくのが効率的です。

関連論文が見つかったら、とりあえずは、自分なりの文献目録を作ります。そうすると、後で本格的に文献を整理する時に効果的です。

(3) 仮テーマ（仮題）の決定＝卒業研究の受講申込み

＝通信教育部への提出（3月卒業希望者）4月10日(火)必着／（9月卒業希望者）
10月10日(火)必着

(1)、(2)により、ある程度問題意識が明確になったら、その問題の方向に従って、仮テーマを決定し、本冊子巻末の「平成19年度 卒業研究 申込用紙」に必要事項を記入して、大学に提出していただきます。各自の提出したテーマを検討し、大学で指導教員を決定します。

この段階でp.198～199の「卒業研究の受講条件」を満たしていることが必要です。また、テーマや主旨が明確でない方は、卒業研究の受講ができない場合もありますので、ご了承ください。

(4) 指導教員の決定

＝通信教育部から書面で連絡 5月10日(木)/11月10日(土)までに発送予定。なお、指導教員が決まったら、できるだけ早く面接指導でも通信指導でもよいので、初回の指導を受けてください。

(5) テーマ（論題）の最終決定

指導教員が決定したら、その指導、助言のもとに、具体的なテーマを決定します。テーマは、研究の具体的な内容が理解できるように、できるだけ具体的かつ簡潔なものであることが望めます。また、やや抽象的なメインテーマに、具体的なサブテーマをつける方法もよく使われています。

② 研究を進める

研究を進めるプロセスとしては、①文献研究、②データ・資料の収集・分析、③執筆などが考えられますが、指導教員の指導を十分に受けることが必要です。

なお、研究・執筆の過程で、最低限2回の面接指導、3回の通信指導を受けることが必要です。ただし面接指導の回数が2回より多くなる場合は、通信指導はその分減らすことができます。また、面接指導の日程は教員から指定されます。

その過程で「卒業研究執筆許可」と「卒業研究提出許可」を指導教員からもらう必要があります。調査やインタビューなどを実施する前には必ず「卒業研究執筆許可」を指導教員からもらってください。

(1) 通信指導

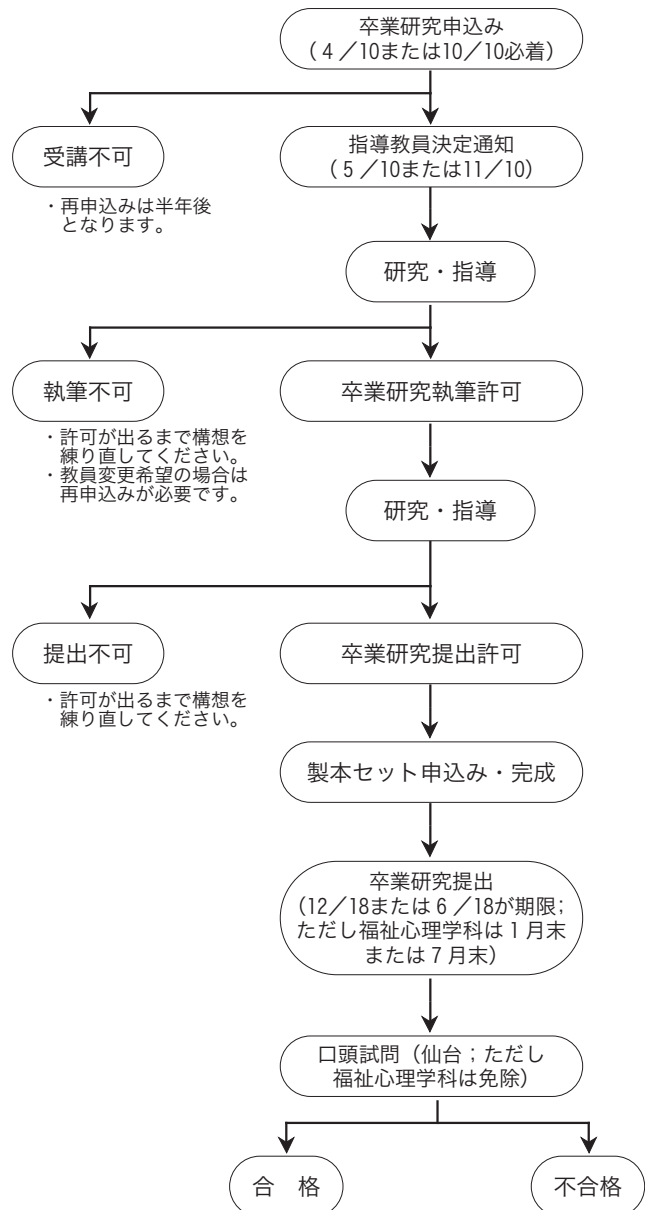
通信指導は、卒業研究の進行状況に応じたレジюме（要旨・要約）などを作成・提出することにより指導教員に指導を受けることです。指導は、一般的には通信教育部事務室経由で郵送で行っていただきますが、指導教員によっては学生－教員間で直接やりとりを行っていただきます。

(2) 面接指導

面接指導は、担当教員と直接会い、指導を受けるものです。原則として、本学の演習室か教員研究室で行います。面接指導には、事前の申し込みが必要です。申し込みは、(1)通信教育部事務室経由で行う場合、(2)指導教員と直接相談して決めていただく場合があります。

通信教育部事務室経由で行う場合は、本冊子巻末の「卒業研究ガイダンス・面接指導申込書」の「面接指導」欄と「相談・質問内容」欄に必要事項を記入して、FAXまたは郵送でお申し込みください。同様の内容を記入していただいて、電子メールでの申し込みも可能です。

申し込み以後の流れは右記のとおりです。



提出の方法

- (1) 400字詰原稿用紙で50枚以上100枚以内の分量が必要です。もちろん卒業研究としてふさわしい論文の内容でないと合格することはできません。
- (2) パソコンの場合は、下記のスタイルに統一してください。
 - ・ A 4判の用紙ヨコ書 左右40字×天地30行 マージン上下左右各30mm
 - ・ 文字サイズは本文10.5ポイントを原則としてください。見出しは、適宜大きいポイントにしたり、太字にしてください。
- (3) ページ数を頁下部に記入または印字してください。
- (4) 本文以外に、論文のスタイルにそって①目次や②注または引用・参考文献などをつける必要があります。
- (5) 3月卒業希望者の論文提出締切は12月18日（ただし福祉心理学科は1月末）、9月卒業希望者の論文提出締切は6月18日（ただし福祉心理学科は7月末）前後となり、1～2月、7～8月の口頭試問に合格することが必要です（福祉心理学科は口頭試問なし）。提出の際の「製本」仕様については受講者にご案内します。なお、論文は正副あわせて2部提出していただきます。

卒業研究の受講条件

- (1) 正科生・4年生以上で、受講申込み締切日（p.196(3)）までに、卒業見込となる単位数（1年次入学者は90単位以上、2年次編入学者は60単位以上、3年次編入学者は28単位以上）を修得済みの方。科目等履修生の方の卒業研究受講はできません。
- (2) 自身で研究したいテーマがあり、論文の構想が申込み時に作成でき、指導教員から卒業論文執筆許可をもらうこと。指導教員は、希望する研究テーマにもとづき大学側で決定されます。
- (3) 執筆の過程で、最低2回以上の面接指導、3回以上の通信指導を受けられることが必要です（面接指導の日程は教員から指定されます）。
- (4) 期限までに論文が提出でき、完成する論文は400字詰原稿用紙で50枚以上100枚以内の分量が必要です。もちろん卒業研究としてふさわしい内容でないと合格することはできません。
- (5) 福祉心理学科で「卒業研究」を受講するためには、下記の条件が必要です。
 - ① 卒業研究申込締切日までに「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」の単位が修得済であることが求められます。
 - ② 実験・研究法を除く福祉心理学科 専門必修科目・専門選択科目A群の17科目のうち10科目以上の単位を修得しているか、学習を終了（レポート提出済、かつ科目

修了試験受験済orスクーリング受講済) していることも必要です。

- ③ 可能な限り、「卒業研究第2回めガイダンス＝事前個別相談」を受講していること。

福祉心理学科・卒業研究ガイダンス

福祉心理学科で卒業研究の申込みをする方は、事前に「卒業研究ガイダンス」を2回受講することを推奨しています。以下のガイダンスに出席したから必ず「卒業研究」に取り組まなければいけないということはありません。

(1) 卒業研究第1回めガイダンス

卒業研究の概要について説明されるものです。この内容は、「オンデマンド授業」視聴の要領で自宅のパソコンで視聴することができます（科目名「福祉心理学科・卒業研究ガイダンス」）。また、「心理学研究法Ⅱ」スクーリング開講日などにビデオ視聴することができます。第1回めガイダンスの受講申込みは不要です。

(2) 卒業研究第2回めガイダンス（事前個別相談）

希望するテーマをもとに教員と個別、または少人数のグループで相談するものです。

第2回めガイダンス（事前個別相談）は、毎年「心理学研究法Ⅱ」のスクーリング前後（3・8月を予定）および12月ごろに実施を予定しています。第2回めガイダンスは、申込みが必要です。申込み方法は『With』に掲載いたしますが、概略は下記のとおりです。

(3) 卒業研究第2回めガイダンス申込み（事前個別相談）の申込み方法

卒業研究第2回めガイダンスは、本冊子巻末の「卒業研究ガイダンス・面接指導申込書」の「ガイダンス」欄と「相談・質問内容」欄に必要事項を記入して、FAX（FAXで返信可の場合のみ）または郵送でお申込みください。同様の下記の内容を記入していただいて、卒業研究係あての電子メールでの申込みも可能です（電子メールアドレス uc@tsukyo.tfu.ac.jp）。

メールの件名 卒業研究2回めガイダンス申込み

メール本文 下記①～⑩を箇条書きに記入してください。

- ① 卒業研究2回めガイダンス申込み
- ② 氏名
- ③ 学籍番号
- ④ 住所
- ⑤ 連絡先電話番号・FAX・携帯番号

- ⑥ 電子メール アドレス
- ⑦ 卒業研究で取り組んでみたいテーマ（簡単で可）
- ⑧ 希望日（遅れる場合は到着予定時間）
- ⑨ 希望教員の有無（ない場合はなしで可。ある場合は第1希望・第2希望）
- ⑩ （あれば）質問

社会福祉学科・社会教育学科 卒業研究ガイダンス

社会福祉学科・社会教育学科の方のための全体ガイダンスもオンデマンド型授業の方法（科目名「福祉心理学科・卒業研究ガイダンス」の2回め講義欄）で視聴が可能です。

社会福祉学科・社会教育学科の方、および上記ガイダンスに参加が難しい福祉心理学科の卒業研究受講希望者で、取り組んでみたいテーマはあるが、研究方法がわからないなどご質問・ご相談のある方は、(1)学籍番号、(2)氏名、(3)卒業研究テーマ、(4)質問内容を記入し、郵送・FAX・電子メールなどの書面で通信教育部までお問い合わせください（電子メールアドレス ugr@tsukyo.tfu.ac.jp）。

諸注意

卒業研究を途中で断念する場合は、通信教育部または指導教員まで文書にて（様式自由）ご連絡ください。

卒業研究は1年で終えなくても結構です。

卒業研究を「科目等履修生」として履修することはできません。

参考図書

1) 論文執筆全般に関するもの

吉田健正著『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方（第2版）』ナカニシヤ出版、2004年

新堀 聡著『評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方』同文館出版、2002年

斉藤 孝著『増補 学術論文の技法』日本エディタースクール出版部、1977年

保坂弘司著『レポート・小論文・卒論の書き方』講談社学術文庫、1978年

U.エコ著『論文作法』而立書房、1991年

木下是雄著『レポートの組み立て方』ちくま学芸文庫、1994年

慶應義塾大学通信教育部編『卒業論文の手引<新版>』慶應義塾大学出版会、2003年

奥田統巳ほか著『読みやすく考えて調べて書く（第2版）』学術図書、2003年

2) 社会福祉学関連

- 川村匡由著『福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方』中央法規, 2002年
久田則夫著『ノリさんの楽々レポート作成術』大揚社, 1995年
平山 尚ほか著『ソーシャルワーカーのための社会福祉調査法』ミネルヴァ書房,
2003年
立石宏昭著『社会福祉調査のすすめ』ミネルヴァ書房, 2005年
畠中宗一・木村直子著『社会福祉調査入門』ミネルヴァ書房, 2004年
鈴木庄亮ほか著『保健・医療・福祉のための論文のまとめ方と書き方 [改訂第2
版]』南江堂, 2006年

3) 歴史学関連

- 歴史科学協議会編『卒業論文を書く』山川出版社, 1997年

4) 心理学関連

- 「福祉心理学科 卒業研究の手引き」の文献欄参照（『福祉心理学科スタディ・ガイド』所収）

最新のものとしては、下記の書籍がある。

- 松井 豊著『心理学論文の書き方』河出書房新社, 2006年
都筑 学著『心理学論文の書き方』有斐閣アルマ, 2006年
杉本敏夫著『心理学のためのレポート・卒業論文の書き方』サイエンス社, 2005年

特別支援 学校教諭免許状に 関する科目

新法・2・3年生以上配当科目

平成14～18年度入学者

資格科目

平成19年度入学者以降

社会福祉学科 専門選択科目

この部にとりあげられているものは、平成19年4月から新設される特別支援学校教諭一種免許状取得に関する新法対応科目です。

2年生以上・3年生以上の科目を合わせて、科目コード順に掲載されています。

平成19年度以降の(編)入学者は、原則としてここに掲載の新法対応科目を履修することになります。

旧法対応科目の掲載ページは目次を参照してください。

【お知らせ】

平成19（2007）年4月より「特別支援学校」制度が創設されます。この部に載っている科目の参考図書などには、発行年の関係で「特別支援学校」「特別支援教育」制度に対応していなかったり、用語が古いものがあります。

文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htmなどで特別支援教育の理念と制度を理解したうえで、学習を進めてください。

なお、概略は下記のとおりです。

1）平成19（2007）年4月より盲学校、聾学校および養護学校が、障害種別を超えた「特別支援学校」に一本化されます。

※4月以降現在の養護学校は、法律上は「特別支援学校」になりますが、学校の名称は「〇〇養護学校」と変更されない場合もあります。

2）小・中学校の「特殊学級」も「特別支援学級」に名称変更されます。

3）学校教育法上の「障害」の呼び方や分類が変わります（一部H18.4施行済）

(旧) 情緒障害者

→→ (新) ① 自閉症者 ② 情緒障害者（選択性かん黙など）

※自閉症が「情緒障害」とは明確に区分されます。

(旧) 盲者 →→ (新) 視覚障害者

(旧) 聾者 →→ (新) 聴覚障害者

・さらに、LD（学習障害者）、ADHD（注意欠陥多動性障害者）も特別支援教育の対象となりました。

科目コード●050720

担当教員●荒川 圭介

4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
資格/福選14~18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

この科目では、障害者教育の歴史、障害者の特性、障害者教育の現状、我が国の障害者教育の法体系や教育制度等について学習します。

障害者といっても、ひとりひとりの障害の種類や程度、特性等による相違があります。障害者ひとりひとりが、自立し社会参加していく資質を培うため、それぞれの障害の種類、程度、特性等に応じ、①特別支援学校、②小・中学校の特別支援学級、通級による指導、通常の学級において、きめ細やかな教育が行われています。

習得するにあたっては、実際に障害者教育の場を見学するなどして障害者および障害者教育についての理解を深めることが大切なことといえるでしょう。また、社会のノーマライゼーションの進展、障害者の自立と社会参加の充実、特別支援教育の推進等の大きな流れを把握していかなければなりません。さらに、社会の変化に応じて法律の改正、教育内容や方法の改善などがなされるので、新しい情報についても関心を示し、対応を図っていく必要があります。

教科書

佐藤泰正編『特別支援教育概説』学芸図書、2007年春発行予定

レポート課題

1 単位め

次の課題1、課題2、課題3のいずれか1つを選んで解答しなさい。

- 課題1 視覚障害者の教科指導における一般的な配慮事項について具体的に述べなさい。
- 課題2 聴覚障害者の「自立活動の指導」の特徴について具体的に述べなさい。
- 課題3 知的障害者の心理的特性を要約し、知的障害者教育の配慮事項について具体的に述べなさい。

2 単位め	<p>次の課題1, 課題2, 課題3のいずれか1つを選んで解答しなさい。</p> <p>課題1 脳性まひ者の発達の特徴について述べるとともに、肢体不自由者（運動障害者）教育における4つの教育課程について述べなさい。</p> <p>課題2 病虚弱者の心理的特性について述べるとともに、生活指導上大切なことについて具体的に述べなさい。</p> <p>課題3 言語障害の種類を簡略に説明し、それぞれの障害について指導の要点を述べなさい。</p>
3 単位め	<p>次の課題1, 課題2のいずれか1つを選んで解答しなさい。</p> <p>課題1 自閉症者の心理的な問題、および教育上の配慮について具体的に述べなさい。</p> <p>課題2 学習障害（LD）者、注意欠陥／多動性障害（ADHD）者、高機能自閉症者のいずれかについて、その特性および教育上配慮しなければならないことを述べなさい。</p>
4 単位め	<p>障害者教育は、特殊教育から特別支援教育への転換が図られています。特別支援教育を推進するための国の制度をまとめ、このことについてあなたの考えを述べなさい。</p>

アドバイス

各課題について、テキストおよび参考図書等をよく読み、自分の言葉で、具体的な事例を入れてまとめるように心掛けてください。そのためには、近隣の障害者と接したり、障害者の教育がどのように行われているのか理解するために、特別支援学校あるいは特別支援学級を設置している小・中学校の学校公開や文化祭、学習発表会、運動会などの参観や見学したりすることをお勧めします。

1単位め 解説

テキストを熟読し、視覚障害者教育、聴覚障害者教育、知的障害者教育を把握した上で、レポート課題を作成することを望みます。また、できれば視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者と直接接し、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者の特性を理解した上で、指導における一般的な配慮事項について具体的に記述することを望みます。

2単位め 解説

テキストを熟読し、運動障害（肢体不自由）者教育、病虚弱者教育、言語障害者教育を把握した上で、レポート課題を作成することを望みます。できれば運動障害者、病虚弱者、言語障害者と直接接し、それぞれの障害者の特性等を十分理解した上で課題に取り組むことを望みます。

3単位め
解説

課題1は、参考図書等を選び、それを読んだ上でレポートを作成してください。

課題2は、最近の教育現場では大きな課題になっており、参考図書も多く出ております。参考図書等を読んで、レポートを作成するようにしてください。

4単位め
解説

テキストや新しく出される出版物等を参考にしてレポートを作成してください。

参考図書

- 文部科学省『盲学校、聾学校および養護学校小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領（改訂版）』国立印刷局、2004年
- 文部科学省『盲学校、聾学校および養護学校学習指導要領解説 総則等編（一部改訂）』海文堂出版、2004年
- 文部科学省『盲学校、聾学校および養護学校学習指導要領解説 自立活動編』海文堂出版、2000年
- 文部科学省『盲学校、聾学校および養護学校学習指導要領解説 各教科、道徳および特別活動編』東洋館出版、2000年
- 佐藤泰正編著『視覚障害心理学』学芸図書、1988年
- 佐藤泰正編『視覚障害学入門』学芸図書、1991年
- 草薙進郎・四日市 章編『聴覚障害児の教育と方法』コレール社、1996年
- 中野善達・齋藤佐和編著『聴覚障害児の教育』福村出版、1996年
- 中野善達・吉野公喜編著『聴覚障害の心理』日研出版、1996年
- 五十嵐信敬ほか編『教職教養 障害児教育』コレール社、2000年
- 小出進監修・千葉大学教育学部附属養護学校編著『実践生活中心教育——今を主体的に生きるための生活の総合化』学習研究社、2002年
- 全日本特別支援教育研究連盟編『自閉児指導のすべて』（改訂増補版）日本文化科学社、1998年
- 佐々木正美著『自閉症療育ハンドブック』学習研究社、1998年
- 柘植雅義著『学習障害（LD）——理解とサポートのために』中公新書、2002年
- 佐々木正美著『気になる連続性の子どもたち ADHD LD 自閉症』子育て協会、2000年
- 上野一彦・牟田悦子・小貫 悟編著『LDの教育——学校におけるLDの判断と指導』日本文化科学社、2001年

楠本伸枝・岩本秀巳・西田 清・奈良ADHD児の会「ポップコーン」編『ADHDの子育て・医療・教育』クリエイツかもがわ, 2000年
聴覚・言語障害児教育関係教官連絡会議編『言語障害児教育』日本文化科学社, 1989年
内須川 洸著『言語障害(改訂版)』放送大学教育振興会, 1990年
文部科学省『生きる力をはぐくむために——一人一人のニーズに応じた教育』2002年
文部省『特殊教育百年史』東洋館出版, 1978年
文部省『特殊教育120年のあゆみ』電算印刷, 1999年

知的障害者の心理

知的障害者の心理 050721

科目コード●050721

担当教員●大関 信隆

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/福選

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

「知的障害」すなわち認知処理機能の障害は、発達障害をはじめとするさまざまな疾患の中に比較的共通して見られることの多い、基本的かつ重要な概念です。そもそも「知能」とは何か、それらを構成する要素は何か、またその発達プロセスはどのような経過をたどるか、などといった基礎的事項から、認知機能の問題はどのような疾患の中に見られるのか、認知処理機能に問題が生じることで“行動”にどのような変容が見られるのか、その“行動”に対してどのようなケアが考えられるか、など応用的な側面まで、整理すべき事柄は多岐に渡ります。

これらの事柄を2つのレポートで網羅することは非常に困難なのですが、本課題ではこのうち基礎的事項を中心に据え、その中で応用的視点も含めつつ「知的障害」に関する学習を進めていきたいと思えます。課題で取り扱われていない部分についても重要な事柄はたくさんありますので、教科書や参考書を精読の上、レポートに取りかかってください。

教科書

小池敏英・北島善夫著『知的障害の心理学——発達支援からの理解』北大路書房、2001年

レポート課題

1 単位め

「知能」を構成する種々の要素から1つをとりあげ、その基本的発達過程、知能の障害によって生じうる行動像、それに対して教育現場で可能なかかわりについて論述せよ。

2 単位め

知能の障害が併存する発達障害を複数あげ、それら発達障害間で見られる「知能の障害の現れ方」に関する特徴や差異について、比較検討せよ。

アドバイス

1 単位め 解説

最初に「知能とは何か」について言及していただく必要があります。それにより次にとりあげる「知能を構成する要素」が明確になります。基本的な発達過程については主に幼児期から学童期あたりの変遷を整理することが大切です。その際、関連する心理学的理論についても触れておいてください。

行動像に関しては、学校の教育課程でみられる例を用いていただいても結構です（個人のプライバシーを侵害しない範囲で）。とりあげる例によっては、機能の障害によって生じる直接的な行動そのもの以外に、二次的、副次的に生じる行動像についても触れた方がよい場合もあるでしょう。

対応に関しては、マニュアル本などの内容を整理していただくよりも、出された例に即したご自身なりのお考えを述べていただきたいです。その際、なぜその対応を選択したのか（選択可能だったのか）について、理論的側面にも関連させながら述べてください。

2 単位め 解説

DSM（精神疾患の分類・診断マニュアル）では「知的障害」を「第2軸」に表記することになっており、主たる疾患（これは第1軸に記される）と並列的に捉える立場を採っています。このように知能の障害は他の障害と併存します。この際、知能の障害は各障害特有の症状と相互に影響し合いながら、その現れ方を変化させます。この現れ方の相違はもちろん個人差の影響が強く一概に「これこれ」と明示することは難しいのですが、考えられ得る範囲で「行動の現れ方のバリエーション」について検討してみてください。

この課題でも、まずとりあげる発達障害について基本的な事柄を整理、明示する必要があります。そして各障害内で知能の障害がどのような行動として表れるのか、その現れ方に障害間で差異があるのかなのか、について整理してください。具体的な教科を例に示しながら述べていただいても構いません。ここでとりあげる発達障害については、軽度発達障害まで含めて考えてみてください。

なお、ここで用いている「行動」という用語は、外に現れるいわゆる「アクション」としての行動のみならず、認知過程（心理的過程）も含めた広い意味での「行動」を想定しています。

参考図書

・以下の1) 2) の本は基礎的事項を押さえる上で必要になる本です。

- 1) 田島信元・子安増生ほか編『認知発達とその支援』（シリーズ臨床発達心理学第2巻）ミネルヴァ書房、2002年

- 2) 熊谷公明ほか編『発達障害の基礎』日本文化科学社, 1999年
- ・各種発達障害に関する書籍も参考になります。例えば3) 4) のような本があります。

3) 杉山登志郎・辻井正次 編『高機能広汎性発達障害 アスペルガー症候群と高機能自閉症』ブレーン出版, 1999年

4) 中根 晃編『ADHD臨床ハンドブック』金剛出版, 2001年
 - ・近年は5) 6) のような「マニュアル」的な書籍も多く出版されています。これらの内容がご自身の現場で即役立つわけではありませんが、さまざまなかわりの方略を考える際の基礎的情報としては役立ちます。

5) 杉山登志郎・大河内修ほか著『教師のための高機能広汎性発達障害・教育マニュアル』少年写真新聞社, 2005年

6) 独立行政法人国立特殊教育総合研究所 編『LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド』東洋館出版社, 2005年
 - ・知能検査に関して書かれている7) のような書籍も、有益な情報を提供してくれる場合があります。

7) 上野一彦・海津亜希子ほか編『軽度発達障害の心理アセスメント』日本文化科学社, 2005年
 - ・意外と思われるかもしれませんが、下記の8) 9) のような心理学の基礎領域に関する書籍も時に参考になります。余力があったらご一読ください。

8) 大山 正編『実験心理学』東京大学出版会, 1984年

9) 御領 謙・菊地 正・江草浩幸著『最新 認知心理学への招待——心の働きとしくみを探る』サイエンス社, 1993年

知的障害者の生理・病理

科目コード●050722

担当教員●金野 公一

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/福選

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

知的障害という状態はさまざまな障害の中でも最もありふれた状態です。この科目では、どのような状態を知的障害というのか、またいかなる原因でそのような状態になるのか、について学びたいと思います。障害の程度はさまざまできわめて軽度から最重度まであります。単に知的な障害があるというだけではなく、自閉症などのように遅れ以外の症状もあります。遅れ以外の症状を発達の特徴と言うとすればその特徴についても学ぶ必要があります。最近では遅れはないが何らかの特徴を有する人たちも多く、教育現場では、「軽度発達障害」と称してそのタイプの子どもたちへの教育的対応に苦慮しているところ

教科書

黒田吉孝・小松秀茂編『発達障害児の病理と心理』 培風館, 2005年

レポート課題

1 単位め 知的障害とはいかなる状態をいうのでしょうか。

2 単位め 知的障害の原因について述べなさい。

アドバイス

1 単位め
解説

厳密に定義しようと思えばそれなりに文章化もできますが、実際の現場においては行動観察、家族からの聞き取り、知能検査（年齢が小さければ発達検査とも言いますが）などから判断することが一般的です。書籍等の記載では18歳までにその状態が確認されることと述べていることも多いのですが、何らかの原因で成育の途中で知的障害の状態になることももちろんありますが、多くは幼児期において公的機関の健診や家族自身が発達の異常に気づいて医療機関や相談機関を訪れるということが

倒的に多いのです。

幼児期において知的障害のあることが判明すれば医学的には、「精神発達遅滞」という言葉を使います。学齢に達しても遅れの状態がはっきりしていれば、発達という言葉は取り除かれて「精神遅滞」と言われることになります。知的障害という言葉は医学では使いません。

つまり「診断」という行為では、遅れの有無と発達上の特徴の両面から診ているということです。「知能とは何か」という定義は、その領域の専門家の数ほどあるとも言われていて、人によってそれぞれに定義の仕方が異なるとは言われていますが、一応は文章化されています。インターネット上でもいろいろな情報を得ることができますので十分な解釈を行った上で自分なりの創意工夫された表現を試みていただきたいと思います。それによってはレポート採点の評価が高まる場合があります。

2単位め 解説

実際の現場ではすべての知的障害の原因が判明するわけではありません。むしろ圧倒的に不明なことが多いのです。

遺伝的な疾患の有無や妊娠中の状態、周産期のトラブル、生後の脳障害に関与すると推測される疾患などさまざまな観点から調べても原因を特定することができないことが、圧倒的に多いのです。したがって、書籍等に記載されている原因と称されているものは、一部の特定されたものについて述べているにすぎないと思ってください。私自身の臨床経験から言っても全体の80%は原因不明に入るのではないかと考えています。

それでも原因を知ることは大事なことです。医療現場では今の医学で治療可能なものが見出されるかどうかに関心を持っています。一部の代謝異常症やホルモン分泌異常症などは早期発見・早期治療によって知的な障害を未然に防ぐことができるのですから。それほど遠くはない将来においては遺伝子治療、胎児治療などで知的な障害を防ぐことができるようになるものと思います。

レポートでは現在判明している原因をそれぞれ記載することでよいわけですが、それは全体から見てのほんの一部でしかないことを念頭において欲しいと思います。しかも予防や治療もできないことも多いということも事実なのです。ただ診断がつくだけ、という悲しい現実が今でも厳然としてあるという事実を再認識していただくなってしましますが……。

参考図書

知的障害だけに関して定義したり原因を述べたりする書籍は少ないと思います。むしろ信頼できるホームページなどから情報を引き出す方が早いかなと思います。

肢体不自由者の心理、生理・病理

科目コード ● 050723

担当教員 ● 鳴海 宏司
金野 公一

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/福選

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

この科目は、「肢体不自由者の心理」と「肢体不自由者の生理・病理」の2つの部分からなります。それぞれで教科書も担当教員も異なります。そのために、レポートは1単位め・2単位め別々のレポート用紙を使用して提出してください。

科目の内容

◆ 「肢体不自由者の心理」の部分

肢体不自由児は、上肢、下肢あるいは体幹に運動・動作に関する障害があるため、歩行や階段昇降等の移動運動や衣服の着脱、書字、食事等の日常生活に必要な基本動作に全面的あるいは部分的に困難があります。また、その障害が先天的なものか後天的なものか、後天的だとしたらいつその障害を負ったのか、さらには起因疾患は何かなどによりさまざまな状態像を見せます。したがって、たとえ同じ身体部位に動作不自由があっても、ひとりひとりの障害の状態はそれぞれに異なると考えなければなりません。

ここでは、こうした肢体不自由という障害のある子どもたちを、心理学的な面からどのように把握すればいいのかということについて、特に、運動発達と認知発達の関係、脳性運動障害児の知覚－運動発達の関係に焦点を当て学習します。

◆ 「肢体不自由者の生理・病理」の部分

さまざまな原因で肢体不自由という状態が起こるわけですが、どのような不自由さがあるのかということとその原因について学ぶことにします。

肢体不自由には医学的にいろいろな診断名が付けられています。それぞれ原因も違えば状態も異なるからです。また、疾患の内容も時代によって変化してきました。どのように変化してきているのかについても学びます。発生頻度がほとんどゼロになった疾患もあります。

治療にもさまざまな進歩がありました。訓練方法や外科的な治療手技、あるいは診断技術にも時代により変化・進歩があります。

教科書

◆ 「肢体不自由者の心理」の部分 (= 「病弱者の心理」の部分と同じ)

筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男 編 『特別支援教育における障害の理解』 教育出版, 2006年

◆ 「肢体不自由者の生理・病理」の部分

篠田達明監修 『肢体不自由児の医療・療育・教育』 金芳堂, 2005年

レポート課題

1 単位め

◆ 「肢体不自由者の心理」の部分

ピアジェが唱える「認知発達」の4つのステージについて、各ステージの概要を述べなさい。また、その中の「感覚運動ステージ」における「姿勢・移動運動の発達」と「目と手の運動の発達」について、標準月齢に基づいて整理し、運動制限が認知発達に及ぼす影響についてまとめなさい。

2 単位め

◆ 「肢体不自由者の生理・病理」の部分

- (1) 肢体不自由者とはいかなる状態の人たちを言うのでしょうか。
- (2) 肢体不自由の原因について述べなさい。時代による違いにも言及してください。

アドバイス

1 単位め
解説

「肢体不自由児の心理」とは、一口で言えば、肢体不自由児の「心」のありようを知ることです。ただし、そのための方法については、とても一口で片付けられるものではありません。なぜなら、心理学という学問は、科学的・実証的な領域から哲学的・思弁的な領域までと幅広い学問で、領域や立場によってそれぞれ多様な方法論を持つからです。

ここでは、認知心理学的な立場からレポートを作成してもらいますが、作成にあたっては、教科書だけでなく参考書類にもよく目を通してください。ピアジェの「感覚運動ステージ」については、教科書をよく読めばまとめられますが、「認知発達」の4つのステージについては、いくつか参考書にあたる必要があります。

ピアジェは、一般的な人間の平均的な認知発達について述べており、肢体不自由児を特定して述べているわけではありませんが、ここではその一般的な認知発達の道筋と、そもそも人間にとって「感覚」とは何か、「知覚」とは何か、「認知活動」とは何かというような基本的なことをしっかり学習してほしいと思います。なぜなら、このことから、肢体に不自由のある子ども個々にとって今必要なことは何かということを考える糸口が見つけ出せるからです。

1 単位めをまとめるにあたって、教科書の第 2 章と第 6 章を特によく読んでください。レポートの後段については、第 6 章第 2 節を熟読すれば容易にまとめられると思います。

ピアジェの「認知発達の 4 つのステージ」の各ステージの名付けられ方や、ステージ内の領域（たとえば「姿勢・運動の発達」とか「目と手の運動の発達」など）の呼び方が教科書や参考書によって多少違いがあるかもしれませんが、邦訳の言葉の使い方が違うだけで内容に違いがあるわけではありません。内容をよく読んで判断してください。

2 単位め 解説

(1)(2)ともに以下のアドバイスと教科書を熟読のうえ解答してください。

まず、(1)について。その原因は問わず肢体不自由という状態はあるわけです。四肢や躯幹をうまく使うことができない、つまりさまざまな程度に運動上の不自由さがあるわけです。脳性マヒであればそのマヒの状態によって片マヒとか四肢マヒなどと称されます。

その不自由さはマヒではなく不随意運動による場合もあります。自分の意に反して手足が勝手に動いてしまうために目的の動作を円滑に行えない状態にあるわけです。アテトーゼタイプの脳性マヒの方々を例に考えると理解できるかもしれません。

もちろん、手足が何らかの理由で切断あるいは先天的に欠損している場合もあります。

ただし、機能的に使うことができないということです。痛みのために動かすことができないというような状態は通常肢体不自由には含まれないと考えられます。

肢体不自由という状態をどのように表現すれば、原因を問わずまた不自由さのさまざまな状態を問わず、なるほどと思われる表現になるのでしょうか。

教科書や参考書あるいはインターネットなどの情報なども参考にしながら納得できる表現を考えてみてください。

(2)については、次のようなことを参考にしてください。

肢体不自由の原因は中枢神経系の障害によるものもあり、また末梢神経系の異常によるもの、あるいは筋肉の疾患や神経と筋肉の接合部位の問題によって起こることもあります。状態としてはいずれも運動障害がありますのでいわゆる肢体不自由ということになります。

ポリオの多かった時代、先天性股関節脱臼やベルテスなどが多かった時代、そして脳性マヒが多い現在など時代による原因の変遷もあります。

きわめて特殊な疾患もありますが、その辺はあまり詳しく述べる必要はないでしょう。一応代表的なものか時代の脚光を浴びていてマスコミなどにもとりあげられているものは入れるとよいでしょう。

原因には治療可能なものもありますがそうでないものもあります。可能なものの早期発

見・早期治療は重要なことですのでそういう種類の疾患については注目して欲しいと思います。

疾患頻度を%で示すことも肢体不自由の原因をわかりやすくする方法かと思います。

参考図書

- 1) M.サイム著, 星三和子訳『乳幼児の考える世界——目で見えるピアジェ理論』誠信書房, 1983年
- 2) 高橋 純編著『脳性まひ児の発達と指導』福村出版, 1983年
- 3) 三澤義一編著『運動障害の心理と指導』日本文化科学社, 1993年
- 4) 黒田吉孝・小松秀茂編『発達障害児の病理と心理』培風館, 2005年
- 5) インターネット等でもかなりの情報が得られます。

病弱者の心理, 生理・病理

科目コード ● 050724

担当教員 ● 鳴海 宏司
金野 公一

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/福選

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

この科目は、「病弱者の心理」と「病弱者の生理・病理」の2つの部分からなります。それぞれで教科書も担当教員も異なります。そのために、レポートは1単位め・2単位め別々のレポート用紙を使用して提出してください。

科目の内容

◆ 「病弱者の心理」の部分

病弱児とは、学校教育の立場からは、病気が長期にわたっているもの、あるいは長期にわたる見込みのもので、その間、継続した治療または生活規制を必要としている子どものことを言います。当然ながら、こうした子どもたちは、入院生活や闘病生活の中で絶えず痛みや不安と向き合い、場合によっては死と向き合うこともあります。したがってこうした子どもの心理や行動特性を考えると、治療や入院に伴う苦痛体験や遊びの欠如などからくるストレスと、そのことを原因とした退行行動や睡眠や食事の異常、頭痛や腹痛などの身体症状を考慮する必要があります。

ここでは、こうした子どもたちのQOL (Quality of life) を向上させるために、心理的側面からどのような支援が必要かについて、病弱児の認知スタイルとその発達の変容の可能性に視点をあてて学習します。

◆ 「病弱者の生理・病理」の部分

生理・病理的視点からは、病弱とはどのような状態を言うのでしょうか。病気の状態にあるということは当然ですが、病名で言えばどのような疾患なのかを学びます。また、やはり肢体不自由と同じように疾患の内容にも時代とともに変化があります。小児慢性特定疾患治療研究事業に該当するような難病もあります。

今はまだ広くは認知されていませんが化学物質過敏症というものがあります。また、さまざまな脳障害によって植物状態という厳しい現実におかれている子どもたちもいます。この子どもたちについても病弱という枠内で学びたいと思います。

教科書

◆「病弱者の心理」の部分（＝「肢体不自由者の心理」の部分と同じ）

筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男 編『特別支援教育における障害の理解』 教育出版, 2006年

◆「病弱者の生理・病理」の部分（＝「病弱教育」に同じ）

横田雅史監修・全国病弱養護学校長会編著『病弱教育Q&A（part 1）——病弱教育の道標』 ジアース教育新社, 2001年

レポート課題

1 単位めと 2 単位めは別々のレポート用紙で出してください。

1 単位め

◆「病弱者の心理」の部分

以下の 2 つのことについて説明しなさい

- (1) 病弱児にとっての「学習空白」とは何か。
- (2) 「自己効力感 (self efficacy)」とは何か、また、このことが病弱児に必要なのはなぜか。

2 単位め

◆「病弱者の生理・病理」の部分

以下の 2 つのことについて説明しなさい

- (1) 病弱者とはどのような状態にある人たちを言うのでしょうか。
- (2) 最近ではどのような病気の子どもたちが（疾患の種別）病弱教育の対象になっていますか。

アドバイス

近年の医療技術の進歩や専門性の分化に伴い、特別支援教育（病弱を主とする）が対象とする病弱児の範囲が広がっています。一方、この医療技術の進歩は、病気によってはこれまでのような長期にわたる高度の生活規制を必要としなくなるということも生み出してきました。また、社会情勢の変化に伴って病弱児のQOLを大切にする治療方針がとられるようになり、病気のため医療ケアを必要とされる時期でも、できるだけ通常に近い生活を送らせるような取り組みがなされています。

こうした情勢の中で、今、特別支援教育（病弱を主とする）に求められることは、単に病気の期間の教育保障だけではなく、病弱児自身にメンタルな面からの自己治癒力を促すこと、日常の生活を送る上でセルフケアをしっかりと実践できるための支援を行うことであると思われます。

したがってレポートを作成するにあたっては、健康行動や発達心理についての参考文献に目を通し、その意味内容を十分に踏まえることが肝要です。

1単位め
解説

教科書の第2章と第7章を特によく読んでください。

(1)の「学習空白」については、あえて「病弱児にとっての」とことわりを入れてあります。したがって、学校教育で言われる一般的な「学習空白」について問うているではありませんし、「学習」も学校で学ぶ学習だけを指しているのではないことに留意してください。

(2)については、教科書の第7章第2節を詳しく読んでまとめてください。まとめるにあたって、教育現場での望ましい働きかけやその効果について具体的に想定しながら論述すれば、より必要性を強調することができるでしょう。

2単位め
解説

(1)(2)ともに以下のアドバイスと教科書を熟読のうえ解答してください。

まず、(1)について。学校教育年齢で言えば少なくとも定義と言われているものはあります。これこれこういう状態にある場合は特別な教育環境を与える必要がある、ということですが、それらはどのような疾患でどの程度の症状の重さなのでしょう。同じ疾患でも病状が軽ければ一般の教育環境で対応できるのでしょうか、どの程度の重さから対象になるのでしょうか。

病気の治療を受けながら同時に一般の子どもたちと大きな差はない教育を与えていかなければなりません。その多くは医療機関に併設ということですが病弱養護学校というものもあります。両者の間に疾患の種類や病状の程度についても違いはあるのでしょうか。

時代の流れの中でも疾患の種類が違ってきているのでしょうか。

脳性マヒなどは肢体不自由教育と病弱教育のどちらにも入っていますが、これは何故なのでしょう。

すべての疾患に共通して言えることは、何故一般の教育環境ではなく特殊な環境を用意しなければならないのか、ということです。疾患を超えた何らかの共通状態というものがあるのでしょうか。

特にその共通の状態を詳しく述べていただくと、レポートの評価が高まります。

(2)については、次のようなことを参考にしてください。

小児疾患の中の喘息や慢性腎疾患などは病弱教育の対象として以前からありますが、最近ではさまざまな特殊な疾患も含まれてきています。いわゆる難病と言われる疾患を抱えている子どもたちもいます。

化学物質過敏症というような今までであれば病気とは認められなかった子どもたちもいます。あるいは交通事故などで寝たきりの状態（いわゆる植物状態という言葉もあります）にある子どもたちはどうでしょうか。教育可能と判断されている子どもたちだけが教育の対象になるのでしょうか。

特に最近注目されている、いわゆる軽度発達障害（私としてはあまり好ましくない表現であると思っていますが）の子どもたちは、どのような範疇の教育対象になるのでしょうか。知的でもなければましてや肢体不自由でもありません。それでは残った病弱に入れるのでしょうか。2005年4月から神奈川県小田原市に湘南ライナス学園という学校が開設されました。知的な遅れはないのですが在籍している多くの子どもたちは通常の学校教育には適応せず不登校になっています。現在の制度の中では特殊学級（特別支援学級）や養護学校（特別支援学校）というものがありますがいずれの教育環境にも当てはまっていません。多分多くの子どもたちはフリースクールなどに通っているのではないのでしょうか。

私はこの学校で学校医として日々子どもたちの現状を見つめています。特別支援学校には違いないのに分類先がありません。広い意味で病弱養護学校に入ることはできないのでしょうか。

参考図書

- 1) 横田雅史監修 全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q & A (part I) ——病弱教育の道標』ジヤース教育新社, 2001年
- 2) 横田雅史・西間三馨監修 全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q & A (part V)』ジヤース教育新社, 2003年
- 3) 田中農夫男他編著『障害者の心理と支援』福村出版, 2001年（「内部障害, 病弱・虚弱者の心理」の章）
- 4) 谷川弘治他編著『病気の子どもの心理社会的支援入門』ナカニシヤ出版, 2004年
- 5) 黒田吉孝・小松秀茂共編『発達障害児の病理と心理』培風館, 2005年
- 6) 中村尚樹著『脳障害を生きる人びと』草思社, 2006年

聴覚障害者の心理

科目コード●050725

担当教員●庭野賀津子

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/福選

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

本科目では、聴覚障害児・者の心理を理解し、適切な支援をしていくために必要な基礎知識を得ることを目的とします。聴覚障害には、聴力障害だけではなく耳鳴や補充現象など、さまざまなものが含まれますが、この科目では聴力障害について扱うこととします。

まず、聴覚障害がもたらす聞こえの世界がどのようなものであるのか、そしてその障害によりどのような制約が生じ得るのかを学びます。そして、その制約が、言語発達や認知発達、社会性の発達にどう影響するのか、また、社会生活上どのような支障があるのかを考えます。

聴覚障害児・者が抱える問題は、必ずしも障害の程度に起因するものだけではなく、社会システムや、周囲の人々の理解や対応方法等に起因するものもあり、それらの改善により、変化する可能性があります。そのような視点から、支援のあり方について自ら考える力を養ってほしいと思います。

教科書

中野善達・吉野公喜著『聴覚障害の心理』田研出版、1999年

レポート課題

1 単位め

課題1・2の両方について解答してください。

課題1 教科書の第1～5章を熟読し、聴覚障害児の知的発達、言語発達について1,200字以内でまとめてください。

課題2 あなたが健聴者である場合、耳栓をして難聴の擬似的状況を作り、1時間程度、住居の中で過ごしてみてください（事故防止のため、耳栓をしたままでの外出はしないでください）。そして、難聴であることの心理的影響、コミュニケーションへの影響、自分の行動面の変化等、気づいたことを書いてください。

また、あなた自身が難聴者である場合は、日常、難聴であることに起因していると思われる心理状態、コミュニケーションへの影響、行動の特徴等、気づいたことを書いてください。

いずれの場合も800字以内でまとめてください。

2 単位め

教科書の第6～10章を熟読し、(1)聴覚障害児・者の社会性の発達、(2)パーソナリティの形成、および(3)ろう文化についてまとめてください。

アドバイス

まず、レポートを書き始める前に、教科書全体を読み通してください。聴器の機能・構造に関する基礎的事項や聴覚障害については、参考図書や他の文献等も参考にして理解を深めておいてください。そして、各課題に取り組む際には、教科書の該当部分を精読するとともに、アドバイスにしたがってまとめてください。

聴覚障害者のさまざまな能力の発達や心理については、聴覚障害という障害特有の特徴も考えられる一方、基本的には健聴児・者の発達や心理がベースとなっており、両者に大きな違いや隔たりがあるわけではありません。つまり、聴覚障害児・者を理解する際には、まず、健聴児・者の発達や心理を理解しておく必要があります。聴覚障害者の心理を学ぶにあたって、発達心理学やその他の心理学全般についても興味をもち、さまざまな文献を通して学んでおいてほしいと思います。また、聴覚障害児・者と接する機会のある人は、ぜひ、積極的にかかわり、そこから多くを学んでください。

なお、レポートを作成するにあたり、指定の教科書や参考図書以外にも参考にした文献がある場合は、レポートの最後にその文献の著者名、書名、出版社、出版年を忘れずに書いてください。また、教科書やその他の文献の文章をそのままレポートに記述することは避け、自分なりの表現に直して書いてください。やむを得ずそのまま引用する際には、引用箇所をかぎ括弧で括るとともに引用文献を明記して、必ず引用であることがわかるようにしてください。

1 単位め
課題1
解説

聴覚障害児の知的発達にはどのような特徴があるのでしょうか。また、聴覚障害児の知能を測定するためにはどのような検査方法があるのでしょうか。

聴覚障害児の言語発達にはどのような特徴があるのでしょうか。前言語的コミュニケーション、音声・構音の特徴、話しことばの発達、読み書き能力の発達に分けてまとめてみましょう。

1 単位め
課題2
解説

実際には、耳栓をして音が小さく聞こえる状態イコール難聴の状態、というような単純なものではありません。難聴の種類にもよりますが、たとえ音が聞こえてもその音は歪んで聞こえるため、何の音なのか弁別することが難しいという問題があります。そのため、残念ながら耳栓の使用だけでは本当の意味での難聴疑似体験とはいえないということを踏まえておいてください。

心理的影響としては、たとえば、周囲の音や人の声がよく聞こえないことへの不安などが考えられるでしょう。

コミュニケーションについては、同居している家族のいる人は、その家族と会話をしてみてください。一人暮らしの人はテレビやラジオなどをつけて音声を聞いてみてください。

自分の行動の変化としては、ドアをいつもより大きな音をたてて閉めてしまう、自分の足音が聞こえないのでどの程度の足音で歩けばいいのかわからない、などがあげられるでしょう。

2単位め 解説

(1)聴覚障害児は乳幼児期には親子関係において、また、幼児期、児童期には集団生活における子ども同士の関係において、コミュニケーションの取りにくさからつまずきのあることがあります。そのような制約下において、社会性の発達にはどのような問題があるのか、また、それらはどのように克服されていくのか、教科書をよく読むとともに、自分なりに考えてみてください。

(2)聴覚障害児において、コミュニケーションの障害がパーソナリティの形成にどのような影響があるのか、教科書をよく読み、考えながらまとめてみましょう。

(3)ろう文化とアイデンティティの獲得について、まとめてください。特に、アイデンティティの獲得については、教科書だけではなく、発達心理学関連の文献も参考にしてください。

参考図書

永渕正昭著『聴覚と言語の世界（改訂版）』東北大学出版会、2002年

科目コード●050726

担当教員●永瀨 正昭

2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
資格/福選14～18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

人間らしい生活をする上で、聴覚は視覚よりも重要です。盲聾啞の三重苦に耐えたヘレン・ケラーは聴覚の回復を最も切望したとされています。

聴覚は単に音の知覚だけでなく、言語にも深く関与していることは説明するまでもありません。そこで「聴覚障害」を理解するためには、音の性質、音楽、音声、話し言葉などを含めて広く勉強する必要がありますが、ここでは聴覚の仕組み、難聴の原因、難聴児の言葉、中枢性聴覚障害といった医学的な側面をとりあげることにします。

教科書

永瀨正昭著『聴覚と言語の世界（改訂版）』東北大学出版会、2002年（第4刷 2006年）

レポート課題

1 単位め

- (1) 聴覚の仕組み：形態と機能
- (2) 難聴の原因：遺伝性、胎児期、周産期、後天性
について述べよ ((1)と(2)を3：2程度の長さにまとめること)。

2 単位め

- (1) 難聴児の言葉：難聴と言語発達の関係
- (2) 中枢性聴覚障害：脳障害による聴覚異常
について述べよ ((1)と(2)を3：2程度の長さにまとめること)。

アドバイス

最近の耳科学の進歩は著しく、補聴器の性能も年々向上し、さらに人工内耳の出現で先
天聾者も聴覚を活用することが可能になりました。その結果、聾学校では補聴器が役立た
ない児童は人工内耳を装着するようになってきました。また画像診断技術が発達して脳科
学も大きく進歩したので、脳の中における聴覚と言語機能の関係が徐々に解明されてきま
した。「聴覚障害」を理解するには、聴覚の生理・病理以外に聴覚補償（補聴器、人工内

耳)や聾^{ろう}教育、さらには言語と関係した脳機能についても学習する必要があります。しかし、今回は、その基礎となる生理・病理に限定します。

まず教科書を一通り読んで、「聴覚」を全般的に理解すると同時に聴覚と関連する言語や脳機能についても一応学習してください。聴覚障害児教育に関与された方は自分の経験と併せて検討されるとよいでしょう。

1単位め 解説

(1) 聴覚の仕組み

これは教科書のp. 17～29を読んでください。「耳」という器官は音を通過させる一種の関所であって、外耳～内耳はそれぞれ機能分担をしています。そして脳の聴覚中枢で音を知覚し、その音の内容(言葉や音楽)はさらに上のレベルで認知されます。

(2) 難聴の原因

これは教科書のp. 121～134を読んでください。「難聴」といえば、一般に外耳から内耳までの異常で生じる場合を指すので、これを参考にしてまとめるとよいでしょう。

2単位め 解説

(1) 難聴児の言葉

聴覚は言語発達だけでなく精神発達にも重要であることは周知のことです。難聴の発生時期とその程度が言語発達にさまざまな影響を与えています。これについては、教科書p. 134～141に「難聴児の言葉」だけでなく、p. 142～147の「難聴児の心」、さらにはp. 153～154の「9歳の壁」も参考にしてください。

(2) 中枢性聴覚障害

これは脳に異常があって、「音」そのものが聞こえない場合もありますが、音(言葉や音楽)の内容(意味)の認知が困難になった状態であり、通常の「難聴」とは異なります。まず教科書のp. 26～31を読んで、聴覚中枢の機能を理解してください。次にp. 156～164の中枢性聴覚障害、特に聴覚失認について学習してください。

参考図書

- 1) 船坂宗太郎著『回復する聾』人間と歴史社、1996年
- 2) 日本聴覚医学会編・立木 孝監『聴覚検査の実際』南山堂、1999年
- 3) 小寺一興編『補聴器の選択と評価』(図説 耳鼻咽喉科 New Approach) メジカルビュー社、1996年
- 4) 本庄 巖編著『人工内耳』中山書店、1999年
- 5) 永渕正昭著『障害者のリハビリと福祉(改訂版)』東北大学出版会、2006年

知的障害教育

知的障害教育 050727

科目コード●050727

担当教員●阿部 芳久

4 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格/福選

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

特別支援教育の対象は、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病虚弱、情緒障害、自閉性障害、言語障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症などの障害をもつ児童生徒です。知的障害児以外の障害児に対する教育課程は、基本的には普通の教育に準じた教育課程になっています。ところが知的障害児の教育課程は、普通の教育の教育課程に基礎を置いています。知的障害児の障害の特性や社会参加・自立という彼らの将来の生活を実現するために歴史的に特有の教育課程となっています。この科目では、知的障害児を対象とした教育課程および指導のねらいや指導方法について学習します。

教科書

阿部芳久著『知的障害児の特別支援教育入門』日本文化科学社、2006年

レポート課題

1 単位め

知的障害者の特別支援教育における「領域・教科を合わせた指導」の成立した背景、および「領域・教科を合わせた指導」の指導形態である「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」「作業学習」の指導のねらいについて説明しなさい。

2 単位め

月刊雑誌『実践 障害児教育』および月刊雑誌『特別支援教育研究』および他の実践事例等に掲載されている「生活単元学習」と「作業学習」の事例を1つずつ選び、①指導の対象となる児童生徒の実態（障害や発達レベル等）、②単元の指導目標、③指導の展開の項目に分けて、その指導事例を要約しなさい。

3 単位め

知的障害児の特別支援教育における国語科、算数・数学科の指導目標およびそれぞれの指導の基本的視点について述べよ。また、知的障害児の特別支援教育における自立活動の指導目標と指導内容について述べよ。

4 単位め

月刊雑誌『実践 障害児教育』および月刊雑誌『特別支援教育研究』および他の実践事例等に掲載されている「国語科」か「算数・数学科」の指導事例を1つ、および「自立活動」の指導事例を1つ選び、①指導の対象となる児童生徒の実態（障害や発達レベル等）、②単元の指導目標、③指導の展開 の項目に分けて、その指導事例を要約しなさい。

アドバイス

1単位め 解説

まずテキスト p. 7～p. 29を熟読してください。まず、「領域・教科を合わせた指導」が成立した背景を知的障害の特徴および学習上の特性等の視点から述べてください。次に、テキスト p. 31～p. 102を熟読し、「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」および「作業学習」の各指導形態の指導のねらいについて整理してください。

2単位め 解説

上述した障害児教育関連の雑誌（『実践障害児教育』『特別支援教育研究』等）に掲載されている指導実践例から事例研究を2つ選択してください。その事例を熟読し、対象児の実態、指導目標、指導計画（指導プログラム）、指導上の留意点、対象児の変容、等の項目を設定し、事例を要約してください。

3単位め 解説

テキスト p. 103～p. 163および p. 195～p. 216を熟読してください。「国語科」の指導の基本的視点については児童生徒の発達レベル（「話しことばが獲得されていない児童生徒」「話しことばによるコミュニケーションが拡大しつつある児童生徒」「話しことばで日常的なコミュニケーションが行える児童生徒」）に応じて記述してください。レポート枚数が制限されていますので、最も基本的な視点を整理して記述してください。

4単位め 解説

上述した障害児教育関連の雑誌（『実践障害児教育』『特別支援教育研究』等）および実践事例に掲載されている指導実践例から事例研究を選択してください。その事例を熟読し、対象児の実態、指導目標、指導計画（指導プログラム）、指導上の留意点、対象児の変容、等の項目を設定し、事例を要約してください。

参考図書

月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社

月刊雑誌『特別支援教育研究』日本文化科学社

季刊雑誌『特別支援教育の実践情報』明治図書

- 安藤隆男編著『自立活動における個別の指導計画の理念と実践』川島書店, 2001年
- 『盲学校, 聾学校及び養護学校学習指導要領(平成11年3月)解説——総則等編』海文堂出版, 2000年
- 『盲学校, 聾学校及び養護学校学習指導要領(平成11年3月)解説——各教科, 道徳および特別活動編』東洋館出版, 2000年

肢体不自由教育

科目コード●050728

担当教員●鳴海 宏司

4単位

R

2年以上

社会福祉
資格/福選

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

近年、肢体不自由を主とする特別支援学校や学級で学習する児童生徒の障害は、多様化しかつ重度・重複化してきています。こうした傾向は今後も続くものと推測されており、肢体不自由を対象とする教育は、その意味では必然的に多様で複雑な対応を迫られることとなります。

この多様で複雑な対応の内容を教育課程の類型として見た場合、①普通の小・中学校に準ずる教育課程、②^{かがくねんてきょう}下学年適用による教育課程、③知的障害を対象とする内容に代替した教育課程、④主として自立活動の内容による教育課程、さらに⑤訪問による教育課程と、ざっと見渡すだけで5つの類型を数えることができます。

この科目では、特に肢体不自由児を対象とした自立活動の指導内容・方法について重点的に学習を進めていきます。なぜならば、自立活動には心理的・身体的・社会的な活動性を求めるための幅広い内容が盛られており、特に肢体不自由児教育にあっては、この自立活動の指導をどのように実施・展開できるかによってこの教育についての専門性が問われるといいからです。

また、今後の特別支援学校が担っていかなければならない機能として、地域のセンター的役割を果たすことがあげられます。このことは、特に肢体不自由という障害種にとらわれずに考えなければならないことです。障害種が何かにかかわらず、今後の特別支援学校に求められ続けることですので、このことについてじっくりと学習していきます。

教科書

全国肢体不自由養護学校長会編著『特別支援教育に向けた肢体不自由教育実践講座』ジ
アース教育新社、2005年

レポート課題

1 単位め	自立活動の目標について説明しなさい。また、自立活動の内容の5つの区分について詳しく説明しなさい。
2 単位め	次の課題1と課題2から、どちらかを選び解答しなさい 課題1 視知覚機能に課題を抱えた子どもに対して、自立活動の時間の指導で模写指導を行う際に押さえておくべき基本的事項はなにか。 課題2 膝立ちができる脳性まひの子どもに、自立活動の時間の指導で歩行の学習を行う際に押さえておくべき基本事項はなにか。
3 単位め	障害の重い子どものコミュニケーション支援の内容・方法について述べなさい。
4 単位め	特別支援学校に求められている「地域のセンター的機能」の具体的な内容について述べ、そのために特別支援学校は、組織としてどんな取り組みが必要になるか述べなさい。

アドバイス

「自立活動」とは、特別支援教育の教育課程に設けられている独特の領域です。なぜ、特別支援教育にだけ、領域としてこの「自立活動」が設けられているのかをよく考えてください。そうすればこの領域が何を目標としているか、その達成のために教師に何を求めているのかおのずと理解できるはずです。

また、この「自立活動」は、改訂前の指導要領では「養護・訓練」といわれていましたが、なぜ「自立活動」と変更されたのか、この点についてもよく学習してください。単に名称が変更されたのではなく、「障害」の枠組み（捉え方）が変わったことをしっかり押さえてほしいと思います。

自立活動の指導にあたっては、課題に応じてさまざまな方法がとられますし、どの方法が一番いいということはありません。ただし、どの方法でも、指導する側はその方法について熟知し、技術的にも高いものを持っていることが必要です。そのためには、単に教科書や文献からのみ学ぶのではなく、実際の指導の場に立ち会い、できれば熟練した指導者からスーパーバイズを受けながら直接指導にかかわる機会を持てることが望ましいと思います。

1 単位め 解説

教科書の第V章をよく読んでください。また、参考書、特に学習指導要領の自立活動編をよく読んでください。そして、「養護・訓練」の時代の内容とどこがどう違っているか比較検討してみてください。そうすることで「自立活動」の目標がより鮮明に理解できるはずです。

5つの区分の内容については、単に整理されている項目を知識として覚えるだけでなく、ひとりひとりの子どもの障害に基づく困難に応じて内容を選択し、組み合わせ、さらには他の指導と関連させながら指導するとはどういうことなのか、よく考えながら論述してください。

2単位め 解説

ここでも教科書の第V章をよく読んでください。自立活動の時間の指導という言い方は、自立活動における独特の言い方ですが、これがどのような意味をさすのか、教科書をよく読んで理解してください。

課題1については、脳性運動障害の子どもたちによく認められる課題ですが、LD児など軽度発達障害児にも認められる課題です。教科書の第VI章の中に、視知覚の発達に課題を抱えるに子どもの指導事例が載せられていますが、これを参考にしてください。

課題2については、教科書第V章の「身体の動き」に関する指導事例が載せられていますので、それが参考になるでしょう。また、身近に歩き始めの時期にある乳幼児がいたら、その子の歩く姿勢や止まる姿勢、崩れる姿勢をよく観察してみてください。歩くために必要な身体の手続きについてよく知ることができます。

3単位め 解説

ここでは教科書の第VIII章をよく読んでください。

この課題は、教科書をよく読めば答えられるのですが、できれば教科書だけでなく、参考書類にも目を通してください。障害の重い子どもたちのコミュニケーションを考えることは、本来、人間にとってコミュニケーションとは何かということを考える機会になりますし、人と人とがわかりあえるということが何かということを根本から考える機会になります。

なお、ここでは、最近のコミュニケーションの支援機器についても調べてみてください。さまざまな機器が開発され、さまざまな可能性が見えてきていることをよく知っておくことが必要だと思います。

4単位め 解説

ここでは教科書の第II章をよく読んでください。

まず、これまで、特別支援学校は、養護学校と呼ばれていた時代から、地域の中でどのような役割を担ってきたか考えてみてください。さらに、障害のある人にとって、その人がもし養護学校に就学していたとすると、その人の生涯の中で養護学校の時代はどのような意味を持っているかということも考えてみてください。

これらのことを考えることで、障害があっても、地域の中で生活し続けるためには、これからの特別支援学校が地域で何を担わねばならないか容易に想像できると思います。

参考図書

- 1) 成瀬悟策著『臨床動作学基礎』学苑社, 2005年
- 2) 文部科学省『盲学校, 聾学校及び養護学校学習指導要領解説——各教科, 道徳及び特別活動編』東洋館出版, 2000年
- 3) 文部科学省『盲学校, 聾学校及び養護学校学習指導要領解説——自立活動編』海文堂出版, 2000年
- 4) 村田 茂著『動作訓練入門』学苑社, 1993年
- 5) 坂本竜生他編著『新・感覚統合法の理論と実際』学習研究社, 1997年
- 6) 文部科学省編『肢体不自由児のコミュニケーションの指導』日本肢体不自由協会, 1994年
- 7) 国立特殊教育総合研究所編著『肢体不自由のある子どもの自立活動ガイドブック』ジヤース教育新社, 2006年
- 8) M.フロスティックほか著『フロスティック視知覚学習ブック』日本文化科学社, 1977年

病弱教育

科目コード●050729

担当教員●鳴海 宏司

2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格/福選

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

病弱を主とする特別支援学校や学級では、慢性疾患、悪性新生物等により継続して治療や生活規制が必要な子どもたちや、身体虚弱の状態が継続していて生活規制を必要としている子どもたちが学んでいます。こうした子どもたちの教育にあたっては、子どもひとりひとりをよく見つけ、子ども個々のその時々々の健康状態、治療等による学習の遅れ、心理的な安定度等に十分配慮しながら進めることが肝要です。また、自主性、積極性、社会性を培うこともこの教育の大きな役割になります。

ここでは、病弱教育の意義、教育課程の構造と編成、重度重複障害児の教育内容、教育と医療の連携等について、現在、病弱を主とする特別支援学校・学級が果たしている具体的内容を手がかりにして学習しますが、今後の特別支援教育の中で、病弱を主とする特別支援学校・学級に何が求められているかについても学んでいきます。

履修登録上の注意

この科目を履修する方は、原則として「病弱者の心理、生理・病理」はセットで履修することが望ましいものです。また、この科目と「病弱者の心理、生理・病理」を履修する方は、原則として「病弱教育総論」を履修することはできません。

教科書

横田雅史監修、全国病弱養護学校長会編著『病弱教育Q & A (Part I) ——病弱教育の道標』ジヤース教育新社、2001年

レポート課題

1 単位め	<p>次の課題1と課題2の両方を解答しなさい</p> <p>課題1 入院生活をしている小学部中学年の児童の、体験的な活動内容を必要とする社会科の学習を行う際の、指導する上で工夫すべきことについて述べなさい。</p> <p>課題2 病弱児の各教科の指導にあたって、対象児童生徒の意欲を喚起し、効率よくかつ安全に指導を進めるための配慮事項について述べなさい。</p>
2 単位め	<p>次の課題1と課題2の両方を解答しなさい</p> <p>課題1 重度重複障害教育における児童生徒の実態把握の必要性、目的、方法、配慮事項等について述べなさい。</p> <p>課題2 自立活動の個別の指導計画を作成する際の、指導目標、指導内容・方法等を設定する場合の、一般的な手順、留意すべき事項等について述べなさい。</p>

アドバイス

病弱児は、どんな病気か、どのような治療でどれくらい期間がかかるのかなどにより、ひとりひとり置かれている立場が違います。まず、課題をよく読んで、どんな子どもの何について聞かれているのかをしっかりとつかんでください。

それぞれの課題をまとめるにあたって、対象とする児童生徒の障害の状態や学年を具体的に想定して取り組んでみてください。1単位めは、通常の学校に準ずる教育課程での対応が可能な児童生徒、2単位めは、自立活動を主とした教育課程での対応が必要な児童生徒として考えていくと、自分ならこういう工夫ができるとか、この点に着目して計画できるといったような、より実践的なまとめ方ができるものと思います。

1単位め 解説

教科書の第2章をよく読んでください。課題1については、体験的な活動や実技を伴う指導の工夫について詳しく述べられているページがありますので、特によく目を通すことが必要です。ここでは、長期入院中で外出もままならない子どもに、自分の居住している地域のことを学ばせるとしたらどんな支援が必要か具体的に考えて論述してください。

課題2については、想定する対象が小学部児童でも中学部生徒でもかまいません。ただし、入院治療が長期にわたっており、欠席がちで、学習への不安を持ち始めている子どもを想定して、そんな子どもに生き生きと学習に取り組ませるためにやるべきことを、自分なりの視点でまとめてください。

2単位め 解説

ここでも教科書の第2章をよく読んでください。特に第2章の5と7を詳しく読んでください。

ここで求められることは、自立活動の個別の指導計画を作成するために必要なことは何かをしっかりと把握することです。

課題1は、実態把握について聞いています。教科書では触れていませんが、指導計画を立てる場合、発達診断の立場からの実態把握も有効ですし、実態把握の方法もいろいろあります。教科書だけでなく他の参考書にも目を通し、なぜ実態把握が必要なのかという根本的なところをしっかりと考えて論述してください。

課題2については、一般的にこういった手順で計画を作っていくかをまとめてください。もし、目標、指導内容・方法等について、具体的なケースを想定した方がまとめやすい場合は、その方法でまとめてください。その方がよりリアリティに富んだオリジナルなまとめになるかもしれません。

参考図書

- 1) 横田雅史監修、全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q&A PART III』ジアース教育新社、2004年
- 2) 文部科学省『盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領解説——各教科、道徳及び特別活動編』東洋館出版、2000年
- 3) 文部科学省『盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領解説——自立活動編』海文堂出版、2000年
- 4) 川村秀忠他著『発達の気がかりな乳幼児の早期発達診断』川島書店、1982年

科目コード●050730

担当教員●菅井 邦明

4 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格/福選14~18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

聴覚障害児教育を学ぶには、聴覚障害に関する生物学的、音声学的条件と障害補償についての知識、また幼児段階ではコミュニケーション・言語発達、保育・養育環境条件に関する知識を学ぶ必要があります。さらに学校教育段階では教育内容と指導に関する知識・技術、そして学習指導要領の学習が重要になります。

特別支援教育の時代に入り、児童のニーズの把握の上で「個別の教育支援計画」を作成し指導を展開することになります。現実の教育実践の中では、ニーズ把握・計画・指導・評価が一連の過程として、瞬間瞬間、一時限内、学期内、年間で繰り返されます。その過程では、知識・指導技術等に関し、新しく工夫・開発する必要もでてきます。この科目では、1単位めでは、児童のニーズや実態把握に必要な聴覚面の知識を、2単位めでは主にコミュニケーション・言語発達、3単位めと4単位めでは、個別教育指導計画と指導技術について学習します。

教科書

- 1) 篠田達明監修，今野正良ほか編『視覚・聴覚・言語障害児の医療・療育・教育』金芳堂，2005年
- 2) 菅井邦明著「早期教育における聴覚障害児・家族・専門家のコミュニケーションに関する省察」『発達・療育研究（京都社会福祉センター紀要）』10，1994年（コピーで配付）

レポート課題

1 単位め	聴覚障害児の実態把握に必要な生理病理・音響に関する知識を学習した結果、聴覚障害の発生について簡略に整理しなさい。
2 単位め	聴覚障害児の言語習得のつまずき課題について整理しなさい。
3 単位め	聴覚障害児教育の指導技術で学習したことを整理しなさい。

4 単位め

聴力が両耳とも500Hzで50dB, 1000Hzで70dB, 2000Hzで90dB, 4000Hzで100dBの3歳児がいる。この子の個別の教育指導計画を立てる場合に、受講生が考えた必要事項を記述しなさい。

アドバイス

まず教科書2つを熟読してください。また実際に自分の指で耳を塞ぎ聞こえにくい状態を作ったり、理解不可能な外国語を20分間聞いてみたりして、聴覚障害の聞こえにくい状況を少しでも体験してください。また可能な限り聴覚障害児・者や高齢者で耳が遠いといわれる方に接してみてください。実際に聴覚障害児・者に接している受講者はその人を想定してレポートにとりこんでください。

1単位め 解説

教科書1)を熟読し、音声脳へ伝わる経路・言語音認知過程とその障害を簡略に整理してください。

2単位め 解説

教科書1), 2)を熟読し、聴覚障害によって起こるコミュニケーション・言語学習上の課題を簡略に整理してください。

3単位め 解説

教科書1), 2)を読み、いわゆる健常児(健聴児)には必要としないと思われる指導技術を考え、整理してください。

4単位め 解説

教科書1), 2)を読んで考えてみてください。

参考図書

- 1) 原田 泰・生田目美紀著『ゆびもじ練習あいうえお』小学館, 2004年(CD-ROM教材)
- 2) 米内山明宏監修『はじめての手話入門』ナツメ社, 2005年(DVD付き)
- 3) 原田恵子・広瀬千恵子著『二人の難聴児を育てて——わが子に学んだ日々』聴覚障害児と共に歩む会・トライアングル, 1996年
- 4) 岩立志津夫・小椋たみ子編著『よくわかる言語発達』ミネルヴァ書房, 2005年

科目コード●050731

担当教員●鳴海 宏司

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/福選14～18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

学齢期にある子どもが病気になった場合、ごく普通に考えれば、まずは病気の治療が優先され、とりあえず学校を欠席して治療に専念し、回復・治癒したらまた登校するという形をとるでしょう。しかし、罹った病気が特に急激・重篤ではないけれども、長期間の治療を要する疾患だったとしたら、この子どもの学校生活はどうしたらいいでしょう。

たしかに、まずなによりも病気を治すことが大事です。でも、だからといって生活のすべてをそのことだけに費やし、学校を長期間欠席することになれば、学校生活で身につけるべき多くのことが滞ってしまいますし、なによりも生活の質（QOL）そのものが低下してしまい、この子どもの生涯を通してみるととりかえしのつかないマイナスになることでしょう。

こうした状況を解消し、病気であっても生活の質の維持・向上を図ることは、子どもとその家族にとって共通した願いですし、そのためにこそ病弱教育があるのです。

ここでは、病弱教育の対象となる子どもとは具体的にはどのような子どもなのか、また、このような子どもたちが学んでいる特別支援学校や特別支援学級では、どのような教育が行われているのか、さらに、なによりも大事な医療と教育の連携はどのようになされているのか等について学習します。

履修登録上の注意

この科目を履修する方は、原則として「病弱者の心理、生理・病理」「病弱教育」の2科目を履修することはできません。

教科書

横田雅史監修、全国病弱養護学校長会編著『病弱教育Q & A (Part I) ——病弱教育の道標』ジヤース教育新社、2001年

レポート課題

1 単位め

下に掲げた病名は、主として病弱を対象とする特別支援学校の児童生徒にみられる病気のいくつかです。

この中から2つ選び、その病気を治療中の子どもの、学校生活上で配慮すべきことについてまとめなさい。

筋ジストロフィー、急性白血病、ペルテス病、小児気管支喘息、血友病、ウイルス性肝炎、ネフローゼ、若年型糖尿病

2 単位め

長期にわたる病気治療が必要な児童生徒にとって、病弱教育を主とする特別支援学校が果たすべき役割とは何かについて、視点を7つあげ、それぞれについて具体的に述べなさい。

アドバイス

近年の病弱を主とする特別支援学校に学ぶ児童生徒の疾患は、多様化してきています。また、医学の進歩とか社会のニーズの多様化に応じて、入院しながら治療をしなければならない期間が短くなってきています。

1単位めも2単位めも、それぞれの課題にとりくむにあたり、病弱を主とする特別支援学校で学ぶ子どもの疾患が、この20年来、どのように変遷してきたか、また、それはどうしてなのかについても調べてみてください。このことから、病弱を主とする特別支援学校に求められる役割も少しずつ変遷してきたことがわかりますし、さらには、現在の果たすべき役割についてもよくわかります。

1単位め 解説

ここをまとめるためには、教科書の第1章をよく読んでください。また、参考書にも目を通してください。

ここで求めている答えは、その病気がどんな病気かということではなく、その病気の子どもが学校生活を送るとすれば、そのために学校や教師はどんな配慮をしなければならないのかということです。もちろん、そのためには、病理についての基礎的な知識・理解は必要ですが、病気自体が問題なのではなく、あくまでも病気の子どもが問題なのだということを忘れないでください。

2単位め 解説

ここでは教科書の第2章をよく読んでください。ここで聞かれていることはきわめて基本的なことですが、それだけにきわめて大事なことでもあります。

病弱を主とする特別支援学校が、病弱養護学校といわれていた時代を含め、この20年来、どのような変遷をたどったか、よく調べてください。たしかに、対象とする子どもたちの病類が変化してきたことは事実ですが、その中で、病気の子どもに何を伝

え、何を身につけさせなければならないのか、ということについても変わってきています。また、一方、この20年来どころか、もっと以前から、いささかもゆるがずに果たしてきた役割もあります。

そういった役割を、大まかに7つにまとめてください。そうすることで、今、病弱を主とする特別支援学校に求められていることが何なのか、おのずと理解できます。

参考図書

- 1) 横田雅史監修 全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q&A PART III』ジアース教育新社, 2004年
- 2) 横田雅史・西間三馨監修 全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q&A PART V』ジアース教育新社, 2003年
- 3) 筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男 編『特別支援教育における障害の理解』教育出版, 2006年
- 4) 筑波大学特別支援教育研究センター／安藤隆男 編『特別支援教育の指導法』教育出版, 2006年
- 5) 文部科学省『盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領解説——各教科、道徳及び特別活動編』東洋館出版, 2000年
- 6) 文部科学省『盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領解説——自立活動編』海文堂出版, 2000年

重複障害教育総論

科目コード●050732

担当教員●前田 泰弘

2単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉
資格/福選

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

本科目では、重複障害をもつ児童・生徒（以下、重複障害児とします）が、ライフコース※において、より豊かな生活を実現するための、教育的配慮のあり方を考えることを学習のねらいとしています。

※ライフコース＝個人が一生の間にたどる道筋

教科書

飯野順子，授業づくり研究会I&M編著『障害の重い子どもの授業づくり』ジヤース教育新社，2005年

レポート課題

1 単位め

重複障害児・者のライフコース※の中で、重複障害児教育が担うべき役割とは何かを考え、論述してください。

2 単位め

重複障害児の教育目標を設定する上での配慮事項と、教育計画を策定する上での指導・アセスメントの視点について説明してください。

アドバイス

重複障害児は、医療的ケアや社会福祉サービスを受けながら生活を保障されることがあり、教育的配慮を考える上では、それらについても理解されていることが望めます。今回、教科書として指定した文献は、重複障害児の特性と教育実践の具体的な内容の理解を進めるために適当なものを選んでありますが、重複障害児・者（医療・福祉的には重症心身障害児に該当する）の特性を考慮すれば、そのライフコースと発達・生活の実際を理解したうえで、教育の果たす役割と方針について考察していただくことが重要です。適宜、他の資料を用いながら、教科書を読み解いていただくことが、本科目の最初の課題となる

でしょう。レポート課題は、教科書と参考書を併用して得られたライフコースの概観のもとに、受講者の皆様それぞれのお立場で、広い視点から解釈していただき、論述いただければと考えております。レポートを作成するための具体的な内容の理解については、後掲の参考書等をご活用ください。また、参考図書には、主に教育学関係のものを挙げてございますが、レポート課題では、これに限らず、より広い視点からの資料の活用、考察をしていただけることを期待しております。

1単位め 解説

この課題のねらいは、重複障害児・者のQOL（生活の質）と、その向上に寄与できる教育のあり方を考えていただくことにあります。そのためには、まず、重複障害児・者がどのような特性をもち、どのような生活を送っているかということを理解する必要があります。また、どのようなライフコースをたどるのか、ライフステージにおいて、どのような課題が出てくるのかを、広い視野から包括的に理解した上で、教育の果たす役割について考えていただければと思います。参考資料の一部として、参考図書の1)～4)をあげておきます。

2単位め 解説

ここでは、重複障害児に対する「個別の教育支援計画」の作成について理解していただくことが、ねらいの中心になります。1単位めで学習したことを踏まえ、教育目標の設定、教育計画の作成をする上で、どのような視点が必要になるかを考察してください。また、これを実際に授業で展開していく上で必要な、児童・生徒の評価や指導の方法、その他の配慮事項についても、考察なさってください。参考資料の一部として、参考図書5)～8)をあげておきます。

参考図書

- 1) 永渕正昭 著『障害者のリハビリと福祉』東北大学出版会、2004年（改訂）
- 2) 福祉士養成講座編集委員会 編『障害者福祉論 第5版』（社会福祉士養成講座3 新版）中央法規出版、2007年
- 3) 世界保健機構 編『ICF国際生活機能分類—国際障害分類改定版』中央法規出版、2002年
- 4) 兵庫重症心身障害児教育研究集会実行委員会編『重症児教育』クリエイツかもがわ、2004年
- 5) 大沼直樹著『重度・重複障害児の興味の開発法——四つの感覚と四つの興味』明治図書出版、2002年
- 6) 大沼直樹著『重度・重複障害児の自立活動と個別の指導計画』明治図書出版、2003年

- 7) 清水貞夫・相澤雅文著 『「個別の教育支援計画」と障害ケア』 クリエイツかもがわ, 2006年
- 8) ヴィゴツキー著, 土井捷三・神谷栄司訳 『「発達の最近接領域」の理論』 三学出版, 2003年

注) 関係法令の改正に伴い, 教科書および参考図書中に使用される語句, 解釈等が変更される(されている)ことがあります。これについては, ご自身でお調べいただくか, スクーリングの際に解説いたします。

軽度発達障害者の心理

軽度発達障害者の心理 050733

科目コード ● 050733

担当教員 ● 黄 淵熙

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/福選

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

この科目では、軽度発達障害のある児童生徒の認知的特徴からくる心理的問題を理解し、それに対する対応について学習します。1単位めの課題においては、軽度発達障害の定義および学習障害（LD）・注意欠陥／多動性障害（ADHD）・高機能自閉症の特徴に関して理解します。2単位めの課題においては、軽度発達障害のある児童生徒が学校や社会で直面する心理上の問題に関して理解し、適切な対応法に関して学習していきます。

教科書 「軽度発達障害教育総論」と同じ

上野一彦・花熊 暁編『軽度発達障害の教育——LD・ADHD・高機能PDD等への特別支援』日本文化科学社、2006年

レポート課題

1 単位め

軽度発達障害児の特徴を障害種別（LD・ADHD・高機能PDD）に要約し、その特性上起こりうる心理的問題について述べなさい。

2 単位め

LD児・ADHD児・高機能自閉症児のいずれかについて、事例を1つ選び、その心理的問題にどのように対応できるかを述べなさい。

アドバイス

各課題について、テキストおよび参考図書などをよく読み、自分の言葉でまとめるようにしてください。参考図書の中の『軽度発達障害の心理アセスメント』には軽度発達障害児の事例が多数掲載されているので、それらを読んで軽度発達障害児の特徴を具体的に描いてください。実際に軽度発達障害児と接する機会がある方はその児童生徒を指導対象と想定し、レポート課題に取り組むことをお勧めします。

1単位め 解説

教科書の第2章（「軽度発達障害のある子どもたちとは」）を熟読し、軽度発達障害の概念や軽度発達障害のある児童生徒が抱える困難についてよく理解した上でレポートを作成してください。心理的問題に関してはp. 24～25の「疑似体験」をし、その感想を踏まえてまとめてください。

2単位め 解説

参考図書1)の『軽度発達障害の心理アセスメント』に掲載されている指導実践例から事例を選ぶか、自分が関わっている軽度発達障害児を事例にしてください。各事例が抱えている心理的困難について述べ、教科書の第9・10・11章を参考にして適切な対応に関して考察してください。

参考図書

- 1) 上野一彦・海津亜希子・服部美佳子編『軽度発達障害の心理アセスメント——WISC- IIIの上手な利用と事例』日本文化科学社, 2005年
- 2) 古荘純一著『軽度発達障害と思春期——理解と対応のハンドブック』明石書店, 2006年
- 3) 牟田悦子編『LD・ADHDの理解と支援』有斐閣, 2005年

その他教科書に参考提示してある図書を参考してください。

科目コード●050734

担当教員●後藤 紗織

2単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉
資格/福選14~18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

軽度発達障害の定義について学び、その特性から生じる問題を理解します。また、その問題に対応するための教育的支援を学習してください。1単位めの課題では、軽度発達障害の定義、および学習障害(LD)・注意欠陥多動性障害(ADHD)・高機能自閉症(HFPDD)の特徴と問題点を理解してください。2単位めでは、軽度発達障害児に対してどのような教育的支援・配慮が考えられるのかを学習してください。

教科書 「軽度発達障害者の心理」と同じ

上野一彦・花熊 暁編『軽度発達障害の教育——LD・ADHD・高機能PDD等への特別支援』日本文化科学社、2006年

レポート課題

1 単位め

LD・ADHD・高機能自閉症の定義、特性を要約し、実際に学校場面でどのような問題が生じるかをまとめなさい。

2 単位め

LD・ADHD・高機能自閉症児のいずれかについて、具体的な事例を一つ選び、どういった教育的支援・配慮ができるのかを述べなさい。

アドバイス

まずは、テキスト、参考図書をよく読んでください。その上で、自分で関連する本や文献を探して読んでみて、より知識を深めてください。

課題は本をまとめるだけではなく、理解した内容を自分の言葉でまとめるようにしてください。その際に、具体的に軽度発達障害児のイメージを描きながら書けると良いので、軽度発達障害児と関わったことのない人は、ボランティア活動をするなど実際に接する機会をもつことが望まれます。また、新聞やテレビのニュース番組などでもよくとりあげら

れているので、身近に感じて考えながら、課題に取り組んでください。

1単位め 解説

教科書の第2章（軽度発達障害のある子どもたちとは）をよく読んで、軽度発達障害の定義と特徴をまとめてください。その内容をよく理解した上で、参考図書などをもとに、特に学校生活、学習場面においてどのような問題が生じるのかを考えてまとめてください。

2単位め 解説

できるだけ自分が関わったことのある子どもの事例にしてください。倫理的な問題があるかもしれないので、詳しい子どもの様子を書く必要はありませんが、実際の子どもの像をイメージしながら、支援の方法を考えてください。関わったことのない人は、教科書や参考図書の中に出てくる事例を選んでください。

自分が選んだ事例について、どのような支援や配慮が考えられるかを、教科書のパート2の指導編と参考図書をよく読んで参考にしながら、考えまとめてください。

参考図書

上野一彦・海津亜希子・服部美佳子編『軽度発達障害の心理アセスメント—— WISC-IIIの上手な利用と事例』 日本文化化学社、2005年

横山浩之著『AD/HD, LD, 高機能自閉症 軽度発達障害の臨床』診断と治療社、2005年

小枝達也編著『ADHD, LD, HFPDD, 軽度MR児 保健指導マニュアル』診断と治療社、2002年

科目コード●050735

担当教員●阿部 芳久

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/福選14～18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

わが国で、自閉性障害のある児童生徒に学校教育が行われてから約30年の年月が経過している。彼らの障害の程度に応じて、通常学級や特別支援学級、あるいは特別支援学校で多様な教育が行われてきた。しかし、未だなお、彼らに効果的であると実証された指導方法は確立されていない。そのことは自閉性障害のある児童生徒の教育がいかに困難であることを物語っている。

本科目では、自閉性障害のある児童生徒を対象とする、社会的自立を目指した指導内容として、どのような内容を設定したらよいかを考える。

教科書

独立行政法人国立特殊教育総合研究所『自閉症教育実践ガイドブック』ジアース教育新社、2004年

独立行政法人国立特殊教育総合研究所『自閉症教育実践ケースブック』ジアース教育新社、2005年

レポート課題

1 単位め

自閉性障害のある小学部の児童に対して、将来、自立し社会参加していくことを目指した教育を行いたい。自閉性障害の特性を考慮して、どのような教育内容を用意したらよいか、その指導内容の項目を設定し、指導内容の具体例を示しなさい。

2 単位め

自閉性障害のある中学部および高等部の生徒に対して、将来、自立し社会参加していくことを目指した教育を行いたい。自閉性障害の特性を考慮して、どのような教育内容を用意したらよいか、その指導内容の項目を設定し、指導内容の具体例を示しなさい。

アドバイス

1・2単位め
解説

まずテキスト『自閉症教育実践ガイドブック』のp. 1～p. 12を熟読し、自閉性障害の行動の特性を理解してください。次に、テキスト『自閉症教育実践ガイドブック』p. 94～p. 97の内容を熟読し、それを参考にして、自閉性障害のある児童生徒が学校を卒業した後の地域の生活を思い浮かべましょう。そこから、小学部段階および中・高校段階で学校教育において何を指導すべきかを考えてください。そして、指導内容の項目を設定してください（例「コミュニケーションの指導」「余暇活用の指導」等）。最後に、テキスト『自閉症教育実践ケースブック』や下記の参考図書の中の多くの指導例を参考にして、それぞれの項目の指導内容例を考えてください（例「市内のバスや地下鉄などの公共交通機関を利用する」「日常生活場面で自分のして欲しいことを、いろいろな方法によって身近な人に伝える」など）。

参考図書

月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社

月刊雑誌『特別支援教育研究』日本文化科学社

季刊雑誌『特別支援教育の実践情報』明治図書

小林重雄他『自閉性障害の理解と援助』コレール社、2003年

佐々木正美編『自閉症のTEACCH実践』岩崎学術出版社、2002年

佐々木正美編『自閉症のTEACCH実践②』岩崎学術出版社、2005年

コミュニケーション障害教育

コミュニケーション障害教育

050736

科目コード●050736

担当教員●庭野賀津子

2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/福選

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

コミュニケーション障害をともなう障害は多岐にわたります。その中で、当科目においては、発生頻度が比較的高いとされる5つの障害（知的障害、自閉症、難聴、構音障害、後天性言語障害）をとりあげ、それぞれの障害の理解と適切な対応の仕方、そしてコミュニケーション力を促進する指導方法について学びます。

コミュニケーション指導を考えると、音声言語によって話すことを目標においた言語訓練に主眼がおかれがちですが、その前にまず、コミュニケーション能力の基盤となる認知発達や運動発達を促し、さらに環境を改善してコミュニケーション意欲を高めることが必要であることを認識する必要があります。

また、音声言語以外のコミュニケーション手段についても学んでください。コミュニケーション障害を抱える障害児やその子を取り巻く人々が、少しでもコミュニケーション障害を克服し、生活の質を高められるような支援をするにはどうしたらよいか、考える力を養ってほしいと思います。

教科書

笹沼澄子監修『子どものコミュニケーション障害』大修館書店、1998年

レポート課題

1 単位め

教科書の第1～5章を熟読し、知的障害、自閉症、難聴、構音障害、後天性言語障害のそれぞれについて、その障害の特徴とコミュニケーション障害の様相、コミュニケーション能力の評価方法、コミュニケーション指導の方法についてまとめてください。

2 単位め

課題1・2の両方について解答してください。

課題1 教科書の第6, 7章を熟読し, コミュニケーション指導の代表的な方法であるインリアル・アプローチと, 補助代替手段(AAC)について, まとめてください。

課題2 次の8つの単語について, 知的障害児にわかりやすいようなシンボルを作成してください。レポート用紙上に5×5cmのサイズの正方形を描き, その中に黒いボールペン, またはサインペンで描いてください。別紙に描いたものを貼り付けても結構です。

「食べる」「飲む」「寝る」「トイレへ行く」「家」「お父さん」「お母さん」「わたし(ぼく)」

アドバイス

レポートを書き始める前に, 教科書全体を読み通してください。そして, 参考図書として紹介した文献も読んでください。コミュニケーション障害児への指導にあたる際には, まず, 健常児のコミュニケーション発達についてよく理解しておく必要があります。そのためには, 参考図書1) 2) が参考となります。また, 具体的にコミュニケーション障害を評価したり, 指導法を考えるには参考図書1) 4) が参考となるでしょう。さらに, 言語発達やコミュニケーション障害に関する文献を各自探して読んでみることを勧めます。また, 言語発達の途上にある乳幼児や, コミュニケーション障害をもつ障害児・者と接する機会のある人は, ぜひ積極的にかかわってください。きっと多くのことを学び, 感じることでしょう。その後, アドバイスにしたがって, 各課題に取り組んでください。

なお, レポートを作成するにあたり, 指定の教科書や参考図書以外にも参考にした文献がある場合は, レポートの最後にその文献の書名, 著者名, 出版社, 出版年を忘れずに書いてください。また, 教科書やその他の文献の文章をそのままレポートに記述することは避け, 自分なりの表現に直して書いてください。やむを得ずそのまま引用する際には, 引用箇所をかぎ括弧で括るとともに引用文献を明記して, 必ず引用であることがわかるようにしてください。

1 単位め 解説

(1) 知的障害

知的障害児は言語の発達が遅れる傾向にあります。知的障害により, 言語発達の基盤となる認知発達, 特に象徴機能の発達が遅れるためと考えられます。また, 言語発達の遅れは語彙の問題だけではなく, 構音や統語の問題としても現れます。知的障害児の言語発達の遅れの特徴を理解しながら, レポートをまとめてください。

(2) 自閉症

自閉症は, ことばの発達に遅れがあるだけではなく, 獲得した言語をコミュニケーション手段として有効に活用できない, 他者の心の理解が困難である, といった障害をもって

います。また、言語コミュニケーションだけではなく非言語コミュニケーションにおいても、表出が少ない、理解ができないなどの問題があります。自閉症のコミュニケーション障害は表出される音声言語の問題だけではない点を理解してください。

(3) 難聴

難聴児がことばを獲得する際、どのような問題が生じるのか、また、難聴児のことばの獲得を促進するにはどのような点に気をつけたらよいのか、教科書を熟読して、まとめてください。コミュニケーションの発達を促す上で、乳幼児期に難聴を早期発見し、早期指導することは重要なことです。また、難聴の程度が重度である場合には、聴覚活用と口話法だけではなく、手話も重要なコミュニケーション手段として使用する必要があります。その他、近年、人工内耳によって重度の感音性難聴児・者が聴覚を活用することが可能になってきています。

(4) 構音障害

構音障害には、運動性構音障害、器質性構音障害、聴覚障害による構音障害、機能的構音障害等があります。まずはそれぞれの構音障害の特徴を整理したうえで、構音の評価方法、治療・訓練方法についてまとめてください。

(5) 後天性言語障害

小児においても、頭部外傷、脳腫瘍、脳炎、脳卒中などによって、脳の言語中枢にダメージを受けると、成人と同様の失語症の症状を呈することがあります。小児失語症にはどのような特徴があるのか、回復と予後はどうであるか、評価方法にはどのようなものがあるのか、まとめてください。本教科書には、小児失語症への言語訓練についてはあまりかかれていませんが、症例の中から、どのような訓練がなされているか、調べてください。

第5章の初めに書かれてある言語中枢や子どもの脳の発達についての知識は、他のコミュニケーション障害への支援をするうえでも必要となりますので、よく読むとともに、関連する文献を探し、さらに知識を深めておいてください。

2単位め 課題1 解説

障害児へのコミュニケーション指導の方法は、多く開発されています。その中でもインリアル・アプローチは、日本において全国的に普及しているアプローチ法のひとつです。インリアル・アプローチでは、「SOUL (ソウル)」が基本姿勢としてあげられています。SOULとは、Silence (静かに見守る)、Observation (よく観察する)、Understanding (深く理解する)、Listening (子どものことばを聴く) の頭文字をとったものです。この姿勢は、コミュニケーション障害をもつ障害児に対して、ほかのアプローチ法を用いるときにも参考になります。また、近年は小児だけではなく成人の障害者に対してインリアル・アプローチによる言語指導をする取り組みが始まっています。

このインリアル・アプローチについて、そのねらい、基本姿勢、手法等をよく読み取り、まとめてください。また、指定の教科書以外に、参考図書5)もあわせて読むと、より理解が深まります。

2単位め
課題2
解説

音声言語の獲得が遅れたり、困難である場合には、一次的、あるいは永久的に使うコミュニケーション手段として、補助代替手段（AAC：Augmentative Alternative Communication）を用います。補助代替手段には、サイン、シンボル、絵カード、文字版のようなローテクのものから、コンピューターを駆使したハイテクのものまでさまざまあります。補助代替手段を必要とする障害児・者やその周囲の人にとって、必要かつ使いやすいものを適宜選択して使用する必要があります。教科書には主にサインとシンボルについて書かれてあります。教科書でとりあげている日本版PICやマカトン・シンボルを参考にしながら、皆さんなりのシンボルを工夫して作成してみてください。

参考図書

- 1) 岩立志津夫・小椋たみ子編著『言語発達とその支援』ミネルヴァ書房，2002年
- 2) 秦野悦子編『ことばの発達入門』大修館書店，2001年
- 3) 西村辨作編『ことばの障害入門』大修館書店，2001年
- 4) 大石敬子編『ことばの障害の評価と指導』大修館書店，2001年
- 5) 竹田契一・里見恵子『インリアル・アプローチ』日本文化科学社，1994年

科目コード●050737

担当教員●猪平 眞理

2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格/福選14～18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

人間の最も効率のよい情報収集感覚である視覚に障害があると、人は行動の制限や視覚的情報および模倣に不足を生じ、生活や学習に多くの支障を受けることになります。

ここではまず、視覚機能と眼疾患について学び、視覚障害教育の現状と明治期以降の制度的変遷を考えます。盲児には点字の使用を、弱視児には文字の拡大などの手段を講じる視覚障害児の学習には、各教科の学習において触覚や聴覚を活用するさまざまな工夫と指導法や種々の教材教具があり、こうした具体的な方法から視覚障害教育の理解を深めます。

また、視覚障害が発達に及ぼす特性と早期支援の方法や知的障害などとの重複障害児の教育法についても学んでいきます。

教科書

香川邦生編著 共同執筆 猪平眞理・大内 進・牟田口辰巳『三訂版 視覚障害教育に携わる方のために』慶應義塾大学出版会、2005年

レポート課題

1 単位め

視覚障害教育の制度的な歩みをたどり、視覚障害児の教育の場について現状を考察しながら課題をあげ、今後のあり方を含めて視覚障害教育の全体像について述べなさい。

2 単位め

視覚障害児の支援、指導法について、対象を盲児と弱視児の場合に分け、それぞれに即した早期から教科の学習までの配慮事項を解説しなさい。

アドバイス

教科書『三訂版 視覚障害教育に携わる方のために』の第1章～第8章を熟読し、参考図書にもあたりながら課題に取り組んでください。

対象となる視覚障害者は他の障害種別に比べると少数ですが、視覚障害教育は130年を遡る歴史があり、各教科の指導法や教材教具、乳幼児支援、職業教育などの各分野に明確な専門性が存在します。種別の異なる障害教育とも比較してみると理解を深めることができます。また、視覚障害教育の視覚を補うさまざまな工夫や多様な手段は障害の有無にかかわらず教育指導を豊かにすることのできる手法ともなることに気づいて欲しいと思います。

1単位め 解説

教科書の第1章～第4章をよく読み、眼疾患の変遷や制度の歴史をふまえ、第3章「特別支援教育への展望」、第4章「視覚障害児童生徒の教育と就学支援」を理解して参考図書や文部科学省の特別支援教育に関する資料等などにも触れながらレポートを作成してください。

2単位め 解説

教科書の第5章「教育課程と指導法」、第6章「自立活動の基本と指導」、第7章「視覚障害児のための教材・教具」、第8章「乳幼児期における支援」をよく読み、ここに解説されている内容についてその対象を視覚情報が得られない盲児と見えにくい状態にある弱視児の場合とに分類してください。その後、この2つをそれぞれで年齢や教科毎に整理してまとめてください。視覚障害の程度による配慮事項が明らかとなり、理解を深めることができますと思います。

参考図書

- 1) 大川原潔・香川邦生・瀬尾政雄・鈴木 篤・千田耕基編『視力の弱い子どもの理解と支援』教育出版、1999年
- 2) 全国盲学校長会編『視覚障害教育入門Q & A』ジアース教育新社、2000年
- 3) 障害児就学相談研究会編集『新しい就学基準とこれからの障害児教育』中央法規出版、2003年

障害者教育実習の事前指導

障害者教育実習の事前指導

050738

科目コード ● 050738

担当教員 ● 荒川圭介・阿部芳久・
庭野賀津子

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉

資格

この科目は、旧法による養護学校（特別支援学校）教諭一種免許状取得に関する「障害児教育実習の事前・事後指導」（p. 168参照）の事前指導部分と同等の内容の科目です。
履修登録後下記の5つのステップで単位を修得することになります。

1 事前指導スクーリング受講条件の達成（詳細は p. 170参照）

事前指導スクーリングの申込み締切日（平成19年度は7 / 6または3 / 7）までに必着で、特別支援学校教諭一種免許状の科目のうち合計6科目分のレポートを提出し、うち4科目は科目修了試験またはスクーリングを事前指導スクーリングまでに受験していること（8月受講者は8月の科目修了試験受験予定・8月のスクーリング申込み済も可 / 3月受講者は3月のスクーリング申込み済も可）。



2 事前指導スクーリングの申込み

『With』43号・49号（予定）巻末のハガキで、期限までに必着で（平成19年度は7 / 6または3 / 7）申し込んでいただきます。



3 事前指導スクーリングの受講（p. 170参照）

平成19年度は、(1) 8 / 4・5、(2) 2008. 3 / 29・30に仙台で開講予定で、いずれか1回（2日間連続）を受講することが必要です（1日め11：00～18：00 2日め9：30～16：10を予定）。



4 受講後レポートの提出・合格（p. 168 レポート課題1単位め参照）

「障害児教育実習の事前・事後指導」（p. 168参照）欄に記載の1単位めレポートを

提出。

提出期限 8月スクーリング受講者 8/27 (ただし9/14以前の実習開始者8/9)
2008年3月スクーリング受講者 4/21 (ただし5/16以前の実習開始者4/3)

- ・ A4判の用紙使用 横書き パソコン打ち出し可。下部にページ数はつける。ピンクの表紙(事前指導申込者に配付)に貼り付けて提出(貼り付け方は『レポート課題集(1・2年次)』p.16参照)。手書きの場合も、A4(縦長・横書き)の原稿用紙使用。



5 提出書類が実習開始4週間以上前必着で大学に提出

- ① 「個人調査票」のコピー 「登録カード」受付時にお送りするもの。実習校に原本を提出し、コピーを必ず大学に提出してください。
- ② 誓約書 事前指導申込者に送付する用紙。熟読したうえで、実習校名を左上部に記載 学科・氏名を記入・捺印し、事前指導スクーリング時に持参してください(実習校が決まっていない方は期限までに提出)。
- ③ 健康診断書 事前指導申込者に送付する用紙を必ず使用。医療機関などで健診し結果記録後、事前指導スクーリング時に持参(実習校が決まっていない方は期限までに提出)。学校などでの結果をもとに、この用紙に校医さんが捺印してくれるならば可。学籍番号・氏名・生年月日は本人記入。



6 大学より学生に実習許可通知を発送します。実習校へは大学より正式依頼状を発送します。

なお、上記の流れとは別に実習校に受入れの内諾を得るためには、以下の手続きをとる必要があります。

下記の条件を満たした方は、本冊子巻末の「障害者教育実習登録カード」に必要事項を記入して、通信教育部あて送付してください。条件を確認後、「障害者教育実習受講のための大学から特別支援学校への内諾依頼状」を学生あてにお送りいたします。この依頼状を持ってp.173, 165~166のような手順で実習校に受入れ依頼をすることになります。

- (1) 卒業後(将来)、教員として就職する意思が明確な方
- (2) 健康で通常の業務に耐え、伝染性疾患のない方
- (3) 免許状の取得にあたって本学通信教育部を卒業する方は、受講する前年度末(3月末または9月末)または事前指導申込み日のいずれか遅いほうの時点で、卒業見込で

あること（1年次入学者は90単位，2年次編入学者は60単位，3年次編入学者は28単位修得済みであること）。

- (4) 依頼状発行時点で，幼・小・中・高いずれかの教職免許状を所持していること。ただし，本学で高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得する場合は，「教育実習」を受講しているか，実習の日時が確定していること。
- (5) 本学通信教育部で特別支援教育に関する科目のうち4科目の単位を修得していること。

※3年生の方で現時点で上記の条件を満たしていない場合は，できるだけ早く4科目の単位修得，ならびに本学卒業が必要な方は卒業見込の条件も満たすように努力してください。早めに単位を修得すれば，早めに実習校に内諾を得る依頼をすることができます。

※自身の責任において，大学からの依頼状入手前に実習を希望する「特別支援学校」への依頼や情報収集を始めていただいても結構です。

※本学で「障害者教育実習」を受講するためには，本学で実習前に18単位以上の履修登録を行う必要があります。認定単位や受講不要な科目のある方は，ご注意ください。

※p.165の表記載の2の地域で次年度実習を希望している学生は，できるだけ早く通信教育部にご相談ください。

障害者教育実習の事後指導

科目コード ● 050739

担当教員 ● 荒川圭介・阿部芳久・
庭野賀津子

1 単位

R

3 年以上

社会福祉

資格

この科目は、旧養護学校教諭一種免許状取得に関する「障害児教育実習の事前・事後指導」(p. 168参照)の事後指導部分と同等の内容の科目です。

実習後のレポートの提出(p. 168~169参照)、ならびに実習校から返送されてくる実習日誌、実習評価票をもとに単位認定いたします。

障害者教育実習

科目コード ● 050906

担当教員 ● 荒川圭介・阿部芳久・
庭野賀津子

2 単位

実習科目

3 年以上

社会福祉

資格

この科目は、旧養護学校教諭一種免許状取得に関する「障害児教育実習」(p. 172参照)と同等の内容の科目です。

実習事前指導スクーリング、実習事前レポート、実習事後レポート、ならびに実習校から返送されてくる実習日誌、実習評価票をもとに単位認定いたします。

実習に関する詳細は、p. 172をご覧ください。

通信教育で学ぶことを決意されたみなさまは、多くの本を読み、知識として得たこと、自ら考えたことを「レポート」という形にまとめていくことが、これからの学習活動の中心になります。

この『レポート課題集』は、一般の大学の授業と同じ働きをするものです。その科目で何を学んでほしいかの「科目の内容」、レポート課題に取り組むにあたっての「アドバイス」などには、担当の先生方からみなさまへのメッセージが込められています。

今後学習を進めていくなかで、時には本の内容がまったく頭に入らなかったり、レポート用紙を前に何を書けばよいかととまどったりすることがあるかもしれません。そんなときは、ちょっと一休みしたあと、この『レポート課題集』のなかにある担当の先生方からのアドバイスをもう一度読んで、取り組みやすそうな課題から再び学習を始めてください。

学問って難しそうに感じることもありますが、人間が考えたことです。必ず理解できるはずです。どうしてもわからないときは、「質問票」を使って担当の先生に質問をすることもできます。

みなさまがこの『レポート課題集』を存分に活用し、学習を順調に進めていかれることを願っています。

レポート課題集

3・4年次配当科目
〔平成19年度版〕

2007年4月1日 初版発行

発行 東北福祉大学通信教育部
〒981-8522 (巻頭) 仙台市青葉区国見1-8-1
電話 022-233-2211 <http://www.tfu.ac.jp>
印刷・製本 今野印刷株式会社

©Tohoku Fukushi University 2007 Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複製複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

学籍番号	
氏 名	
住 所	〒 -

教材購入申込書

注意 新入生は購入の必要はありません。履修登録をすれば新しい教科書が配本されます。

下記教材を購入したく、合計金額の郵便小為替 _____ 円を添えて、申込みます。

住 所 〒 _____

氏 名

学籍番号 O T

様

コピーして宛名にしますので、消さないでください

電話番号 _____

希望する教科書の「申込欄」に○を付け、合計金額の郵便小為替を同封してください。

一度折り曲げてから切り離してください

科目名	科目コード	書 名	出版社名	販売価格	申込欄
地域福祉論	050105	新版 社会福祉養成講座7 地域福祉論 第4版	中央法規出版	2,300円	<input type="checkbox"/>
医学一般	050106	新版 社会福祉養成講座13 医学一般 第4版	中央法規出版	2,300円	<input type="checkbox"/>
社会保障論	050107	臨床に必要な社会保障	弘文堂	2,300円	<input type="checkbox"/>
公的扶助論	050108	臨床に必要な公的扶助	弘文堂	2,300円	<input type="checkbox"/>
公衆衛生学	050110	シンプル衛生公衆衛生学2006	南江堂	2,500円	<input type="checkbox"/>
高齢者福祉論	050117	老人福祉のてびきー平成18年度版	長寿社会開発センター	700円	<input type="checkbox"/>
障害者福祉論	050118	新版 社会福祉養成講座3 障害者福祉論 第5版	中央法規出版	2,300円	<input type="checkbox"/>
社会福祉援助技術論 I	050126	新版 社会福祉養成講座9 社会福祉援助技術論II 第4版	中央法規出版	2,300円	<input type="checkbox"/>
精神保健福祉援助技術総論	050137	改訂 精神保健福祉士養成講座5 精神保健福祉援助技術総論	中央法規出版	2,300円	<input type="checkbox"/>
精神保健福祉援助技術各論	050138	改訂 精神保健福祉士養成講座6 精神保健福祉援助技術各論	中央法規出版	2,300円	<input type="checkbox"/>
精神科リハビリテーション学	050139	改訂 精神保健福祉士養成講座3 精神科リハビリテーション学	中央法規出版	2,300円	<input type="checkbox"/>
精神医学	050140	改訂 精神保健福祉士養成講座1 精神医学	中央法規出版	2,300円	<input type="checkbox"/>
人格心理学	050511	臨床に必要な心理学	弘文堂	2,300円	<input type="checkbox"/>
社会心理学	050514	グラフィック社会心理学	サイエンス社	2,300円	<input type="checkbox"/>
児童青年心理学	050516	トビックス 思春期・青年期と向き合う人のための心理学	中央法規出版	2,100円	<input type="checkbox"/>
障害児教育 I	050711	特別支援教育概説	学芸図書	未定	<input type="checkbox"/>
障害児教育 II	050712	必携 学校小六法 2008年度版	協同出版	2,100円	<input type="checkbox"/>
障害児の教育課程	050714	知的障害児の特別支援教育入門	日本文化科学社	2,900円	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>

合 計 _____ 円

- ・教科書が変わった科目についても、昨年度までの教科書にもとづいて学習することができます。
- ・新教科書の購入の義務はありません。

受 付	入 金	教材発送

平成 年 月 日

心理学実験Ⅱ スクーリング受講許可願

注意 今年度 心理学実験Ⅰスクーリング受講予定者は提出不要です。

学籍番号 0 T

氏 名 _____

下記の理由により、心理学実験Ⅰのスクーリングを受講前に心理学実験Ⅱのスクーリングを受講させていただきたく、ご許可くださるようお願いいたします。

理 由

心理学関連科目（1年生担当科目）の履修状況（○印を付けてください）

	レポート提出済	スクーリング試験	科目修了試験
心理学概論	1・2・3・4	合格済	合格済
福祉心理学	1・2	合格済	合格済
社会心理学	1・2	合格済	合格済

- 注意
- 1) 審査のうえ、許可・不許可を判断します。許可の場合も、別途条件が課せられます（「心理学実験Ⅱ」の開始時刻前にガイダンスを受講する等）。
 - 2) 同一年度に「心理学実験Ⅰ」を受講してから、「心理学実験Ⅱ」を受講する場合は、提出する必要はありません。
 - 3) 80円切手貼付、返信先住所記入の返信用封筒を同封してください。

受 付	審 査	連 絡
	許可	
	不許可	

平成 年 月 日

東北福祉大学

学 長 萩野 浩基 殿

学籍番号

0		T				
---	--	---	--	--	--	--

氏 名

印

学生の現住所・勤務先 保証人の住所等変更届

今般、下記のとおり 月 日付で住所等（現住所・勤務先・保証人住所）を変更しましたのでお届けいたします。

記

1. 現住所・連絡先変更

新住所（変更のあった箇所のみ記入）	
〒 —	電 話 () —
	F A X () —
	携帯電話 () —
旧住所	

2. 勤務先変更

新勤務先（変更のあった箇所のみ記入）	
名 称	
住 所	〒 — 電 話 () —

3. 保証人住所変更

新保証人・住所（変更のあった箇所のみ記入）				
ふりがな		年齢	歳	続柄
氏 名		印		
住 所	〒 — 電 話 () —			

受 付	学籍簿	O C	経 理	B C

一度折り曲げてから切り離してください

一度折り曲げてから切り離してください

平成19年度 社会福祉援助技術演習Ⅱ 登録カード

※提出締切①：平成19年4月14日(土) ②：平成19年10月15日(月) 郵送 (FAX不可)・三ツ折可

フリガナ氏名	学籍番号		0	T	年月日	昭和 年 月 日	男女																																											
現住所	〒		—		電話																																													
					FAX																																													
					携帯																																													
勤務先	名称				Eメール																																													
	〒		—		電話																																													
社会福祉士を取得する理由			下記のとおり受講条件を満たしているので、「社会福祉援助技術演習Ⅱ」スクーリング受講を申込みます。期日までにスクーリング事前課題を必ず提出します。																																															
健康状態	補装具等 無・有 ()		<table border="1"> <thead> <tr> <th>受講日</th> <th>受講地</th> <th>第1希望</th> <th>第2希望</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">5/26・27</td> <td>盛岡</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>東京</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>新潟</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6/9・10</td> <td>仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>札幌</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11/23・24</td> <td>仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>東京</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">12/1・2</td> <td>仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>札幌</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					受講日	受講地	第1希望	第2希望	5/26・27	盛岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	東京	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	新潟	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6/9・10	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11/23・24	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	東京	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	12/1・2	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>								
	受講日	受講地	第1希望	第2希望																																														
5/26・27	盛岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																															
	東京	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																															
	新潟	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																															
6/9・10	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																															
	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																															
11/23・24	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																															
	東京	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																															
12/1・2	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																															
	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																															
所持している資格 (福祉・教育関連で)																																																		
福祉関係の実践の場の経験について (○をつけてください)	1. 福祉施設に勤務している (していた) 2. 福祉施設に訪問や見学を行った経験がある 3. 福祉施設でボランティア、実習等の経験がある 4. 福祉施設に訪問や希望実習の経験はない		◆実習希望先について (○をつけてください) 1 実習受け入れ先を自分で確保できる見込みがある (具体名があげられる方はご記入ください) 施設名： 施設種別： 2 現時点では、施設のあてはない 希望する場所： 県 市周辺 希望する施設種別： 3 本学関連施設での実習を希望する ◆実習希望時期 年 月ごろ																																															
※経験のある方は、具体的にその施設の種別・内容・期間等をご記入ください。																																																		
◆これまでに単位修得した科目に○、現在学習を終え成績通知待ちの科目に△、これから単位修得する予定の科目に×をつけてください。 () 高齢者福祉論 () 障害者福祉論 () 児童福祉論 () 社会福祉援助技術論Ⅰ () 福祉心理学 () 福祉社会学 () 福祉法学 () 社会福祉援助技術演習Ⅰ () 社会福祉原論 () 地域福祉論 () 医学一般 () 社会福祉援助技術論Ⅱ () 介護概論 () 社会保障論 () 公的扶助論 () 社会福祉援助技術論Ⅲ () 社会福祉援助技術論Ⅳ																																																		
(記入しないで下さい)	履修登録	学年	履修条件	入金	事前課題	出席	事後課題	総合評価	取消																																									
			可 不可	/	/		/																																											

一度折り曲げてから切り離してください

平成19年度 精神保健福祉援助演習 登録カード

※提出締切①：平成19年 4月14日(土) ②：平成19年10月15日(月) 郵送 (FAX不可)・三ツ折可

フリガナ氏名		学籍番号	0 T [][] [][] [][]	生年月日	昭和 年 月 日	男女																				
現住所	〒 —			電話																						
				FAX																						
				携帯																						
勤務先	名称			Eメール																						
	〒 —			電話																						
精神保健福祉士を取得する理由				下記のとおり受講条件を満たしているので、「精神保健福祉援助演習」スクーリング受講を申込みます。期日までにスクーリング事前課題を必ず提出します。																						
健康状態	補装具等 無・有 ()			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>受講日</th> <th>受講地</th> <th>希望日</th> <th>決定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/19・20</td> <td>仙台</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6/2・3</td> <td>仙台</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12/1・2</td> <td>仙台</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12/8・9</td> <td>仙台</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			受講日	受講地	希望日	決定	5/19・20	仙台	○		6/2・3	仙台	○		12/1・2	仙台	○		12/8・9	仙台	○	
受講日	受講地	希望日	決定																							
5/19・20	仙台	○																								
6/2・3	仙台	○																								
12/1・2	仙台	○																								
12/8・9	仙台	○																								
所持している資格(福祉・教育関連で)				◆実習希望先について (○をつけてください) 1 実習受け入れ先を自分で確保できる見込みがある(具体名があげられる方はご記入ください) 実習希望先： 施設種別： 2 現時点では、施設のあてはない 希望する場所： 県 市周辺																						
精神保健福祉関係の実践の場の経験について(○をつけてください)	1. 施設・病院に勤務している(していた) 2. 施設・病院に訪問や見学を行った経験がある 3. 施設・病院でボランティア、実習等の経験がある 4. 施設・病院に訪問や希望実習の経験はない			◆実習希望時期 年 月ごろ																						
※経験のある方は、具体的にその施設の種別・内容・期間等をご記入ください。																										
◆これまでに単位修得した科目に○、現在学習を終え成績通知待ちの科目に△、これから単位修得する予定の科目に×をつけてください。 () 福祉心理学 () 福祉社会学 () 福祉法学 () 精神保健 () 精神保健福祉論Ⅰ () 精神保健福祉論Ⅱ () 精神保健福祉援助技術総論 () 精神保健福祉援助技術各論 () 医学一般 () 精神医学 () 社会福祉原論 () 地域福祉論 () 精神保健福祉論Ⅲ () 社会保障論 () 公的扶助論 () 精神科リハビリテーション学																										
(記入しないで下さい)	履修登録	学年	履修条件	入金	事前課題	出席	事後課題	総合評価	取消																	
			可 不可	/	/		/																			

一度折り曲げてから切り離してください

平成19年度 介護実習 登録カード

郵送 (FAX不可) ・三ツ折可

平成19年度に「介護実習事前事後指導」のスクーリング受講を下記のとおり希望します。

6 / 9 (土) ・ 10 (日)

7 / 14 (土) ・ 15 (日)

2008年 1 / 12 (土) ・ 13 (日)

平成20年度受講予定

「介護実習」の受講条件を満たす (見込を含む) ので、「介護実習」先依頼に関する書類の送付を希望します。

フリガナ氏名	学籍番号		0	T	年月日	昭和	年	月	日	男女
現住所	〒				電話					
					FAX					
					携帯					
勤務先	名称				Eメール					
	〒				電話					
教員免許状取得の方法			学歴							
5条別表1			6条別表4			大学卒業 短大卒業 専修学校専門課程卒業 その他				
所持している免許状・資格			社会福祉士・介護福祉士・ホームヘルパー (1級・2級・3級)							
教職免許状			幼・小・中 () ・高 () 一種・二種・専修							
介護実習受入れ先					単位修得状況 単位修得済科目に○, 成績通知待ちの科目に△, 履修不要科目に×をしてください					
1 自分で確保できる見込みがある 予定施設名					教育原理 介護概論 高齢者福祉論					
施設種別					教職論 障害者福祉論 児童福祉論					
2 現時点では見込みはないが、自分で確保する					教育心理学 援助技術論 I 援助技術論 II					
3 本学関連施設での実習を希望					生徒指導論 社会福祉原論 福祉科の指導法					
					教育方法論 高等学校教育課程の意義と編成 コミュニケーション英語 法の基礎 情報処理 I					
実習希望時期 (予定)					福祉科免許状を希望する理由					
年 月 日										
実習免除希望 (ある場合理由の1か2に○を付ける)					下記の理由に該当するので免除を希望					
理由 1 介護福祉士所持で大学・短期大学・2年以上の専修学校専門課程で実習単位取得										
2 社会福祉士受験資格指定科目「社会福祉援助技術現場実習」を今回本学が認める実習先にて受講 (実習施設種別:)										

(記入しないでください)

	履修条件	学年	履修登録	事前課題	入金	出席	評価	免除
5別1 6別4	可保不			/				

平成19・20年度 教育実習 登録カード

郵送 (FAX不可) ・三ツ折可

私は、①将来教職につくことを強く希望しており、②現時点で教育実習先に内諾を得るための依頼状発行のための単位修得を終え、③教育実習受講までに必要な科目の単位修得が見込めるため、高等学校教諭一種免許状 (福祉) の授与に必要な「教育実習」の受講を平成19年または20年中に希望しています。

フリガナ氏名	学籍番号		0	T	生年月日	昭和	年	月	日	男女		
現住所	〒				電話							
					FAX							
					携帯							
勤務先	名称				Eメール							
	〒				電話							
教育実習の事前指導スクーリング受講予定 (スクーリングの申込みは別途必要です)												
H19. 3/31 ・4/1			8/11・12			H20. 3/29・30			H20. 夏			
実習希望時期 (予定)												
H19. 5～8月			H19. 9～ H20. 2月			H20. 5～8月			H20. 9～ H21. 2月			
依頼状発行の前提科目の単位修得状況 (単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、他大学で修得済の場合は「他」と記入してください)				教育実習受講までに必要な科目の学習計画 (単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、他大学で修得済の場合は「他」と、未修得の科目はレポートや試験の欄に合格している箇所は○を、提出して結果待ちの科目は△を、これからのものは何月に提出や受験・受講予定かを記入してください)								
科目名	単位数	単位修得済	科目名	単位数	単位修得済	レポート	1	2	3	4	科目修了試験	スクーリング
教育原理	4	○	法の基礎 (日本国憲法を含む)	4								
教職論	2	○	健康科学	2								
教育心理学	2	○	コミュニケーション英語	2								
福祉科の指導法	4	○	情報処理 I	2								
高齢者福祉論	4	○	高等学校教育課程の意義と編成	2								
児童福祉論	4	○	教育方法論 (視聴覚教育等を含む)	2								
障害者福祉論	4	○	生徒指導論 (進路指導を含む)	2								
介護概論	4	○	社会福祉原論 (職業指導を含む)	4								
			社会福祉援助技術論 I	2								
			社会福祉援助技術論 III	2								
			介護実習事前事後指導	1								
			介護実習	2								実習受講 年 月

(記入しないでください)

	履修条件	学年	履修登録	事前課題	合格	出席	評価	備考
5別1 6別4	可保不			/				

一度折り曲げてから切り離してください

平成19・20年度 障害児／者教育実習 登録カード

郵送 (FAX不可) ・三ツ折可

私は、①将来教職につくことを強く希望しており、②現時点で障害児／者教育実習先に内諾を得るための依頼状発行のための単位修得を終え、③障害児／者教育実習受講までに必要な科目の単位修得が見込めるため、特別支援学校教諭一種免許状の授与に必要な「教育実習」の受講を平成19年または20年中に希望しています。

フリガナ氏名	学籍番号	0 T	生年月日	昭和 年 月 日	男女			
現住所	〒 -		電話					
			FAX					
			携帯					
勤務先	名称		Eメール					
	〒 -		電話					
障害児／者教育実習の事前指導スクーリング受講予定 (スクーリングの申込みは別途必要です)								
H19. 3/31 ・ 4/1		8/4・5	H20. 3/29・30	H20. 夏				
実習希望時期 (予定)								
H19. 5～8月		H19. 9～ H20. 2月	H20. 5～8月	H20. 9～ H21. 2月				
この登録カードを送付するためには、新カリキュラムの方4科目、旧カリキュラムの方3科目の単位修得が必要です。単位修得済科目を下記に表記してください。		障害児／者教育実習受講までに必要な科目の学習計画 (左記以外の科目で単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、未修得の科目はレポートや試験の欄に合格している箇所は○を、提出して結果待ちの科目は△を、これからのものは何月に提出や受験・受講予定かを記入してください)						
科目名	単位数	単位修得済	レポート1	2	3	4	科目修了試験	スクーリング
		○						
		○						
		○						
		○						
		○						
		○						
所持している免許状・資格								
実習希望校との関係								
現時点ではない 上司・同僚の紹介予定 希望校の教職員を知っている その他								
(記入しないでください)								
	履修条件	学年	履修登録	事前課題	合格	出席	評価	備考
教免有 無	可 保 不			/				

郵便はがき

9 8 1 8 5 2 2

仙台市青葉区国見一―八―一

東北福祉大学通信教育部

スクーリング係 御中

50円切手を
貼付して
下さい。

一度折り曲げてから切り離してください

実習事後指導スクーリング受講申込みハガキ

投 函 日

/

申込み日控

差 出 人	住	〒	—
	所		
	氏名		

実習事後指導スクーリング受講申込書

学 籍 番 号

0 T

氏 名

氏名バーコード
貼 付 欄
(6桁のバーコード貼付で可)
(貼付なしでも可)

社会福祉援助技術現場実習・精神保健福祉援助実習を7月10日までに終了予定なので、実習事後指導スクーリングを申込みます。受講前に実習レポートを提出します。

■社会福祉援助技術現場実習(事後)指導 3コマ

開講日	開講場所	第1希望	第2希望
4/21(土)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6/16(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7/21(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

■精神保健福祉援助実習(事後指導) 5コマ

開講日	開講場所	第1希望	第2希望
6/30(土)・7/1(日)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7/28(土)・29(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

事前指導受講日	月	日
事前指導教員名		
実習終了予定日	月	日

申
込
締
切

4
月
2
日
(月)

必
着

郵便はがき

9 8 1 8 5 2 2

仙台市青葉区国見一―八―一

東北福祉大学通信教育部

スクーリング係 御中

50円切手を
貼付して
下さい。

一度折り曲げてから切り離してください

実習事前指導スクーリング受講申込みハガキ

投函日

/

申込み日控

差出人

住所氏名

〒

—

実習事前指導スクーリング受講申込書

学 籍 番 号

0 T

氏 名

氏名バーコード
貼 付 欄
(6桁のバーコード貼付で可)
(貼付なしでも可)

下記のスクーリング受講を申込みます。受講前に事前課題を、受講後に事後課題を行ったうえで、実習にのぞみます。

科 目 名	コード	受講料	コマ数	S単位
社会福祉援助技術現場実習指導	050132	10000円	事前3+ 事後3	1

■ 7月1日～12月25日の間に実習受講の方〈事前指導〉

開 講 日	開講場所	第1希望	第2希望
5/19(土)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5/26(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6/2(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7/7(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7/14(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

科 目 名	コード	受講料	コマ数	S単位
精神保健福祉援助実習 (事前指導)	050902	10000円	事前3+ 事後5	1

■ 7月1日～12月25日の間に実習受講の方 (事前指導)

開 講 日	開講場所	第1希望	第2希望
5/27(日)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6/17(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

申
込
締
切

4
月
10
日
(火)
必
着

